

九州大学学則（案）

平成16年度九大規則第1号  
制定：平成16年4月1日  
最終改正：令和3年3月 日  
（令和2年度九大規則第 号）

目次

- 第1章 総則（第1条～第2条の2）
- 第2章 組織等（第3条～第17条）
- 第3章 役員、職員等（第18条～第26条）
- 第4章 役員会、経営協議会、教育研究評議会及び総長選考会議（第27条～第30条）
- 第5章 部局長会議（第31条～第37条）
- 第6章 教授会（第38条）
- 第7章 雑則（第39条）

附則

- 第1章 総則  
（目的等）

第1条 九州大学（以下「本学」という。）は、教育基本法（平成18年法律第120号）の精神に則り、学術の中心として、広く知識を授けるとともに、深く専門の学芸を教授研究し、知的、道徳的及び応用的能力を展開させることを目的とする。【学教法第83条】

2 本学は、前項の目的を実現するための教育研究を行い、その成果を広く社会に提供することにより、社会の発展に寄与するものとする。

（自己評価等）

第2条 本学は、その教育研究水準の向上を図り、本学の目的及び社会的使命を達成するため、本学における教育研究活動等の状況について自ら点検及び評価を行い、その結果を公表するものとする。【学教法第109条】

2 本学は、前項の自己点検・評価及び第三者評価等多様な評価の結果を本学の目標・計画に反映させ、不断の改革に努めるものとする。

（教育研究活動状況の公表）

第2条の2 本学は、教育研究の成果の普及及び活用の促進に資するため、その教育研究活動の状況を公表するものとする。【学教法第113条】

- 第2章 組織等  
（学部）

第3条 本学に、次の表に掲げるとおり、学部及び学科を置く。

【学教法第85条】【大学設置基準第4条】

学 部	学 科
共創学部	共創学科
文学部	人文学科
教育学部	
法学部	
経済学部	経済・経営学科、経済工学科
理学部	物理学科、化学科、地球惑星科学科、数学科、生物学科

医学部	医学科、生命科学科、保健学科
歯学部	歯学科
薬学部	創薬科学科、臨床薬学科
工学部	電気情報工学科、材料工学科、応用化学科、化学工学科、融合基礎工学科、機械工学科、航空宇宙工学科、量子物理工学科、船舶海洋工学科、地球資源システム工学科、土木工学科、建築学科
芸術工学部	芸術工学科
農学部	生物資源環境学科

2 学部又は学科ごとの人材の養成に関する目的その他の教育研究上の目的は、別に規則で定める。**【大学設置基準第2条】**

3 学部又は学科ごとの卒業認定に関する方針、教育課程の編成及び実施に関する方針並びに入学者の受入れに関する方針は、別に定める。

4 各学部の教員組織の編制その他必要な事項は、別に規則で定める。

5 学部の修業年限、教育課程、学生の入学、退学、卒業その他の学生の修学上必要な事項は、九州大学学部通則（平成16年度九大規則第2号）で定める。

（大学院）

第4条 本学に、九州大学大学院（以下「本大学院」という。）を置く。**【学教法第97条】**

2 本大学院は、本学の目的に則り、学術の理論及び応用を教授研究し、その深奥をきわめ、又は高度の専門性が求められる職業を担うための深い学識及び卓越した能力を培い、文化の進展に寄与することを目的とする。**【学教法第99条】**

3 本大学院のうち、学術の理論及び応用を教授研究し、高度の専門性が求められる職業を担うための深い学識及び卓越した能力を培うことを目的とするものは、専門職大学院とする。**【学教法第99条】**

第5条 本大学院に、学校教育法（昭和22年法律第26号）第100条ただし書に規定する研究科以外の教育研究上の基本となる組織として、教育上の目的に応じて組織する学府及び研究上の目的に応じ、かつ、教育上の必要性を考慮して組織する研究院を置く。**【学教法第100条】**

第6条 前条の本大学院に置く学府は、次の表の左欄に掲げるとおりとし、当該学府にそれぞれ同表の右欄に掲げる専攻を置く。**【大学院設置基準第6条】**

学 府	専 攻
人文科学府	人文基礎専攻、歴史空間論専攻、言語・文学専攻
地球社会統合科学府	地球社会統合科学専攻
人間環境学府	都市共生デザイン専攻、人間共生システム専攻、行動システム専攻、教育システム専攻、空間システム専攻、実践臨床心理学専攻
法学府	法政理論専攻
法務学府	実務法学専攻

経済学府	経済工学専攻、経済システム専攻、産業マネジメント専攻
理学府	物理学専攻、化学専攻、地球惑星科学専攻
数理学府	数理学専攻
システム生命科学府	システム生命科学専攻
医学系学府	医学専攻、医科学専攻、保健学専攻、医療経営・管理学専攻
歯学府	歯学専攻
薬学府	創薬科学専攻、臨床薬学専攻
工学府	材料工学専攻、応用化学専攻、化学工学専攻、建設システム工学専攻、都市環境システム工学専攻、土木工学専攻、船舶海洋工学専攻、地球資源システム工学専攻、共同資源工学専攻、量子物理工学専攻、機械工学専攻、水素エネルギーシステム専攻、航空宇宙工学専攻
芸術工学府	芸術工学専攻、デザインストラテジー専攻
システム情報科学府	情報学専攻、情報知能工学専攻、電気電子工学専攻
総合理工学府	量子プロセス理工学専攻、物質理工学専攻、先端エネルギー理工学専攻、環境エネルギー工学専攻、大気海洋環境システム学専攻
生物資源環境科学府	資源生物科学専攻、環境農学専攻、農業資源経済学専攻、生命機能科学専攻
統合新領域学府	ユーザー感性学専攻、オートモーティブサイエンス専攻、ライブラリーサイエンス専攻
備考	<p>各学府は、博士課程とする。ただし、医学系学府医科学専攻は修士課程、人間環境学府実践臨床心理学専攻、法務学府実務法学専攻、経済学府産業マネジメント専攻及び医学系学府医療経営・管理学専攻は専門職学位課程（第4条第3項の専門職大学院の課程をいう。以下同じ。）とし、そのうち法務学府実務法学専攻は法科大学院とする。</p>

- 2 学府又は専攻ごとの人材の養成に関する目的その他の教育研究上の目的は、別に規則で定める。  
【大学院設置基準第1条の2】
- 3 学府又は専攻ごとの修了認定に関する方針、教育課程の編成及び実施に関する方針並びに入学者の受入れに関する方針は、別に定める。
- 4 博士課程は、専攻分野について、研究者として自立して研究活動を行い、又はその他の高度に専門的な業務に従事するために必要な高度の研究能力及びその基礎となる豊かな学識を養うことを目的とする。  
【大学院設置基準第4条第1項】
- 5 修士課程は、広い視野に立って精深な学識を授け、専攻分野における研究能力又はこれに加えて高度の専門性が求められる職業を担うための卓越した能力を培うことを目的とする。  
【大学院設置基準第3条第1項】
- 6 専門職学位課程は、高度の専門性が求められる職業を担うための深い学識及び卓越した能力

を培うことを目的とし、そのうち法科大学院にあつては、専ら法曹養成のための教育を行うことをその目的とする。

【専門職大学院設置基準第2条第1項、第18条】

7 各学府の教員組織の編制その他必要な事項は、別に規則で定める。

8 学府の修業年限、教育方法、学生の入学、退学、修了その他の学生の修学上必要な事項は、九州大学大学院通則（平成16年度九大規則第3号）で定める。

第7条 第5条の本大学院に置く研究院は、次に掲げるとおりとする。

- (1) 人文科学研究院
- (2) 比較社会文化研究院
- (3) 人間環境学研究院
- (4) 法学研究院
- (5) 経済学研究院
- (6) 言語文化研究院
- (7) 理学研究院
- (8) 数理学研究院
- (9) 医学研究院
- (10) 歯学研究院
- (11) 薬学研究院
- (12) 工学研究院
- (13) 芸術工学研究院
- (14) システム情報科学研究院
- (15) 総合理工学研究院
- (16) 農学研究院

(基幹教育院)

第7条の2 本学に、本学の学生として共通に期待される学びの基幹を育成するための全学組織として、基幹教育院を置く。

2 基幹教育院の内部組織その他必要な事項は、別に定める。

(高等研究院)

第7条の3 本学に、高度な研究活動を推進するための全学的組織として、高等研究院を置く。

2 高等研究院は、本学が世界的研究教育拠点として、学界をリードする卓越した研究成果を上げるために、分野を問わず、本学の誇る優れた研究者のうち、その専門分野において極めて高い研究業績を有する者、ポスト・プロフェッサー及び本学の次世代を担う若手研究者が実質的かつ高度な研究活動を展開する場として、全学的な協力体制のもとに設置するとともに、これらの活動を通じて人材を育成し、その研究成果を広く社会に還元することを目的とする。

3 高等研究院の内部組織その他必要な事項は、別に定める。

(附置研究所)

第8条 本学に、研究所を附置する。

2 前項の研究所（以下「附置研究所」という。）は、次の表の左欄に掲げるとおりとし、当該附置研究所の目的は、それぞれ同表の右欄に定めるとおりとする。

【学教法第96条】

附置研究所	目的
生体防御医学研究所	生体防御医学に関する学理及びその応用の研究
応用力学研究所	力学に関する学理及びその応用の研究
先導物質化学研究所	物質化学に関する先導的な総合研究
マス・フォア・インダストリ研究所	数学の産業応用及びその学理研究

3 各附置研究所の内部組織その他必要な事項は、別に規則で定める。  
(国際研究所)

第8条の2 本学に、カーボンニュートラル・エネルギー国際研究所を置く。

2 カーボンニュートラル・エネルギー国際研究所は、カーボンニュートラル・エネルギー研究に関する基礎科学を創出するとともに、環境調和型で持続可能な社会の実現に向けた課題の解決に貢献することを目的とする。

3 カーボンニュートラル・エネルギー国際研究所の内部組織その他必要な事項は、別に規則で定める。  
(病院)

第9条 医学部及び歯学部に、これらに附属する共用の教育研究施設として、医学部・歯学部附属病院を置き、九州大学病院（以下「病院」という。）と称する。 【大学設置基準第39条】

2 病院の内部組織その他必要な事項は、別に規則で定める。  
(附属図書館)

第10条 本学に、附属図書館を置く。 【大学設置基準第36条】

2 附属図書館の内部組織その他必要な事項は、別に規則で定める。

第11条 削除

(情報基盤研究開発センター)

第12条 本学に、研究、教育等に係る情報化を推進するための実践的調査研究、基盤となる設備等の整備及び提供その他専門的業務を行う全国共同利用施設として、情報基盤研究開発センターを置く。

2 情報基盤研究開発センターは、前項の業務のほか、本学における情報基盤に係るシステム開発を行う。

3 情報基盤研究開発センターの内部組織その他必要な事項は、別に規則で定める。  
(教育関係共同利用拠点)

第12条の2 第7条の2に規定する基幹教育院は、学校教育法施行規則（昭和22年文部省令第11号。以下「学教法施行規則」という。）第143条の2第2項の規定により、文部科学大臣の認定を受けた教育関係共同利用拠点として他大学の利用に供するものとする。

(共同利用・共同研究拠点)

第12条の3 次の表に掲げる附置研究所等は、学教法施行規則第143条の3第2項の規定により、文部科学大臣の認定を受けた共同利用・共同研究拠点としてそれぞれ学術研究の発展に資するものとする。

附置研究所等	共同利用・共同研究拠点
生体防御医学研究所	多階層生体防御システム研究拠点
応用力学研究所	応用力学共同研究拠点
先導物質化学研究所	物質・デバイス領域共同研究拠点
マス・フォア・インダストリ研究所	産業数学の先進的・基礎的共同研究拠点
情報基盤研究開発センター	学際大規模情報基盤共同利用・共同研究拠点

(エネルギー研究教育機構)

第12条の4 本学に、エネルギー分野における高度な研究及び教育活動を推進するための全学的組織として、エネルギー研究教育機構を置く。

2 エネルギー研究教育機構の内部組織その他必要な事項は、別に定める。

(アジア・オセアニア研究教育機構)

第12条の5 本学に、アジア・オセアニア地域における社会的課題の解決、課題の発掘及び提示に向けた研究教育活動を推進するための全学的組織として、アジア・オセアニア研究教育機構を置く。

2 アジア・オセアニア研究教育機構の内部組織その他必要な事項は、別に定める。  
(学内共同教育研究センター)

第13条 本学に、次に掲げるいずれかの機能を担い、本学の教員その他の者が共同して教育研究活動を行う組織として、学内共同教育研究センターを置く。【学教法第96条】

- (1) 主に教育又は研究活動を支援すること。
- (2) 主に教育又は研究を推進すること。
- (3) その他全学業務を推進すること。

2 学内共同教育研究センターは、次の表の左欄に掲げるとおりとし、そのうち設置期間を定める学内共同教育研究センターの当該設置期間の満了する日は、それぞれ同表右欄のとおりとする。

学内共同教育研究センター	設置期間の満了する日
生物環境利用推進センター	
熱帯農学研究センター	
アイソトープ統合安全管理センター	
中央分析センター	
留学生センター	
総合研究博物館	
システムL S I 研究センター	令和3年3月31日
国際宇宙天気科学・教育センター	令和4年3月31日
韓国研究センター	
医療系統合教育研究センター	
超伝導システム科学研究センター	令和5年3月31日
未来デザイン学センター	
グローバルイノベーションセンター	
超顕微解析研究センター	
環境安全センター	
西部地区自然災害資料センター	

大学文書館	
ロバート・ファン／アントレプレナーシップ・センター	
アドミッションセンター	
水素エネルギー国際研究センター	
未来化学創造センター	令和7年3月31日
鉄鋼リサーチセンター	令和7年3月31日
低温センター	
加速器・ビーム応用科学センター	
稲盛フロンティア研究センター	令和4年3月31日
グリーンテクノロジー研究教育センター	令和5年3月31日
シンクロトロン光利用研究センター	
先端医療オープンイノベーションセンター	令和7年3月31日
極限プラズマ研究連携センター	令和6年3月31日
有体物管理センター	
分子システム科学センター	令和5年3月31日
日本エジプト科学技術連携センター	令和6年3月31日
プラズマナノ界面工学センター	令和6年3月31日
EUセンター	令和3年5月31日
環境発達医学研究センター	令和3年3月31日
ユヌス&椎木ソーシャル・ビジネス研究センター	令和3年9月30日
バイオメカニクス研究センター	令和3年3月31日
次世代燃料電池産学連携研究センター	令和4年3月31日
科学技術イノベーション政策教育研究センター	令和8年3月31日
先端素粒子物理研究センター	令和5年3月31日

分子システムデバイス産学連携教育研究センター	令和6年3月31日
水素材料先端科学研究センター	令和5年3月31日
アジア埋蔵文化財研究センター	令和5年3月31日
キャンパスライフ・健康支援センター	
五感応用デバイス研究開発センター	令和5年10月31日
持続可能な社会のための決断科学センター	
サイバーセキュリティセンター	
数理・データサイエンス教育研究センター	令和4年3月31日
植物フロンティア研究センター	令和5年3月31日
最先端有機光エレクトロニクス研究センター	令和6年3月31日
都市研究センター	令和6年3月31日
次世代接着技術研究センター	令和6年3月31日
先進電気推進飛行体研究センター	令和12年3月31日

3 各学内共同教育研究センターの内部組織その他必要な事項は、別に規則で定める。  
(先導的研究センター)

第13条の2 本学に、先導的に研究を行う拠点として、先導的研究センターを置く。

2 先導的研究センターは、次の表の左欄に掲げるとおりとし、各先導的研究センターの設置期間の満了する日は、それぞれ同表右欄のとおりとする。

先導的研究センター	設置期間の満了する日
ヒトプロテオーム研究センター	令和5年3月31日
次世代蓄電デバイス研究センター	令和3年3月31日
次世代経皮吸収研究センター	令和3年3月31日
浅海底フロンティア研究センター	令和3年3月31日
確率解析研究センター	令和3年3月31日
多重ゼータ研究センター	令和3年3月31日
がん幹細胞研究センター	令和3年3月31日
大気物理統合解析センター	令和4年3月31日



- 3 各先導的研究センターの内部組織その他必要な事項は、別に規則で定める。  
 (学部等の附属施設)

第14条 次の表の左欄に掲げる学部、学府、研究院、附置研究所等に、それぞれ同表の右欄に掲げる附属の教育施設又は研究施設を置く。 **【大学設置基準第39条】**

学 部 等	附 属 施 設
理学部	天草臨海実験所
農学部	農場、演習林
人間環境学府	総合臨床心理センター
工学府	ものづくり工学教育研究センター
システム情報科学府	電気エネルギーシステム教育研究センター
薬学府	薬用植物園
生物資源環境科学府	水産実験所
理学研究院	地震火山観測研究センター
医学研究院	胸部疾患研究施設、心臓血管研究施設、脳神経病研究施設、ヒト疾患モデル研究センター、総合コホートセンター、プレジジョンメディシン研究センター
歯学研究院	オーラルヘルス・ブレインヘルス・トータルヘルス研究センター
薬学研究院	産学官連携創薬育薬センター
工学研究院	環境工学研究教育センター、アジア防災研究センター、国際教育支援センター、小分子エネルギーセンター
芸術工学研究院	応用知覚科学研究センター、応用生理人類学研究センター、ソーシャルアートラボ、環境設計グローバル・ハブ、SDGsデザインユニット
農学研究院	生物的防除研究施設、遺伝子資源開発研究センター、国際農業教育・研究推進センター、イノベティブバイオアーキテクチャーセンター、昆虫科学・新産業創生研究センター
生体防御医学研究所	トランスオミクス医学研究センター、システム免疫学統合研究センター
応用力学研究所	大気海洋環境研究センター、高温プラズマ理工学研究センター、自然エネルギー統合利用センター

カーボンニュートラル・エネルギー国際研究所	次世代冷媒物性評価研究センター
情報基盤研究開発センター	汎オミクス計測・計算科学センター

- 2 各附属施設の内部組織その他必要な事項は、当該学部等の長が、別に定める。  
(国際交流推進機構)
- 第15条 本学に、次に掲げる特定の重要事項に関し、企画、実施又は推進する組織として、国際交流推進機構を置く。
- (1) 学術の国際交流の推進
  - (2) 学生の海外留学及び外国人留学生受入れ等の推進
  - (3) アジアの総合研究等の推進
- 2 国際交流推進機構の構成その他必要な事項は、別に規則で定める。  
(情報統括本部)
- 第15条の2 本学に、全学的な情報支援を行うための組織として、情報統括本部を置く。
- 2 情報統括本部の目的は、次に掲げるとおりとする。
- (1) 全学的な情報基盤の整備
  - (2) 情報技術を用いた教育研究及び大学運営に関わる業務の総合的な支援
- 3 情報統括本部の構成その他必要な事項は、別に規則で定める。  
(統合移転推進本部)
- 第15条の3 本学に、統合移転事業及び伊都キャンパスの整備計画を推進するための組織として、統合移転推進本部を置く。
- 2 統合移転推進本部の構成その他必要な事項は、別に規則で定める。  
(基金本部)
- 第15条の4 本学に、九州大学基金による支援助成事業及び基金強化事業（以下「基金事業」という。）を推進するための組織として、基金本部を置く。
- 2 基金本部の構成その他必要な事項は、別に規則で定める。  
(広報本部)
- 第15条の5 本学に、広報戦略の策定及び広報活動の推進を図るための組織として、広報本部を置く。
- 2 広報本部の構成その他必要な事項は、別に規則で定める。  
(グローバル化推進本部)
- 第15条の6 本学に、全学的なグローバル化を推進するための組織として、グローバル化推進本部を置く。
- 2 グローバル化推進本部の構成その他必要な事項は、別に規則で定める。  
(学術研究・産学官連携本部)
- 第15条の7 本学に、全学の学術研究及び産学官連携を推進するための組織として、学術研究・産学官連携本部を置く。
- 2 学術研究・産学官連携本部の構成その他必要な事項は、別に定める。  
(教育改革推進本部)
- 第15条の8 本学に、教育課程及び教育方法等の改善、高大接続・入試改革等の教育改革並びにキャリア教育の開発等を推進するための組織として、教育改革推進本部を置く。
- 2 教育改革推進本部の構成その他必要な事項は、別に定める。  
(推進室等)
- 第16条 本学に、特定の重要事項を企画、推進又は支援する組織として、推進室等を置く。
- 2 前項の推進室等は、次の表の左欄に掲げるとおりとし、当該推進室等の目的は、それぞれ同表の右欄に定めるとおりとする。

推進室等	目 的
社会連携推進室	社会連携（産学官連携を除く。）の推進を支援すること。
国際交流推進室	国際交流の推進を支援すること。
SHARE オフィス	全学的なグローバル化の推進を支援すること。
インスティテューショナル・リサーチ室	大学運営の基礎となる情報の調査・収集・分析及び提供により、大学の意思決定を支援すること。
キャンパス計画室	キャンパス計画の推進を支援すること。
環境安全衛生推進室	安全衛生の推進を支援すること。
ハラスメント対策推進室	ハラスメントの防止及び対策の推進を支援すること。
男女共同参画推進室	男女共同参画の推進を支援すること。
情報環境整備推進室	情報環境整備の推進を支援すること。
統合移転事業推進室	統合移転事業及び伊都キャンパスの整備計画に係る企画・立案を行うこと。
法務統括室	法務機能の強化に係る企画・立案を行うこと。
基金事業推進室	基金事業の実施に係る企画・立案を行うこと。
同窓生連携推進室	同窓生との連携に関すること。
広報戦略推進室	広報戦略に基づく広報活動の推進を支援すること。
跡地処分統括室	移転跡地処分のリスクマネジメントに係る企画・立案等を行うこと。

3 前項の各推進室等の内部組織その他必要な事項は、別に定める。

（伊都診療所）

第16条の2 本学に、伊都診療所（以下「診療所」という。）を置く。

2 診療所の内部組織その他必要な事項は、別に定める。

（事務組織）

第17条 本学に、庶務、会計、施設及び学生の厚生補導等に関する事務を処理させるため事務局を置く。

2 本学の学部、学府等に、その事務を処理させるため事務部を置く。ただし、必要がある場合は、数個の学部等の事務を併せて処理する事務部を置く。

3 前2項に規定する事務組織のほか、本学に、内部監査を実施させるとともに、監事監査の事務を補助させるため監査室を置く。

4 前3項の事務組織の内部組織その他必要な事項は、別に規則で定める。

【大学設置基準第41条、第42条】

（技術部）

第17条の2 本学の学部、学府、研究院、基幹教育院、附置研究所等に、教育研究に関する技術的な支援を行わせるため、技術部を置くことができる。

2 前項の技術部の内部組織その他必要な事項は、別に定める。

### 第3章 役員、職員等

(役員)

第18条 国立大学法人法（平成15年法律第112号。以下「法人法」という。）第10条の規定に基づき、本学に、役員として、学長（「総長」と称する。）、理事8人以内及び監事2人を置く。 【法人法第10条】

第19条 総長は、校務をつかさどり、所属職員を統督するとともに、本学を代表し、その業務を総理する。 【学教法第92条】【法人法第11条】

2 総長は、この規則その他の総長が定める規則等において理事又は職員に委任する業務について報告を求め、必要な措置を命じ、又はその措置を自ら行うことができる。

第20条 理事は、総長の定めるところにより、総長を補佐して本学の業務を掌理し、総長に事故があるときはその職務を代理し、総長が欠員のときはその職務を行う。 【法人法第11条】

第21条 監事は、本学の業務を監査する。この場合において、監事は、監査報告を作成しなければならない。

2 監事は、いつでも、役員（監事を除く。）及び職員に対して事務及び事業の報告を求め、又は本学の業務及び財産の状況を調査することができる。 【法人法第11条】

(職員)

第22条 本学に、教員、事務職員、技術職員、高度専門職員その他必要な職員を置く。

2 前項の教員は、教授、准教授、講師、助教、准助教及び助手（「教務助手」と称する。）とする。

3 教授、准教授、講師、助教及び教務助手の職務は学校教育法（昭和22年法律第26号）第92条の定めるところによるものとし、准助教の職務は教授及び准教授の職務を助けることとする。 【学教法第92条】

(副学長)

第23条 本学に、総長の定めるところにより、総長を助け、命を受けて校務をつかさどるため、副学長若干人を置く。

2 副学長は、理事のうちから総長が指名する者が兼ねる。

3 前項の規定にかかわらず、総長が特に必要と認めた場合は、職員のうちから総長が指名する者が副学長を兼ねることができるものとする。 【学教法第92条】

(副理事)

第24条 本学に、総長の定めるところにより、理事の職務を助けるため、副理事若干人を置く。

2 副理事は、教授その他の職員のうちから総長が指名する。

(総長補佐)

第24条の2 本学に、総長の定めるところにより、総長が命ずる特定の事項を担当し、総長を助けるため、総長補佐若干人を置くことができる。

2 総長補佐は、教授その他の職員のうちから総長が指名する。

(部局長等)

第25条 学部、学府、研究院、基幹教育院、附置研究所、カーボンニュートラル・エネルギー国際研究所、病院、附属図書館及び情報基盤研究開発センター（以下「部局」という。）に長（以下「部局長」という。）を置く。

2 部局長は、当該部局の業務を掌理する。

3 各部局に、副部局長を置くことができる。

4 副部局長は、部局長の定めるところにより、部局長を補佐して部局の業務を処理し、部局長に事故があるときはその職務を代理し、部局長が欠員のときはその職務を行う。

5 部局長及び副部局長の任命手続その他必要な事項は、別に規則で定める。

6 学科及び専攻に、それぞれ学科長又は専攻長を置くことができる。

7 学科長及び専攻長の任命手続その他必要な事項は、別に定めるものとする。

(センター長等)

第26条 学内共同教育研究センターに長（以下「センター長」という。）を置く。

2 センター長は、当該学内共同教育研究センターの業務を掌理する。

3 各学内共同教育研究センターに、副センター長を置くことができる。

4 副センター長は、センター長の定めるところにより、センター長を補佐して当該学内共同教育研究センターの業務を処理し、センター長に事故があるときはその職務を代理し、センター長が欠員のときはその職務を行う。

5 センター長及び副センター長の任命手続その他必要な事項は、別に規則で定める。

第26条の2 先導的研究センターに長（以下「センター長」という。）を置く。

2 センター長は、当該先導的研究センターの業務を掌理する。

3 各先導的研究センターに、副センター長を置くことができる。

4 副センター長は、センター長の定めるところにより、センター長を補佐して当該先導的研究センターの業務を処理し、センター長に事故があるときはその職務を代理する。

5 センター長及び副センター長の任命手続その他必要な事項は、別に規則で定める。

(所長)

第26条の3 診療所に、所長を置く。

2 所長は、診療所の業務を掌理する。

3 所長は、本学の教員のうちから総長が指名する。

第4章 役員会、経営協議会、教育研究評議会及び総長選考会議

(役員会)

第27条 本学に、法人法第11条第3項各号に規定する事項を審議するため、総長及び理事で構成する役員会を置く。 【法人法第11条】

2 役員会の議事の手続その他必要な事項は、別に規則で定める。

(経営協議会)

第28条 本学に、法人法第20条の規定に基づき、本学の経営に関する重要事項を審議する機関として、経営協議会を置く。 【法人法第20条】

2 経営協議会の議事の手続その他必要な事項は、別に規則で定める。

(教育研究評議会)

第29条 本学に、法人法第21条の規定に基づき、本学の教育研究に関する重要事項を審議する機関として、教育研究評議会を置く。 【法人法第21条】

2 教育研究評議会の議事の手続その他必要な事項は、別に規則で定める。

(総長選考会議)

第30条 本学に、法人法第12条第2項から第6項までの規定に基づき、総長選考会議（以下「選考会議」という。）を置く。 【法人法第12条】

2 選考会議の組織に関し必要な事項は、別に規則で定める。

第5章 部局長会議

(部局長会議)

第31条 本学に、今後の総合計画の企画立案等に関する基本的事項について審議するため、将来計画委員会を置く。

第32条 本学に、予算管理に関する重要事項を審議するため、財務委員会を置く。

第33条 本学に、大学評価に関する重要事項を審議するため、大学評価委員会を置く。

第34条 本学に、ハラスメントの防止に関する事項を審議するため、ハラスメント委員会を置く。

第35条 本学に、男女共同参画の推進に関する事項を審議するために、男女共同参画推進委員会を置く。

第36条 本学に、大学運営上の課題に係る総合的な人事制度、人員管理及び人件費計画等に関する重要事項を審議するために、人事委員会を置く。

第36条の2 本学に、基金事業に関する事項を審議するために、基金委員会を置く。

第36条の3 本学に、障害者差別の解消の推進に関する事項を審議するために、障害者支援推

進委員会を置く。

第37条 第31条から前条までに規定する委員会（「部局長会議」と総称する。）の組織、議事の手続その他必要な事項は、別に規則で定める。

#### 第6章 教授会

第38条 部局（病院及び附属図書館を除く。）に、教授会を置く。【学教法第93条】

2 教授会の組織、審議事項、議事の手続その他必要な事項は、九州大学教授会通則（平成16年度九大規則第8号）で定める。

#### 第7章 雑則

（雑則）

第39条 この規則に定めるもののほか、本学の目的を達成するために必要な事項は、別に規則で定める。

#### 附 則

- 1 この規則は、平成16年4月1日から施行する。
- 2 法人法附則第16条第1項の規定に基づき本学に置かれる九州大学医療技術短期大学部（以下「短期大学部」という。）は、平成16年4月1日に短期大学部に在学する学生が短期大学部に在学しなくなる日において、廃止する。
- 3 前項の短期大学部に在学する学生の教育課程の履修その他当該学生の教育に必要な事項については、九州大学医療技術短期大学部学則（昭和46年4月8日施行）等の規定によるものとする。
- 4 法人法附則第17条の規定に基づき、平成15年9月30日に当該大学に在学する者が在学しなくなる日までの間存続するものとされた九州芸術工科大学に在学する者（以下「在学者」という。）の卒業又は大学院の課程修了のため必要となる教育は、九州大学芸術工学部（以下「芸術工学部」という。）又は九州大学大学院芸術工学府（以下「芸術工学府」という。）において行うものとする。
- 5 前項の在学者の教育課程の履修その他当該学生の教育に必要な事項については、九州芸術工科大学学則（平成5年4月1日施行）等の規定によるものとする。ただし、これによることができない事項については、総長又は芸術工学部若しくは芸術工学府の教授会が定めるところによる。
- 6 第12条の3に規定する附置研究所等は、文部科学大臣の認定期間である平成34年3月31日までの間存続するものとする。
- 7 第13条第1項に規定する宙空環境研究センターは、平成24年3月31日まで存続するものとする。
- 8 第14条第1項に規定する工学研究院附属の環境システム科学研究センターは平成20年3月31日まで、生体防御医学研究所附属の感染防御研究センターは平成23年3月31日まで、応用力学研究所附属の力学シミュレーション研究センター及び炉心理工学研究センターは平成19年3月31日まで存続するものとする。
- 9 法人法等関係法令又はこの学則等に基づき定める諸規則等のほか、承継的、定型的又は簡易な事項で総長が必要と認めるものについては、当分の間、総長が定めるところにより、廃止前の国立学校設置法（昭和24年法律第150号）に基づき設置された九州大学の諸規則等の規定を適用又は準用するものとする。

#### 附 則（平成16年度九大規則第193号）

- 1 この規則は、平成17年4月1日から施行する。
- 2 人間環境学府発達・社会システム専攻は、改正後の第6条第1項の規定にかかわらず、平成17年3月31日に当該専攻に在学する者が在学しなくなる日までの間、存続するものとする。

#### 附 則（平成17年度九大規則第4号）

- 1 この規則は、平成17年7月15日から施行し、平成17年7月1日から適用する。
- 2 改正後の第13条第1項に規定するデジタルメディシン・イニシアティブ及びアジア総合政策センターは、平成22年6月30日まで存続するものとする。

#### 附 則（平成17年度九大規則第23号）

この規則は、平成17年11月7日から施行する。

附 則（平成17年度九大規則第30号）

1 この規則は、平成18年4月1日から施行する。

2 薬学部総合薬学科は、改正後の第3条第1項の規定にかかわらず、平成18年3月31日に当該学科に在学する者が在学しなくなる日までの間、存続するものとする。

附 則（平成18年度九大規則第2号）

この規則は、平成18年6月1日から施行する。

附 則（平成18年度九大規則第25号）

この規則は、平成18年10月1日から施行する。

附 則（平成18年度九大規則第37号）

1 この規則は、平成19年4月1日から施行する。

2 改正後の第14条第1項に規定する応用力学研究所附属の東アジア海洋大気環境研究センター及び高温プラズマ力学研究センターは、平成29年3月31日まで存続するものとする。

3 改正後の第22条第2項に規定する准助教の職種は、平成19年4月1日に当該職に在職する者が在職しなくなる日において、廃止する。

附 則（平成19年度九大規則第27号）

この規則は、平成19年11月1日から施行する。

附 則（平成19年度九大規則第31号）

この規則は、平成19年12月26日から施行する。

附 則（平成19年度九大規則第58号）

1 この規則は、平成20年4月1日から施行する。

2 理学府基礎粒子系科学専攻、分子科学専攻、凝縮系科学専攻及び生物科学専攻並びに医学系学府機能制御医学専攻、生殖発達医学専攻、病態医学専攻、臓器機能医学専攻、分子常態医学専攻及び環境社会医学専攻は、改正後の九州大学学則（以下「新規則」という。）第6条第1項の規定にかかわらず、平成20年3月31日に当該専攻に在学する者が在学しなくなる日までの間、存続するものとする。

3 新規則第14条第1項に規定する工学研究院附属の循環型社会システム工学研究センターは、平成30年3月31日まで存続するものとする。

附 則（平成20年度九大規則第1号）

この規則は、平成20年4月17日から施行し、平成20年4月1日から適用する。

附 則（平成20年度九大規則第9号）

この規則は、平成20年10月1日から施行する。

附 則（平成20年度九大規則第37号）

1 この規則は、平成21年4月1日から施行する。

2 システム情報科学府情報理学専攻、知能システム学専攻、情報工学専攻、電気電子システム工学専攻及び電子デバイス工学専攻は、この規則による改正後の九州大学学則（以下「新学則」という。）第6条第1項の規定にかかわらず、平成21年3月31日に当該専攻に在学する者が在学しなくなる日までの間、存続するものとする。

附 則（平成21年度九大規則第1号）

この規則は、平成21年5月1日から施行する。

附 則（平成21年度九大規則第5号）

この規則は、平成21年6月1日から施行する。

附 則（平成21年度九大規則第12号）

この規則は、平成21年8月1日から施行し、第13条第1項にシンクロトロン光利用研究センターを加える改正規定は、平成21年7月1日から適用する。

附 則（平成21年度九大規則第20号）

1 この規則は、平成21年10月1日から施行する。

2 この規則による改正後の九州大学学則第36条の6の規定は、平成21年9月1日から適用する。

附 則（平成 21 年度九大規則第 33 号）

この規則は、平成 21 年 1 月 1 日から施行する。

附 則（平成 21 年度九大規則第 49 号）

1 この規則は、平成 22 年 4 月 1 日から施行する。

2 法学府基礎法学専攻、公法・社会法学専攻、民刑事法学専攻、国際関係法学専攻及び政治学専攻並びに薬学府医療薬科学専攻（修士課程）及び創薬科学専攻（修士課程）並びに工学府機械科学専攻及び知能機械システム専攻並びに生物資源環境科学府生物資源開発管理学専攻、植物資源科学専攻、生物機能科学専攻、動物資源科学専攻、農業資源経済学専攻、生産環境科学専攻、森林資源科学専攻及び遺伝子資源工学専攻は、この規則による改正後の九州大学学則（以下「新規則」という。）第 6 条第 1 項の規定にかかわらず、平成 22 年 3 月 31 日に当該専攻に在学する者が在学しなくなる日までの間、存続するものとする。

3 九州大学学則（平成 16 年度九大規則第 1 号）附則第 6 項の規定にかかわらず、生体防御医学研究所附属の感染防御研究センターは、廃止する。

附 則（平成 22 年度九大規則第 1 号）

この規則は、平成 22 年 4 月 28 日から施行し、平成 22 年 4 月 1 日から適用する。

附 則（平成 22 年度九大規則第 6 号）

この規則は、平成 22 年 7 月 1 日から施行する。

附 則（平成 22 年度九大規則第 12 号）

1 この規則は、平成 22 年 8 月 1 日から施行する。ただし、第 13 条第 1 項に応用知覚研究センターを加える改正規定は同年 9 月 1 日から施行する。

2 この規則による改正後の九州大学学則第 13 条第 1 項に規定する応用知覚研究センターは、平成 24 年 3 月 31 日まで存続するものとする。

附 則（平成 22 年度九大規則第 30 号）

この規則は、平成 22 年 10 月 1 日から施行する。

附 則（平成 22 年度九大規則第 45 号）

この規則は、平成 22 年 12 月 1 日から施行する。

附 則（平成 22 年度九大規則第 47 号）

この規則は、平成 22 年 12 月 1 日から施行する。

附 則（平成 22 年度九大規則第 74 号）

この規則は、平成 23 年 1 月 1 日から施行する。

附 則（平成 22 年度九大規則第 78 号）

この規則は、平成 23 年 2 月 1 日から施行する。

附 則（平成 22 年度九大規則第 81 号）

この規則は、平成 23 年 4 月 1 日から施行する。

附 則（平成 23 年度九大規則第 1 号）

この規則は、平成 23 年 5 月 1 日から施行する。

附 則（平成 23 年度九大規則第 4 号）

この規則は、平成 23 年 6 月 1 日から施行する。

附 則（平成 23 年度九大規則第 8 号）

1 この規則は、平成 23 年 7 月 1 日から施行する。

2 この規則による改正後の九州大学学則第 14 条第 1 項に規定するシステム情報科学府附属の高度 ICT 人材教育開発センターは、平成 32 年 3 月 31 日まで存続するものとする。

附 則（平成 23 年度九大規則第 10 号）

この規則は、平成 23 年 8 月 1 日から施行する。

附 則（平成 23 年度九大規則第 12 号）

この規則は、平成 23 年 10 月 1 日から施行する。

附 則（平成 23 年度九大規則第 68 号）

この規則は、平成 23 年 11 月 1 日から施行する。

附 則（平成 23 年度九大規則第 72 号）



この規則は、平成24年1月1日から施行する。

附 則（平成23年度九大規則第80号）

1 この規則は、平成24年4月1日から施行する。

2 この規則の施行前に設置された薬学府医療薬科学専攻（博士後期課程）及び創薬科学専攻（博士後期課程）は、この規則による改正後の九州大学学則第6条第1項の規定にかかわらず、平成24年3月31日に当該専攻に在学する者が在学しなくなる日までの間、存続するものとする。

附 則（平成24年度九大規則第11号）

この規則は、平成24年10月1日から施行する。

附 則（平成24年度九大規則第29号）

この規則は、平成24年12月1日から施行する。ただし、第25条に係る改正規定は、平成25年4月1日から施行する。

附 則（平成24年度九大規則第36号）

この規則は、平成25年1月1日から施行する。

附 則（平成24年度九大規則第37号）

この規則は、平成25年2月1日から施行する。

附 則（平成24年度九大規則第42号）

この規則は、平成25年3月1日から施行する。

附 則（平成24年度九大規則第45号）

1 この規則は、平成25年4月1日から施行する。

2 この規則による改正後の九州大学学則第14条第1項に規定する自然エネルギー統合利用センターは、平成35年3月31日まで存続するものとする。

附 則（平成25年度九大規則第2号）

この規則は、平成25年5月1日から施行する。

附 則（平成25年度九大規則第8号）

この規則は、平成25年6月3日から施行し、平成25年4月1日から適用する。

附 則（平成25年度九大規則第10号）

この規則は、平成25年7月1日から施行する。

附 則（平成25年度九大規則第16号）

この規則は、平成25年8月1日から施行する。ただし、知的財産本部の名称及び目的に係る改正規定は、平成25年9月1日から施行する。

附 則（平成25年度九大規則第40号）

この規則は、平成25年11月1日から施行する。

附 則（平成25年度九大規則第47号）

この規則は、平成25年12月1日から施行する。ただし、第14条第1項の表に薬学研究院の項を加える改正規定は、平成26年1月1日から施行する。

附 則（平成25年度九大規則第51号）

この規則は、平成26年1月1日から施行する。

附 則（平成25年度九大規則第76号）

この規則は、平成26年1月27日から施行する。

附 則（平成25年度九大規則第78号）

この規則は、平成26年3月1日から施行する。

附 則（平成25年度九大規則第83号）

1 この規則は、平成26年4月1日から施行する。

2 比較社会文化学府は、この規則による改正後の九州大学学則第6条第1項の規定にかかわらず、平成26年3月31日に当該学府に在学する者が在学しなくなる日までの間、存続するものとする。

附 則（平成26年度九大規則第2号）

この規則は、平成26年4月30日から施行し、この規則による改正後の九州大学学則の規定

は、平成26年4月1日から適用する。

附 則 (平成26年度九大規則第6号)

この規則は、平成26年8月1日から施行する。

附 則 (平成26年度九大規則第11号)

この規則は、平成26年10月1日から施行する。ただし、第13条第1項の表に係る改正規定は、平成27年4月1日から施行する。

附 則 (平成26年度九大規則第60号)

この規則は、平成26年12月1日から施行する。

附 則 (平成26年度九大規則第70号)

この規則は、平成27年1月22日から施行する。

附 則 (平成26年度九大規則第76号)

1 この規則は、平成27年4月1日から施行する。

2 九州大学高等教育機構規則(平成18年度九大規則第3号)は、廃止する。

附 則 (平成26年度九大規則第77号)

この規則は、平成27年4月1日から施行する。

附 則 (平成26年度九大規則第120号)

この規則は、平成27年4月1日から施行する。

附 則 (平成27年度九大規則第2号)

この規則は、平成27年6月1日から施行する。

附 則 (平成27年度九大規則第9号)

この規則は、平成27年10月1日から施行する。

附 則 (平成27年度九大規則第21号)

この規則は、平成27年12月1日から施行する。

附 則 (平成27年度九大規則第23号)

この規則は、平成28年1月1日から施行する。

附 則 (平成27年度九大規則第26号)

この規則は、平成28年2月1日から施行する。

附 則 (平成27年度九大規則第31号)

この規則は、平成28年3月1日から施行する。

附 則 (平成27年度九大規則第34号)

1 この規則は、平成28年4月1日から施行する。

2 この規則による改正後の九州大学学則第14条第1項に規定する次世代冷媒物性評価研究センターは、平成33年3月31日まで存続するものとする。

附 則 (平成28年度九大規則第3号)

この規則は、平成28年6月1日から施行する。

附 則 (平成28年度九大規則第8号)

この規則は、平成28年7月1日から施行する。

附 則 (平成28年度九大規則第14号)

この規則は、平成28年7月29日から施行する。

附 則 (平成28年度九大規則第20号)

この規則は、平成28年10月1日から施行する。

附 則 (平成28年度九大規則第65号)

この規則は、平成28年12月1日から施行する。

附 則 (平成28年度九大規則第69号)

この規則は、平成29年1月1日から施行する。

附 則 (平成28年度九大規則第76号)

この規則は、平成29年2月1日から施行する。

附 則 (平成28年度九大規則第81号)

この規則は、平成29年3月1日から施行する。

附 則（平成28年度九大規則第85号）

この規則は、平成29年4月1日から施行する。ただし、第14条第1項の表中のオーラルヘルス・ブレインヘルス・トータルヘルス研究センターを加える規定は、平成28年4月1日から適用する。

附 則（平成29年度九大規則第1号）

この規則は、平成29年5月1日から施行する。

附 則（平成29年度九大規則第5号）

この規則は、平成30年4月1日から施行する。

附 則（平成29年度九大規則第8号）

この規則は、平成29年10月1日から施行する。

附 則（平成29年度九大規則第23号）

この規則は、平成29年11月1日から施行する。

附 則（平成29年度九大規則第40号）

この規則は、平成30年1月1日から施行する。

附 則（平成29年度九大規則第48号）

この規則は、平成30年2月1日から施行する。

附 則（平成29年度九大規則第67号）

1 この規則は、平成30年4月1日から施行する。

2 生物資源環境科学府生物産業創成専攻は、この規則による改正後の九州大学学則第6条第1項の規定にかかわらず、平成30年3月31日に当該専攻に在学する者が在学しなくなる日までの間、存続するものとする。

附 則（平成30年度九大規則第1号）

この規則は、平成30年5月1日から施行し、平成30年4月1日から適用する。

附 則（平成30年度九大規則第11号）

この規則は、平成30年7月1日から施行する。ただし、第13条の2の規定は、平成30年4月1日から適用する。

附 則（平成30年度九大規則第18号）

この規則は、平成30年11月1日から施行する。

附 則（平成30年度九大規則第22号）

この規則は、平成30年10月1日から施行する。

附 則（平成30年度九大規則第49号）

この規則は、平成31年1月1日から施行する。

附 則（平成30年度九大規則第60号）

この規則は、平成31年4月1日から施行する。

附 則（令和元年度九大規則第2号）

この規則は、令和元年8月1日から施行する。

附 則（令和元年度九大規則第4号）

この規則は、令和元年10月1日から施行する。

附 則（令和元年度九大規則第19号）

この規則は、令和元年11月1日から施行する。

附 則（令和元年度九大規則第24号）

1 この規則は、令和2年4月1日から施行する。

2 芸術工学部環境設計学科、工業設計学科、画像設計学科、音響設計学科及び芸術情報設計学科は、この規則による改正後の九州大学学則第3条第1項の規定にかかわらず、令和2年3月31日に当該学科に在学する者が在学しなくなる日までの間、存続するものとする。

附 則（令和2年度九大規則第 号）

1 この規則は、令和3年4月1日から施行する。

2 工学部建築学科、電気情報工学科、物質科学工学科、地球環境工学科、エネルギー科学科及び機械航空工学科並びに工学府物質創造工学専攻、物質プロセス工学専攻、材料物性工学専攻、

化学システム工学専攻、建設システム工学専攻、都市環境システム工学専攻、海洋システム工学専攻及びエネルギー量子工学専攻は、この規則による改正後の九州大学学則第3条第1項及び第6条第1項の規定にかかわらず、令和3年3月31日に当該学科に在学する者が在学しなくなる日までの間、存続するものとする。

九州大学学則の一部を改正する規則（案）

令和 2 年度九大規則第 号  
 制 定：令和 3 年 3 月 日

工学部及び工学府を改組することに伴い、九州大学学則（平成 16 年度九大規則第 1 号）の一部を次のように改正する。

(新)	(旧)																
(略)	(略)																
<p>(学部)</p> <p>第 3 条 本学に、次の表に掲げるとおり、学部及び学科を置く。</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 20%;">学 部</th> <th style="width: 80%;">学 科</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center;">(略)</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">工学部</td> <td> <u>電気情報工学科、材料工学科、応用化学科、化学工学科、融合基礎工学科、機械工学科、航空宇宙工学科、量子物理工学科、船舶海洋工学科、地球資源システム工学科、土木工学科、建築学科</u> </td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center;">(略)</td> </tr> </tbody> </table> <p>2～5 (略)</p>	学 部	学 科	(略)		工学部	<u>電気情報工学科、材料工学科、応用化学科、化学工学科、融合基礎工学科、機械工学科、航空宇宙工学科、量子物理工学科、船舶海洋工学科、地球資源システム工学科、土木工学科、建築学科</u>	(略)		<p>(学部)</p> <p>第 3 条 (同左)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 20%;">学 部</th> <th style="width: 80%;">学 科</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center;">(略)</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">工学部</td> <td> <u>建築学科、電気情報工学科、物質科学工学科、地球環境工学科、エネルギー科学科、機械航空工学科</u> </td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center;">(略)</td> </tr> </tbody> </table> <p>2～5 (略)</p>	学 部	学 科	(略)		工学部	<u>建築学科、電気情報工学科、物質科学工学科、地球環境工学科、エネルギー科学科、機械航空工学科</u>	(略)	
学 部	学 科																
(略)																	
工学部	<u>電気情報工学科、材料工学科、応用化学科、化学工学科、融合基礎工学科、機械工学科、航空宇宙工学科、量子物理工学科、船舶海洋工学科、地球資源システム工学科、土木工学科、建築学科</u>																
(略)																	
学 部	学 科																
(略)																	
工学部	<u>建築学科、電気情報工学科、物質科学工学科、地球環境工学科、エネルギー科学科、機械航空工学科</u>																
(略)																	
(略)	(略)																
<p>第 6 条 前条の本大学院に置く学府は、次の表の左欄に掲げるとおりとし、当該学府にそれぞれ同表の右欄に掲げる専攻を置く。</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 20%;">学 府</th> <th style="width: 80%;">専 攻</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center;">(略)</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">工学府</td> <td> <u>材料工学専攻、応用化学専攻、化学工学専攻、建設システム工学専攻、都市環境システム工学専攻、土木工学専攻、船舶海洋工学専攻、地球資源システム工学専攻、共同資源工学専攻、量子物理工学専攻、機械工学専攻、水素エネルギーシステム専攻、航空宇宙工学専攻</u> </td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center;">(略)</td> </tr> </tbody> </table>	学 府	専 攻	(略)		工学府	<u>材料工学専攻、応用化学専攻、化学工学専攻、建設システム工学専攻、都市環境システム工学専攻、土木工学専攻、船舶海洋工学専攻、地球資源システム工学専攻、共同資源工学専攻、量子物理工学専攻、機械工学専攻、水素エネルギーシステム専攻、航空宇宙工学専攻</u>	(略)		<p>第 6 条 (同左)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 20%;">学 府</th> <th style="width: 80%;">専 攻</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center;">(略)</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">工学府</td> <td> <u>物質創造工学専攻、物質プロセス工学専攻、材料物性工学専攻、化学システム工学専攻、建設システム工学専攻、都市環境システム工学専攻、海洋システム工学専攻、地球資源システム工学専攻、共同資源工学専攻、エネルギー量子工学専攻、機械工学専攻、水素エネルギーシステム専攻、航空宇宙工学専攻</u> </td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center;">(略)</td> </tr> </tbody> </table>	学 府	専 攻	(略)		工学府	<u>物質創造工学専攻、物質プロセス工学専攻、材料物性工学専攻、化学システム工学専攻、建設システム工学専攻、都市環境システム工学専攻、海洋システム工学専攻、地球資源システム工学専攻、共同資源工学専攻、エネルギー量子工学専攻、機械工学専攻、水素エネルギーシステム専攻、航空宇宙工学専攻</u>	(略)	
学 府	専 攻																
(略)																	
工学府	<u>材料工学専攻、応用化学専攻、化学工学専攻、建設システム工学専攻、都市環境システム工学専攻、土木工学専攻、船舶海洋工学専攻、地球資源システム工学専攻、共同資源工学専攻、量子物理工学専攻、機械工学専攻、水素エネルギーシステム専攻、航空宇宙工学専攻</u>																
(略)																	
学 府	専 攻																
(略)																	
工学府	<u>物質創造工学専攻、物質プロセス工学専攻、材料物性工学専攻、化学システム工学専攻、建設システム工学専攻、都市環境システム工学専攻、海洋システム工学専攻、地球資源システム工学専攻、共同資源工学専攻、エネルギー量子工学専攻、機械工学専攻、水素エネルギーシステム専攻、航空宇宙工学専攻</u>																
(略)																	

2～8 (略) (略)	2～8 (略) (略)
----------------	----------------

附 則

- 1 この規則は、令和3年4月1日から施行する。
- 2 工学部建築学科、電気情報工学科、物質科学工学科、地球環境工学科、エネルギー科学科及び機械航空工学科並びに工学府物質創造工学専攻、物質プロセス工学専攻、材料物性工学専攻、化学システム工学専攻、建設システム工学専攻、都市環境システム工学専攻、海洋システム工学専攻及びエネルギー量子工学専攻は、この規則による改正後の九州大学学則第3条第1項及び第6条第1項の規定にかかわらず、令和3年3月31日に当該学科に在学する者が在学しなくなる日までの間、存続するものとする。

九州大学大学院通則（案）

平成16年度九大規則第3号  
制定：平成16年 4月 1日  
最終改正：令和 4年 3月 日  
（令和2年度九大規則第 号）

目次

- 第1章 総則（第1条～第8条）
- 第2章 入学、再入学、転学及び編入学等（第9条～第17条の3）
- 第3章 教育方法等（第17条の4～第26条）
- 第4章 修了要件及び学位授与（第27条～第32条）
- 第5章 退学、留学及び休学（第33条～第36条）
- 第6章 表彰、除籍及び懲戒（第37条～第40条）
- 第7章 検定料、入学料、授業料及び寄宿料（第41条～第45条）
- 第8章 科目等履修生、聴講生、特別聴講学生、研究生及び特別研究学生（第46条～第51条）
- 第9章 専門職大学院の教育方法等（第52条～第58条）

附則

第1章 総則  
（趣旨）

第1条 この規則は、九州大学学則（平成16年度九大規則第1号）第6条第7項の規定に基づき、学府の修業年限、教育方法、学生の入学、退学、修了その他の学生の修学上必要な事項を定めるものとする。

（修業年限等）

第2条 博士課程（医学系学府医学専攻、歯学府及び薬学府臨床薬学専攻の博士課程を除く。）の標準修業年限は、5年とする。

【大学院設置基準第4条】

2 医学系学府医学専攻、歯学府及び薬学府臨床薬学専攻の博士課程の標準修業年限は、4年とする。

【大学院設置基準第36条】

3 後期3年の課程のみの博士課程（以下「後期のみの博士課程」という。）の標準修業年限は、3年とする。

【大学院設置基準第4条】

4 博士課程（医学系学府医学専攻、歯学府及び薬学府臨床薬学専攻の博士課程を除く。）は、これを前期2年及び後期3年の課程に区分し、前期2年の課程は、修士課程として取り扱うものとする。

【大学院設置基準第4条】

5 前項の規定にかかわらず、システム生命科学府の博士課程にあつては、この区分を設けないものとする。

6 第4項の前期2年及び後期3年の課程並びに前項の課程は、それぞれ「修士課程」及び「博士後期課程」並びに「一貫制博士課程」という。

7 修士課程の標準修業年限は、2年とする。

【大学院設置基準第3条】

8 前項の規定にかかわらず、修士課程においては、主として実務の経験を有する者に対して教育を行う場合であつて、教育研究上の必要があり、かつ、昼間と併せて夜間その他の特定の時間又は時期において授業又は研究指導を行う等の適切な方法により教育上支障を生じないときは、各学府規則の定めるところにより、専攻又は学生の履修上の区分に応じ、標準修業年限を1年以上2年未満とすることができる。

【大学院設置基準第3条】

第3条 専門職学位課程（法務学府実務法学専攻（以下「法科大学院」という。）を除く。）の標準修業年限は、2年とする。

【専門職大学院設置基準第2条】

2 法科大学院の標準修業年限は、3年とする。

【専門職大学院設置基準第18条】

(在学期間の限度)

第4条 九州大学大学院（以下「本大学院」という。）における同一学府の在学期間の限度は、修士課程は4年、博士後期課程及び後期のみの博士課程は6年、一貫制博士課程は10年とする。

2 医学系学府医学専攻、歯学府及び薬学府臨床薬学専攻の博士課程は、8年とする。

第5条 専門職学位課程（法科大学院を除く。）における在学期間の限度は4年とし、法科大学院における在学期間の限度は6年とする。

(定員)

第6条 各学府の学生の定員は、別表第1、別表第2及び別表第3のとおりとする。

(学年及び学期)

第7条 学年は4月1日に始まり、翌年3月31日に終る。

【学教法規則第163条】

2 学期の区分は、各学府規則において定める。

3 前項に定める各学期は、2つの授業期間に区分することができる。

【大学院設置基準第15条、大学設置基準第23条】

(休業日)

第8条 休業日（授業を行わない日）は、次のとおりとする。

日曜日及び土曜日

国民の祝日に関する法律（昭和23年法律第178号）に規定する休日

九州大学記念日 5月11日

別に定める春季、夏季及び冬季の各休業日

2 臨時の休業日は、その都度定める。

3 前2項の休業日において、特に必要がある場合には、授業を行うことがある。

第2章 入学、再入学、転学及び編入学等

(入学の時期)

第9条 学生の入学の時期は、学年の始めとする。ただし、特に必要があり、かつ、教育上支障がないと認めるときは、学期の始めに入学させることができる。

【学教法規則第163条】

(修士課程、一貫制博士課程及び専門職学位課程の入学資格)

第10条 修士課程、一貫制博士課程及び専門職学位課程に入学することのできる者は、次の各号のいずれかに該当する者とする。

(1) 学校教育法（昭和22年法律第26号）第83条に定める大学を卒業した者

(2) 学校教育法第104条第4項の規定により学士の学位を授与された者

(3) 外国において学校教育における16年の課程を修了した者

(4) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における16年の課程を修了した者

(5) 我が国において、外国の大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における16年の課程を修了したとされるものに限る。）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が指定するものの当該課程を修了した者

(6) 外国の大学その他の外国の学校（その教育研究活動等の総合的な状況について、当該外国の政府又は関係機関の認証を受けた者による評価を受けたもの又はこれに準ずるものとして文部科学大臣が別に指定するものに限る。）において、修業年限が3年以上である課程を修了すること（当該外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該課程を修了すること及び当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって前号の指定を受けたものにおいて課程を修了することを含む。）により、学士の学位に相当する学位を授与された者

(7) 専修学校の専門課程（修業年限が4年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後



に修了した者

- (8) 文部科学大臣の指定した者
  - (9) 学校教育法第102条第2項の規定により大学院に入学した者であって、本大学院の学府において、本大学院の学府における教育を受けるにふさわしい学力があると認めたもの
  - (10) 本大学院の学府において、個別の入学資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、22歳に達したもの **【学教法第102条、学教法規則第155条】**
- 2 前項の規定にかかわらず、次の各号のいずれかに該当する者であって、本大学院の学府の定める単位を優秀な成績で修得したと認めるものを、修士課程、一貫制博士課程及び専門職学位課程に入学させることができる。
- (1) 学校教育法第83条に定める大学に3年以上在学した者
  - (2) 外国において学校教育における15年の課程を修了した者
  - (3) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における15年の課程を修了した者
  - (4) 我が国において、外国の大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における15年の課程を修了したとされるものに限る。）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が指定するものの当該課程を修了した者 **【学教法第102条、学教法規則第159条、第160条】**

（博士後期課程及び後期のみ博士課程の入学資格）

第11条 博士後期課程及び後期のみ博士課程に入学することのできる者は、次の各号のいずれかに該当する者とする。

- (1) 修士の学位又は専門職学位を有する者
- (2) 外国において修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者
- (3) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修し、修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者
- (4) 我が国において、外国の大学院の課程を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が指定するものの当該課程を修了し、修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者
- (5) 国際連合大学本部に関する国際連合と日本国との間の協定の実施に伴う特別措置法（昭和51年法律第72号）第1条第2項に規定する1972年12月11日の国際連合総会決議に基づき設立された国際連合大学（以下「国際連合大学」という。）の課程を修了し、修士の学位に相当する学位を授与された者
- (6) 外国の学校、第4号の指定を受けた教育施設又は国際連合大学の教育課程を履修し、第27条の2に規定する試験及び審査に相当するものに合格し、修士の学位を有する者と同等以上の学力があると認められた者
- (7) 文部科学大臣の指定した者
- (8) 本大学院の学府において、個別の入学資格審査により、修士の学位又は専門職学位を有する者と同等以上の学力があると認めた者で、24歳に達したもの

**【学教法第102条、学教法規則第156条】**

（医学系学府医学専攻、歯学府及び薬学府臨床薬学専攻の博士課程の入学資格）

第12条 医学系学府医学専攻、歯学府及び薬学府臨床薬学専攻の博士課程に入学することのできる者は、次の各号のいずれかに該当する者とする。

- (1) 大学の医学、歯学、薬学又は獣医学を履修する課程を卒業した者
- (2) 外国において学校教育における18年の課程を修了した者
- (3) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における18年の課程を修了した者
- (4) 我が国において、外国の大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における18年の課程を修了したとされるものに限る。）を有するものとして当該外国の学校教育制度におい

て位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が指定するものの当該課程を修了した者

(5) 外国の大学その他の外国の学校（その教育研究活動等の総合的な状況について、当該外国の政府又は関係機関の認証を受けた者による評価を受けたもの又はこれに準ずるものとして文部科学大臣が別に指定するものに限る。）において、修業年限が5年以上である課程を修了すること（当該外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該課程を修了すること及び当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって前号の指定を受けたものにおいて課程を修了することを含む。）により、学士の学位に相当する学位を授与された者

(6) 文部科学大臣の指定した者

(7) 学校教育法第102条第2項の規定により大学院に入学した者であって、本大学院の学府において、本大学院の学府における教育を受けるにふさわしい学力があると認めたもの

(8) 本大学院の学府において、個別の入学資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、24歳に達したもの **【学教法第102条、学教法規則第155条】**

2 前項の規定にかかわらず、次の各号のいずれかに該当する者であって、本大学院の学府の定める単位を優秀な成績で修得したと認めるものを、医学系学府医学専攻、歯学府及び薬学府臨床薬学専攻の博士課程に入学させることができる。

(1) 大学の医学、歯学、薬学又は獣医学を履修する課程に4年以上在学した者

(2) 外国において学校教育における16年の課程を修了した者

(3) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における16年の課程を修了した者

(4) 我が国において、外国の大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における16年の課程を修了したとされるものに限る。）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が指定するものの当該課程を修了した者

**【学教法第102条、学教法規則第159条、第160条】**

（入学資格審査）

第13条 第10条第1項第9号、第11条第8号及び前条第1項第7号の入学資格審査の実施方法等については、学府教授会の議を経て各学府長が別に定める。

（入学の出願）

第13条の2 入学を志願する者は、所定の期日までに、入学志願票、所定の入学検定料その他別に定める書類を添えて願出しなければならない。

（入学者選抜）

第14条 前条の入学を志願する者については、入学者選抜を行う。

2 入学者選抜の細部については、学府教授会の議を経て各学府長が別に定める。

第14条の2 本大学院の学府の修士課程を修了し、引き続き博士後期課程及び後期のみの博士課程へ進学を志願する者については前条の規定を準用するものとする。

（入学の手續及び許可）

第14条の3 総長は、第14条第1項の入学者選抜の結果合格した者で、所定の期日までに入学料の納付（入学料の全部若しくは一部の免除又は徴収猶予を受けようとする者にあつては、当該免除又は徴収猶予に係る申請）及び所定の書類の提出を完了したものに入学を許可する。

（再入学）

第14条の4 第33条の規定により退学した後、再び同一学府に入学を志願する者については、選考の上、再入学を許可することがある。

（転学）

第15条 次の各号のいずれかに該当する者が、本大学院に転学を願い出たときは、学年の始めに限り、考査の上、転学を許可することがある。

(1) 他の大学院に在学する者

(2) 我が国において、外国の大学院の課程を有するものとして当該外国の学校教育制度におい

て位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程に在学した者（学校教育法第102条第1項に規定する者に限る。）及び国際連合大学の課程に在学した者

2 前項の転学願は、当該大学長又は所属研究科等の長の紹介状を添えて、志望する本大学院の学府の長に提出するものとする。

3 第1項により転学を許可された者が既に履修した授業科目及び修得した単位並びに在学年数の認否は、学府教授会の議を経て学府長がその都度決定する。

第16条 本大学院の学府の学生が、他大学の大学院に転学しようとするときは、学府長を経て、総長に転学願を提出するものとする。

2 総長は、転学の事由が適当であると認めるときは、その転学を許可する。

（転学府及び専攻の変更）

第17条 本大学院の学府に在学する者が、本大学院の他の学府に転学府を願い出たときは、当該他の学府の学府長は、学年の始めに限り、考査の上、許可することがある。

2 前項の規定により本大学院の学府の学生が、他の学府に転学府しようとするときは、指導教員を経て、学府長に転学府願を提出し、当該学府長の許可を得るものとする。

3 第1項により転学府を許可された者が既に履修した授業科目及び修得した単位並びに在学年数の認否は、学府教授会の議を経て学府長がその都度決定する。

4 前項の規定は、専攻を変更する場合に準用する。

（編入学）

第17条の2 第11条各号のいずれかに該当する者が、本大学院の一貫制博士課程を置く学府の第3年次に編入学を願い出たときは、考査の上、許可することがある。

2 前項の編入学について必要な事項は、当該学府規則において別に定める。

（再入学等の手続及び許可）

第17条の3 再入学、転学（第16条の転学を除く。）及び編入学（以下「再入学等」という。）に係る手続及び許可については、第14条の3の規定を準用する。

第3章 教育方法等

（教育課程の編成方針）

第17条の4 総長は、本大学院の学府（専門職大学院を除く。）において、当該学府及び専攻の教育上の目的を達成するために必要な授業科目を開設するとともに学位論文の作成等に対する指導（以下「研究指導」という。）の計画を策定させ、体系的に教育課程を編成するものとする。

2 教育課程の編成に当たっては、専攻分野に関する高度の専門的知識及び能力を修得させるとともに、当該専攻分野に関連する分野の基礎的素養を涵養するよう適切に配慮するものとする。

【大学院設置基準第11条】

（大学院基幹教育）

第17条の5 本大学院に、学府ごとに編成する教育課程のほか、学府共通の課程を置く。

2 前項の課程を大学院基幹教育と称し、当該課程に関し必要な事項は、別に定める。

（授業及び研究指導）

第18条 本大学院の学府の教育は、授業科目の授業及び研究指導（専門職大学院にあつては、授業科目の授業。以下同じ。）によって行うものとする。

【大学院設置基準第12条】

2 本大学院の学府は、前項の授業科目の授業を、多様なメディアを高度に利用して、当該授業を行う教室等以外の場所で履修させることができる。

【大学院設置基準第15条、大学設置基準第25条】

3 本大学院の学府は、第1項の授業科目の授業を、外国において履修させることができる。前項の規定により、多様なメディアを高度に利用して、当該授業を行う教室等以外の場所で履修させる場合についても、同様とする。

【大学院設置基準第15条、大学設置基準第25条】

4 本大学院の学府の教育に必要な授業科目、単位、研究指導等については、この規則に定める

もののほか、各学府規則において定める。

(単位の計算方法)

第18条の2 各授業科目の単位数は、1単位の授業科目を45時間の学修を必要とする内容をもって構成することを標準とし、授業の方法に応じ、当該授業による教育効果、授業時間外に必要な学修等を考慮して、次の基準により単位数を計算するものとする。

- (1) 講義及び演習については、15時間から30時間までの範囲で、各学府規則に定める時間の授業をもって1単位とする。
- (2) 実験、実習及び実技については、30時間から45時間までの範囲で、各学府規則に定める時間の授業をもって1単位とする。ただし、芸術等の分野における個人指導による実技の授業については、当該学府規則に定める時間の授業をもって1単位とすることができる。
- (3) 一の授業科目について、講義、演習、実験、実習又は実技のうち2以上の方法の併用により行う場合については、その組み合わせに応じ、前2号に規定する基準を考慮して、当該学府規則に定める時間の授業をもって1単位とする。

【大学院設置基準第15条、大学設置基準第21条】

2 前項の規定にかかわらず、学位論文等の授業科目については、これらの学修の成果を評価して単位を授与することが適切と認める場合には、これらに必要な学修等を考慮して、単位数を定めることができる。

【大学院設置基準第15条、大学設置基準第21条】

(成績評価基準等の明示等)

第18条の3 学府長は、学生に対して、授業科目の授業及び研究指導の方法及び内容並びに1年間の授業及び研究指導の計画をあらかじめ明示するものとする。

2 学修の成果及び学位論文(専門職大学院にあっては、学修の成果)に係る評価並びに修了の認定に当たっては、客観性及び厳格性を確保するため、学生に対してその基準をあらかじめ明示するとともに、当該基準にしたがって適切に行うものとする。

【大学院設置基準第14条の2】

(教育内容等の改善のための組織的な研修等)

第18条の4 学府長は、当該学府の授業科目の授業及び研究指導の内容及び方法の改善を図るための組織的な研修及び研究を実施するものとする。

【大学院設置基準第14条の3】

(授業科目の選定等)

第19条 履修する授業科目の選定は、指導教員の指示に従うものとする。

- 2 各学府規則で定めるところにより、教育上有益と認めるときは、他の専攻若しくは大学院基幹教育若しくは学府又は学部課程による授業科目及び単位を指定して、履修させることができる。
- 3 前項により修得した単位は、第27条から第29条まで、又は第56条の課程修了の要件となる単位に充当することができる。

(試験)

第20条 履修した各授業科目の合格又は不合格は、試験又は研究報告によって認定する。

2 前項の試験は、毎学期末又は毎学年末に行うものとする。ただし、病気その他やむを得ない事由のため、受験できなかった者に対しては、追試験を行うことがある。

(成績)

第21条 各授業科目の成績は、A、B、C及びDの4種の評語をもってあらわし、A、B及びCを合格とし、Dを不合格とする。

- 2 前項の規定にかかわらず、教育研究上必要と認めるときは、当該学府規則に定めるところにより、各授業科目の成績は、A+、A、B、C及びDの5種の評語をもってあらわし、A+、A、B及びCを合格とし、Dを不合格とすることができるものとする。
- 3 合格した授業科目については、所定の単位を与える。
- 4 不合格の授業科目については、再試験を受けさせることができる。

(他の大学院における授業科目の履修等)

第22条 学府長は、教育上有益と認めるときは、学生が他の大学院において履修した授業科目について修得した単位を、本大学院の学府における授業科目の履修により修得したものとみなすことができる。【大学院設置基準第15条、大学設置基準28条】

2 前項の規定は、学生が、外国の大学院に留学する場合、外国の大学院が行う通信教育における授業科目を我が国において履修する場合、外国の大学院の教育課程を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であつて、文部科学大臣が別に指定するものの当該教育課程における授業科目を我が国において履修する場合及び国際連合大学の教育課程の授業科目を履修する場合について準用する。

【大学院設置基準第15条、大学設置基準28条】

3 学府長は、教育上有益と認めるときは、他の大学院等との協議に基づき、学生が他の大学院等において必要な研究指導を受けることを認めることができる。ただし、修士課程の学生について認める場合には、当該研究指導を受けさせる期間は、1年を超えないものとする。

【大学院設置基準第13条】

(休学期間中の外国の大学院における授業科目の履修)

第23条 学府長は、教育上有益と認めるときは、学生が休学期間中に外国の大学院において履修した授業科目について修得した単位を、本大学院の学府における授業科目の履修により修得したものとみなすことができる。

(本大学院において修得したものとみなすことのできる単位数の限度)

第24条 前2条の規定により本大学院の学府において修得したものとみなすことのできる単位数は、第15条、第17条及び第17条の2に規定する転学等の場合を除き、合わせて10単位を超えないものとする。

【大学院設置基準第15条、大学設置基準28条】

(入学前の既修得単位の認定)

第25条 学府長は、教育上有益と認めるときは、学生が本大学院の学府に入学する前に大学院において履修した授業科目について修得した単位(大学院設置基準(昭和49年文部省令第28号)第15条の規定により科目等履修生として修得した単位を含む。)を、本大学院の学府に入学した後本大学院の学府における授業科目の履修により修得したものとみなすことができる。

【大学院設置基準第15条、大学設置基準30条】

2 前項の規定により、各学府において、修得したものとみなすことのできる単位数は、第15条、第17条及び第17条の2に規定する転学等の場合を除き、10単位を超えないものとする。

【大学院設置基準第15条、大学設置基準30条】

(長期にわたる教育課程の履修)

第26条 学生が、職業を有している等の事情により、標準修業年限を超えて一定の期間にわたり計画的に教育課程を履修し課程を修了することを希望する旨を学府長に申し出たときは、学府教授会の議を経て学府長が定めるところにより、その計画的な履修を認めることができる。

【大学院設置基準第15条、大学設置基準第30条の2】

#### 第4章 修了要件及び学位授与

(修士課程の修了要件)

第27条 修士課程の修了要件は、修士課程に2年(2年以外の標準修業年限を定める専攻又は学生の履修上の区分にあつては、当該標準修業年限)以上在学し、各学府規則で定められた授業科目を履修し、30単位以上を修得し、かつ、必要な研究指導を受けた上、当該修士課程の目的に応じ、修士論文又は特定の課題についての研究の成果の審査及び最終試験に合格することとする。ただし、在学期間に関しては、総長が認めるときは、優れた業績を上げた者については、修士課程に1年以上在学すれば足りるものとする。

【大学院設置基準第16条】

第27条の2 第2条第4項の規定により修士課程として取り扱うものとする博士課程の前期の課程の修了の要件は、当該博士課程の目的を達成するために必要と認められる場合には、各学府規則で定めるところにより、前条に規定する修士論文又は特定の課題についての研究の成果

の審査及び最終試験に合格することに代えて、次に掲げる試験及び審査に合格することとすることができる。

- (1) 専攻分野に関する高度の専門的知識及び能力並びに当該専攻分野に関連する分野の基礎的素養であって当該前期の課程において修得し、又は涵養すべきものについての試験
- (2) 博士論文に係る研究を主体的に遂行するために必要な能力であって当該前期の課程において修得すべきものについての審査

**【大学院設置基準第16条の2】**

(博士課程の修了要件)

第28条 博士課程(医学系学府医学専攻、歯学府及び薬学府臨床薬学専攻の博士課程を除く。以下本条において同じ。)の修了要件は、博士課程に5年(修士課程に2年以上在学し、当該課程を修了した者にあつては、当該課程における2年の在学期間を含む。)以上在学し、各学府規則で定めるところにより、所定の授業科目を履修し、30単位以上の所定の単位を修得し、かつ、必要な研究指導を受けた上、博士論文の審査及び最終試験に合格することとする。ただし、在学期間に関しては、総長が認めるときは、優れた研究業績を上げた者については、博士課程に3年(修士課程に2年以上在学し、当該課程を修了した者にあつては、当該課程における2年の在学期間を含む。)以上在学すれば足りるものとする。

**【大学院設置基準第17条】**

- 2 第2条第8項の規定により標準修業年限を1年以上2年未満とした修士課程を修了した者及び第27条ただし書の規定による在学期間をもって修士課程を修了した者の博士課程の修了要件については、前項中「5年(修士課程に2年以上在学し、当該課程を修了した者にあつては、当該課程における2年の在学期間を含む。)」とあるのは「修士課程における在学期間に3年を加えた期間」と、「3年(修士課程に2年以上在学し、当該課程を修了した者にあつては、当該課程における2年の在学期間を含む。)」とあるのは「3年(修士課程における在学期間を含む。)」と読み替えて、同項の規定を適用する。

**【大学院設置基準第17条】**

- 3 第1項及び第2項の規定にかかわらず、学校教育法施行規則(昭和22年文部省令第11号)第156条の規定により本大学院の学府への入学資格に関し修士の学位若しくは専門職学位を有する者と同等以上の学力があると認められた者又は専門職学位課程を修了した者が博士後期課程に入学した場合の博士課程の修了要件は、博士後期課程に3年(法科大学院の課程を修了した者にあつては、2年)以上在学し、必要な研究指導を受けた上、博士論文の審査及び最終試験に合格することとする。ただし、在学期間に関しては、学府が認めるときは、優れた研究業績を上げた者については、博士後期課程に1年(標準修業年限が1年以上2年未満の専門職学位課程を修了した者にあつては、3年から当該1年以上2年未満の期間を減じた期間)以上在学すれば足りるものとする。

**【大学院設置基準第17条】**

- 4 各学府規則で定めるところにより、前項の修了要件として、更に所定の授業科目を履修し、所定の単位を修得することを加えることができる。

(医学系学府医学専攻、歯学府及び薬学府臨床薬学専攻の博士課程の修了要件)

第29条 医学系学府医学専攻、歯学府及び薬学府臨床薬学専攻の博士課程の修了要件は、医学系学府医学専攻、歯学府及び薬学府臨床薬学専攻の博士課程に4年以上在学し、各学府規則で定めるところにより、所定の授業科目を履修し、30単位以上の所定の単位を修得し、かつ、必要な研究指導を受けた上、博士論文の審査及び最終試験に合格することとする。ただし、総長が認めるときは、在学期間に関しては、優れた研究業績を上げた者については、医学系学府医学専攻、歯学府及び薬学府臨床薬学専攻の博士課程に3年以上在学すれば足りるものとする。

**【大学院設置基準36条】**

(後期のみの博士課程の修了要件)

第29条の2 後期のみの博士課程の修了要件は、後期のみの博士課程に3年以上在学し、必要な研究指導を受けた上、博士論文の審査及び最終試験に合格することとする。ただし、総長が認めるときは、在学期間に関しては、優れた研究業績を上げたものについては、後期のみの博

士課程に1年（第27条ただし書の規定による在学期間をもって修士課程を修了した者にあつては、当該課程における在学期間を含めて3年）以上在学すれば足りるものとする。

2 各学府規則で定めるところにより、前項の修了要件として、更に所定の授業科目を履修し、所定の単位を修得することを加えることができる。

（学位論文等及び最終試験）

第30条 第27条から前条までの最終試験は、学位論文又は特定の課題についての研究の成果（以下「学位論文等」という。）を中心とし、これに関連のある授業科目について、行うものとする。

第31条 学位論文等及び最終試験の合格又は不合格は、学府教授会において審査する。

2 論文審査及び最終試験の細部については、別に定める。

（学位の授与）

第32条 修士課程、博士課程又は専門職学位課程を修了した者には、九州大学学位規則（平成16年度九大規則第86号）の定めるところにより、学位を授与するものとする。

**【学教法第104条、学位規則第2条】**

2 前項に規定するもののほか、一貫制博士課程において、第27条及び第27条の2に規定する修了要件を満たした者にも、修士の学位を授与することができる。

第5章 退学、留学及び休学

（退学）

第33条 学生が退学しようとするときは、学府長を経て総長に退学許可願を提出し、その許可を受けなければならない。

（留学）

第34条 外国の大学院等に留学を志願する学生は、学府長に留学願を提出し、その許可を受けなければならない。

2 前項の許可を得て留学した期間は、第27条から第29条まで、又は第56条の課程修了の要件としての在学期間に通算することができる。

（休学）

第35条 疾病又は経済的理由のため2月以上修学できない学生は、学府長の許可を得て、その学年の終りまで休学することができる。

2 前項のほか、特別の事情があると認められたときは、学府長は、休学を許可することができる。

3 疾病のため修学が不相当と認められる学生に対しては、学府長は、休学を命ずることができる。

4 休学期間中に、その事由が消滅したときは、学府長の許可を得て、復学することができる。

5 休学した期間は、在学期間に算入しない。

6 休学期間は、修士課程においては2年を、博士後期課程及び後期のみの博士課程においては3年を、一貫制博士課程においては5年を超えることができない。

7 医学系学府医学専攻、歯学府及び薬学府臨床薬学専攻の博士課程における休学期間は4年を超えることができない。

第36条 専門職学位課程（法科大学院を除く。）における休学期間は2年を超えることができない。

2 法科大学院における休学期間は3年を超えることができない。

第6章 表彰、除籍及び懲戒

（表彰）

第37条 学生に表彰に価する行為があつたときは、総長がこれを表彰することがある。

2 表彰に関し必要な事項は、別に定める。

（除籍）

第38条 総長は、学府長の報告により学生が次の各号のいずれかに該当すると認めるときは、

当該学生を除籍する。

- (1) 欠席が長期にわたるとき。
- (2) 成業の見込みがないとき。
- (3) 長期間にわたり行方不明のとき。
- (4) 第4条又は第5条に規定する在学期間の限度を超えたとき。
- (5) 第35条第6項若しくは第7項又は第36条に規定する休学期間の限度を超えてなお復学できないとき。

第39条 総長は、学生が次の各号のいずれかに該当するときは、当該学生を除籍する。

- (1) 入学料の一部を免除された者若しくは免除を不許可とされた者又は入学料の徴収を猶予された者若しくは徴収の猶予を不許可とされた者が、所定の期日までに入学料を納付しないとき。

- (2) 授業料の納付を怠り、督促を受けてなお納付しないとき。

(懲戒)

第40条 総長は、学生が九州大学（以下「本学」という。）の規則に違反し、又はその本分に反する行為があったときは、当該学生を懲戒する。

2 前項の場合における懲戒は、訓告、停学及び退学とする。

3 懲戒の手続その他懲戒に関し必要な事項は、別に定める。

#### 第7章 検定料、入学料、授業料及び寄宿料

(検定料)

第41条 入学及び再入学等を志願する者は、検定料を納付しなければならない。

(入学料)

第42条 入学及び再入学等に当たっては、入学料を納付しなければならない。

2 入学料の納付が困難な者に対し、その全部若しくは一部を免除し、又は徴収猶予することができる。

3 前項の入学料の免除及び徴収猶予に関し必要な事項は、別に定める。

(授業料)

第43条 各年度に係る授業料は、次の表に掲げる納付区分ごとに、それぞれ授業料の年額の2分の1に相当する額を同表に掲げる納期に納付しなければならない。ただし、当該期の授業料の免除、徴収猶予又は月割分納を申請した者の納期については、この限りでない。

納 付 区 分	納 期
前期（4月1日から9月30日まで）	4月30日まで
後期（10月1日から3月31日まで）	10月31日まで

2 休学が前項に定めた授業料納付区分の全期間である場合は、その期間分の授業料を免除する。

3 経済的理由により授業料を納付することが困難であると認められ、かつ、学業が優秀と認められる者その他やむを得ない特別の事情があると認められる者については、授業料の全部若しくは一部を免除し、徴収猶予し、又は月割分納を許可することができる。

4 前項の授業料の免除、徴収猶予及び月割分納に関し必要な事項は、別に定める。

(寄宿料)

第44条 寄宿舎に入居した者は、所定の期日までに、寄宿料を納付しなければならない。

2 前項の規定にかかわらず、特別の事情があると認められる者については、寄宿料を免除することができる。

(検定料、入学料、授業料及び寄宿料の額等)

第45条 検定料、入学料、授業料及び寄宿料の額、徴収方法その他の必要な事項については、



国立大学法人九州大学における授業料その他の費用に関する規程（平成16年度九大会規第12号。以下「費用規程」という。）に定める。

第8章 科目等履修生、聴講生、特別聴講学生、研究生及び特別研究学生  
（科目等履修生）

第46条 本学の学生以外の者で、学府の授業科目のうち一又は複数を履修することを志願する者があるときは、科目等履修生として入学を許可することがある。

【大学院設置基準第15条、大学設置基準31条】

2 科目等履修生に関し必要な事項は、別に定める。

（聴講生）

第47条 本学において、学府又は第17条の5第2項に定める大学院基幹教育で開講する特定の授業科目を聴講することを志願する者があるときは、教育研究上支障がない場合に限り、選考の上、聴講生として入学を許可することがある。

2 聴講生に関し必要な事項は、別に定める。

（特別聴講学生）

第48条 他の大学院又は外国の大学院の学生で、本学において、学府の開講する特定の授業科目を履修することを志願する者があるときは、当該他の大学院又は外国の大学院との協議に基づき、特別聴講学生として入学を許可することがある。

2 特別聴講学生に関し必要な事項は、別に定める。

（研究生）

第49条 学府において、特定の専門事項について研究することを志願する者があるときは、当該学府の教育研究上支障がない場合に限り、選考の上、研究生として入学を許可することがある。

2 研究生に関し必要な事項は、別に定める。

（特別研究学生）

第50条 他の大学院又は外国の大学院の学生で、本学の学府又は研究所等において、研究指導を受けることを志願する者があるときは、当該他の大学院又は外国の大学院との協議に基づき、特別研究学生として研究指導を受けることを認めることがある。

2 特別研究学生に関し必要な事項は、別に定める。

（授業料等）

第51条 科目等履修生、聴講生、特別聴講学生、研究生及び特別研究学生の検定料、入学料及び授業料の額、徴収方法その他の必要な事項については、費用規程に定める。

第9章 専門職大学院の教育方法等

（教育課程）

第52条 総長は、専門職大学院において、その教育上の目的を達成するために専攻分野に応じ必要な授業科目を、産業界等と連携しつつ開設し、体系的に教育課程を編成するものとする。

【専門職大学院設置基準第6条】

（教育課程連携協議会）

第52条の2 専門職大学院に、産業界等との連携により、教育課程を編成し、及び円滑かつ効果的に実施するため、教育課程連携協議会を置く。

2 教育課程連携協議会の任務、組織その他必要な事項は、別に定める。

（授業の方法等）

第53条 専門職大学院においては、その目的を達成し得る実践的な教育を行うよう専攻分野に応じ事例研究、現地調査又は双方向若しくは多方向に行われる討論若しくは質疑応答その他の適切な方法により授業を行うものとする。

【専門職大学院設置基準第8条】

2 第18条第2項の規定により多様なメディアを高度に利用して授業を行う教室等以外の場所で履修させることは、これによって十分な教育効果が得られる専攻分野に関して、当該効果が認められる授業について、行うことができるものとする。

【専門職大学院設置基準第8条】

(履修科目の登録の上限)

第54条 専門職大学院は、学生が各年次にわたって適切に授業科目を履修するため、学生が1年間又は1学期に履修科目として登録することができる単位数の上限を定めるものとする。

【専門職大学院設置基準第12条】

(専門職大学院において修得したものとみなすことのできる単位数の限度)

第55条 第22条(第3項を除く。)、第23条及び第25条第1項の規定により専門職大学院において修得したものとみなすことのできる単位数は、第24条及び第25条第2項の規定にかかわらず、第15条及び第17条の規定の転学等の場合を除き、合わせて専門職大学院が修了要件として定める30単位以上の単位数の2分の1を超えないものとする。

【専門職大学院設置基準第13条、第14条】

2 前項の規定にかかわらず、第22条(第3項を除く。)、第23条、第25条第1項及び第58条第1項の規定により法科大学院において修得したものとみなすことのできる単位数は、第24条及び第25条第2項の規定にかかわらず、第15条及び第17条の規定の転学等の場合を除き、合わせて33単位を超えないものとする。

【専門職大学院設置基準第21条、第22条】

(専門職学位課程の修了要件)

第56条 専門職学位課程(法科大学院を除く。)の修了の要件は、専門職学位課程に2年以上在学し、当該学府規則で定められた授業科目を履修し、30単位以上の修得その他の教育課程の履修により課程を修了することとする。

【専門職大学院設置基準第15条】

2 法科大学院の修了の要件は、法科大学院に3年以上在学し、96単位以上を修得することとする。

【専門職大学院設置基準第23条】

3 専門職大学院において、必要と認めるときは、前2項の修了要件としての単位数に、更に単位数を加えることができる。

(専門職学位課程の在学期間の短縮)

第57条 専門職大学院は、第25条第1項の規定により、専門職大学院に入学する前に修得した単位(学校教育法第102条第1項の規定により入学資格を有した後、修得したものに限る。)を専門職大学院において修得したものとみなす場合であって当該単位の修得により当該専門職大学院の教育課程の一部を履修したと認めるときは、当該単位数、その修得に要した期間その他を勘案して1年を超えない範囲で専門職大学院が定める期間在学したものとみなすことができる。

【専門職大学院設置基準第16条】

(法科大学院の法学既修者)

第58条 法科大学院は、法科大学院において必要とされる法学の基礎的な学識を有すると認める者(以下「法学既修者」という。)に関しては、第56条第2項に規定する在学期間については1年を超えない範囲で法科大学院が認める期間在学し、同項に規定する単位については、法科大学院が認める単位を修得したものとみなすことができる。

【専門職大学院設置基準第25条】

2 前項の規定により法学既修者について在学したものとみなすことのできる期間は、前条の規定により在学したものとみなす期間と合わせて1年を超えないものとする。

【専門職大学院設置基準第25条】

附 則

1 この規則は、平成16年4月1日から施行する。

2 平成16年3月31日に本大学院に在学し、平成16年4月1日以降も引き続き在学する者の教育課程の履修その他当該学生の教育に必要な事項については、九州大学大学院学則(昭和50年5月20日施行)等の規定によるものとする。

附 則(平成16年度九大規則第195号)

この規則は、平成17年4月1日から施行する。

附 則(平成17年度九大規則第32号)

この規則は、平成18年4月1日から施行する。

附 則 (平成18年度九大規則第39号)

この規則は、平成19年4月1日から施行する。

附 則 (平成19年度九大規則第33号)

この規則は、平成19年12月26日から施行する。

附 則 (平成19年度九大規則第60号)

この規則は、平成20年4月1日から施行する。

附 則 (平成20年度九大規則第39号)

この規則は、平成21年4月1日から施行する。

附 則 (平成21年度九大規則第51号)

この規則は、平成22年4月1日から施行する。

附 則 (平成22年度九大規則第84号)

この規則は、平成23年4月1日から施行する。

附 則 (平成23年度九大規則第82号)

この規則は、平成24年4月1日から施行する。

附 則 (平成24年度九大規則第1号)

この規則は、平成24年5月1日から施行し、平成24年3月14日から適用する。

附 則 (平成24年度九大規則第30号)

この規則は、平成24年12月1日から施行する。

附 則 (平成24年度九大規則第48号)

この規則は、平成25年4月1日から施行する。

附 則 (平成25年度九大規則第85号)

1 この規則は、平成26年4月1日から施行する。

2 この規則による改正後の九州大学大学院通則第55条第2項の規定は、平成26年4月1日に九州大学法務学府実務法学専攻に入学する者から適用し、同年3月31日に同専攻に在学し、同年4月1日以降も引き続き在学する者については、なお従前の例による。

附 則 (平成26年度九大規則第79号)

この規則は、平成27年4月1日から施行する。

附 則 (平成27年度九大規則第37号)

この規則は、平成28年4月1日から施行する。

附 則 (平成28年度九大規則第4号)

この規則は、平成28年6月1日から施行し、平成28年4月1日から適用する。

附 則 (平成28年度九大規則第87号)

この規則は、平成29年4月1日から施行する。

附 則 (平成29年度九大規則第69号)

この規則は、平成30年4月1日から施行する。

附 則 (平成30年度九大規則第62号)

この規則は、平成31年4月1日から施行する。

附 則 (令和元年度九大規則第26号)

この規則は、令和2年4月1日から施行する。

附 則 (令和2年度九大規則第 号)

この規則は、令和3年4月1日から施行する。

別表第1 (第6条関係) (修士課程及び博士後期課程)

学 府 名	専 攻 名	学生定員					収 容 定 員
		修士課程		博士後期課程			
		1年次	2年次	1年次	2年次	3年次	
人文科学府	人文基礎専攻	16	16	7	7	7	187 うち修士課程 112 博士後期課程 75
	歴史空間論専攻	20	20	9	9	9	
	言語・文学専攻	20	20	9	9	9	
	計	56	56	25	25	25	
地球社会統合科学府	地球社会統合科学専攻	60	60	35	35	35	225 うち修士課程 120 博士後期課程 105
人間環境学府	都市共生デザイン専攻	20	20	5	5	5	310 うち修士課程 190 博士後期課程 120
	人間共生システム専攻	11	11	9	9	9	
	行動システム専攻	17	17	10	10	10	
	教育システム専攻	19	19	9	9	9	
	空間システム専攻	28	28	7	7	7	
	計	95	95	40	40	40	
法学府	法政理論専攻	72	62	17	17	17	185 うち修士課程 134 博士後期課程 51
経済学府	経済工学専攻	20	20	10	10	10	166 うち修士課程 94 博士後期課程 72
	経済システム専攻	27	27	14	14	14	
	計	47	47	24	24	24	
理学府	物理学専攻	41	41	14	14	14	429

	化学専攻	62	62	19	19	19	うち修士課程 288
	地球惑星科学専攻	41	41	14	14	14	博士後期課程 141
	計	144	144	47	47	47	
数理学府	数理学専攻	54	54	20	20	20	168 うち修士課程 108 博士後期課程 60
医学系学府	医科学専攻	20	20	—	—	—	124 うち修士課程 94 博士後期課程 30
	保健学専攻	27	27	10	10	10	
	計	47	47	10	10	10	
薬学府	創薬科学専攻	55	55	12	12	12	146 うち修士課程 110 博士後期課程 36
工学府	(物質創造工学専攻)	—	38	—	10	10	※ 1,168 1,148 うち修士課程 ※ 825 805 博士後期課程 343
	(物質プロセス工学専攻)	—	30	—	9	9	
	(材料物性工学専攻)	—	33	—	7	7	
	(化学システム工学専攻)	—	35	—	10	10	
	(建設システム工学専攻)	—	24	—	8	8	
	(都市環境システム工学専攻)	—	28	—	8	8	
	(海洋システム工学専攻)	—	21	—	8	8	
	(エネルギー量子工学専攻)	—	28	—	10	10	

	材料工学専攻	43	—	10	—	—	
	応用化学専攻	68	—	18	—	—	
	化学工学専攻	30	—	8	—	—	
	機械工学専攻	73	62	16	16	16	
	水素エネルギーシステム専攻	35	30	9	9	9	
	航空宇宙工学専攻	30	30	10	12	12	
	量子物理工学専攻	30	—	10	—	—	
	船舶海洋工学専攻	25	—	8	—	—	
	地球資源システム工学専攻	20	20	8	8	8	
	共同資源工学専攻	※ 20 10	※ 20 10	—	—	—	
	土木工学専攻	52	—	16	—	—	
	計	※ 426 416	※ 399 389	113	115	115	
芸術工学府	芸術工学専攻	92	92	25	25	25	330 うち修士課程 240 博士後期課程 90
	デザインストラテジー専攻	28	28	5	5	5	
	計	120	120	30	30	30	
システム情報科学府	情報学専攻	40	40	14	14	14	415 うち修士課程 280 博士後期課程 135
	情報知能工学専攻	45	45	15	15	15	
	電気電子工学専攻	55	55	16	16	16	
	計	140	140	45	45	45	
総合理工学府	量子プロセス理工学専攻	37	37	14	14	14	508 うち修士課程 328 博士後期課程 180
	物質理工学専攻	37	37	14	14	14	

	先端エネルギー理工学専攻	34	34	12	12	12	
	環境エネルギー工学専攻	26	26	9	9	9	
	大気海洋環境システム学専攻	30	30	11	11	11	
	計	164	164	60	60	60	
生物資源環境科学府	資源生物学専攻	66	66	26	26	26	719 うち修士課程 488 博士後期課程 231
	環境農学専攻	66	66	21	21	21	
	農業資源経済学専攻	13	13	5	5	5	
	生命機能科学専攻	99	99	25	25	25	
	計	244	244	77	77	77	
統合新領域学府	ユーザー感性学専攻	30	30	4	4	4	164 うち修士課程 122 博士後期課程 42
	オートモーティブサイエンス専攻	21	21	7	7	7	
	ライブラリーサイエンス専攻	10	10	3	3	3	
	計	61	61	14	14	14	
総計	※ 1,785 1,775	※ 1,748 1,738	569	571	571	※ 5,244 5,224 うち修士課程 ※ 3,533 3,513 博士後期課程 1,711	

(備考)

- 1 ( ) を付した専攻は、学府の改組により、学生募集を停止したものである。
- 2 外国人である学生は、定員外とすることができる。
- 3 工学府共同資源工学専攻及び総計の※付きの数字は、本学及び北海道大学の合計数である。

別表第2（第6条関係）

（一貫制博士課程並びに医学系学府医学専攻、歯学府及び薬学府臨床薬学専攻の博士課程）

学 府 名	専 攻 名	学生定員					収 容 定 員
		博士課程					
		1年次	2年次	3年次	4年次	5年次	
システム生命科学府	システム生命科学専攻	54	54	54	54	54	270
医学系学府	医学専攻	107	107	107	107	—	428
歯学府	歯学専攻	43	43	43	43	—	172
薬学府	臨床薬学専攻	5	5	5	5	—	20
総	計	209	209	209	209	54	890

（備考） 外国人である学生は、定員外とすることができる。



別表第3（第6条関係）（専門職学位課程）

学 府 名	専 攻 名	学 生 定 員			収 容 定 員
		専 門 職 学 位 課 程			
		1 年 次	2 年 次	3 年 次	
人間環境学府	実践臨床心理学専攻	30	30	—	60
法務学府	実務法学専攻	45	45	45	135
経済学府	産業マネジメント専攻	45	45	—	90
医学系学府	医療経営・管理学専攻	20	20	—	40
総 計		140	140	45	325

（備考） 外国人である学生は、定員外とすることができる。

九州大学大学院通則の一部を改正する規則（案）

令和 2 年度 九 大 規 則 第 号

制 定：令和 3 年 3 月 日

大学院工学府を改組することに伴い、九州大学大学院通則（平成 1 6 年度九大規則第 3 号）の一部を次のように改正する。

(新)	(旧)
(略)	(略)
(定員) 第 6 条 各学府の学生の定員は、別表第 1、 別表第 2 及び別表第 3 のとおりとする。	(定員) 第 6 条 (同左)
(略)	(略)
別表第 1 <u>(別紙のとおり)</u> 別表第 2・3 (略)	別表第 1 <u>(別紙のとおり)</u> 別表第 2・3 (略)

附 則

この規則は、令和 3 年 4 月 1 日から施行する。

(別紙)

新

別表第1 (第6条関係) (修士課程及び博士後期課程)

学府名	専攻名	学生定員					収容定員
		修士課程		博士後期課程			
		1年次	2年次	1年次	2年次	3年次	
(略)							
工学府	(物質創造工学専攻)	＝	38	＝	10	10	※1,168 1,148 うち修士課程 ※825 805 博士後期課程 343
	(物質プロセス工学専攻)	＝	30	＝	9	9	
	(材料物性工学専攻)	＝	33	＝	7	7	
	(化学システム工学専攻)	＝	35	＝	10	10	
	(建設システム工学専攻)	＝	24	＝	8	8	
	(都市環境システム工学専攻)	＝	28	＝	8	8	
	(海洋システム工学専攻)	＝	21	＝	8	8	
	(エネルギー量子工学専攻)	＝	28	＝	10	10	
	材料工学専攻	43	＝	10	＝	＝	
	応用化学専攻	68	＝	18	＝	＝	
	化学工学専攻	30	＝	8	＝	＝	
	機械工学専攻	73	62	16	16	16	
	水素エネルギーシステム専攻	35	30	9	9	9	
	航空宇宙工学専攻	30	30	10	12	12	

	量子物理工学専攻	30	—	10	—	—	
	船舶海洋工学専攻	25	—	8	—	—	
	地球資源システム工学専攻	20	20	8	8	8	
	共同資源工学専攻	※ 20 10	※ 20 10	—	—	—	
	土木工学専攻	52	—	16	—	—	
	計	※ 426 416	※ 399 389	113	115	115	
(略)							
総	計	※1,785 1,775	※1,748 1,738	569	571	571	※5,244 5,224 うち修士課程 ※3,533 3,513 博士後期課程 1,711

(備考)

1 ( ) を付した専攻は、学府の改組により、学生募集を停止したものである。

2・3 (略)

別表第1（第6条関係）（修士課程及び博士後期課程）

学府名	専攻名	学生定員					収容定員
		修士課程		博士後期課程			
		1年次	2年次	1年次	2年次	3年次	
(略)							
工学府	物質創造工学専攻	<u>38</u>	38	<u>10</u>	10	10	※ <u>1,143</u> <u>1,123</u> うち修士課程 ※ <u>798</u> <u>778</u> 博士後期課程 <u>345</u>
	物質プロセス工学専攻	<u>30</u>	30	<u>9</u>	9	9	
	材料物性工学専攻	<u>33</u>	33	<u>7</u>	7	7	
	化学システム工学専攻	<u>35</u>	35	<u>10</u>	10	10	
	建設システム工学専攻	<u>24</u>	24	<u>8</u>	8	8	
	都市環境システム工学専攻	<u>28</u>	28	<u>8</u>	8	8	
	海洋システム工学専攻	<u>21</u>	21	<u>8</u>	8	8	
	地球資源システム工学専攻	<u>20</u>	<u>20</u>	<u>8</u>	<u>8</u>	<u>8</u>	
	共同資源工学専攻	※ <u>20</u> <u>10</u>	※ <u>20</u> <u>10</u>	—	—	—	
	エネルギー量子工学専攻	<u>28</u>	28	<u>10</u>	10	10	
	機械工学専攻	<u>62</u>	62	16	16	16	
	水素エネルギーシステム専攻	<u>30</u>	30	9	9	9	
	航空宇宙工学専攻	30	30	<u>12</u>	12	12	
計	※ <u>399</u> <u>389</u>	※ 399 389	<u>115</u>	115	115		
(略)							

総	計	※ <u>1,758</u> <u>1,748</u>	※1,748 1,738	<u>571</u>	571	571	※ <u>5,219</u> <u>5,199</u> うち修士課程 ※ <u>3,506</u> <u>3,486</u> 博士後期課程 <u>1,713</u>
---	---	--------------------------------	-----------------	------------	-----	-----	--

(備考)

1・2 (略)

## 九州大学学位規則

平成16年度九大規則第86号  
施行：平成16年 4月 1日  
最終改正：令和 2年 3月 31日  
(令和元年度九大規則第33号)

(趣旨)

第1条 この規則は、学位規則(昭和28年文部省令第9号)により定めるように規定されている事項その他九州大学(以下「本学」という。)が授与する学位について必要な事項を定めるものとする。

(学位)

第2条 本学が授与する学位は、学士、修士及び博士とする。

2 本学が授与する専門職学位は、修士(専門職)及び法務博士(専門職)とする。

(学士の学位授与の要件)

第3条 学士の学位授与は、本学の課程を修了し、卒業を認定された者に対し行うものとする。

(修士の学位授与の要件)

第4条 修士の学位授与は、本学大学院の学府の修士課程を修了した者に対し行うものとする。

2 前項に定めるもののほか、修士の学位は、九州大学大学院通則(平成16年度九大規則第3号。以下「大学院通則」という。)第2条第5項に定める一貫制博士課程(以下「一貫制博士課程」という。)において、大学院通則第27条及び第27条の2に規定する修了要件を満たした者に対し授与することができる。

(博士の学位授与の要件)

第5条 博士の学位授与は、本学大学院の学府の博士課程を修了した者に対し行うものとする。

(専門職学位の授与の要件)

第6条 専門職学位の授与は、本学大学院の学府の専門職大学院の課程を修了した者に対し行うものとする。

(修士の学位授与)

第7条 修士の学位授与に関して必要な事項は、各学府規則で定める。

(博士論文の提出)

第8条 博士論文(以下「論文」という。)は、博士後期課程にあつては2年以上(法科大学院の課程を修了した者が博士後期課程に入学した場合にあつては1年以上)、医学系学府医学専攻、歯学府及び薬学府臨床薬学専攻の博士課程(以下「医学系、歯学及び薬学の博士課程」という。)にあつては3年以上、一貫制博士課程にあつては4年以上在学し、各学府規則に定める所要の授業科目の単位を修得し、かつ、必要な研究指導を受けなければ、提出することができない。

2 前項の規定にかかわらず、優れた研究業績を上げた者については、在学期間が博士後期課程にあつては2年、医学系、歯学及び薬学の博士課程にあつては3年、一貫制博士課程にあつては4年に満たなくても論文を提出させることができる。

3 論文は、在学期間中に提出するものとし、その期日は、各学府規則で定める。ただし、博士後期課程、医学系、歯学及び薬学の博士課程又は一貫制博士課程に所定の年限在学し、各学府規則に定める所要の授業科目の単位を修得し、かつ、必要な研究指導を受けた者は、退学の上、別に定める期間内に論文を提出することができる。

4 論文は、論文審査願に、論文目録、論文要旨及び履歴書各1通を添え、当該学府長を経て総長に提出するものとする。

第9条 論文は、1編とし、2通を提出するものとする。ただし、参考として、他の論文を添付することができる。

2 総長は、審査のため必要があるときは、論文の副本又は訳文、模型、標本等の提出を求めることがある。

3 受理した論文は、返還しない。

(論文の審査)

第10条 総長は、論文を受理したときは、学府教授会にその審査を付託するものとする。

2 前項の審査は、論文を受理した後1年以内に終了するものとする。

- 第11条 学府教授会は、前条第1項により付託された論文を審査するため、論文調査委員（以下「調査委員」という。）を定めて、その論文の調査及び最終試験を行わせる。
- 2 調査委員は、3名以上とし、必要に応じ、他の大学院又は研究所等の教員等を加えることができる。
- 第12条 最終試験は、論文を中心とし、これに関連のある授業科目について、口頭又は筆答により行うものとする。
- 第13条 調査委員は、論文調査及び最終試験を終了したときは、調査及び最終試験の結果の要旨を、文書をもって、学府教授会に報告しなければならない。
- 第14条 学府教授会は、前条の報告に基づき、学位を授与すべきか否かを審査する。
- 2 前項の審査は、構成員の3分の2以上が出席し、出席者の3分の2以上の賛成があることを必要とする。  
（審査結果の報告）
- 第15条 学府教授会は、前条の審査の結果を文書をもって、総長に報告しなければならない。  
（論文提出による博士）
- 第16条 第5条に定めるもののほか、博士の学位授与は、本学大学院の学府の行う論文の審査に合格し、かつ、本学大学院の学府の博士課程を修了した者と同等以上の学力を有することの確認（以下「学力の確認」という。）をされた者に対し行うことができる。
- 2 第8条第3項ただし書に規定する者が、退学の上、同項ただし書に定める期間を経過した後論文を提出した場合も、前項の例による。
- 3 前2項により博士の学位を請求しようとする者は、学位申請書に、学位論文2通、同目録、論文要旨及び履歴書各1通並びに総長が定める審査手数料を添え、関係学府を経て、総長に提出しなければならない。
- 4 既納の審査手数料は、返還しない。
- 5 第9条の規定は、第3項の規定による学位の請求に準用する。
- 第17条 総長は、前条による論文を受理したときは、学府教授会にその審査を付託するものとする。
- 2 学府教授会は、調査委員を定めて、その論文の調査及び学力の確認を行わせる。
- 3 第10条第2項及び第11条第2項の規定は、前2項の場合に準用する。
- 第18条 論文の調査にあたっては、原則として試験を行う。
- 2 試験は、論文を中心とし、これに関連のある授業科目について、口頭又は筆答により行うものとする。
- 第19条 学力の確認は、試問による。
- 2 試問は、口頭又は筆答によるものとし、専攻分野に関し本学大学院の学府の博士課程を修了した者と同等以上の学力を有し、かつ、研究者として自立して研究活動を行うに必要な高度の研究能力を有するか否かについて行う。この場合、外国語を課すものとし、その種類は、各学府教授会において定める。
- 3 第1項の規定にかかわらず、十分な研究歴と顕著な研究業績を有する者については、試問以外の方法により学力の確認を行うことができる。
- 第20条 前2条の規定による論文の調査及び学力の確認の結果の取扱いについては、第13条から第15条までの規定を準用する。  
（専門職学位の授与）
- 第21条 専門職学位の授与に関して必要な事項は、専門職大学院の課程を置く学府の各学府規則で定める。  
（学位記の授与）
- 第22条 総長は、第15条（第20条において準用する場合を含む。）の報告を踏まえ、学位を授与すべきか否かを決定し、博士の学位を授与すべき者に学位記を授与し、学位を授与できない者にはその旨を通知する。
- 2 総長は、卒業並びに修士課程及び専門職大学院の課程修了の審査結果の報告を踏まえ、学位を授与すべきか否かを決定し、学士若しくは修士の学位又は専門職学位を授与すべき者に学位記を授与する。  
（学位授与の報告等）



第23条 総長は、前条第1項により博士の学位を授与したときは、当該学位を授与した日から3月以内に、所定の様式による学位授与報告書を文部科学大臣に提出するとともに、その論文の内容の要旨及び論文審査の結果の要旨をインターネットの利用により公表するものとする。

(学位論文の公表)

第24条 博士の学位を授与された者は、当該博士の学位を授与された日から1年以内に、当該博士の学位の授与に係る論文の全文を公表しなければならない。ただし、当該博士の学位を授与される前に既に公表したときは、この限りでない。

2 前項の規定にかかわらず、博士の学位を授与された者は、やむを得ない事由がある場合には、学府の承認を得て、当該博士の学位の授与に係る論文の全文に代えて、その内容を要約したものを公表することができる。この場合において、当該学府は、その論文の全文を求めに応じて閲覧に供するものとする。

3 博士の学位を授与された者が行う前2項の規定による公表は、インターネットの利用により行うものとする。

4 第1項及び第2項により論文を公表する場合には、本学において審査を受けた学位論文であることを、明記しなければならない。

第25条 本学の学位を授与された者が、学位の名称を用いるときは、「九州大学」と付記しなければならない。ただし、共同教育課程に係る学位にあっては、本学に加え、当該共同教育課程を編成する他の大学の名称を付記しなければならない。

(学位の名称)

第26条 第2条の学位(法務博士(専門職)を除く。)を授与するに当たっては、専攻分野の名称を付記するものとし、学位の名称は、学士にあっては別表第1のとおりとし、修士の学位及び博士の学位にあっては別表第2のとおりとし、専門職学位にあっては、別表第3のとおりとする。

(学位授与の取消)

第27条 本学において学位を授与された者が不正な方法により学位の授与を受けた事実が判明したとき、又は学位の榮譽を汚辱する行為があったときは、総長は、教育研究評議会の議を経て、既に与えた学位を取り消し、学位記を返納させ、かつ、その旨を公表するものとする。

2 教育研究評議会において前項の決定を行うには、構成員の3分の2以上が出席し、出席者の4分の3以上の賛成があることを必要とする。

(学位記等の様式)

第28条 学位記及び学位申請関係書類の様式は、別記様式のとおりとする。

附 則

1 この規則は、平成16年4月1日から施行する。

2 平成16年3月31日に本学に在学し、平成16年4月1日以降も引き続き在学する者(21世紀プログラムの教育を受ける学生を除く。)については、九州大学学位規則(昭和32年11月19日施行)の規定によるものとする。

3 九州大学学則(平成16年度九大規則第1号)附則第4項に規定する者に授与する学位記については、第28条の規定にかかわらず、次の様式によるものとする。

(1) 九州芸術工科大学芸術工学部の課程を修めて卒業した者に授与する学位記の様式

学 位 記		
学 部 印	氏 名	
	年 月 日 生	
本学において九州芸術工科大学芸術工学部〇〇学科所定の課程を修めたことを認める		
年 月 日	九州芸術工科大学教育課程担当 九州大学芸術工学部長	印

本学芸術工学部長の認定により学士（芸術工学）の学位を授与する

大学印

九州大学総長

印

第 号

(2) 九州芸術工科大学大学院の博士前期課程を修めて修士課程を修了した者に授与する学位記の様式

学位記

学府印

氏名  
年 月 日生

本学において九州芸術工科大学大学院芸術工学研究科芸術工学専攻の博士前期課程を修めたことを認める

年 月 日

九州芸術工科大学大学院教育課程担当  
九州大学大学院芸術工学府長

印

本学大学院芸術工学府長の認定により修士（芸術工学）の学位を授与する

大学印

九州大学総長

印

芸術第 号

(3) 九州芸術工科大学大学院の博士課程を修めて博士課程を修了した者に授与する学位記の様式

学位記

学府印

氏名  
年 月 日生

本学において九州芸術工科大学大学院芸術工学研究科芸術工学専攻の博士課程において所定の単位を修得し学位論文の審査及び最終試験に合格したことを認める

年 月 日

九州芸術工科大学大学院教育課程担当  
九州大学大学院芸術工学府長

印

本学大学院芸術工学府長の認定により博士（〇〇）の学位を授与する

大学印

九州大学総長

印

芸術甲第 号

4 21世紀プログラムの課程を修了した者に授与する学位の名称は、第26条の規定にかかわらず、学士（学術）とし、学位記については、第28条の規定にかかわらず、次の様式によるものとする。

第 号
学 位 記
氏 名 年 月 日 生
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">大学印</div>
<p>本学所定の21世紀プログラムの 課程を修めたので本学の卒業を認め 学士（学術）の学位を授与する</p>
年 月 日
九州大学総長
印

No.
KYUSHU UNIVERSITY
hereby confers upon
Name
Date of Birth:○○
the Degree of
Bachelor of Arts and Science
having completed the prescribed program
of the 21st Century Program
(○○)
Date
Name
President
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">大学印</div>

5 博士課程（博士課程教育リーディングプログラム）を修了した者に授与する学位の名称は、第28条の規定にかかわらず、次の様式によるものとする。

△博甲第 号
学 位 記
氏 名 年 月 日 生

本学大学院○○学府○○専攻の博士課程（□□□□□□□□□）において所定の単位を修得し、学位論文の審査及び最終試験に合格したので博士（○○）の学位を授与する

年 月 日

九州大学

大学印

No.

KYUSHU UNIVERSITY

hereby confers upon  
Name

Date of Birth: ○○

the Degree of  
Doctor of ○○

having passed the prescribed final examination  
and completed a doctoral dissertation  
in the Graduate School of ○  
(○○)

with additional completion of □□□□  
Date

大学印

Name  
President

備考 △印の箇所は学府名の略号を記入し、□印の箇所は博士課程教育リーディングプログラムの名称を記入する。

附 則（平成16年度九大規則203号）

この規則は、平成17年4月1日から施行する。

附 則（平成17年度九大規則第55号）

この規則は、平成18年4月1日から施行する。

附 則（平成18年度九大規則第19号）

この規則は、平成18年6月1日から施行する。

附 則（平成18年度九大規則第118号）

この規則は、平成19年4月1日から施行する。

附 則（平成20年度九大規則第74号）

この規則は、平成21年4月1日から施行する。

附 則（平成22年度九大規則第11号）

1 この規則は、平成22年6月15日から施行し、平成22年4月1日から適用する。

2 平成22年3月31日に九州大学大学院薬学府の修士課程に在学し、同年4月1日以降も引き続き在学する者に授与する学位の名称については、この規則による改正後の九州大学学位規則別表第2の規定にかかわらず、なお従前の例による。

附 則（平成22年度九大規則第151号）

この規則は、平成23年4月1日から施行する。

附 則（平成23年度九大規則第113号）

この規則は、平成24年4月1日から施行する。

附 則（平成24年度九大規則第4号）

この規則は、平成24年5月1日から施行し、平成24年3月14日から適用する。

附 則（平成24年度九大規則第35号）

この規則は、平成24年12月1日から施行する。

附 則（平成24年度九大規則第92号）

1 この規則は、平成25年4月1日（以下「施行日」という。）から施行する。

2 この規則による改正後の九州大学学位規則（以下「新規則」という。）第23条の規定は、施行日以後に博士の学位を授与した場合について適用し、同日前に博士の学位を授与した場合については、なお従前の例による。

3 新規則第24条の規定は、施行日以後に博士の学位を授与された者について適用し、同日前に博士の学位を授与された者については、なお従前の例による。

4 新規則別記様式の規定は、施行日以後に授与する学位記について適用し、同日前に授与する学位記については、なお従前の例による。

附 則（平成25年度九大規則第116号）

1 この規則は、平成26年4月1日から施行する。

2 平成26年3月31日までに九州大学大学院比較社会文化学府に入学した者に授与する学位の名称については、この規則による改正後の九州大学学位規則別表第2の規定にかかわらず、なお従前の例による。

附 則（平成26年度九大規則第141号）

この規則は、平成27年4月1日から施行する。

附 則（平成28年度九大規則第54号）

この規則は、平成28年10月1日から施行する。

附 則（平成28年度九大規則第106号）

この規則は、平成29年4月1日から施行する。

附 則（平成29年度九大規則第101号）

1 この規則は、平成30年4月1日から施行する。

2 平成30年3月31日に九州大学に在学し、同年4月1日以降も引き続き在学する者に授与する学位の名称については、この規則による改正後の九州大学学位規則別表第1の規定にかかわらず、なお従前の例による。

附 則（平成30年度九大規則第53号）

この規則は、平成31年1月15日から施行する。

附 則（平成30年度九大規則第87号）

この規則は、平成31年4月1日から施行する。

附 則（令和元年度九大規則第33号）

この規則は、令和2年4月1日から施行する。

別表第1（学士の学位）

学 部	学 位 の 名 称
共創学部	学士（学術）
文学部	学士（文学）
教育学部	学士（教育学）
法学部	学士（法学）
経済学部	学士（経済学）
理学部	学士（理学）
医学部	学士（医学） 学士（生命医科学） 学士（看護学） 学士（保健学）
歯学部	学士（歯学）
薬学部	学士（創薬科学） 学士（薬学）
工学部	学士（工学）
芸術工学部	学士（芸術工学）
農学部	学士（農学）

別表第2（修士の学位及び博士の学位）

学 府	学 位 の 名 称	
	修 士	博 士
人文科学府	修士（文学）	博士（文学）
地球社会統合科学府	修士（学術） 修士（理学）	博士（学術） 博士（理学）
人間環境学府（臨床実践心理学専攻を除く。）	修士（人間環境学） 修士（文学） 修士（教育学） 修士（心理学） 修士（工学）	博士（人間環境学） 博士（文学） 博士（教育学） 博士（心理学） 博士（工学）
法学府	修士（法学）	博士（法学）

経済学府（産業マネジメント専攻を除く。）	修士（経済学）	博士（経済学）
理学府	修士（理学）	博士（理学）
数理学府	修士（数理学） 修士（技術数理学）	博士（数理学） 博士（機能数理学）
システム生命科学府	修士（システム生命科学） 修士（理学） 修士（工学） 修士（情報科学）	博士（システム生命科学） 博士（理学） 博士（工学） 博士（情報科学）
医学系学府（医療経営・管理学専攻を除く。）	修士（医科学） 修士（看護学） 修士（保健学）	博士（医学） 博士（看護学） 博士（保健学）
歯学府	—————	博士（歯学） 博士（臨床歯学） 博士（学術）
薬学府	修士（創薬科学）	博士（創薬科学） 博士（臨床薬学）
工学府	修士（工学）	博士（工学）
芸術工学府	修士（芸術工学） 修士（デザインストラテジー）	博士（芸術工学） 博士（工学）
システム情報科学府	修士（情報科学） 修士（理学） 修士（工学） 修士（学術）	博士（情報科学） 博士（理学） 博士（工学） 博士（学術）
総合理工学府	修士（理学） 修士（工学） 修士（学術）	博士（理学） 博士（工学） 博士（学術）
生物資源環境科学府	修士（農学）	博士（農学）
統合新領域学府	修士（感性学） 修士（芸術工学） 修士（工学） 修士（オートモーティブサイエンス） 修士（ライブラリーサイエンス） 修士（学術）	博士（感性学） 博士（芸術工学） 博士（工学） 博士（オートモーティブサイエンス） 博士（ライブラリーサイエンス） 博士（学術）

別表第3（専門職学位）

--	--

専 門 職 大 学 院	学 位 の 名 称
人間環境学府実践臨床心理学専攻	臨床心理修士（専門職）
経済学府産業マネジメント専攻	経営修士（専門職）
医学系学府医療経営・管理学専攻	医療経営・管理学修士（専門職）
法科大学院 （法務学府実務法学専攻）	法務博士（専門職）

別記様式

(1) 第3条により本学を卒業した者に授与する学位記の様式

第 号
学 位 記
氏 名 年 月 日 生
大学印
本学〇〇学部〇〇学科所定の課程を修めたことを認める
九州大学〇〇学部長 <span style="float: right;">印</span>
本学〇〇学部長の認定により本学を卒業したことを認め 学士（〇〇）の学位を授与する
年 月 日
九州大学総長 <span style="float: right;">印</span>

No.
KYUSHU UNIVERSITY
hereby confers upon Name
Date of Birth: 〇〇
the Degree of Bachelor of 〇〇
having completed the prescribed program of the School of 〇〇 (〇〇)
Date
Name



大学印	Dean of the School of ○○ Name President
-----	---

(2) 第4条1項により修士課程（共同教育課程を除く。）を修了した者に授与する学位記の様式

△修第	号
学 位 記	氏 名
	年 月 日 生
本学大学院○○学府○○専攻の修士課程を修了したので修 士（○○）の学位を授与する	
年 月 日	
九 州 大 学	大学印

No.	
KYUSHU UNIVERSITY	
hereby confers upon	
Name	
Date of Birth: ○○	
the Degree of	
Master of ○○	
having completed the Master's Program	
in the Graduate School of ○○	
(○○)	
Date	
Name	
President	
大学印	

備考 △印の箇所は学府名の略号を記入する。

(3) 第4条1項により修士課程（共同教育課程）を修了した者に授与する学位記の様式

△修第	号
学 位 記	氏 名
	年 月 日 生

九州大学大学院○○学府及び□□大学大学院◇◇研究科の  
◎◎専攻の修士課程を修了したので修士（○○）の学位を授  
与する

年 月 日

九 州 大 学

大学印

□ □ 大 学

大学印

No.

KYUSHU UNIVERSITY

hereby confers upon

Name

Date of Birth: ○○

the Degree of

Master of ○○

having completed the Master's Program  
in the Graduate School of ○○, Kyushu University  
and the Graduate School of △△,□□

(◎◎)

Date

大学印

Name

President of Kyushu University

大学印

Name

President of □□ University

備考1 △印の箇所は学府名の略号を記入する。

2 □印の箇所は共同教育課程を構成する大学（本学を除く。）、◇印の箇所は構成大学の  
共同教育課程を編成する研究科の名称を記入する。

3 ◎印の箇所は共同教育課程における専攻の名称を記入する。

(4) 第4条2項により修士課程の修了に相当する要件を満たした者に授与する学位記の  
様式

△修第 号

学 位 記

氏 名

年 月 日 生

本学大学院○○学府○○専攻において修士課程の修了に相  
当する要件を満たしたので修士（○○）の学位を授与する

年 月 日 九 州 大 学	大学印
------------------	-----

KYUSHU UNIVERSITY  hereby confers upon Name Date of Birth: ○○ the Degree of Master of ○○ having completed the requirement for a Master's Qualification in the Graduate School of ○ (○○) Date	No.
大学印	Name President

備考 △印の箇所は学府名の略号を記入する。

(5) 第5条により博士課程を修了した者に授与する学位記の様式

学 位 記  氏 名 年 月 日 生	△博甲第 号
本学大学院○○学府○○専攻の博士課程において所定の単位を修得し学位論文の審査及び最終試験に合格をしたので博士(○○)の学位を授与する	
年 月 日 九 州 大 学	大学印

KYUSHU UNIVERSITY	No.
-------------------	-----

hereby confers upon  
Name  
Date of Birth: ○○  
the Degree of  
Doctor of ○○  
having passed the prescribed final examination  
and completed a doctoral dissertation  
in the Graduate School of ○  
(○○)  
Date

Name  
President

大学印

備考 △印の箇所は学府名の略号を記入する。

(6) 第6条により専門職学位課程を修了した者（法科大学院（法務学府実務法学専攻）の専門職学位課程を修了した者を除く。）に授与する学位記の様式

△専第 号

学 位 記

氏 名  
年 月 日 生

本学大学院○○学府○○専攻の専門職学位課程を修了したので修士（専門職）の学位を授与する

年 月 日

九 州 大 学

大学印

No.

KYUSHU UNIVERSITY

hereby confers upon  
Name  
Date of Birth: ○○  
the Degree of  
Master of ○○  
having completed the Professional Degree Program  
in the Graduate School of ○  
(○○)  
Date

大学印	Name President
-----	-------------------

備考 △印の箇所は学府名の略号を記入する。

(7) 第6条により法科大学院（法務学府実務法学専攻）の専門職学位課程を修了した者に授与する学位記の様式

法専第	号
学 位 記	
氏 名	
年 月 日 生	
本学法科大学院（法務学府実務法学専攻）の専門職学位課程を修了したので法務博士（専門職）の学位を授与する	
年 月 日	
九州大学	
	大学印

	No.
KYUSHU UNIVERSITY	
hereby confers upon	
Name	
Date of Birth: ○○	
the Degree of	
Juris Doctor	
having completed the Professional Degree Program	
in the Law School	
(Legal Practice)	
Date	
大学印	Name President

(8) 第16条により博士課程を修了した者と同等以上の学力を有することの確認をされた者に授与する学位記の様式

△博乙第	号
------	---

学 位 記

氏 名  
年 月 日 生

本学にて学位論文を提出し所定の審査及び試験に合格したの  
で博士（〇〇）の学位を授与する

年 月 日

九 州 大 学

大学印

No.

KYUSHU UNIVERSITY

hereby confers upon

Name

Date of Birth: 〇〇

the Degree of

Doctor of 〇〇

having submitted a doctoral dissertation and  
successfully fulfilled all the requirements

Date

大学印

Name  
President

備考 △印の箇所は学府名の略号を記入する。

(9) 学位申請関係書類の様式

ア 第8条第4項による学位論文審査願様式

年 月 日

九州大学総長殿

〇〇学府〇〇学専攻

〇〇年入学

氏名印

学位論文審査願

このたび博士の学位を受けたいので、九州大学学位規則第8条により、下記のとおり関係書類を添え、学位論文を提出いたしますから御審査ください。

記

- |   |      |    |   |    |
|---|------|----|---|----|
| 1 | 主論文  | 1編 | 冊 | 2通 |
| 2 | 参考論文 | 編  | 冊 | 1通 |
| 3 | 論文目録 |    |   |    |
| 4 | 論文要旨 |    |   |    |
| 5 | 履歴書  |    |   |    |

イ 第16条第3項による学位申請書様式

年 月 日

九州大学総長殿

本籍：

氏名：

印

学位申請書

貴学学位規則第16条により、博士の学位を受けたいので、下記のとおり関係書類を添え、学位論文を提出いたします。

なお所定の手数料を納入いたします。

記

- |   |      |    |   |    |
|---|------|----|---|----|
| 1 | 主論文  | 1編 | 冊 | 2通 |
| 2 | 参考論文 | 編  | 冊 | 1通 |
| 3 | 論文目録 |    |   |    |
| 4 | 論文要旨 |    |   |    |
| 5 | 履歴書  |    |   |    |

ウ 添付書類の様式

① 論文目録様式

論 文 目 録

区分 甲乙

氏 名

主論文 1編〇冊

題 名

(印刷公表の方法及びその時期 (未公開の場合は予定を記入))

参考論文 ○編○冊

題 名

- 1
- 2 (同上)
- 3

備考

- 1 論文題名が外国語の場合は、訳を付すること。
- 2 未公表の論文の場合は、原稿の枚数を記入すること。
- 3 参考論文が2以上ある場合は、その題名を列記すること。

② 履歴書様式

履 歴 書

区分 甲乙

(ふりがな) 氏 名 生 年 月 日	年 月 日生	男 女
本 籍 (都道府県名)	都 道 府 県	
現 住 所	都道 区市 町 番地 府県 郡 村	
学 歴 年 月 日 年 月 日		
職 歴 年 月 日 年 月 日		
研究歴 年 月 日 年 月 日		
上記のとおり相違ありません。 年 月 日		
氏 名 印		

備考

- 1 学歴は、新制大学卒業以後又は最終学歴を記載すること。



2 研究歴には研究した事項とその期間を明記すること。なお、学歴又は職歴に記載した期間中に研究歴に当たるものがある場合は、それについても記入すること。

九州大学大学院工学府規則（案）

平成16年度九大規則第130号  
制 定：平成16年 4月 1日  
最終改正：令和 3年 月 日  
（令和2年度九大規則第 号）

（趣旨）

第1条 この規則は、九州大学大学院通則（平成16年度九大規則第3号）及び九州大学学位規則（平成16年度九大規則第86号）により各学府規則において定めるよう規定されている事項及び九州大学大学院工学府（以下「本学府」という。）において必要と認める事項を定めるものとする。

（教育研究上の目的）

第1条の2 本学府は、教育研究を通してエネルギー・資源・物質・環境・システムに関する深い専門知識と探求創造能力を教授育成するとともに、高い倫理感と国際性をもって工学に携わる研究者・技術者・教育者を組織的に養成する。

（入学資格）

第2条 本学府の修士課程に入学することのできる者は、大学院通則第10条のとおりとする。

第3条 本学府の博士後期課程に入学することのできる者は、大学院通則第11条のとおりとする。

第4条 入学を志願する者に対する考査は、学力検査、出身大学の成績証明書その他本学府の定める資料によって行うものとする。

2 学力検査の方法については、本学府教授会の議を経て、工学府長（以下「本学府長」という。）が定める。

（学期）

第5条 学年を分けて次の2学期とする。

前期 4月1日から9月30日まで

後期 10月1日から翌年3月31日まで

2 前項に定める各学期の授業期間は、別に定める。

（授業及び研究指導）

第6条 本学府の教育は、授業科目の授業及び学位論文の作成等に対する指導（以下「研究指導」という。）によって行うものとする。

（授業科目、単位、履修方法、試験等）

第7条 授業科目、単位及び履修方法は、材料工学専攻にあつては別表第1、応用化学専攻にあつては別表第2、化学工学専攻にあつては別表第3、機械工学専攻にあつては別表第4、水素エネルギーシステム専攻にあつては別表第5、航空宇宙工学専攻にあつては別表第6、量子物理工学専攻にあつては別表第7、船舶海洋工学専攻にあつては別表第8、地球資源システム工学専攻にあつては別表第9、共同資源工学専攻にあつては別表第10、土木工学専攻にあつては別表第11のとおりとする。

2 共同資源工学専攻は、英語の授業等により学位取得可能な教育課程とする。

第7条の2 前条に掲げるもののほか、英語による授業等により学位取得可能な教育課程として、次の表の左欄に掲げる課程に、それぞれ同表の右欄に定める国際コースを置き、各コースの授業科目、単位及び履修方法は別表第12のとおりとする。

課 程	国際コース
材料工学専攻の修士課程及び博士後期課程	材料工学グローバルコース
応用化学専攻の修士課程及び博士後期課程	応用化学グローバルコース

化学工学専攻の修士課程及び博士後期課程	化学工学グローバルコース
機械工学専攻の修士課程及び博士後期課程	機械工学グローバルコース
水素エネルギーシステム専攻の修士課程及び博士後期課程	水素エネルギーシステムグローバルコース
航空宇宙工学専攻の修士課程及び博士後期課程	航空宇宙工学グローバルコース
量子物理工学専攻の修士課程及び博士後期課程	量子物理工学グローバルコース
船舶海洋工学専攻の修士課程及び博士後期課程	船舶海洋工学グローバルコース
地球資源システム工学専攻の修士課程及び博士後期課程	地球資源システム工学グローバルコース
土木工学専攻の修士課程及び博士後期課程	土木工学グローバルコース

第7条の3 単位計算の基準は、講義及び演習については15時間又は30時間をもって1単位、実験及び実習については30時間又は45時間をもって1単位とする。

第7条の4 第7条及び第7条の2に定めるもののほか、本学府教授会の議を経て、臨時に授業科目を開設することができる。

第8条 学生は、各学期の始めに、履修しようとする授業科目を、指導教員の指示に従って選定し、本学府長に届け出なければならない。

2 学府において、教育上有益と認めるときは、他の専攻、大学院基幹教育若しくは学府又は学部の課程による授業科目及び単位を指定して履修させることができる。

3 前項により修得した単位は、本学府教授会の議を経て、課程修了の要件となる単位に充当することができる。

第9条 試験は、履修した各授業科目につき、その授業科目の授業終了の学期末又は学年末に行うものとする。

第10条 単位修得の認定は、本学府教授会の議を経て、本学府長がこれを行う。

(他の大学院における授業科目の履修等)

第11条 指導教員が教育上有益と認めるときは、本学府長の承認を得て、本学府が指定する他の大学院の授業科目を履修させることができる。

2 前項の規定により修得した単位は、修士課程及び博士後期課程を通して、10単位を限度として課程修了の要件となる単位として取り扱うことができる。

3 指導教員が教育上有益と認めるときは、本学府長の承認を得て、本学府が指定する他の大学院等において必要な研究指導を受けさせることができる。ただし、修士課程の学生について認める場合には、当該研究指導を受けさせる期間は、1年を超えないものとする。

(長期にわたる教育課程の履修)

第11条の2 本学府の学生が、通則第26条の規定に基づき、標準修業年限を超えて一定の期間にわたり計画的に教育課程を履修し修了することを希望する旨を本学府長に申し出たときは、本学府教授会の議を経て本学府長が定めるところにより、その計画的な履修を認めることができる。

(修士課程の修了要件)

第12条 本学府の修士課程の修了要件は、修士課程に2年以上在学し、第7条の規定により

履修することとされている授業科目について30単位以上を修得し、かつ、必要な研究指導を受けた上、本学府教授会の行う修士論文の審査及び最終試験に合格することとする。ただし、総長が認めるときは、在学期間に関しては、優れた業績を上げた者については、修士課程に1年以上在学すれば足りるものとする。

(博士課程の修了要件)

第13条 本学府の博士課程の修了要件は、博士課程に5年(修士課程に2年以上在学し、当該課程を修了した者にあつては、当該課程における2年の在学期間を含む。)以上在学し、第7条の規定により履修することとされている授業科目について40単位以上を修得し、かつ、必要な研究指導を受けた上、博士論文の審査及び最終試験に合格することとする。ただし、総長が認めるときは、在学期間に関しては、優れた研究業績を上げた者については、博士課程に3年(修士課程に2年以上在学し、当該課程を修了した者にあつては、当該課程における2年の在学期間を含む。)以上在学すれば足りるものとする。

2 大学院設置基準第3条第3項の規定により標準修業年限を1年以上2年未満とした修士課程を修了した者及び前条ただし書きの規定による在学期間をもって修士課程を修了した者の博士課程の修了要件については、前項中「5年(修士課程に2年以上在学し、当該課程を修了した者にあつては、当該課程における2年の在学期間を含む。)」とあるのは「修士課程における在学期間に3年を加えた期間」と、「3年(修士課程に2年以上在学し、当該課程を修了した者にあつては、当該課程における2年の在学期間を含む。)」とあるのは「3年(修士課程における在学期間を含む。)」と読み替えて前項の規定を適用する。

3 前2項の規定にかかわらず、学校教育法施行規則(昭和22年文部省令第11号)第156条の規定により大学院への入学資格に関し修士の学位若しくは専門職学位を有する者と同等以上の学力があると認められた者又は専門職学位課程を修了した者が、博士後期課程に入学した場合の博士課程の修了要件は、博士後期課程に3年(法科大学院の課程を修了した者にあつては、2年)以上在学し、第7条の規定により履修することとされている同課程の授業科目について10単位以上を修得し、かつ、必要な研究指導を受けた上、博士論文の審査及び最終試験に合格することとする。ただし、総長が認めるときは、在学期間に関しては、優れた研究業績を上げた者については、博士後期課程に1年(標準修業年限が1年以上2年未満の専門職学位課程を修了した者にあつては、3年から当該1年以上2年未満の期間を減じた期間)以上在学すれば足りるものとする。

(学位論文及び最終試験)

第14条 修士論文は、在学期間中、本学府の定める期日までに、指導教員を経て、本学府長に提出しなければならない。

第15条 博士論文は、博士後期課程に2年以上在学し、第7条及び第7条の2の規定により履修することとされている同課程の授業科目について4単位以上を修得し、かつ、本学府教授会の承認を得て提出するものとする。ただし、本学府教授会の議を経て、本学府長が優れた研究業績を上げたと認めた者は、博士後期課程における在学期間が2年に満たなくても博士論文を提出することができる。

第16条 最終試験は、学位論文を提出した者について行うものとする。

(科目等履修生)

第17条 科目等履修生として入学を志願できる者は、九州大学科目等履修生等規則(平成16年度九大規則第91号)第2条第2項に定めるところによる。

第18条 科目等履修生として入学を志願する者は、所定の願書に履修しようとする授業科目名を記載し、履歴書及び検定料を添えて、本学府長に願出しなければならない。

2 本学府長は、学生の授業に支障がないときは、前項の願出があった者について選考の上、学年又は学期の始めに入学を許可することができる。

第19条 科目等履修生の履修した授業科目については、試験により所定の単位を与える。

2 前項の単位の授与については、第9条及び第10条の規定を準用する。

第20条 本学府長は、科目等履修生の修得した単位について、所要の証明書を交付することができる。

(雑則)

第21条 この規則その他の規則等に定めるもののほか、本学府の校務について必要な事項は、本学府教授会の議を経て、本学府長が別に定める。

附 則

この規則は、平成16年4月1日から施行する。

附 則 (平成17年度九大規則第83号)

- 1 この規則は、平成18年4月1日から施行する。
- 2 改正後の九州大学工学府規則は、平成18年度に本学府に入学する者から適用し、平成18年3月31日に本学府に在学し、同年4月1日以降も引き続き在学する者については、なお従前の例による。

附 則 (平成18年度九大規則第150号)

- 1 この規則は、平成19年4月1日から施行する。
- 2 改正後の九州大学工学府規則は、平成19年度に本学府に入学する者から適用し、平成19年3月31日に本学府に在学し、同年4月1日以降も引き続き在学する者については、なお従前の例による。

附 則 (平成19年度九大規則第48号)

この規則は、平成19年12月26日から施行する。

附 則 (平成19年度九大規則第99号)

- 1 この規則は、平成20年4月1日から施行する。
- 2 改正後の九州大学工学府規則は、平成20年度に本学府に入学又は進学する者から適用し、平成20年3月31日に本学府に在学し、同年4月1日以降も引き続き在学する者については、なお従前の例による。

附 則 (平成20年度九大規則第31号)

この規則は、平成20年10月1日から施行する。

附 則 (平成20年度九大規則第98号)

- 1 この規則は、平成21年4月1日から施行する。
- 2 この規則による改正後の九州大学工学府規則は、平成21年度に本学部に入学する者から適用し、平成21年3月31日に本学府に在学し、同年4月1日以降も引き続き在学する者については、なお従前の例による。

附 則 (平成21年度九大規則第101号)

- 1 この規則は、平成22年4月1日から施行する。
- 2 この規則による改正後の九州大学工学府規則(機械工学専攻グローバルコース、水素エネルギーシステム専攻グローバルコース及び国際環境システム工学特別コースに係る規定を除く。)は、平成22年度に本学部に入学する者から適用し、平成22年3月31日に本学府に在学し、同年4月1日以降も引き続き在学する者については、なお従前の例による。

附 則 (平成22年度九大規則第115号)

- 1 この規則は、平成23年4月1日から施行する。
- 2 この規則による改正後の九州大学大学院工学府規則は、平成23年度に本学府に入学する者から適用し、平成23年3月31日に本学府に在学し、同年4月1日以降も引き続き在学する者については、なお従前の例による。

附 則 (平成23年度九大規則第63号)

- 1 この規則は、平成23年10月1日から施行する。
- 2 この規則による改正後の九州大学大学院工学府規則は、平成23年10月1日に本学府に入学する者から適用し、同年9月30日に本学府に在学し、同年10月1日以降も引き続き在学する者については、なお従前の例による。

附 則 (平成23年度九大規則第133号)

- 1 この規則は、平成24年4月1日から施行する。
- 2 この規則による改正後の九州大学大学院工学府規則は、平成24年度に本学府に入学する者から適用し、平成24年3月31日に本学府に在学し、同年4月1日以降も引き続き在学

する者については、なお従前の例による。

附 則（平成24年度九大規則第18号）

- 1 この規則は、平成24年10月1日から施行する。
- 2 この規則による改正後の九州大学大学院工学府規則は、平成24年10月1日に本学府に入学する者から適用し、平成24年9月30日に本学府に在学し、同年10月1日以降も引き続き在学する者については、なお従前の例による。

附 則（平成24年度九大規則第115号）

- 1 この規則は、平成25年4月1日から施行する。
- 2 この規則による改正後の九州大学大学院工学府規則（以下「新規則」という。）は、平成25年度に本学府に入学する者から適用し、平成25年3月31日に本学府に在学し、同年4月1日以降も引き続き在学する者については、なお従前の例による。
- 3 前項の規定にかかわらず、新規則のうちグリーンアジア国際戦略コースに係る規定は、平成24年度に本学府に入学する者から適用し、平成24年3月31日に本学府に在学し、同年4月1日以降も引き続き在学する者については、なお従前の例による。

附 則（平成25年度九大規則第35号）

- 1 この規則は、平成25年10月1日から施行する。
- 2 この規則による改正後の九州大学大学院工学府規則は、平成25年10月1日に本学府に入学する者から適用し、平成25年9月30日に本学府に在学し、同年10月1日以降も引き続き在学する者については、なお従前の例による。

附 則（平成25年度九大規則第70号）

この規則は、平成25年12月26日から施行し、平成25年12月1日から適用する。

附 則（平成25年度九大規則第145号）

- 1 この規則は、平成26年4月1日から施行する。
- 2 この規則による改正後の九州大学大学院工学府規則は、平成26年4月1日に本学府に入学する者から適用し、平成26年3月31日に本学府に在学し、同年4月1日以降も引き続き在学する者については、なお従前の例による。

附 則（平成26年度九大規則第48号）

- 1 この規則は、平成26年10月1日から施行する。
- 2 この規則による改正後の九州大学大学院工学府規則は、平成26年10月1日に本学府に入学する者から適用し、平成26年9月30日に本学府に在学し、同年10月1日以降も引き続き在学する者については、なお従前の例による。

附 則（平成26年度九大規則第171号）

- 1 この規則は、平成27年4月1日から施行する。
- 2 この規則による改正後の九州大学大学院工学府規則別表第1、別表第2、別表第3、別表第5、別表10及び別表第13の規定は、平成27年4月1日に本学府に入学する者から適用し、平成27年3月31日に本学府に在学し、同年4月1日以降も引き続き在学する者については、なお従前の例による。

附 則（平成27年度九大規則第15号）

- 1 この規則は、平成27年10月1日から施行する。
- 2 この規則による改正後の九州大学大学院工学府規則は、平成27年10月1日に本学府に入学する者から適用し、平成27年9月30日に本学府に在学し、同年10月1日以降も引き続き在学する者については、なお従前の例による。

附 則（平成27年度九大規則第74号）

- 1 この規則は、平成28年4月1日から施行する。
- 2 この規則による改正後の九州大学大学院工学府規則は、平成28年4月1日に本学府に入学する者から適用し、平成28年3月31日に本学府に在学し、同年4月1日以降も引き続き在学する者については、なお従前の例による。

附 則（平成28年度九大規則第50号）

- 1 この規則は、平成28年10月1日から施行する。

- 2 この規則による改正後の九州大学大学院工学府規則別表第14は、平成28年10月1日に本学府に入学する者から適用し、平成28年9月30日に本学府に在学し、同年10月1日以降も引き続き在学する者については、なお従前の例による。

附 則（平成28年度九大規則第137号）

- 1 この規則は、平成29年4月1日から施行する。
- 2 この規則による改正後の九州大学大学院工学府規則別表第1、別表第2、別表第3、別表第4、別表第6、別表第10、別表第11及び別表第13の規定は、平成29年4月1日に本学府に入学する者から適用し、平成29年3月31日に本学府に在学し、同年4月1日以降も引き続き在学する者については、なお従前の例による。

附 則（平成29年度九大規則第21号）

- 1 この規則は、平成29年10月1日から施行する。
- 2 この規則による改正後の九州大学大学院工学府規則は、平成29年10月1日に本学府に入学する者から適用し、平成29年9月30日に本学府に在学し、同年10月1日以降も引き続き在学する者については、なお従前の例による。

附 則（平成29年度九大規則第130号）

- 1 この規則は、平成30年4月1日から施行する。
- 2 この規則による改正後の九州大学大学院工学府規則は、平成30年4月1日に本学府に入学する者から適用し、平成30年3月31日に本学府に在学し、同年4月1日以降も引き続き在学する者については、なお従前の例による。

附 則（平成30年度九大規則第39号）

- 1 この規則は、平成30年10月1日から施行する。
- 2 この規則による改正後の九州大学大学院工学府規則は、平成30年10月1日に本学府に入学する者から適用し、平成30年9月30日に本学府に在学し、同年10月1日以降も引き続き在学する者については、なお従前の例による。

附 則（平成30年度九大規則第115号）

- 1 この規則は、平成31年4月1日から施行する。
- 2 この規則による改正後の九州大学大学院工学府規則は、平成31年4月1日に本学府に入学する者から適用し、平成31年3月31日に本学府に在学し、同年4月1日以降も引き続き在学する者については、なお従前の例による。

附 則（令和元年度九大規則第14号）

- 1 この規則は、令和元年10月1日から施行する。
- 2 この規則による改正後の九州大学大学院工学府規則は、令和元年10月1日に本学府に入学する者から適用し、令和元年9月30日に本学府に在学し、同年10月1日以降も引き続き在学する者については、なお従前の例による。

附 則（令和元年度九大規則第66号）

- 1 この規則は、令和2年4月1日から施行する。
- 2 この規則による改正後の九州大学大学院工学府規則は、令和2年4月1日に本学府に入学する者から適用し、令和2年3月31日に本学府に在学し、同年4月1日以降も引き続き在学する者については、なお従前の例による。

附 則（令和2年度九大規則第 号）

- 1 この規則は、令和3年4月1日から施行する。
- 2 この規則による改正後の九州大学大学院工学府規則は、令和3年4月1日に本学府に入学する者から適用し、令和3年3月31日に本学府に在学し、同年4月1日以降も引き続き在学する者については、なお従前の例による。

## 別表第1

### 材料工学専攻

#### 一 履修方法

##### 修士課程

次に掲げる高等専門科目、先端科目、能力開発特別科目及び異分野科目についての単位を合わせて30単位以上修得しなければならない。なお、4単位を上限として、大学院基幹教育科目及び他学府が開講する科目を、異分野科目の単位として認定することができる。

- 1 高等専門科目から6単位以上
- 2 先端科目から6単位以上
- 3 能力開発特別科目から4単位以上
- 4 異分野科目から4単位以上

##### 博士後期課程

次に掲げる講究科目及び博士共通科目についての単位を合わせて10単位以上修得しなければならない。なお、指導教員の指導により履修した他学府等の授業科目を、関連授業科目として単位認定し、第8条第3項に基づき課程修了の要件となる単位に充当することができる。

- 1 講究科目から、「材料工学指導演習」2単位を含む6単位以上
- 2 博士共通科目の「工学研究企画」2単位

#### 二 授業科目

##### 修士課程

授 業 科 目	単 位
(高 等 専 門 科 目)	
結晶成長制御学	2
欠陥物理化学	2
応用薄膜工学	2
材料組織解析学	2
結晶塑性学	2
半導体材料制御学	2
融体物理化学	2
電解反応工学	2
構造材料工学	2
高温反応工学	2



(先 端 科 目)	
金属破壊学	2
表面機能制御学	2
材料反応制御学	2
電子線解析学	2
表面処理工学	2
熱処理論	2
複合材料学	2
高温物性工学	2
(能 力 開 発 特 別 科 目)	
材料工学特論 A	1
材料工学特論 B	1
材料工学情報集約演習 A	2
材料工学情報集約演習 B	2
材料工学情報集約演習 C	2
材料工学情報集約演習 D	2
材料工学情報集約演習 E	2
材料工学情報集約演習 F	2
材料工学情報集約演習 G	2
材料工学情報集約演習 H	2
材料工学情報集約演習 I	2
材料工学情報集約演習 J	2
産学連携インターンシップ	2
産学連携特別講義	2

(異 分 野 科 目)	
応用化学A	1
応用化学B	1
化学工学A	1
化学工学B	1
機械工学A	1
機械工学B	1
水素エネルギーシステムA	1
水素エネルギーシステムB	1
航空宇宙工学A	1
航空宇宙工学B	1
量子物理工学A	1
量子物理工学B	1
船舶海洋工学A	1
船舶海洋工学B	1
地球資源システム工学A	1
地球資源システム工学B	1
土木工学A	1
土木工学B	1

博士後期課程

授 業 科 目	単 位
(講 究 科 目)	
材料工学講究A	4
材料工学講究B	4

材料工学講究 C	4
材料工学講究 D	4
材料工学講究 E	4
材料工学講究 F	4
材料工学講究 G	4
材料工学講究 H	4
材料工学講究 I	4
材料工学講究 J	4
材料工学研究企画演習	4
材料工学指導演習	2
材料工学特別演習	2
材料工学産学連携実習	4
(博 士 共 通 科 目)	
工学研究企画	2

## 別表第2

### 応用化学専攻

#### 一 履修方法

##### 修士課程

次に掲げる高等専門科目、先端科目、能力開発特別科目及び異分野科目についての単位を合わせて30単位以上修得しなければならない。なお、4単位を上限として、大学院基幹教育科目及び他学府が開講する科目を、異分野科目の単位として認定することができる。

- 1 高等専門科目から4単位以上
- 2 先端科目から4単位以上
- 3 能力開発特別科目から8単位以上
- 4 異分野科目から4単位以上

##### 博士後期課程

次に掲げる講究科目及び博士共通科目についての単位を合わせて10単位以上修得しなければならない。なお、指導教員の指導により履修した他学府等の授業科目を、関連授業科目として単位認定し、第8条第3項に基づき課程修了の要件となる単位に充当することができる。

- 1 講究科目から以下を含む4単位以上  
「応用化学研究企画演習」2単位  
機能物質化学コースにおいては「機能物質化学講究A」～「機能物質化学講究L」から選択した2単位、分子生命工学コースにおいては「分子生命工学講究A」～「分子生命工学講究L」から選択した2単位
- 2 博士共通科目の「工学研究企画」2単位

#### 二 授業科目

##### 修士課程

授 業 科 目	単 位
(高 等 専 門 科 目)	
無機固体化学	2
セラミック材料物性学	2
有機反応化学	2
有機機能化学	2
有機固体光電子物性	2
有機光エレクトロニクス	2
高分子合成反応論	2
分子電子構造論	2

分子固体物性論	2
高分子物性学	2
材料物性解析学	2
応用表面化学	2
化学反応制御学	2
ナノ・マイクロ科学	2
応用レーザー工学	2
ナノバイオ電気分析化学	2
分子ラジカル化学	2
小分子の化学	2
分子組織化学	2
ナノ構造分子設計論	2
ナノ構造分析学特論	2
生体分子工学	2
分子細胞生物学	2
(先 端 科 目)	
セラミック工学	2
有機構造化学	2
機能分子材料工学	2
量子材料設計学	2
材料物性化学	2
機能物質工学	2
バイオ分析化学	2
生物無機化学	2

触媒的物質変換化学	2
分子システム化学	2
バイオエンジニアリング特論	2
ナノ物質機能解析学特論	2
細胞操作工学特論	2
再生医工材料学	2
バイオマテリアル工学	2
(能力開発特別科目)	
応用化学情報集約演習	4
応用化学学生セミナー第一	2
応用化学学生セミナー第二	2
応用化学コミュニケーション第一	2
応用化学コミュニケーション第二	2
産学連携特論第一	2
産学連携特論第二	2
産学連携特論第三	2
産学連携特論第四	2
産学連携特論第五	2
産学連携特論第六	2
企業インターンシップ第一	2
企業インターンシップ第二	2
国際連携実習第一	2
国際連携実習第二	2
機能物質化学コロキウム I	2

機能物質化学コロキウムⅡ	2
機能物質化学コロキウムⅢ	2
機能物質化学コロキウムⅣ	2
分子生命工学コロキウムⅠ	2
分子生命工学コロキウムⅡ	2
分子生命工学コロキウムⅢ	2
分子生命工学コロキウムⅣ	2
機能物質化学特論第一	2
機能物質化学特論第二	2
機能物質化学特論第三	2
機能物質化学特論第四	2
機能物質化学特論第五	2
機能物質化学特論第六	2
機能物質化学特論第七	2
機能物質化学特論第八	2
機能物質化学特論第九	2
機能物質化学特論第十	2
機能物質化学特論第十一	2
機能物質化学特論第十二	2
機能物質化学演習第一	2
機能物質化学演習第二	2
機能物質化学演習第三	2
機能物質化学演習第四	2
機能物質化学演習第五	2

機能物質化学演習第六	2
機能物質化学演習第七	2
機能物質化学演習第八	2
機能物質化学演習第九	2
機能物質化学演習第十	2
機能物質化学演習第十一	2
機能物質化学演習第十二	2
分子生命工学特論第一	2
分子生命工学特論第二	2
分子生命工学特論第三	2
分子生命工学特論第四	2
分子生命工学特論第五	2
分子生命工学特論第六	2
分子生命工学特論第七	2
分子生命工学特論第八	2
分子生命工学特論第九	2
分子生命工学特論第十	2
分子生命工学特論第十一	2
分子生命工学特論第十二	2
分子生命工学演習第一	2
分子生命工学演習第二	2
分子生命工学演習第三	2
分子生命工学演習第四	2
分子生命工学演習第五	2



分子生命工学演習第六	2
分子生命工学演習第七	2
分子生命工学演習第八	2
分子生命工学演習第九	2
分子生命工学演習第十	2
分子生命工学演習第十一	2
分子生命工学演習第十二	2
(異 分 野 科 目)	
材料工学A	1
材料工学B	1
化学工学A	1
化学工学B	1
機械工学A	1
機械工学B	1
水素エネルギーシステムA	1
水素エネルギーシステムB	1
航空宇宙工学A	1
航空宇宙工学B	1
量子物理工学A	1
量子物理工学B	1
船舶海洋工学A	1
船舶海洋工学B	1
地球資源システム工学A	1
地球資源システム工学B	1

土木工学A	1
土木工学B	1

博士後期課程

授 業 科 目	単 位
(講 究 科 目)	
応用化学研究企画演習	2
応用化学指導演習	2
応用化学特別演習第一	2
応用化学特別演習第二	2
産学連携実習第一	4
産学連携実習第二	4
産学連携実習第三	4
機能物質化学講究A	4
機能物質化学講究B	4
機能物質化学講究C	4
機能物質化学講究D	4
機能物質化学講究E	4
機能物質化学講究F	4
機能物質化学講究G	4
機能物質化学講究H	4
機能物質化学講究I	4
機能物質化学講究J	4
機能物質化学講究K	4
機能物質化学講究L	4

分子生命工学講究A	4
分子生命工学講究B	4
分子生命工学講究C	4
分子生命工学講究D	4
分子生命工学講究E	4
分子生命工学講究F	4
分子生命工学講究G	4
分子生命工学講究H	4
分子生命工学講究I	4
分子生命工学講究J	4
分子生命工学講究K	4
分子生命工学講究L	4
(博 士 共 通 科 目)	
工学研究企画	2

### 別表第3

#### 化学工学専攻

##### 一 履修方法

###### 修士課程

次に掲げる高等専門科目、先端科目、能力開発特別科目及び異分野科目についての単位を合わせて30単位以上修得しなければならない。なお、4単位を上限として、大学院基幹教育科目及び他学府が開講する科目を異分野科目の単位として認定することができる。

- 1 高等専門科目から6単位以上
- 2 先端科目から4単位以上
- 3 能力開発特別科目から4単位以上
- 4 異分野科目から4単位以上

###### 博士後期課程

次に掲げる講究科目及び博士共通科目についての単位を合わせて10単位以上修得しなければならない。なお、指導教員の指導により履修した他学府等の授業科目を関連授業科目として単位認定し、第8条第3項に基づき課程修了の要件となる単位に充当することができる。

- 1 講究科目から、「化学工学講究A」～「化学工学講究I」から選択した4単位を含む8単位以上
- 2 博士共通科目の「工学研究企画」2単位

##### 二 授業科目

###### 修士課程

授 業 科 目	単 位
(高 等 専 門 科 目)	
熱移動工学特論	2
物理化学特論	2
生物プロセス工学特論A	1
生物プロセス工学特論B	1
プロセスシステム工学特論	2
レオロジー工学	2
生体模倣機能材料工学	2
反応工学特論	2
化工流体工学特論	2
物質移動工学特論	2

(先 端 科 目)	
生体由来材料工学	2
高分子プロセス工学	2
環境流体輸送現象論	2
電気化学システム工学	2
燃焼システム工学	2
省エネルギー工学	2
生命材料工学	2
細胞・組織工学A	1
細胞・組織工学B	1
機能表面化学	2
化学工学先端技術特論	2
(能 力 開 発 特 別 科 目)	
化学工学コミュニケーションI	2
化学工学学生セミナー I	2
化学工学コミュニケーションII	2
化学工学学生セミナー II	2
化学工学情報集約演習	2
化学工学インターンシップ	2
(異 分 野 科 目)	
材料工学A	1
材料工学B	1
応用化学A	1
応用化学B	1

機械工学A	1
機械工学B	1
水素エネルギーシステムA	1
水素エネルギーシステムB	1
航空宇宙工学A	1
航空宇宙工学B	1
量子物理工学A	1
量子物理工学B	1
船舶海洋工学A	1
船舶海洋工学B	1
地球資源システム工学A	1
地球資源システム工学B	1
土木工学A	1
土木工学B	1

博士後期課程

授 業 科 目	単 位
(講 究 科 目)	
化学工学講究A	4
化学工学講究B	4
化学工学講究C	4
化学工学講究D	4
化学工学講究E	4
化学工学講究F	4
化学工学講究G	4

化学工学講究H	4
化学工学講究I	4
化学工学研究企画演習	4
化学工学特別演習第一	2
化学工学特別演習第二	2
(博 士 共 通 科 目)	
工学研究企画	2

## 別表第4

### 機械工学専攻

#### 一 履修方法

##### 修士課程

次に掲げる高等専門科目、先端科目、能力開発特別科目及び異分野科目についての単位を合わせて30単位以上修得しなければならない。なお、4単位を上限として、大学院基幹教育科目及び他学府が開講する科目を、異分野科目の単位として認定することができる。

- 1 高等専門科目から、7分野の選択必修科目のうち少なくとも6分野から各1科目ずつ、12単位以上
- 2 先端科目から4単位以上
- 3 能力開発特別科目から2単位以上
- 4 異分野科目から4単位以上

##### 博士後期課程

次に掲げる講究科目、博士共通科目及びその他の関連授業科目（指導教員の指導により履修した他学府等の授業科目）についての単位を合わせて10単位以上修得しなければならない。なお、指導教員の指導により履修した他学府等の授業科目を、関連授業科目として単位認定し、第8条第3項に基づき課程修了の要件となる単位に充当することができる。

- 1 講究科目から4単位以上
- 2 博士共通科目の「工学研究企画」2単位

#### 二 授業科目

##### 修士課程

授 業 科 目	単 位
(高 等 専 門 科 目)	
Reactive Gas Dynamics (反応性ガス力学) 【分野2】	2
Mechanical Vibration and Acoustics (振動音響工学) 【分野4】	2
Computational Intelligence (計算知能) 【分野5】	2
Robotics (ロボット工学) 【分野5】	2
Heat and Mass Transfer (熱物質移動論) 【分野7】	2
構造材料評価学【分野1】	2
設計工学特論【分野1】	2
二相流動現象学【分野2】	2



流体物理【分野3】	2
応用流体力学【分野3】	2
流体工学演習	1
機械振動学特論【分野4】	2
材料加工学【分野6】	2
精密加工学【分野6】	2
生体機械工学【分野7】	2
構造材料評価学【分野1】	2
(先端科目)	
Theory of Plasticity (塑性変形論)	2
Gas Dynamics (気体力学)	2
材料強度学	2
燃焼工学特論	2
先端熱工学特論	2
エンジンシステム	2
内部流れ学	2
能動音響制御	2
構造動力学特論	2
知的システム工学	2
加工プロセス演習	1
生体工学特論	2

ソフトマター工学	2
Fracture Mechanics (破壊力学)	2
(能力開発特別科目)	
Seminar in Mechanical Engineering I (機械工学セミナー I)	1
Seminar in Mechanical Engineering II (機械工学セミナー II)	1
Mechanical Engineering Internship I (機械工学インターンシップ I)	1
Mechanical Engineering Internship II (機械工学インターンシップ II)	1
Communication for Mechanical Engineer I (機械工学コミュニケーション I)	1
Communication for Mechanical Engineer II (機械工学コミュニケーション II)	1
Investigation on Mechanical Engineering (機械工学情報集約)	2
(異分野科目)	
材料工学A	1
材料工学B	1
応用化学A	1
応用化学B	1
化学工学A	1
化学工学B	1
水素エネルギーシステムA	1
水素エネルギーシステムB	1
航空宇宙工学A	1
航空宇宙工学B	1

量子物理工学 A	1
量子物理工学 B	1
船舶海洋工学 A	1
船舶海洋工学 B	1
地球資源システム工学 A	1
地球資源システム工学 B	1
土木工学 A	1
土木工学 B	1

博士後期課程

授 業 科 目	単 位
(講 究 科 目)	
Advanced Material Strength (材料力学講究)	4
Advanced Design Engineering (設計工学講究)	4
Advanced Thermal Engineering (熱工学講究)	4
Advanced Fluids Engineering (流体工学講究)	4
Advanced Dynamics of Machinery (機械力学講究)	4
Advanced Control Systems (制御システム講究)	4
Advanced Manufacturing Process (加工プロセス講究)	4
Advanced Biomechanical and Biothermal Engineering (生体工学講究)	4
Seminar in Material Strength (材料力学セミナー)	2
Seminar in Design Engineering (設計工学セミナー)	2
Seminar in Thermal Engineering (熱工学セミナー)	2

Seminar in Fluids Engineering (流体工学セミナー)	2
Seminar in Dynamics of Machinery (機械力学セミナー)	2
Seminar in Control Systems (制御システムセミナー)	2
Seminar in Manufacturing Process (加工プロセスセミナー)	2
Seminar in Biomechanical and Biothermal Engineering (生体工学セミナー)	2
Mechanical Engineering Research Planning (機械工学研究企画演習)	2
Internship (機械工学インターンシップ)	4
International Internship (機械工学国際インターンシップ)	4
Communication for Mechanical Engineers (機械工学コミュニケーション)	2
Teaching Practice on Mechanical Engineering (機械工学指導演習)	1
(博 士 共 通 科 目)	
工学研究企画	2

## 別表第5

### 水素エネルギーシステム専攻

#### 一 履修方法

##### 修士課程

次に掲げる高等専門科目、先端科目、能力開発特別科目及び異分野科目についての単位を合わせて30単位以上修得しなければならない。なお、4単位を上限として、大学院基幹教育科目及び他学府が開講する科目を、異分野科目の単位として認定することができる。

- 1 高等専門科目から、7分野の選択必修科目のうち少なくとも6分野から各1科目ずつ、12単位以上（「水素工学概論」及び「高圧ガス安全工学」を含む。）
- 2 先端科目から4単位以上
- 3 能力開発特別科目から2単位以上
- 4 異分野科目から4単位以上

##### 博士後期課程

次に掲げる講究科目、博士共通科目及びその他の関連授業科目（指導教員の指導により履修した他学府等の授業科目）についての単位を合わせて10単位以上修得しなければならない。なお、指導教員の指導により履修した他学府等の授業科目を、関連授業科目として単位認定し、第8条第3項に基づき課程修了の要件となる単位に充当することができる。

- 1 講究科目から4単位以上
- 2 博士共通科目の「工学研究企画」2単位

#### 二 授業科目

##### 修士課程

授 業 科 目	単 位
（高 等 専 門 科 目）	
水素工学概論	2
高圧ガス安全工学	2
Hydrogen Energy Engineering（水素エネルギー工学）	2
Clean Energy Technologies（クリーンエネルギー技術特論）	2
Tribology（トライボロジー）	2
Heat and Mass Transfer（熱物質移動論）	2
Reactive Gas Dynamics（反応性ガス力学）	2
Mechanical Vibration and Acoustics（振動音響工学）	2
Computational Intelligence（計算知能）	2

Fuel Cell Engineering (燃料電池工学)	2
水素工学概論	2
水素製造システム	2
水素貯蔵システム	2
水素利用プロセス	2
水素利用システム	2
水素エネルギー社会システム	2
高圧ガス安全工学	2
流体物理	2
(先 端 科 目)	
Advanced Energy Engineering I (先端エネルギー特論Ⅰ)	2
Advanced Energy Engineering II (先端エネルギー特論Ⅱ)	2
水素エネルギー構造材料学	2
水素エネルギー機能材料学	2
水素エネルギー電気化学	2
燃料電池システム	2
トライボロジー特論	2
先端熱工学特論	2
エネルギー政策論	2
技術マネジメント	2
ソフトマター工学	2
Fracture Mechanics (破壊力学)	2
材料強度学	2

(能 力 開 発 特 別 科 目)	
Seminar on Hydrogen Engineering I (水素工学セミナー I)	1
Seminar on Hydrogen Engineering II (水素工学セミナー II)	1
Internship for Hydrogen Engineering I (水素工学インターンシップ I)	1
Internship for Hydrogen Engineering II (水素工学インターンシップ II)	2
Communication for Hydrogen Engineer I (水素工学コミュニケーション I)	1
Communication for Hydrogen Engineer II (水素工学コミュニケーション II)	1
Investigation Study on Hydrogen Engineering (水素工学情報集約)	2
(異 分 野 科 目)	
材料工学A	1
材料工学B	1
応用化学A	1
応用化学B	1
化学工学A	1
化学工学B	1
機械工学A	1
機械工学B	1
航空宇宙工学A	1
航空宇宙工学B	1
量子物理工学A	1
量子物理工学B	1
船舶海洋工学A	1
船舶海洋工学B	1

地球資源システム工学A	1
地球資源システム工学B	1
土木工学A	1
土木工学B	1



別表第 6

航空宇宙工学専攻

一 履修方法

修士課程

次に掲げる高等専門科目、先端科目、能力開発特別科目及び異分野科目についての単位を合わせて30単位以上修得しなければならない。なお、4単位を上限として、大学院基幹教育科目及び他学府が開講する科目を、異分野科目の単位として認定することができる。

- 1 高等専門科目及び先端科目から20単位以上
- 2 能力開発特別科目から4単位以上
- 3 異分野科目から4単位以上

博士後期課程

次に掲げる講究科目、博士共通科目及びその他の関連授業科目（指導教員の指導により履修した他学府等の授業科目）についての単位を合わせて10単位以上修得しなければならない。なお、指導教員の指導により履修した他学府等の授業科目を、関連授業科目として単位認定し、第8条第3項に基づき課程修了の要件となる単位に充当することができる。

- 1 講究科目から4単位以上
- 2 博士共通科目の「工学研究企画」2単位

二 授業科目

修士課程

授 業 科 目	単 位
(高 等 専 門 科 目)	
推進工学特論Ⅰ	2
推進工学特論Ⅱ	2
気体力学特論	2
高速空気力学	2
熱物理学	2
空力弾性学	2
ロケット設計論	2
熱弾性解析	2
数値構造力学	2
複合材料力学	2

誘導制御特論Ⅰ	2
誘導制御特論Ⅱ	2
応用飛行力学	2
特殊航空機力学	2
宇宙機動力学	2
軌道摂動論	2
宇宙往還機工学	2
再突入力学	2
航空機設計特論	2
宇宙利用システム工学	2
宇宙環境工学	2
大気流体力学	2
大気境界層気象学	2
材料損傷学	2
ナノ構造解析学	2
機能材料工学	2
電気エネルギー変換工学	2
(先 端 科 目)	
反応性気体力学	2
応用流体力学	2
極限エネルギー工学	2
マイクロ流動物理学	2
非定常空気力学	2
最適構造システム学	2

機器学特論	2
航空機空力性能特論	2
宇宙機計装工学	2
宇宙ミッションの解析・設計	2
宇宙輸送経済論	2
大気モデリング学	2
耐熱材料強度学	2
衝撃工学	2
(能力開発特別科目)	
航空宇宙工学プロジェクト研究	1
航空宇宙工学演習Ⅰ	2
航空宇宙工学演習Ⅱ	2
航空宇宙工学実験	2
推進工学特別講義	1
流体力学特別講義	1
熱物理学特別講義	1
強度振動学特別講義	1
軽構造システム工学特別講義	1
誘導制御特別講義	1
飛行力学特別講義	1
宇宙航行システム工学特別講義	1
宇宙輸送システム工学特別講義	1
宇宙利用システム工学特別講義	1
大気流体工学特別講義	1

複合連続体力学特別講義	1
機能材料工学特別講義	1
宇宙航空研究開発特別講義	1
航空宇宙工学インターンシップⅠ	1
航空宇宙工学インターンシップⅡ	1
(異 分 野 科 目)	
材料工学A	1
材料工学B	1
応用化学A	1
応用化学B	1
化学工学A	1
化学工学B	1
機械工学A	1
機械工学B	1
水素エネルギーシステムA	1
水素エネルギーシステムB	1
量子物理工学A	1
量子物理工学B	1
船舶海洋工学A	1
船舶海洋工学B	1
地球資源システム工学A	1
地球資源システム工学B	1
土木工学A	1

土木工学B	1
-------	---

博士後期課程

授 業 科 目	単 位
(講 究 科 目)	
推進工学講究	4
流体力学講究	4
熱物理学講究	4
強度振動学講究	4
軽構造システム工学講究	4
誘導制御講究	4
飛行力学講究	4
宇宙システム工学講究	4
宇宙輸送システム工学講究	4
軌道上システム工学講究	4
大気流体工学講究	4
航空宇宙材料強度学講究	4
航空宇宙構造動力学講究	4
航空宇宙工学プロジェクトA	2
航空宇宙工学プロジェクトB	2
(博 士 共 通 科 目)	
工学研究企画	2

別表第 7

量子物理工学専攻

一 履修方法

修士課程

次に掲げる高等専門科目、先端科目、能力開発特別科目及び異分野科目についての単位を合わせて30単位以上修得しなければならない。なお、4単位を上限として、大学院基幹教育科目及び他学府が開講する科目を、異分野科目の単位として認定することができる。

- 1 高等専門科目から6単位以上
- 2 先端科目から6単位以上
- 3 能力開発特別科目から8単位以上
- 4 異分野科目から4単位以上

博士後期課程

次に掲げる講究科目、博士共通科目及びその他の関連授業科目（指導教員の指導により履修した他学府等の授業科目）についての単位を合わせて10単位以上修得しなければならない。なお、指導教員の指導により履修した他学府等の授業科目を、関連授業科目として単位認定し、第8条第3項に基づき課程修了の要件となる単位に充当することができる。

- 1 講究科目から4単位以上
- 2 博士共通科目の「工学研究企画」2単位

二 授業科目

修士課程

授 業 科 目	単 位
(高 等 専 門 科 目)	
素粒子原子核概論	1
放射線情報分析学	2
原子炉システム工学Ⅰ	1
原子炉システム工学Ⅱ	1
核融合プラズマ核燃焼学	2
核燃料工学展望Ⅰ	1
核燃料工学展望Ⅱ	1
不定比材料工学	2
応用結晶学Ⅰ	1
応用結晶学Ⅱ	1

放射線計測学Ⅰ	1
放射線計測学Ⅱ	1
有機物理工学Ⅰ	1
有機物理工学Ⅱ	1
固体電子論Ⅰ	1
固体電子論Ⅱ	1
量子物理学	2
中性子工学基礎実験	2
放射線数値シミュレーション	1
原子核エネルギー変換基礎	2
(先 端 科 目)	
原子核反応論	2
加速器工学	2
量子線医学物理学	2
核融合プラズマ科学	2
原子炉物理学特論および実験	2
核燃料サイクル工学	2
量子線材料物性学	2
量子線構造解析学	2
量子線安全工学	2
気液二相流特論	2
混相流計算科学	1
複雑系科学	2
超分子科学	2

統計物理学	2
応用物性論	2
(能力開発特別科目)	
量子ビーム科学	2
原子力安全工学	2
材料科学実験	2
核燃料サイクル実験	1
有機物性工学	2
物性実験物理学	2
量子線医療応用	1
科学技術コミュニケーション	1
エネルギー量子工学基礎	1
エネルギー量子工学特別演習	2
原子核・量子線工学特別講義Ⅰ	1
原子核・量子線工学特別講義Ⅱ	1
原子核・量子線工学特別講義Ⅲ	1
原子核・量子線工学特別講義Ⅳ	1
核エネルギーシステム学特別講義Ⅰ	1
核エネルギーシステム学特別講義Ⅱ	1
核エネルギーシステム学特別講義Ⅲ	1
核エネルギーシステム学特別講義Ⅳ	1
応用物理学特別講義Ⅰ	1
応用物理学特別講義Ⅱ	1
応用物理学特別講義Ⅲ	1



応用物理学特別講義Ⅳ	1
エネルギー物質科学特別講義Ⅰ	1
エネルギー物質科学特別講義Ⅱ	1
エネルギー物質科学特別講義Ⅲ	1
エネルギー物質科学特別講義Ⅳ	1
原子力数値シミュレーション	1
原子核・量子線工学研究計画演習A	2
原子核・量子線工学研究計画演習B	2
核エネルギーシステム学研究計画演習A	2
核エネルギーシステム学研究計画演習B	2
核エネルギーシステム学研究計画演習C	2
エネルギー物質科学研究計画演習A	2
エネルギー物質科学研究計画演習B	2
エネルギー物質科学研究計画演習C	2
応用物理学研究計画演習A	2
応用物理学研究計画演習B	2
応用物理学研究計画演習C	2
産学連携演習Ⅰ	1
産学連携演習Ⅱ	1
産学連携演習Ⅲ	1
応用科学基礎セミナー	1
原子核・量子線工学実験A	2
原子核・量子線工学実験B	2
核エネルギーシステム学実験A	2

核エネルギーシステム学実験B	2
核エネルギーシステム学実験C	2
エネルギー物質科学実験A	2
エネルギー物質科学実験B	2
エネルギー物質科学実験C	2
応用物理学実験A	2
応用物理学実験B	2
応用物理学実験C	2
原子核・量子線工学発表演習A	2
原子核・量子線工学発表演習B	2
核エネルギーシステム学発表演習A	2
核エネルギーシステム学発表演習B	2
核エネルギーシステム学発表演習C	2
エネルギー物質科学発表演習A	2
エネルギー物質科学発表演習B	2
エネルギー物質科学発表演習C	2
応用物理学発表演習A	2
応用物理学発表演習B	2
応用物理学発表演習C	2
(異 分 野 科 目)	
材料工学A	1
材料工学B	1
応用化学A	1
応用化学B	1

化学工学A	1
化学工学B	1
機械工学A	1
機械工学B	1
水素エネルギーシステムA	1
水素エネルギーシステムB	1
航空宇宙工学A	1
航空宇宙工学B	1
船舶海洋工学A	1
船舶海洋工学B	1
地球資源システム工学A	1
地球資源システム工学B	1
土木工学A	1
土木工学B	1

博士後期課程

授 業 科 目	単 位
(講 究 科 目)	
核エネルギーシステム学講究A	4
核エネルギーシステム学講究B	4
核エネルギーシステム学講究C	4
エネルギー物質科学講究A	4
エネルギー物質科学講究B	4
エネルギー物質科学講究C	4
原子核・量子線工学講究A	4

原子核・量子線工学講究B	4
応用物理学講究A	4
応用物理学講究B	4
応用物理学講究C	4
産学連携実習	4
エネルギー量子工学研究企画演習	2
エネルギー量子工学指導演習	2
エネルギー量子工学特論	2
(博士 共 通 科 目)	
工学研究企画	2

別表第 8

船舶海洋工学専攻

一 履修方法

修士課程

次に掲げる高等専門科目、先端科目、能力開発特別科目及び異分野科目についての単位を合わせて 30 単位以上修得しなければならない。なお、4 単位を上限として、大学院基幹教育科目及び他学府が開講する科目を、異分野科目の単位として認定することができる。

- 1 高等専門科目から 6 単位以上
- 2 先端科目から 6 単位以上
- 3 能力開発特別科目から 2 単位以上
- 4 異分野科目から 4 単位以上

博士後期課程

次に掲げる講究科目、博士共通科目及びその他の関連授業科目（指導教員の指導により履修した他学府等の授業科目）についての単位を合わせて 10 単位以上修得しなければならない。なお、指導教員の指導により履修した他学府等の授業科目を、関連授業科目として単位認定し、第 8 条第 3 項に基づき課程修了の要件となる単位に充当することができる。

- 1 講究科目から 4 単位以上
- 2 博士共通科目の「工学研究企画」 2 単位

二 授業科目

修士課程

授 業 科 目	単 位
(高 等 専 門 科 目)	
溶接設計第一	2
溶接設計第二	2
連続体力学	2
応用数学	2
海洋浮体工学特論	2
船舶運動特論第一	2
船舶基本設計特論	2
船舶抵抗推進特論第一	2
船舶海洋流体力学特論	2
船舶海洋構造力学特論	2

海洋構造工学	2
艤装設計工学	2
国際海洋開発連携講義第一	4
(先 端 科 目)	
破壊管理工学特論	2
数値構造解析学特論	2
応用リスク解析学	2
船舶運動特論第二	2
システム最適化特論	2
制御工学特論	2
船舶抵抗推進特論第二	2
船舶抵抗推進特論第三	2
船舶コンピュータ支援設計製図	2
船舶海洋振動学特論	2
船舶海洋計測工学	2
船舶海洋情報学	2
荷重評価学	2
船舶用エンジン工学特論	2
国際プロジェクトマネジメント	2
交通・輸送システム工学	2
国際海洋開発連携講義第二	4
(能 力 開 発 特 別 科 目)	
船舶海洋工学特論第一	2
船舶海洋工学特論第二	2

船舶海洋工学特論第三	2
船舶海洋工学演習第一	2
船舶海洋工学演習第二	2
船舶海洋工学演習第三	2
地球環境工学研究企画	2
船舶海洋工学産学連携演習第一	1
船舶海洋工学産学連携演習第二	1
産学連携研究	2
国際海洋開発フィールド演習	2
(異 分 野 科 目)	
材料工学A	1
材料工学B	1
応用化学A	1
応用化学B	1
化学工学A	1
化学工学B	1
機械工学A	1
機械工学B	1
水素エネルギーシステムA	1
水素エネルギーシステムB	1
航空宇宙工学A	1
航空宇宙工学B	1
量子物理工学A	1
量子物理工学B	1

地球資源システム工学A	1
地球資源システム工学B	1
土木工学A	1
土木工学B	1

博士後期課程

授 業 科 目	単 位
(講 究 科 目)	
沿岸海洋工学講究A	4
沿岸海洋工学講究B	4
船舶海洋性能工学講究A	4
船舶海洋性能工学講究B	4
船舶海洋性能工学講究C	4
船舶海洋構造工学講究A	4
船舶海洋構造工学講究B	4
地球環境工学研究企画演習	4
地球環境工学指導演習	2
地球環境工学特別演習	2
産学連携実習	4
(博 士 共 通 科 目)	
工学研究企画	2



別表第9

地球資源システム工学専攻

一 履修方法

修士課程

次に掲げる高等専門科目、先端科目、能力開発特別科目及び異分野科目についての単位を合わせて30単位以上修得しなければならない。なお、4単位を上限として、大学院基幹教育科目及び他学府が開講する科目を、異分野科目の単位として認定することができる。

- 1 高等専門科目から6単位以上
- 2 先端科目から6単位以上
- 3 能力開発特別科目から2単位以上
- 4 異分野科目から4単位以上

博士後期課程

次に掲げる講究科目、博士共通科目及びその他の関連授業科目（指導教員の指導により履修した他学府等の授業科目）についての単位を合わせて10単位以上修得しなければならない。なお、指導教員の指導により履修した他学府等の授業科目を、関連授業科目として単位認定し、第8条第3項に基づき課程修了の要件となる単位に充当することができる。

- 1 講究科目から4単位以上
- 2 博士共通科目の「工学研究企画」2単位

二 授業科目

修士課程

授 業 科 目	単 位
(高 等 専 門 科 目)	
溶接設計第一	2
溶接設計第二	2
地震工学特論	2
空間情報学	2
連続体力学	2
応用数学	2
海洋浮体工学特論	2
船舶基本設計特論	2
船舶海洋構造力学特論	2
海洋構造工学	2

資源地質学第一	2
鉱物工学実験第一	1
鉱物工学実験第二	1
地球情報学第一	2
地球情報学実験第一	1
地球情報学実験第二	1
地球熱学特論	2
地熱工学特論実験第一	1
地熱工学特論実験第二	1
資源開発工学特論	2
資源開発工学特論実験	1
資源生産システム学実験	1
岩盤工学特論第一	2
岩盤工学特論実験第一	1
岩盤工学特論実験第二	1
資源処理・環境修復工学特論第一	2
資源処理・環境修復工学特論実験第一	1
資源処理・環境修復工学特論実験第二	1
エネルギー資源工学特論	2
エネルギー資源工学特論実験第一	1
エネルギー資源工学特論実験第二	1
研究計画法	2
プレゼンテーションデザイン	2
合意形成論演習	2

数値解析学	2
野外調査法	2
プレゼンテーション演習	2
都市工学・経済学	2
艦装設計工学	2
船舶運動特論第一	2
船舶抵抗推進特論第一	2
船舶海洋流体力学特論	2
実践データ解析学	2
(先 端 科 目)	
破壊管理工学特論	2
地盤環境システム工学	2
社会基盤財政論	2
実践景観デザイン論	2
数値構造解析学特論	2
廃棄物資源循環学	2
環境水理学	2
沿岸・海洋工学特論	2
システム最適化特論	2
制御工学特論	2
船舶海洋振動学特論	2
船舶海洋計測工学	2
船舶海洋情報学	2
船舶用エンジン工学特論	2

荷重評価学	2
資源地質学第二	2
鉱物工学	2
地球情報学第二	2
地球情報学第三	2
地熱工学特論	2
地熱系モデリング	2
環境安全特論	2
資源生産システム学	2
岩盤工学特論第二	2
開発機械システム工学特論	2
資源処理・環境修復工学特論第二	2
資源処理・環境修復工学特論第三	2
石油貯留層工学	2
物質移動工学特論	2
地球システム工学特別講義第一	1
地球システム工学特別講義第二	1
地球システム工学特別講義第三	1
応用リスク解析学	2
地球資源システム工学基礎第一	2
地球資源システム工学基礎第二	2
国際プロジェクトマネジメント	2
免震制振工学	2
水質変換工学	2

コンクリート工学特論	2
構造解析学特論	2
地盤解析学	2
建設基礎対策学	2
災害リスク学	2
防災地盤学	2
地盤材料力学	2
都市総合交通計画	2
鋼構造特論	2
河川工学特論	2
応用生態工学	2
環境計画論	2
地下水環境システム論	2
交通・輸送システム工学	2
国土開発・災害リスクマネジメント	2
船舶運動特論第二	2
船舶抵抗推進特論第二	2
船舶抵抗推進特論第三	2
船舶コンピュータ支援設計製図	2
(能力開発特別科目)	
建設システム工学演習第一	2
建設システム工学演習第二	2
建設システム工学演習第三	2
建設システム工学演習第四	2

都市環境システム工学演習第一	2
都市環境システム工学演習第二	2
都市環境システム工学演習第三	2
都市環境システム工学演習第四	2
海洋システム工学演習第一	2
海洋システム工学演習第二	2
海洋システム工学演習第三	2
地球資源システム工学演習第一	2
地球資源システム工学演習第二	2
地球資源システム工学演習第三	2
地球工学国際連携特論	2
エネルギー資源工学国際連携特論	2
地球環境工学研究企画	2
地球資源システム工学国際連携演習	2
建設システム工学特論第一	2
建設システム工学特論第二	2
建設システム工学特論第三	2
建設システム工学特論第四	2
都市環境システム工学特論第一	2
都市環境システム工学特論第二	2
都市環境システム工学特論第三	2
都市環境システム工学特論第四	2
海洋システム工学特論第一	2
海洋システム工学特論第二	2

海洋システム工学特論第三	2
地球資源システム工学特論第一	2
地球資源システム工学特論第二	2
地球資源システム工学特論第三	2
課題解決セミナー第一	2
課題解決セミナー第二	2
実践維持管理工学	2
環境学実習	2
産学連携研究	2
海洋システム工学産学連携演習第一	1
海洋システム工学産学連携演習第二	1
(異 分 野 科 目)	
材料工学A	1
材料工学B	1
応用化学A	1
応用化学B	1
化学工学A	1
化学工学B	1
機械工学A	1
機械工学B	1
水素エネルギーシステムA	1
水素エネルギーシステムB	1
航空宇宙工学A	1
航空宇宙工学B	1

量子物理工学A	1
量子物理工学B	1
船舶海洋工学A	1
船舶海洋工学B	1
土木工学A	1
土木工学B	1

博士後期課程

授 業 科 目	単 位
(講 究 科 目)	
地球システム科学	4
地球情報工学	4
地球熱システム学	4
資源開発システム工学	4
岩盤・開発機械システム工学	4
資源処理・環境修復システム工学	4
エネルギー資源工学	4
地球資源システム工学研究企画	2
地球環境工学指導演習	2
地球環境工学特別演習	2
産学連携実習	4
(博 士 共 通 科 目)	
工学研究企画	2



別表第 10

共同資源工学専攻

一 履修方法

次に掲げる単位を合わせて30単位以上修得しなければならない。当該専攻以外の授業科目を修得した場合は、専門科目Bとして取り扱う。共通科目の選択科目は、専門科目Bに振り替えることができる。

- 1 共通科目から6単位以上
- 2 九州大学が開講する専門科目A及び専門科目Bから12単位以上
- 3 北海道大学が開講する専門科目Aから10単位以上
- 4 「共同資源工学特別演習」2単位

二 授業科目

授 業 科 目		単 位
(共 通 科 目)	資源マネジメントⅠ	2
	資源マネジメントⅡ	1
	国際人材交流セミナー	2
	国際フィールド調査	2
	共同資源工学特別講義Ⅰ	1
	共同資源工学特別講義Ⅱ	1
	共同資源工学特別講義Ⅲ	1
(専 門 科 目 A)	環境地質学Ⅱ	2
	金属製錬工学	2
	選鉱・リサイクル工学	2
	資源サステナビリティ	2
	資源生物工学	2
	地下水保全工学	2
	資源システム特別講義Ⅰ	2
	鉱床学	2
	地球熱学概論	2
	資源開発工学	2

	資源採掘システム工学	2
	地球環境修復工学	2
	石油貯留層工学	2
	資源システム特別講義II	2
	資源生産システム	2
	海洋探査工学	2
（ 専 門 科 目 B ）	資源情報処理	2
	地圏計測工学	2
	環境地質学 I	2
	環境プロセス鉱物学	2
	連続体・不連続体力学	2
	岩盤力学	2
	資源地質学	2
	地熱システム学	2
	エンジニアリング経済学	2
	固体資源採掘法	2
	資源分離精製工学	2
	地熱生産工学	2
物理探査工学	2	
共同資源工学特別演習		2

## 別表第 1 1

### 土木工学専攻

#### 一 履修方法

##### 修士課程

次に掲げる高等専門科目、先端科目、能力開発特別科目及び異分野科目についての単位を合わせて30単位以上修得しなければならない。なお、4単位を上限として、大学院基幹教育科目及び他学府が開講する科目を、異分野科目の単位として認定することができる。

- 1 高等専門科目から6単位以上
- 2 先端科目から6単位以上
- 3 能力開発特別科目から6単位以上
- 4 異分野科目から4単位以上

##### 博士後期課程

次に掲げる講究科目、博士共通科目及びその他の関連授業科目（指導教員の指導により履修した他学府等の授業科目）についての単位を合わせて10単位以上修得しなければならない。なお、指導教員の指導により履修した他学府等の授業科目を関連授業科目として単位認定し、第8条第3項に基づき課程修了の要件となる単位に充当することができる。

- 1 講究科目から、以下を含む4単位以上

社会基盤工学コースにおいては「建設材料工学講究A」、「建設材料工学講究B」、「建設設計工学講究A」、「建設設計工学講究B」、「防災地盤工学講究A」、「防災地盤工学講究B」、及び「環境地盤工学講究」から選択した4単位、都市環境工学コースにおいては「都市システム計画学講究A」、「都市システム計画学講究B」、「環境デザイン工学講究A」、「都市環境工学講究A」、「都市環境工学講究B」、「環境システム工学講究A」、「環境水理学講究」、及び「沿岸海洋工学講究」から選択した4単位

- 2 博士共通科目の「工学研究企画」2単位

#### 二 授業科目

##### 修士課程

授 業 科 目	単 位
(高 等 専 門 科 目)	
実践データ解析学	2
野外調査法	2
研究計画法	2
数値解析学	2
空間情報学	2
地震工学特論	2
都市工学・経済学	2

(先 端 科 目)	
構造解析学特論	2
免震制振工学	2
コンクリート工学特論	2
鋼構造特論	2
地盤材料力学	2
建設基礎対策学	2
災害リスク学	2
地盤解析学	2
防災地盤学	2
河川工学特論	2
環境水理学	2
沿岸・海洋工学特論	2
都市総合交通計画	2
実践景観デザイン論	2
社会基盤財政論	2
廃棄物資源循環学	2
環境計画論	2
水質変換工学	2
国土開発・災害リスクマネジメント	2
地下水環境システム論	2
応用生態工学	2
地盤環境システム工学	2
(能 力 開 発 特 別 科 目)	

課題解決セミナーA	2
課題解決セミナーB	2
プレゼンテーション演習	2
プレゼンテーションデザイン	2
合意形成論演習	2
環境学実習	2
実践維持管理工学	2
産学連携研究	2
社会基盤工学特論第一	2
社会基盤工学特論第二	2
社会基盤工学特論第三	2
社会基盤工学特論第四	2
社会基盤工学演習第一	2
社会基盤工学演習第二	2
社会基盤工学演習第三	2
社会基盤工学演習第四	2
都市環境工学特論第一	2
都市環境工学特論第二	2
都市環境工学特論第三	2
都市環境工学特論第四	2
都市環境工学特論第五	2
都市環境工学演習第一	2
都市環境工学演習第二	2
都市環境工学演習第三	2

都市環境工学演習第四	2
都市環境工学演習第五	2
(異 分 野 科 目)	
材料工学A	1
材料工学B	1
応用化学A	1
応用化学B	1
化学工学A	1
化学工学B	1
機械工学A	1
機械工学B	1
水素エネルギーシステムA	1
水素エネルギーシステムB	1
航空宇宙工学A	1
航空宇宙工学B	1
量子物理工学A	1
量子物理工学B	1
船舶海洋工学A	1
船舶海洋工学B	1
地球資源システム工学A	1
地球資源システム工学B	1

博士後期課程

授 業 科 目	単 位
(講 究 科 目)	

建設材料工学講究A	4
建設材料工学講究B	4
建設設計工学講究A	4
建設設計工学講究B	4
防災地盤工学講究A	4
防災地盤工学講究B	4
環境地盤工学講究	4
都市システム計画学講究A	4
都市システム計画学講究B	4
環境デザイン工学講究A	4
都市環境工学講究A	4
都市環境工学講究B	4
環境システム工学講究A	4
環境水理学講究	4
沿岸海洋工学講究	4
土木工学研究企画演習	4
土木工学指導演習	2
土木工学特別演習	2
産学連携実習	4
(博士共通科目)	
工学研究企画	2

別表第 1 2

一 履修方法

修士課程

コースごとに、次に掲げる高等専門科目、先端科目、能力開発特別科目及びその他の関連授業科目から、下表に定める条件を満たして 30 単位以上修得しなければならない。

各コースが属する修士課程において英語で開講する授業科目をコース授業科目といい、その他の授業科目で指導教員が指定する授業科目（外国人留学生に共通の授業科目を含む。）を関連授業科目という。

コ ー ス	コース授業科目と関連授業科目の単位
材料工学グローバルコース	1 高等専門科目から 4 単位以上 2 先端科目から 2 単位以上 3 能力開発特別科目から 4 単位以上
応用化学グローバルコース	1 高等専門科目の「Exercises in Reference Search (物質科学情報集約演習)」、「Communication Training in Materials Science I (物質科学コミュニケーション第一)」及び「Student Seminar in Materials Science I (物質科学セミナー第一)」のうちから選択した 4 単位以上 2 先端科目から 2 単位以上 3 能力開発特別科目から 4 単位以上
化学工学グローバルコース	1 高等専門科目から 4 単位以上 2 先端科目から 2 単位以上 3 能力開発特別科目から 4 単位以上
機械工学グローバルコース	1 高等専門科目及び先端科目の 7 分野のうち少なくとも 5 分野から各 1 科目ずつ、10 単位以上 2 能力開発特別科目から 6 単位以上
水素エネルギーシステムグローバルコース	1 高等専門科目から 10 単位以上 2 先端科目から 2 単位以上 3 能力開発特別科目から 2 単位以上 4 外国人留学生に共通の授業科目の「Advanced Japanese Industries (日本産業特論)」、「Advanced Engineering Analysis and Measurement I (工学解析・計測特論第一)」及び「Advanced Engineering Analysis and Measurement II (工学解析・計測特論第二)」のうちから選択した 2 単位以上
航空宇宙工学グローバルコース	1 高等専門科目及び先端科目から 16 単位以上 2 能力開発特別科目から 4 単位以上



量子物理工学グローバルコース	1 高等専門科目から6単位以上 2 先端科目から6単位以上 3 能力開発特別科目から4単位以上
船舶海洋工学グローバルコース 土木工学グローバルコース	1 高等専門科目から6単位以上 2 先端科目から6単位以上 3 能力開発特別科目から2単位以上
地球資源システム工学グローバルコース	1 高等専門科目から6単位以上 2 先端科目から6単位以上 3 能力開発特別科目から2単位以上

#### 博士後期課程

コースごとに、博士後期課程に3年以上在籍し、コース授業科目及び関連授業科目から合わせて10単位以上を修得し、かつ、必要な研究指導を受けた上、博士論文の審査及び最終審査に合格しなければならない。また、修得する10単位は、下表に定める条件を満たさなければならない。

各コースが属する博士後期課程において英語で開講する授業科目をコース授業科目といい、その他の授業科目で指導教員が指定する授業科目を関連授業科目という。この場合において、コース授業科目のうち、指導教員が開講するものを主分野科目という。

コース	コース授業科目と関連授業科目の単位
材料工学グローバルコース	1 講究科目から4単位以上 2 「Engineering Research Planning (工学研究企画)」2単位
応用化学グローバルコース	1 講究科目から、「Materials Science, Research Planning Exercise (物質科学研究企画演習)」2単位を含む4単位以上 2 「Engineering Research Planning (工学研究企画)」2単位
化学工学グローバルコース	1 講究科目から4単位以上 2 「Engineering Research Planning (工学研究企画)」2単位
機械工学グローバルコース	1 講究科目から4単位以上 2 「Engineering Research Planning (工学研究企画)」2単位

水素エネルギーシステム工学グローバルコース	1 「Advanced Hydrogen Energy Engineering (水素エネルギー工学特論)」 2単位 2 「Project Analysis (プロジェクト演習)」 2単位 3 「International Internship I (国際連携インターンシップ I)」、「International Internship II (国際連携インターンシップ II)」及び「Internship (産学連携インターンシップ)」のうちから2単位 4 「Training as Supervisor (水素エネルギーシステム指導演習)」 2単位 5 「Engineering Research Planning (工学研究企画)」 2単位
航空宇宙工学グローバルコース	1 主分野科目のうち講究科目から4単位以上 2 「Engineering Research Planning (工学研究企画)」 2単位
量子物理工学グローバルコース	1 講究科目から4単位以上 2 「Engineering Research Planning (工学研究企画)」 2単位
船舶海洋工学グローバルコース 土木工学グローバルコース	1 講究科目から4単位以上 2 「Engineering Research Planning (工学研究企画)」 2単位
地球資源システム工学グローバルコース	1 講究科目から4単位以上 2 「Engineering Research Planning (工学研究企画)」 2単位

## 二 授業科目

### 修士課程

#### 材料工学グローバルコース

授 業 科 目	単 位
(高 等 専 門 科 目)	
Fracture of Materials (金属破壊学)	2
Control of Materials (材料制御学)	2
Deformation and Manufacturing (材料変形および加工学)	2
Engineering of Structural Materials (構造材料工学)	2
Electronic Devices (電子デバイス材料特論)	2

Reaction Control in Metallurgical Processing (材料反応制御学)	2
Electrolytic Reactions (電解反応工学)	2
Physical Chemistry of High Temperature Melts (融体物理化学)	2
(先 端 科 目)	
Semiconductor Devices (半導体デバイス)	2
Theory of Heat Treatments (熱処理論)	2
Materials Characterization (材料解析学)	2
Control of Crystal Growth (結晶成長制御学)	2
High-Temperature Reactions (高温反応工学)	2
Physico-chemical Properties of High Temperature Melts (高温融体物性)	2
Advanced Materials Science (機能材料学)	2
Thin Film Processing (薄膜工学)	2
(能 力 開 発 特 別 科 目)	
Seminar in Material Science A (材料工学セミナーA)	2
Seminar in Material Science B (材料工学セミナーB)	2
Seminar in Material Science C (材料工学セミナーC)	2
Seminar in Material Science D (材料工学セミナーD)	2
Communication for Material Science A (材料工学コミュニケーションA)	2
Communication for Material Science B (材料工学コミュニケーションB)	2
Communication for Material Science C (材料工学コミュニケーションC)	2
Communication for Material Science D (材料工学コミュニケーションD)	2
Integration of information in Materials Science (物質科学工学情報集約演習)	4
Material Science Research Planning A (物質科学工学研究企画演習A)	2
Material Science Research Planning B (物質科学工学研究企画演習B)	2

Material Science Research Planning C (物質科学工学研究企画演習C)	2
Material Science Research Planning D (物質科学工学研究企画演習D)	2
Industry-University Internship I (産学連携インターンシップ I)	2
Industry-University Internship II (産学連携インターンシップ II)	2

応用化学グローバルコース

授 業 科 目	単 位
(高 等 専 門 科 目)	
Inorganic Solid State Chemistry(無機固体化学)	2
Materials Properties of Ceramics (セラミック材料物性学)	2
Organic Reaction Chemistry (有機反応化学)	2
Organic Functional Chemistry (有機機能化学)	2
Organic Solid State Photophysics (有機固体光電子物性)	2
Organic Electronics and Photonics (有機光エレクトロニクス)	2
Chemistry of Molecular Assemblies (分子集合論)	2
Polymer Synthesis and Reaction (高分子合成反応論)	2
Molecular Electronics (分子電子構造論)	2
Molecular Solid State Theory (分子固体物性論)	2
Physical Chemistry of Polymers (高分子物性学)	2
Analytical Physical Chemistry of Polymers (材料物性解析学)	2
Applied Surface Chemistry (応用表面化学)	2
Chemical Reaction Control (化学反応制御学)	2
Nano-Micro Science (ナノ・マイクロ科学)	2
Applied Laser Engineering(応用レーザー工学)	2
Electroanalytical Chemistry (電気分析化学)	2

Theory of Ionic Equilibria (イオン平衡論)	2
Organocatalytic Chemistry (有機触媒化学)	2
Structural Coordination Chemistry (金属錯体構造論)	2
Bio & Molecular Systems Chemistry (生命分子素子化学)	2
Molecular Organization Chemistry (分子組織化学)	2
Chemistry of Small Molecules (小分子の化学)	2
Chemistry of Catalytic Materials Transformations (触媒的物質変換化学)	2
Molecular Cell Biology I (分子細胞生物学 I)	2
Biomolecular Physical Chemistry (生命分子物理化学)	2
Chemistry for Medicine I (医用化学第一)	1
Chemistry for Medicine II (医用化学第二)	1
Applied Photochemistry (応用光化学)	2
Applied Magnetic Chemistry (応用磁気化学)	2
Design of Biomolecular Systems (バイオシステム設計論)	2
Protein Engineering (プロテインエンジニアリング)	2
Chemical Information System in Biological Process (物質情報システム論)	2
Nanostructure Analysis (ナノ構造分析学特論)	2
Design of Surface Nanostructure (ナノ構造設計論)	2
Application of Molecular System I (分子システム応用学 I)	2
Biomaterials Design (医療材料設計学)	2
Biomaterials Science (バイオマテリアルサイエンス)	2
(先 端 科 目)	
Ceramic Engineering (セラミック工学)	2
Organic Structural Chemistry (有機構造化学)	2

Functional Molecular Materials Engineering (機能分子材料工学)	2
Supramolecular Conjugate Chemistry (超分子複合材料学)	2
Material Design of Supramolecules (超分子材料設計学)	2
Advanced Physical Chemistry of Materials (材料物性化学)	2
Functional Materials Engineering (機能物質工学)	2
Bioanalytical Chemistry (バイオ分析化学)	2
Chemical Sensor Engineering (化学センサー工学)	2
Bioinorganic Chemistry (生物無機化学)	2
Bio & Molecular Integration Chemistry (生命分子集積化学)	2
Organometallic Chemistry (有機金属化学)	2
Molecular Cell Biology II (分子細胞生物学II)	2
Fundamentals of Chemistry for Medicine (医用化学基礎)	1
Bioengineering (バイオエンジニアリング特論)	2
Nanomaterials Chemical Analysis (ナノ物質機能解析学特論)	2
Molecular System Science (分子システム学)	2
(能力開発特別科目)	
Exercises in Reference Search (物質科学情報集約演習)	2
Communication Training in Materials Science I (物質科学コミュニケーション第一)	2
Student Seminar in Materials Science I (物質科学セミナー第一)	2
Communication Training in Materials Science I (物質科学コミュニケーション第二)	2
Student Seminar in Materials Science II (物質科学セミナー第二)	2
Internship Program (企業インターンシップ)	2
Scientific English (科学英語)	2
Topics in Science and Technology (科学技術論)	2

Industry Academia Collaborations in Research and Development (産学連携特論第一)	2
Advanced Chemistry for Functional Materials (機能物質化学特論)	2
Advanced Chemistry for Molecular Systems (分子システム化学特論)	2

化学工学グローバルコース

授 業 科 目	単 位
(高 等 専 門 科 目)	
Advanced Chemical Reaction Engineering (反応工学特論)	2
Engineering Rheology (レオロジー工学)	2
Phase Equilibria (相平衡論)	2
Cell & Tissue Engineering (細胞・組織工学)	2
Engineering of Biomimetic Functional Materials (生体模倣機能材料工学)	2
Thermal System Engineering (システム熱工学)	2
Advanced Process Control Engineering (プロセスシステム制御学)	2
Electrochemical Systems Engineering (電気化学システム工学)	2
(先 端 科 目)	
Functional Surface Chemistry (機能表面化学)	2
Introduction to Soft Matter Processing (高分子プロセス工学)	2
Biomaterials Engineering (生命材料工学)	2
Biological Systems Engineering (生物・生体システム工学)	2
Environmental Fluid Transport Phenomena (環境流体輸送現象論)	2
Combustion System Engineering (燃焼システム工学)	2
Advanced Process Design Engineering (プロセスシステム設計学)	2
Bio-resource Materials Engineering (生体由来材料工学)	2
(能 力 開 発 特 別 科 目)	

Communication in Chemical Engineering I (化学工学コミュニケーションⅠ)	2
Communication in Chemical Engineering II (化学工学コミュニケーションⅡ)	2
Student Seminar in Chemical Engineering I (化学工学学生セミナーⅠ)	2
Student Seminar in Chemical Engineering II (化学工学学生セミナーⅡ)	2
Chemical Engineering Research Planning (化学工学情報集約演習)	2
Internship (化学工学インターンシップ)	2
Material Science and Engineering I (物質科学工学Ⅰ)	2
Material Science and Engineering II (物質科学工学Ⅱ)	2

機械工学グローバルコース

授 業 科 目	単 位
(高 等 専 門 科 目)	
Reactive Gas Dynamics (反応性ガス力学) 【分野 2】	2
Mechanical Vibration and Acoustics (振動音響工学) 【分野 4】	2
Computational Intelligence (計算知能) 【分野 5】	2
Robotics (ロボット工学) 【分野 5】	2
Heat and Mass Transfer (熱物質移動論) 【分野 7】	2
(先 端 科 目)	
Theory of Plasticity (塑性変形論) 【分野 6】	2
Gas Dynamics (気体力学) 【分野 3】	2
Fracture Mechanics (破壊力学) 【分野 1】	2
(能 力 開 発 特 別 科 目)	
Seminar in Mechanical Engineering I (機械工学セミナーⅠ)	1
Seminar in Mechanical Engineering II (機械工学セミナーⅡ)	1



Mechanical Engineering Internship I (機械工学インターンシップ I)	1
Mechanical Engineering Internship II (機械工学インターンシップ II)	1
Communication for Mechanical Engineer I (機械工学コミュニケーション I)	1
Communication for Mechanical Engineer II (機械工学コミュニケーション II)	1
Investigation on Mechanical Engineering (機械工学情報集約)	2

水素エネルギーシステムグローバルコース

授 業 科 目	単 位
(高 等 専 門 科 目)	
Hydrogen Energy Engineering (水素エネルギー工学)	2
Clean Energy Technologies (クリーンエネルギー技術特論)	2
Tribology (トライボロジー)	2
Heat and Mass Transfer (熱物質移動論)	2
Reactive Gas Dynamics (反応性ガス力学)	2
Mechanical Vibration and Acoustics (振動音響工学)	2
Computational Intelligence (計算知能)	2
High Pressure Gas Safety Engineering (高圧ガス安全工学)	2
Fuel Cell Engineering (燃料電池工学)	2
Hydrogen Production and Storage (水素製造・貯蔵)	2
(先 端 科 目)	
Advanced Energy Engineering I (先端エネルギー特論 I)	2
Advanced Energy Engineering II (先端エネルギー特論 II)	2
Fracture Mechanics (破壊力学)	2
(能 力 開 発 特 別 科 目)	

Seminar on Hydrogen Engineering I (水素工学セミナーⅠ)	1
Seminar on Hydrogen Engineering II (水素工学セミナーⅡ)	1
Internship for Hydrogen Engineering I (水素工学インターンシップⅠ)	1
Internship for Hydrogen Engineering II (水素工学インターンシップⅡ)	2
Communication for Hydrogen Engineer I (水素工学コミュニケーションⅠ)	1
Communication for Hydrogen Engineer II (水素工学コミュニケーションⅡ)	1
Investigation Study on Hydrogen Engineering (水素工学情報集約)	2

航空宇宙工学グローバルコース

授 業 科 目	単 位
(高 等 専 門 科 目)	
Internal Flow (内部流れ)	2
Aeroelasticity (空力弾性学)	2
Mechanics of Composite Laminates (複合材料力学)	2
Advanced Guidance and Control I (誘導制御特論Ⅰ)	2
Flight Dynamics and Control (応用飛行力学)	2
Spacecraft Dynamics (宇宙機動力学)	2
Reusable Launch Vehicle Engineering (宇宙往還機工学)	2
Re-Entry Dynamics (再突入力学)	2
Advanced Aircraft Design (航空機設計特論)	2
Space Utilization (宇宙利用システム工学)	2
Wind Engineering (大気流体力学)	2
Strength and Fracture of Composite Materials (複合材料強度学)	2
Analysis of Nanostructural Materials (ナノ構造解析学)	2
Functional Material Engineering (機能材料工学)	2

Computational Structural Mechanics (数値構造力学)	2
Power Electronics (電気エネルギー変換工学)	2
(先 端 科 目)	
Applied Fluid Dynamics (応用流体力学)	2
Applied Thermophysical Engineering (応用熱物理学)	2
Instrumentation (機器学特論)	2
(能 力 開 発 特 別 科 目)	
Seminar in Aeronautics and Astronautics I (航空宇宙工学演習Ⅰ)	2
Seminar in Aeronautics and Astronautics II (航空宇宙工学演習Ⅱ)	2
Laboratory Experiments on Aeronautics and Astronautics (航空宇宙工学研究実験)	2
Internship in Aerospace Engineering I (航空宇宙工学インターンシップⅠ)	1
Internship in Aerospace Engineering II (航空宇宙工学インターンシップⅡ)	1
Communication for Aerospace Engineers I (航空宇宙工学コミュニケーションⅠ)	1
Communication for Aerospace Engineers II (航空宇宙工学コミュニケーションⅡ)	1
Aerospace Engineering Project I (航空宇宙工学プロジェクトⅠ)	2
Aerospace Engineering Project II (航空宇宙工学プロジェクトⅡ)	2

量子物理工学グローバルコース

授 業 科 目	単 位
(高 等 専 門 科 目)	
High-Energy Nuclear Reaction (高エネルギー核反応論)	2
Nuclear Fuel Engineering (核燃料工学)	2
Environmental Sciences and Engineering (環境科学・工学)	2
Nuclear Physics and Measurement (原子核物理計測学)	2

Radiation Physics and Measurement (放射線物理計測学)	2
Sciences and Engineering of Organic Materials Property (有機物性工学)	2
Experimental Practice on Nuclear Engineering (原子力工学基礎実験)	2
Numerical Simulation for Radiation Engineering (放射線数値シミュレーション)	2
(先 端 科 目)	
Nuclear Reaction and Accelerator (原子核反応及び加速器学)	2
Lattice Defects in Materials (格子欠陥学)	2
Environment-Improving Material Engineering (環境機能材料工学)	2
Fusion Plasma Science (核融合プラズマ科学)	2
Thin Film and Surface Physics (薄膜表面物理学)	2
Radiation Effects in Nuclear Materials (原子力材料物性学)	2
Fudamental Aspects of Nuclear Fuel Cycle (核燃料サイクル工学)	2
Multiphase Flow Science in Energy Engineering (エネルギー混相流体工学)	2
Nuclear Reactor System Engineering (原子炉システム工学)	2
Applied Low Temperature Physics (応用低温物理学)	2
Solid State Physics (物性物理学)	2
(能 力 開 発 特 別 科 目)	
Nuclear and Radiation Engineering Laboratory I (原子核・量子線工学実験Ⅰ)	2
Nuclear and Radiation Engineering Laboratory II (原子核・量子線工学実験Ⅱ)	2
Materials Science for Energy Systems Laboratory I (エネルギー物質科学実験Ⅰ)	2
Materials Science for Energy Systems Laboratory II (エネルギー物質科学実験Ⅱ)	2
Materials Science for Energy Systems Laboratory III (エネルギー物質科学実験Ⅲ)	2

Nuclear Energy Systems Laboratory I (核エネルギーシステム学実験Ⅰ)	2
Nuclear Energy Systems Laboratory II (核エネルギーシステム学実験Ⅱ)	2
Nuclear Energy Systems Laboratory III (核エネルギーシステム学実験Ⅲ)	2
Applied Physics Laboratory I (応用物理学実験Ⅰ)	2
Applied Physics Laboratory II (応用物理学実験Ⅱ)	2
Applied Physics Laboratory III (応用物理学実験Ⅲ)	2
Laboratory and Presentation for Nuclear and Radiation Engineering I (原子核・量子線工学発表演習Ⅰ)	2
Laboratory and Presentation for Nuclear and Radiation Engineering II (原子核・量子線工学発表演習Ⅱ)	2
Laboratory and Presentation for Materials Science for Energy Systems I (エネルギー物質科学発表演習Ⅰ)	2
Laboratory and Presentation for Materials Science for Energy Systems II (エネルギー物質科学発表演習Ⅱ)	2
Laboratory and Presentation for Materials Science for Energy Systems III (エネルギー物質科学発表演習Ⅲ)	2
Laboratory and Presentation for Nuclear Energy Systems I (核エネルギーシステム学発表演習Ⅰ)	2
Laboratory and Presentation for Nuclear Energy Systems II (核エネルギーシステム学発表演習Ⅱ)	2
Laboratory and Presentation for Nuclear Energy Systems III (核エネルギーシステム学発表演習Ⅲ)	2
Laboratory and Presentation for Applied Physics I (応用物理学発表演習Ⅰ)	2
Laboratory and Presentation for Applied Physics II (応用物理学発表演習Ⅱ)	2
Laboratory and Presentation for Applied Physics III (応用物理学発表演習Ⅲ)	2
Research Project in Nuclear and Radiation Engineering I (原子核・量子線工学研究計画演習Ⅰ)	2
Research Project in Nuclear and Radiation Engineering II (原子核・量子線工学研究計画演習Ⅱ)	2
Research Project in Materials Science for Energy Systems I (エネルギー物質科学研究計画演習Ⅰ)	2
Research Project in Materials Science for Energy Systems II (エネルギー物質科学研究計画演習Ⅱ)	2
Research Project in Materials Science for Energy Systems III (エネルギー物質科学研究計画演習Ⅲ)	2

Research Project in Nuclear Energy Systems I (核エネルギーシステム学研究計画演習Ⅰ)	2
Research Project in Nuclear Energy Systems II (核エネルギーシステム学研究計画演習Ⅱ)	2
Research Project in Nuclear Energy Systems III (核エネルギーシステム学研究計画演習Ⅲ)	2
Research Project in Applied Physics I (応用物理学計画演習Ⅰ)	2
Research Project in Applied Physics II (応用物理学計画演習Ⅱ)	2
Research Project in Applied Physics III (応用物理学計画演習Ⅲ)	2
Scientific Presentation and Communication (科学技術コミュニケーション)	1
Experimental Practice on Nuclear Fuel Cycle I (核燃料サイクル実験Ⅰ)	1
Experimental Practice on Nuclear Fuel Cycle II (核燃料サイクル実験Ⅱ)	1
Laboratory and Presentation for Industrial Fields I (産学連携演習Ⅰ)	1
Laboratory and Presentation for Industrial Fields II (産学連携演習Ⅱ)	1
Laboratory and Presentation for Industrial Fields III (産学連携演習Ⅲ)	1
Seminar in Quantum Physics (量子物理特別講義)	1

船舶海洋工学グローバルコース  
土木工学グローバルコース

授 業 科 目	単 位
(高 等 専 門 科 目)	
Advanced Earthquake Engineering (地震工学特論)	2
Biological Water Quality Control Engineering (水質変換工学)	2
Advanced Ecological Engineering (応用生態工学)	2
Environmental Planning (環境計画論)	2
Groundwater Environmental Systems (地下水環境システム論)	2

Introduction of Marine Systems Engineering I (海洋システム工学概論第一)	2
Introduction of Marine Systems Engineering II (海洋システム工学概論第二)	2
Advanced Theory of Resistance for Ship and Marine Structures (船舶海洋抵抗特論)	2
Applied Risk Analysis (応用リスク解析学)	2
Introduction to Industrial and Applied Mathematics (応用数理学)	2
Advanced Course of Ship Preliminary Design (船舶基本設計特論)	2
Geo-Spatial Information Science (空間情報学)	2
Research Planning (研究計画法)	2
Numerical Analysis (数値解析学)	2
Field Survey Method (野外調査法)	2
Presentation Exercise (プレゼンテーション演習)	2
Urban Engineering & Economics (都市工学・経済学)	2
Advanced Data Analysis (実践データ解析学)	2
(先 端 科 目)	
Land Development and Disaster Risk Management in Japan (国土開発・災害リスクマネジメント)	2
Advanced Structural Analysis (構造解析学特論)	2
Geoenvironmental System Engineering (地盤環境システム工学)	2
Practical Application of Aesthetic Design in Civil Engineering (実践景観デザイン論)	2
Material Cycles and Waste Management (廃棄物資源循環学)	2
Environmental Fluid Mechanics (環境流体力学)	2
Advanced Ocean and Coastal Engineering (沿岸・海洋工学特論)	2
Urban Development Project (都市開発プロジェクト論)	2

Advanced Course in Fracture Control Design (破壊管理工学特論)	2
Structural Stability (構造安定論)	2
Advanced Course of Dynamics of Ships (船舶運動特論)	2
Advanced Course of Control Engineering (制御工学特論)	2
Application of Energy from the Ocean (海洋エネルギー利用計画)	2
Advanced Theory of Vibration for Ship and Marine Structures (船舶海洋振動学特論)	2
Advanced Course of Systems Design (システム設計特論)	2
Advanced Concrete Engineering (コンクリート工学特論)	2
Advanced Geotechnical Modelling and its Application (地盤解析学)	2
Advanced Geomechanics and Design (建設デザイン構造学)	2
Risk Management in Natural Disaster Prevention (災害リスク学)	2
Mechanics of Geomaterials (地盤材料力学)	2
Urban Transportation Planning (都市総合交通計画)	2
Advanced Steel Structure (鋼構造特論)	2
River Engineering (河川工学特論)	2
(能力開発特別科目)	
Advanced Civil and Environmental Engineering (地球環境工学特論)	2
Practice in Civil and Environmental Engineering (地球環境工学演習)	2
Practice in Environmental Studies (環境学実習)	2
Seminar in Marine Systems Engineering (海洋システム工学演習)	2
Problem-Solution Seminar (課題解決セミナー)	2
Internship Program (インターンシップ・プログラム)	2



地球資源システム工学グローバルコース

授 業 科 目	単 位
(高 等 専 門 科 目)	
Resource Geology I (資源地質学第一)	2
Mineral Engineering, Experiments I (鉱物工学実験第一)	1
Mineral Engineering, Experiments II (鉱物工学実験第二)	1
Engineering Geophysics I (地球情報学第一)	2
Engineering Geophysics, Experiments I (地球情報学実験第一)	1
Engineering Geophysics, Experiments II (地球情報学実験第二)	1
Geothermics (Advanced) (地球熱学特論)	2
Geothermal Engineering (Advanced), Experiments I (地熱工学特論実験第一)	1
Geothermal Engineering (Advanced), Experiments II (地熱工学特論実験第二)	1
Resources Development Engineering (Advanced) (資源開発工学特論)	2
Resources Development Engineering (Advanced), Experiments (資源開発工学特論実験)	1
Mineral Resources Production System, Experiments (資源生産システム学実験)	1
Rock Engineering (Advanced) I (岩盤工学特論第一)	2
Rock Engineering (Advanced), Experiments I (岩盤工学特論実験第一)	1
Rock Engineering (Advanced), Experiments II (岩盤工学特論実験第二)	1
Mineral Processing, Recycling and Environmental Remediation Engineering (Advanced) I (資源処理・環境修復工学特論第一)	2
Mineral Processing, Recycling and Environmental Remediation Engineering (Advanced), Experiments I (資源処理・環境修復工学特論実験第一)	1
Mineral Processing, Recycling and Environmental Remediation Engineering (Advanced), Experiments II (資源処理・環境修復工学特論実験第二)	1
Energy Resources Engineering (Advanced) (エネルギー資源工学特論)	2

Energy Resources Engineering (Advanced), Experiments I (エネルギー資源工学特論実験第一)	1
Energy Resources Engineering (Advanced), Experiments II (エネルギー資源工学特論実験第二)	1
(先 端 科 目)	
Fundamentals of Earth Resources Engineering I (地球資源システム工学基礎第一)	2
Fundamentals of Earth Resources Engineering II (地球資源システム工学基礎第二)	2
International Project Management (国際プロジェクトマネジメント)	2
Resource Geology II (資源地質学第二)	2
Mineral Engineering (鉱物工学)	2
Engineering Geophysics II (地球情報学第二)	2
Engineering Geophysics III (地球情報学第三)	2
Geothermal Engineering (Advanced) (地熱工学特論)	2
Geothermal System Modeling (地熱系モデリング)	2
Environment and Safety (Advanced) (環境安全特論)	2
Mineral Resources Production Engineering (資源生産システム学)	2
Rock Engineering (Advanced) II (岩盤工学特論第二)	2
Mining Machinery System (Advanced) (開発機械システム工学特論)	2
Resources Processing (Advanced) II (資源処理工学特論第二)	2
Resources Processing (Advanced) III (資源処理工学特論第三)	2
Petroleum Reervoir Engineering (石油貯留層工学)	2
Subsurface Mass Transport Engineering (Advanced) (物質移動工学特論)	2
Special Lecture on Earth Resources Engineering I (地球資源システム工学特別講義第一)	2
Special Lecture on Earth Resources Engineering II (地球資源システム工学特別講義第二)	2

Special Lecture on Earth Resources Engineering III (地球資源システム工学特別講義第三)	2
(能力開発特別科目)	
Earth Resources Engineering, Seminar I (Research for Master Thesis) (地球資源システム工学演習第一)	2
Earth Resources Engineering, Seminar II (Research for Master Thesis) (地球資源システム工学演習第二)	2
Earth Resources Engineering, Seminar III (Research for Master Thesis) (地球資源システム工学演習第三)	2
International Cooperative Study on Earth System Engineering (Advanced) (地球工学国際連携特論)	2
International Cooperative Study on Mining Engineering (Advanced) (資源システム工学国際連携特論)	2
International Cooperative Study on Energy Resources Engineering (Advanced) (エネルギー資源工学国際連携特論)	2
Research Planning on Earth Resources, Marine and Civil Engineering (地球環境工学研究企画)	2
Earth Resources Engineering (Advanced) I (地球資源システム工学特論第一)	2
Earth Resources Engineering (Advanced) II (地球資源システム工学特論第二)	2
Earth Resources Engineering (Advanced) III (地球資源システム工学特論第三)	2
Academic and Industrial Liaison Research (産学連携研究)	2

外国人留学生に共通の授業科目

授 業 科 目	単 位
Applied IT I (IT応用第一)	2
Applied IT II (IT応用第二)	2
Advanced Japanese Industries (日本産業特論)	2
Advanced Engineering Analysis and Measurement I (工学解析・計測特論第一)	2
Advanced Engineering Analysis and Measurement II (工学解析・計測特論第二)	2
Business Japanese A (ビジネス日本語A)	1
Business Japanese B (ビジネス日本語B)	1

Business Japanese C (ビジネス日本語C)	1
Survival Japanese (サバイバル・ジャパニーズ)	1
Active Japanese I (アクティブ日本語I)	1
Active Japanese II (アクティブ日本語II)	1
Progressive Japanese I (プログレッシブ日本語I)	1
Progressive Japanese II (プログレッシブ日本語II)	1

博士後期課程

材料工学グローバルコース

授 業 科 目	単 位
Advanced Reaction Engineering for Materials A (材料反応プロセス工学講究A)	4
Advanced Reaction Engineering for Materials B (材料反応プロセス工学講究B)	4
Advanced Reaction Engineering for Materials C (材料反応プロセス工学講究C)	4
Advanced Materials Processing A (材料加工学講究A)	4
Advanced Materials Processing B (材料加工学講究B)	4
Advanced Materials Processing C (材料加工学講究C)	4
Advanced Microstructural Engineering of Materials A (材料組織学講究A)	4
Advanced Microstructural Engineering of Materials B (材料組織学講究B)	4
Advanced Microstructural Engineering of Materials C (材料組織学講究C)	4
Advanced Functional Material A (機能材料工学講究A)	4
Advanced Functional Material B (機能材料工学講究B)	4
Seminars in Reaction Engineering for Materials (材料反応プロセス工学セミナー)	2
Seminars in Materials Processing (材料加工学セミナー)	2

Seminars in Microstructural Engineering of Materials (材料組織学セミナー)	2
Seminars in Functional Materials (機能材料工学セミナー)	2
Research Proposals in Materials Science and Engineering (物質科学工学研究企画演習)	2
Teaching Practices on Materials Science and Engineering (物質科学工学指導演習)	2
Communications for Materials Science and Engineering (物質科学工学コミュニケーション)	2
Integrations of Information on Materials Science and Engineering (物質科学工学情報集約演習)	2
Industry-University Internship I (産学連携インターンシップ I)	4
Industry-University Internship (産学連携インターンシップ II)	4
Engineering Research Planning (工学研究企画)	2

応用化学グローバルコース

授 業 科 目	単 位
Advanced Applied Chemistry A (応用化学講究A)	4
Advanced Applied Chemistry B (応用化学講究B)	4
Advanced Applied Chemistry C (応用化学講究C)	4
Advanced Applied Chemistry D (応用化学講究D)	4
Advanced Applied Chemistry E (応用化学講究E)	4
Advanced Applied Chemistry F (応用化学講究F)	4
Advanced Applied Chemistry G (応用化学講究G)	4
Advanced Applied Chemistry H (応用化学講究H)	4
Advanced Applied Chemistry I (応用化学講究I)	4
Advanced Applied Chemistry J (応用化学講究J)	4
Advanced Applied Chemistry K (応用化学講究K)	4
Advanced Applied Chemistry L (応用化学講究L)	4

Advanced Applied Chemistry M (応用化学講究M)	4
Advanced Applied Chemistry N (応用化学講究N)	4
Advanced Applied Chemistry O (応用化学講究O)	4
Advanced Applied Chemistry P (応用化学講究P)	4
Advanced Applied Chemistry Q (応用化学講究Q)	4
Advanced Applied Chemistry R (応用化学講究R)	4
Advanced Applied Chemistry S (応用化学講究S)	4
Advanced Applied Chemistry T (応用化学講究T)	4
Materials Science, Research Planning Exercise (物質科学研究企画演習)	4
Materials Science, Advanced Instructing Practice (物質科学指導演習)	2
Materials Science, Advanced Exercise I (物質科学特別演習第一)	2
Materials Science, Advanced Exercise II (物質科学特別演習第二)	2
Materials Science, Internship I (産学連携実習第一)	4
Materials Science, Internship II (産学連携実習第二)	4
Materials Science, Internship III (産学連携実習第三)	4
Engineering Research Planning (工学研究企画)	2

化学工学グローバルコース

授 業 科 目	単 位
Advanced Material Chemical Engineering A (材料化学工学講究A)	4
Advanced Material Chemical Engineering B (材料化学工学講究B)	4
Advanced Material Chemical Engineering C (材料化学工学講究C)	4
Advanced Molecular System Chemistry (分子システム化学講究)	4
Advanced Biochemical Engineering (生物化学工学講究)	4

Advanced Biological Interface Engineering (生体界面工学講究)	4
Environment-Benign Systems Engineering, Advanced Topic A (環境調和システム工学講究A)	4
Environment-Benign Systems Engineering, Advanced Topic B (環境調和システム工学講究B)	4
Environment-Benign Systems Engineering, Advanced Topic C (環境調和システム工学講究C)	4
Chemical Engineering Research Planning (化学工学研究企画演習)	4
Advanced Communication in Chemical Engineering (化学工学コミュニケーション)	2
Internship in Chemical Engineering (化学工学インターンシップ)	2
Research Planning in Material Science (物質科学研究企画演習)	2
Engineering Research Planning (工学研究企画)	2

機械工学グローバルコース

授 業 科 目	単 位
Advanced Material Strength (材料力学講究)	4
Advanced Design Engineering (設計工学講究)	4
Advanced Thermal Engineering (熱工学講究)	4
Advanced Fluids Engineering (流体工学講究)	4
Advanced Dynamics of Machinery (機械力学講究)	4
Advanced Control Systems (制御システム講究)	4
Advanced Manufacturing Process (加工プロセス講究)	4
Advanced Biomechanical and Biothermal Engineering (生体工学講究)	4
Seminar in Material Strength (材料力学セミナー)	2
Seminar in Design Engineering (設計工学セミナー)	2
Seminar in Thermal Engineering (熱工学セミナー)	2
Seminar in Fluids Engineering (流体工学セミナー)	2

Seminar in Dynamics of Machinery (機械力学セミナー)	2
Seminar in Control Systems (制御システムセミナー)	2
Seminar in Manufacturing Process (加工プロセスセミナー)	2
Seminar in Biomechanical and Biothermal Engineering (生体工学セミナー)	2
Mechanical Engineering Research Planning (機械工学研究企画演習)	2
Internship (機械工学インターンシップ)	4
International Internship (機械工学国際インターンシップ)	4
Communication for Mechanical Engineers (機械工学コミュニケーション)	2
Teaching Practice on Mechanical Engineering (機械工学指導演習)	1
Engineering Research Planning (工学研究企画)	2

水素エネルギーシステムグローバルコース

授 業 科 目	単 位
Tutorials on Hydrogen System A (水素システム講究A)	4
Tutorials on Hydrogen System B (水素システム講究B)	4
Tutorials on Hydrogen System C (水素システム講究C)	4
Tutorials on Material and Design A (水素材料・設計学講究A)	4
Tutorials on Material and Design B (水素材料・設計学講究B)	4
Tutorials on Material and Design C (水素材料・設計学講究C)	4
Tutorials on Material and Design D (水素材料・設計学講究D)	4
Tutorials on Thermofluid Engineering (水素熱流体工学講究)	4
Advanced Hydrogen Energy Engineering (水素エネルギー工学特論)	2
Advanced Energy Technologies (先端エネルギー技術論)	2
Seminar in Hydrogen System A (水素システムセミナーA)	2



Seminar in Hydrogen System B (水素システムセミナーB)	2
Seminar in Hydrogen System C (水素システムセミナーC)	2
Seminar in Material and Design A (水素材料・設計学セミナーA)	2
Seminar in Material and Design B (水素材料・設計学セミナーB)	2
Seminar in Material and Design C (水素材料・設計学セミナーC)	2
Seminar in Material and Design D (水素材料・設計学セミナーD)	2
Seminar in Thermofluid Engineering (水素熱流体工学セミナー)	2
Project Analysis (プロジェクト演習)	2
International Internship I (国際連携インターンシップI)	2
International Internship II (国際連携インターンシップII)	2
Internship (産学連携インターンシップ)	2
Research Planning (水素エネルギーシステム研究企画演習)	2
Training as Supervisor (水素エネルギーシステム指導演習)	2
Engineering Research Planning (工学研究企画)	2

航空宇宙工学グローバルコース

授 業 科 目	単 位
Advanced Aerospace Propulsion (推進工学講究)	4
Advanced Fluid Dynamics (流体力学講究)	4
Advanced Thermophysical Engineering (熱物理学講究)	4
Advanced Strength and Vibration (強度振動学講究)	4
Advanced Aerospace Structural Systems Engineering (軽構造システム工学講究)	4
Advanced Guidance and Control (誘導制御講究)	4
Advanced Flight Dynamics (飛行力学講究)	4

Advanced Space Systems Engineering (宇宙システム工学講究)	4
Advanced Space Transportation Systems Engineering (宇宙輸送システム工学講究)	4
Advanced Orbital Systems Engineering (軌道上システム工学講究)	4
Advanced Atmospheric Flow Engineering (大気流体工学講究)	4
Advanced Materials Strength for Aeronautics and Space (航空宇宙材料強度学講究)	4
Advanced Aerospace Structural Dynamics (航空宇宙構造動力学講究)	4
Advanced Seminar in Aeronautics and Astronautics I (航空宇宙工学高等セミナー I)	2
Advanced Seminar in Aeronautics and Astronautics II (航空宇宙工学高等セミナー II)	2
Aerospace Engineering Research Planning (航空宇宙工学研究企画演習)	2
Internship in Aerospace Engineering (航空宇宙工学インターンシップ)	2
International Internship in Aerospace Engineering (航空宇宙工学国際インターンシップ)	2
Communication for Aerospace Engineers I (航空宇宙工学コミュニケーション I)	1
Communication for Aerospace Engineers II (航空宇宙工学コミュニケーション II)	1
Aeronautics and Astronautics Project A (航空宇宙工学プロジェクトA)	2
Aeronautics and Astronautics Project B (航空宇宙工学プロジェクトB)	2
Teaching Practice on Aeronautics and Astronautics Engineering (航空宇宙工学指導演習)	2
Engineering Research Planning (工学研究企画)	2

量子物理工学グローバルコース

授 業 科 目	単 位
Colloquium on Nuclear and Radiation Engineering A (原子核・量子線工学講究A)	4
Colloquium on Nuclear and Radiation Engineering B (原子核・量子線工学講究B)	4
Colloquium on Nuclear Energy Systems A (核エネルギーシステム学講究A)	4

Colloquium on Nuclear Energy Systems B (核エネルギーシステム学講究B)	4
Colloquium on Nuclear Energy Systems C (核エネルギーシステム学講究C)	4
Colloquium on Materials Science for Energy Systems A (エネルギー物質科学講究A)	4
Colloquium on Materials Science for Energy Systems B (エネルギー物質科学講究B)	4
Colloquium on Materials Science for Energy Systems C (エネルギー物質科学講究C)	4
Colloquium on Applied Physics A (応用物理学講究A)	4
Colloquium on Applied Physics B (応用物理学講究B)	4
Colloquium on Applied Physics C (応用物理学講究C)	4
Research Study in Industrial Fields (産学連携実習)	4
Research Planning on Applied Quantum Physics and Nuclear Engineering (エネルギー量子工学研究企画演習)	2
Teaching Practice in Applied Quantum Physics and Nuclear Engineering (エネルギー量子工学指導演習)	2
Advanced Topics of Applied Quantum Physics and Nuclear Engineering (エネルギー量子工学特論)	2
Engineering Research Planning (工学研究企画)	2

船舶海洋工学グローバルコース  
土木工学グローバルコース

授 業 科 目	単 位
Advanced Civil Engineering Materials A (建設材料工学講究A)	4
Welding and Fracture Mechanics (Seminar) (建設材料工学講究B)	4
Advanced Civil Engineering Design A (建設設計工学講究A)	4
Advanced Civil Engineering Design B (建設設計工学講究B)	4
Advanced Geotechnical Disaster Prevention A (防災地盤工学講究A)	4
Advanced Geotechnical Disaster Prevention B (防災地盤工学講究B)	4

Advanced Environmental Geotechnology (環境地盤工学講究)	4
Advanced City Planning A (都市システム計画学講究A)	4
Advanced City Planning B (都市システム計画学講究B)	4
Advanced Environmental Design A (環境デザイン工学講究A)	4
Functional Design of Artificial Environment (Seminar) (環境デザイン工学講究B)	4
Advanced Urban Environmental Engineering A (都市環境工学講究A)	4
Advanced Urban Environmental Engineering B (都市環境工学講究B)	4
Advanced Environmental System Engineering A (環境システム工学講究A)	4
Advanced Environmental System Engineering B (環境システム工学講究B)	4
Advanced Costal Engineering A (沿岸海洋工学講究A)	4
Advanced Costal Engineering B (沿岸海洋工学講究B)	4
Investigation of Performance of Ships and Marine Structures B (船舶海洋性能工学講究B)	4
Investigation of Performance of Ships and Marine Structures C (船舶海洋性能工学講究C)	4
Investigation of Structural Engineering on Marine Structures A (船舶海洋構造工学講究A)	4
Investigation of Structural Engineering on Marine Structures B (船舶海洋構造工学講究B)	4
Investigation of Structural Engineering on Marine Structures C (船舶海洋構造工学講究C)	4
Investigation of Structural Engineering on Marine Structures D (船舶海洋構造工学講究D)	4
Investigation of Structural Engineering on Marine Structures E (船舶海洋構造工学講究E)	4
Research Planning on Civil Engineering (地球環境工学研究企画演習)	4
Teaching Practice on Civil Engineering (地球環境工学指導演習)	2
Special Practice on Civil Engineering (地球環境工学特別演習)	2
Internship (産学連携実習)	4

Seminar in Performance of Ships and Marine Structures B (船舶海洋性能工学演習B)	2
Seminar in Performance of Ships and Marine Structures C (船舶海洋性能工学演習C)	2
Seminar in Structural Engineering on Marine Structures A (船舶海洋構造工学演習A)	2
Seminar in Structural Engineering on Marine Structures B (船舶海洋構造工学演習B)	2
Seminar in Structural Engineering on Marine Structures C (船舶海洋構造工学演習C)	2
Seminar in Structural Engineering on Marine Structures D (船舶海洋構造工学演習D)	2
Seminar in Structural Engineering on Marine Structures E (船舶海洋構造工学演習E)	2
Engineering Research Planning (工学研究企画)	2

地球資源システム工学グローバルコース

授 業 科 目	単 位
Earth System Science (地球システム科学)	4
Environmental Geophysics (地球情報工学)	4
Geothermal Science and Engineering (地球熱システム学)	4
Mining Technology (資源開発システム工学)	4
Rock Engineering and Mining Machinery (岩盤・開発機械システム工学)	4
Resources Processing and Environmental Remediation System Engineering (資源処理・環境修復システム工学)	4
Energy Resources Engineering (エネルギー資源工学)	4
Individual Work on Research Planning on Earth Resources Engineering (地球資源システム工学研究企画演習)	2
Supervised Seminar on Earth Resources, Marine and Civil Engineering (地球環境工学指導演習)	2
Special Seminar on Earth Resources, Marine and Civil Engineering (地球環境工学特別演習)	2
Academic and Industrial Liaison Seminar (産学連携演習)	4
Engineering Research Planning (工学研究企画)	2

九州大学大学院工学府規則の一部を改正する規則（案）

令和 2 年度九大規則第 号

制定：令和 3 年 月 日

大学院工学府を改組することに伴い、九州大学大学院工学府規則（平成 16 年度九大規則第 130 号）の一部を次のように改正する。

(新) (略)	(旧) (略)
<p>(授業科目、単位、履修方法、試験等)</p> <p>第 7 条 授業科目、単位及び履修方法は、<u>材料工学専攻</u>にあつては別表第 1、<u>応用化学専攻</u>にあつては別表第 2、<u>化学工学専攻</u>にあつては別表第 3、<u>機械工学専攻</u>にあつては別表第 4、<u>水素エネルギーシステム専攻</u>にあつては別表第 5、<u>航空宇宙工学専攻</u>にあつては別表第 6、<u>量子物理工学専攻</u>にあつては別表第 7、<u>船舶海洋工学専攻</u>にあつては別表第 8、<u>地球資源システム工学専攻</u>にあつては別表第 9、<u>共同資源工学専攻</u>にあつては別表第 10、<u>土木工学専攻</u>にあつては別表第 11 のとおりとする。</p>	<p>(授業科目、単位、履修方法、試験等)</p> <p>第 7 条 授業科目、単位及び履修方法は、<u>物質創造工学専攻</u>、<u>物質プロセス工学専攻</u>、<u>材料物性工学専攻</u>及び<u>化学システム工学専攻</u>にあつては別表第 1、<u>建設システム工学専攻</u>、<u>都市環境システム工学専攻</u>、<u>海洋システム工学専攻</u>、<u>地球資源システム工学専攻</u>及び<u>エネルギー量子工学専攻</u>にあつては別表第 2、<u>機械工学専攻</u>、<u>水素エネルギーシステム専攻</u>及び<u>航空宇宙工学専攻</u>にあつては別表第 3、<u>英語による授業等により学位取得可能な教育課程である共同資源工学専攻</u>にあつては別表第 4 のとおりとする。</p>
<p>2 <u>共同資源工学専攻は、英語の授業等により学位取得可能な教育課程とする。</u></p>	<p>2 <u>物質創造工学専攻</u>、<u>物質プロセス工学専攻</u>、<u>材料物性工学専攻</u>及び<u>化学システム工学専攻</u>の博士後期課程に、<u>高度の専門知識と視野の広い分子操作技術を有する研究者及び専門技術者の育成を行うため、それぞれ分子システム化学国際コースを置き、その授業科目、単位及び履修方法は、別表第 5 のとおりとする。</u></p>
	<p>3 <u>本学府各専攻の修士課程及び博士後期課程に、高度な専門知識とビジネス素養を備えた産業人材の育成を行うため、外国人留学生を対象に産業工学コースを置き、その授業科目、単位及び履修方法は、別表第 6 のとおりとする。</u></p>
	<p>4 <u>物質創造工学専攻</u>及び<u>材料物性工学専攻</u>の博士後期課程に、<u>ナノ材料分野において社会の要請や科学技術の進歩に対応できる俯瞰力、総合力を持つ研究者の育成を行うため、それぞれ先端ナノ材料工学コースを置き、その授業科目、単位及び履修方法は、別表第 7 のとおりとする。</u></p>
	<p>5 <u>建設システム工学専攻</u>、<u>都市環境システム工学専攻</u>及び<u>海洋システム工学専攻</u>の博士後期課程に、<u>生命科学・工学・情報科学を融合したアジア保全生態学の教育を通じて、国内外（特にアジア地域）での生物多様性観測、持続可能な生態系管理、生物多様性保全事業、自然再生事業を担う専門家を養成するため、それぞれにアジア保全生態学コースを置き、その授業科目、単</u></p>

第7条の2 前条に掲げるもののほか、英語による授業等により学位取得可能な教育課程として、次の表の左欄に掲げる課程に、それぞれ同表の右欄に定める国際コースを置き、各コースの授業科目、単位及び履修方法は別表第12のとおりとする。

課 程	国際コース
材料工学専攻の修士課程及び博士後期課程	材料工学グローバルコース
応用化学専攻の修士課程及び博士後期課程	応用化学グローバルコース

位及び履修方法は、別表第8及び別表第9のとおりとする。

6 地球資源システム工学専攻に、経済成長と資源効率向上を両立したアジアの実現に資する理工系リーダーの養成を行うため、グリーンアジア国際戦略コースを置き、その授業科目、単位及び履修方法は、別表第10のとおりとする。この場合において、グリーンアジア国際戦略コースは、修士課程から博士後期課程までの一貫した学位プログラムとする。

7 物質創造工学専攻、物質プロセス工学専攻、材料物性工学専攻、化学システム工学専攻、機械工学専攻及び水素エネルギーシステム専攻に、高度な最先端分子系材料科学の研究を自ら推進でき、さらに、幅広い科学技術に対する俯瞰力を兼ね備え、国際社会で活躍できるリーダーの養成を行うため、分子システムデバイスダ・ヴィンチコースを置き、その授業科目、単位及び履修方法は、別表第11のとおりとする。この場合において、分子システムデバイスダ・ヴィンチコースは、修士課程から博士後期課程までの一貫した学位プログラムとする。

8 海洋システム工学専攻、建設システム工学専攻及び都市環境システム工学専攻の修士課程に、海洋エネルギーの利用技術、海底下資源の探査・開発技術に関する高度な専門知識と総合計画能力を持つ技術者と研究者を育成するため、それぞれ海洋開発人材育成コースを置き、その授業科目、単位及び履修方法は、別表第12のとおりとする。

第7条の2 前条に掲げるもののほか、国際コース（英語による授業等により学位取得可能な教育課程をいう。）として、次の表の左欄に掲げる課程に、それぞれ同表の右欄に定めるコースを置き、各コース（国際環境システム工学特別コースを除く。）の授業科目、単位及び履修方法は別表第13のとおりとし、国際環境システム工学特別コースの授業科目、単位及び履修方法は別表第14のとおりとする。

課 程	コース
物質創造工学専攻、物質プロセス工学専攻、材料物性工学専攻及び化学システム工学専攻の修士課程及び博士後期課程	応用化学グローバルコース、材料工学グローバルコース及び化学工学グローバルコース

程	
化学工学専攻の修士課程及び博士後期課程	化学工学グローバルコース
機械工学専攻の修士課程及び博士後期課程	機械工学グローバルコース
水素エネルギーシステム専攻の修士課程及び博士後期課程	水素エネルギーシステムグローバルコース
航空宇宙工学専攻の修士課程及び博士後期課程	航空宇宙工学グローバルコース
量子物理工学専攻の修士課程及び博士後期課程	量子物理工学グローバルコース
船舶海洋工学専攻の修士課程及び博士後期課程	船舶海洋工学グローバルコース
地球資源システム工学専攻の修士課程及び博士後期課程	地球資源システム工学グローバルコース
土木工学専攻の修士課程及び博士後期課程	土木工学グローバルコース

(略)

(修士課程の修了要件)

第12条 本学府の修士課程の修了要件は、修士課程に2年以上在学し、第7条の規定により履修することとされている授業科目について30単位以上を修得し、かつ、必要な研究指導を受けた上、本学府教授会の行う修士論文の審査及び最終試験に合格することとする。ただし、総長が認めるときは、在学期間に関しては、優れた業績を上げた者については、修士課程に1年以上在学すれば足りるものとする。

(博士課程の修了要件)

第13条 本学府の博士課程の修了要件は、博士課程に5年(修士課程に2年以上在学し、当該課程を修了した者にあつては、当該課程における2年の在学期間を含む。)以上在学し、第7条の規定により履修する

建設システム工学専攻、都市環境システム工学専攻及び海洋システム工学専攻の修士課程及び博士後期課程	建設システム工学グローバルコース、都市環境システム工学グローバルコース及び海洋システム工学グローバルコース
地球資源システム工学専攻の修士課程及び博士後期課程	地球資源システム工学グローバルコース
エネルギー量子工学専攻の修士課程及び博士後期課程	エネルギー量子工学グローバルコース
機械工学専攻の修士課程及び博士後期課程	機械工学グローバルコース
水素エネルギーシステム専攻の修士課程及び博士後期課程	水素エネルギーシステムグローバルコース
航空宇宙工学専攻の修士課程及び博士後期課程	航空宇宙工学グローバルコース
建設システム工学専攻、都市環境システム工学専攻、海洋システム工学専攻、地球資源システム工学専攻及びエネルギー量子工学専攻の博士後期課程	国際環境システム工学特別コース

(略)

(修士課程の修了要件)

第12条 本学府の修士課程の修了要件は、修士課程に2年以上在学し、第7条の規定により履修することとされている授業科目について30単位(第7条第7項に規定するグリーンアジア国際戦略コースにあつては40単位)以上を修得し、かつ、必要な研究指導を受けた上、本学府教授会の行う修士論文の審査及び最終試験に合格することとする。ただし、総長が認めるときは、在学期間に関しては、優れた業績を上げた者については、修士課程に1年以上在学すれば足りるものとする。

(博士課程の修了要件)

第13条 本学府の博士課程の修了要件は、博士課程に5年(修士課程に2年以上在学し、当該課程を修了した者にあつては、当該課程における2年の在学期間を含む。)以上在学し、第7条の規定により履修する



<p>こととされている授業科目について40単位以上を修得し、かつ、必要な研究指導を受けた上、博士論文の審査及び最終試験に合格することとする。ただし、総長が認めるときは、在学期間に関しては、優れた研究業績を上げた者については、博士課程に3年（修士課程に2年以上在学し、当該課程を修了した者にあつては、当該課程における2年の在学期間を含む。）以上在学すれば足りるものとする。</p> <p>2～3 （略） （略） 別表第1～12 <u>（別紙のとおり）</u></p>	<p>こととされている授業科目について40単位（第7条第3項に規定する産業工学コースにあつては44単位、第7条第7項に規定するグリーンアジア国際戦略コースにあつては77単位）以上を修得し、かつ、必要な研究指導を受けた上、博士論文の審査及び最終試験に合格することとする。ただし、総長が認めるときは、在学期間に関しては、優れた研究業績を上げた者については、博士課程に3年（修士課程に2年以上在学し、当該課程を修了した者にあつては、当該課程における2年の在学期間を含む。）以上在学すれば足りるものとする。</p> <p>2・3 （略） （略） 別表第1～12 <u>（別紙のとおり）</u> 別表第13 <u>（別紙のとおり）</u></p>
--	--

附 則

- 1 この規則は、令和3年4月1日から施行する。
- 2 この規則による改正後の九州大学大学院工学府規則は、令和3年4月1日に本学府に入学する者から適用し、令和3年3月31日に本学府に在学し、同年4月1日以降も引き続き在学する者については、なお従前の例による。

(別紙)

※改正部分の下線省略

新

別表第 1

材料工学専攻

一 履修方法

修士課程

次に掲げる高等専門科目、先端科目、能力開発特別科目及び異分野科目についての単位を合わせて30単位以上修得しなければならない。なお、4単位を上限として、大学院基幹教育科目及び他学府が開講する科目を、異分野科目の単位として認定することができる。

- 1 高等専門科目から6単位以上
- 2 先端科目から6単位以上
- 3 能力開発特別科目から4単位以上
- 4 異分野科目から4単位以上

博士後期課程

次に掲げる講究科目及び博士共通科目についての単位を合わせて10単位以上修得しなければならない。なお、指導教員の指導により履修した他学府等の授業科目を、関連授業科目として単位認定し、第8条第3項に基づき課程修了の要件となる単位に充当することができる。

- 1 講究科目から、「材料工学指導演習」2単位を含む6単位以上
- 2 博士共通科目の「工学研究企画」2単位

二 授業科目

修士課程

授 業 科 目	単 位
(高 等 専 門 科 目)	
結晶成長制御学	2
欠陥物理化学	2
応用薄膜工学	2
材料組織解析学	2
結晶塑性学	2
半導体材料制御学	2
融体物理化学	2
電解反応工学	2

構造材料工学	2
高温反応工学	2
(先 端 科 目)	
金属破壊学	2
表面機能制御学	2
材料反応制御学	2
電子線解析学	2
表面処理工学	2
熱処理論	2
複合材料学	2
高温物性工学	2
(能 力 開 発 特 別 科 目)	
材料工学特論 A	1
材料工学特論 B	1
材料工学情報集約演習 A	2
材料工学情報集約演習 B	2
材料工学情報集約演習 C	2
材料工学情報集約演習 D	2
材料工学情報集約演習 E	2
材料工学情報集約演習 F	2
材料工学情報集約演習 G	2
材料工学情報集約演習 H	2
材料工学情報集約演習 I	2
材料工学情報集約演習 J	2

産学連携インターンシップ	2
産学連携特別講義	2
(異 分 野 科 目)	
応用化学A	1
応用化学B	1
化学工学A	1
化学工学B	1
機械工学A	1
機械工学B	1
水素エネルギーシステムA	1
水素エネルギーシステムB	1
航空宇宙工学A	1
航空宇宙工学B	1
量子物理工学A	1
量子物理工学B	1
船舶海洋工学A	1
船舶海洋工学B	1
地球資源システム工学A	1
地球資源システム工学B	1
土木工学A	1
土木工学B	1

博士後期課程

授 業 科 目	単 位
(講 究 科 目)	

材料工学講究 A	4
材料工学講究 B	4
材料工学講究 C	4
材料工学講究 D	4
材料工学講究 E	4
材料工学講究 F	4
材料工学講究 G	4
材料工学講究 H	4
材料工学講究 I	4
材料工学講究 J	4
材料工学研究企画演習	4
材料工学指導演習	2
材料工学特別演習	2
材料工学産学連携実習	4
(博 士 共 通 科 目)	
工学研究企画	2

## 別表第2

### 応用化学専攻

#### 一 履修方法

##### 修士課程

次に掲げる高等専門科目、先端科目、能力開発特別科目及び異分野科目についての単位を合わせて30単位以上修得しなければならない。なお、4単位を上限として、大学院基幹教育科目及び他学府が開講する科目を、異分野科目の単位として認定することができる。

- 1 高等専門科目から4単位以上
- 2 先端科目から4単位以上
- 3 能力開発特別科目から8単位以上
- 4 異分野科目から4単位以上

##### 博士後期課程

次に掲げる講究科目及び博士共通科目についての単位を合わせて10単位以上修得しなければならない。なお、指導教員の指導により履修した他学府等の授業科目を、関連授業科目として単位認定し、第8条第3項に基づき課程修了の要件となる単位に充当することができる。

- 1 講究科目から以下を含む4単位以上  
「応用化学研究企画演習」2単位  
機能物質化学コースにおいては「機能物質化学講究A」～「機能物質化学講究L」から選択した2単位、分子生命工学コースにおいては「分子生命工学講究A」～「分子生命工学講究L」から選択した2単位
- 2 博士共通科目の「工学研究企画」2単位

#### 二 授業科目

##### 修士課程

授 業 科 目	単 位
(高 等 専 門 科 目)	
無機固体化学	2
セラミック材料物性学	2
有機反応化学	2
有機機能化学	2
有機固体光電子物性	2
有機光エレクトロニクス	2
高分子合成反応論	2
分子電子構造論	2

分子固体物性論	2
高分子物性学	2
材料物性解析学	2
応用表面化学	2
化学反応制御学	2
ナノ・マイクロ科学	2
応用レーザー工学	2
ナノバイオ電気分析化学	2
分子ラジカル化学	2
小分子の化学	2
分子組織化学	2
ナノ構造分子設計論	2
ナノ構造分析学特論	2
生体分子工学	2
分子細胞生物学	2
(先 端 科 目)	
セラミック工学	2
有機構造化学	2
機能分子材料工学	2
量子材料設計学	2
材料物性化学	2
機能物質工学	2
バイオ分析化学	2
生物無機化学	2

触媒的物質変換化学	2
分子システム化学	2
バイオエンジニアリング特論	2
ナノ物質機能解析学特論	2
細胞操作工学特論	2
再生医工材料学	2
バイオマテリアル工学	2
(能力開発特別科目)	
応用化学情報集約演習	4
応用化学学生セミナー第一	2
応用化学学生セミナー第二	2
応用化学コミュニケーション第一	2
応用化学コミュニケーション第二	2
産学連携特論第一	2
産学連携特論第二	2
産学連携特論第三	2
産学連携特論第四	2
産学連携特論第五	2
産学連携特論第六	2
企業インターンシップ第一	2
企業インターンシップ第二	2
国際連携実習第一	2
国際連携実習第二	2
機能物質化学コロキウム I	2



機能物質化学コロキウムⅡ	2
機能物質化学コロキウムⅢ	2
機能物質化学コロキウムⅣ	2
分子生命工学コロキウムⅠ	2
分子生命工学コロキウムⅡ	2
分子生命工学コロキウムⅢ	2
分子生命工学コロキウムⅣ	2
機能物質化学特論第一	2
機能物質化学特論第二	2
機能物質化学特論第三	2
機能物質化学特論第四	2
機能物質化学特論第五	2
機能物質化学特論第六	2
機能物質化学特論第七	2
機能物質化学特論第八	2
機能物質化学特論第九	2
機能物質化学特論第十	2
機能物質化学特論第十一	2
機能物質化学特論第十二	2
機能物質化学演習第一	2
機能物質化学演習第二	2
機能物質化学演習第三	2
機能物質化学演習第四	2
機能物質化学演習第五	2

機能物質化学演習第六	2
機能物質化学演習第七	2
機能物質化学演習第八	2
機能物質化学演習第九	2
機能物質化学演習第十	2
機能物質化学演習第十一	2
機能物質化学演習第十二	2
分子生命工学特論第一	2
分子生命工学特論第二	2
分子生命工学特論第三	2
分子生命工学特論第四	2
分子生命工学特論第五	2
分子生命工学特論第六	2
分子生命工学特論第七	2
分子生命工学特論第八	2
分子生命工学特論第九	2
分子生命工学特論第十	2
分子生命工学特論第十一	2
分子生命工学特論第十二	2
分子生命工学演習第一	2
分子生命工学演習第二	2
分子生命工学演習第三	2
分子生命工学演習第四	2
分子生命工学演習第五	2

分子生命工学演習第六	2
分子生命工学演習第七	2
分子生命工学演習第八	2
分子生命工学演習第九	2
分子生命工学演習第十	2
分子生命工学演習第十一	2
分子生命工学演習第十二	2
(異 分 野 科 目)	
材料工学A	1
材料工学B	1
化学工学A	1
化学工学B	1
機械工学A	1
機械工学B	1
水素エネルギーシステムA	1
水素エネルギーシステムB	1
航空宇宙工学A	1
航空宇宙工学B	1
量子物理工学A	1
量子物理工学B	1
船舶海洋工学A	1
船舶海洋工学B	1
地球資源システム工学A	1
地球資源システム工学B	1

土木工学A	1
土木工学B	1

博士後期課程

授 業 科 目	単 位
(講 究 科 目)	
応用化学研究企画演習	2
応用化学指導演習	2
応用化学特別演習第一	2
応用化学特別演習第二	2
産学連携実習第一	4
産学連携実習第二	4
産学連携実習第三	4
機能物質化学講究A	4
機能物質化学講究B	4
機能物質化学講究C	4
機能物質化学講究D	4
機能物質化学講究E	4
機能物質化学講究F	4
機能物質化学講究G	4
機能物質化学講究H	4
機能物質化学講究I	4
機能物質化学講究J	4
機能物質化学講究K	4
機能物質化学講究L	4

分子生命工学講究A	4
分子生命工学講究B	4
分子生命工学講究C	4
分子生命工学講究D	4
分子生命工学講究E	4
分子生命工学講究F	4
分子生命工学講究G	4
分子生命工学講究H	4
分子生命工学講究I	4
分子生命工学講究J	4
分子生命工学講究K	4
分子生命工学講究L	4
(博 士 共 通 科 目)	
工学研究企画	2

### 別表第3

#### 化学工学専攻

##### 一 履修方法

###### 修士課程

次に掲げる高等専門科目、先端科目、能力開発特別科目及び異分野科目についての単位を合わせて30単位以上修得しなければならない。なお、4単位を上限として、大学院基幹教育科目及び他学府が開講する科目を異分野科目の単位として認定することができる。

- 1 高等専門科目から6単位以上
- 2 先端科目から4単位以上
- 3 能力開発特別科目から4単位以上
- 4 異分野科目から4単位以上

###### 博士後期課程

次に掲げる講究科目及び博士共通科目についての単位を合わせて10単位以上修得しなければならない。なお、指導教員の指導により履修した他学府等の授業科目を関連授業科目として単位認定し、第8条第3項に基づき課程修了の要件となる単位に充当することができる。

- 1 講究科目から、「化学工学講究A」～「化学工学講究I」から選択した4単位を含む8単位以上
- 2 博士共通科目の「工学研究企画」2単位

##### 二 授業科目

###### 修士課程

授 業 科 目	単 位
(高 等 専 門 科 目)	
熱移動工学特論	2
物理化学特論	2
生物プロセス工学特論A	1
生物プロセス工学特論B	1
プロセスシステム工学特論	2
レオロジー工学	2
生体模倣機能材料工学	2
反応工学特論	2
化工流体工学特論	2
物質移動工学特論	2

(先 端 科 目)	
生体由来材料工学	2
高分子プロセス工学	2
環境流体輸送現象論	2
電気化学システム工学	2
燃焼システム工学	2
省エネルギー工学	2
生命材料工学	2
細胞・組織工学A	1
細胞・組織工学B	1
機能表面化学	2
化学工学先端技術特論	2
(能 力 開 発 特 別 科 目)	
化学工学コミュニケーションI	2
化学工学学生セミナー I	2
化学工学コミュニケーションII	2
化学工学学生セミナー II	2
化学工学情報集約演習	2
化学工学インターンシップ	2
(異 分 野 科 目)	
材料工学A	1
材料工学B	1
応用化学A	1
応用化学B	1

機械工学A	1
機械工学B	1
水素エネルギーシステムA	1
水素エネルギーシステムB	1
航空宇宙工学A	1
航空宇宙工学B	1
量子物理工学A	1
量子物理工学B	1
船舶海洋工学A	1
船舶海洋工学B	1
地球資源システム工学A	1
地球資源システム工学B	1
土木工学A	1
土木工学B	1

博士後期課程

授 業 科 目	単 位
(講 究 科 目)	
化学工学講究A	4
化学工学講究B	4
化学工学講究C	4
化学工学講究D	4
化学工学講究E	4
化学工学講究F	4
化学工学講究G	4



化学工学講究H	4
化学工学講究I	4
化学工学研究企画演習	4
化学工学特別演習第一	2
化学工学特別演習第二	2
(博 士 共 通 科 目)	
工学研究企画	2

## 別表第4

### 機械工学専攻

#### 一 履修方法

##### 修士課程

次に掲げる高等専門科目、先端科目、能力開発特別科目及び異分野科目についての単位を合わせて30単位以上修得しなければならない。なお、4単位を上限として、大学院基幹教育科目及び他学府が開講する科目を、異分野科目の単位として認定することができる。

- 1 高等専門科目から、7分野の選択必修科目のうち少なくとも6分野から各1科目ずつ、12単位以上
- 2 先端科目から4単位以上
- 3 能力開発特別科目から2単位以上
- 4 異分野科目から4単位以上

##### 博士後期課程

次に掲げる講究科目、博士共通科目及びその他の関連授業科目（指導教員の指導により履修した他学府等の授業科目）についての単位を合わせて10単位以上修得しなければならない。なお、指導教員の指導により履修した他学府等の授業科目を、関連授業科目として単位認定し、第8条第3項に基づき課程修了の要件となる単位に充当することができる。

- 1 講究科目から4単位以上
- 2 博士共通科目の「工学研究企画」2単位

#### 二 授業科目

##### 修士課程

授 業 科 目	単 位
(高 等 専 門 科 目)	
Reactive Gas Dynamics (反応性ガス力学) 【分野2】	2
Mechanical Vibration and Acoustics (振動音響工学) 【分野4】	2
Computational Intelligence (計算知能) 【分野5】	2
Robotics (ロボット工学) 【分野5】	2
Heat and Mass Transfer (熱物質移動論) 【分野7】	2
構造材料評価学【分野1】	2
設計工学特論【分野1】	2
二相流動現象学【分野2】	2

流体物理【分野3】	2
応用流体力学【分野3】	2
流体工学演習	1
機械振動学特論【分野4】	2
材料加工学【分野6】	2
精密加工学【分野6】	2
生体機械工学【分野7】	2
構造材料評価学【分野1】	2
(先 端 科 目)	
Theory of Plasticity (塑性変形論)	2
Gas Dynamics (気体力学)	2
材料強度学	2
燃焼工学特論	2
先端熱工学特論	2
エンジンシステム	2
内部流れ学	2
能動音響制御	2
構造動力学特論	2
知的システム工学	2
加工プロセス演習	1
生体工学特論	2

ソフトマター工学	2
Fracture Mechanics (破壊力学)	2
(能力開発特別科目)	
Seminar in Mechanical Engineering I (機械工学セミナー I)	1
Seminar in Mechanical Engineering II (機械工学セミナー II)	1
Mechanical Engineering Internship I (機械工学インターンシップ I)	1
Mechanical Engineering Internship II (機械工学インターンシップ II)	1
Communication for Mechanical Engineer I (機械工学コミュニケーション I)	1
Communication for Mechanical Engineer II (機械工学コミュニケーション II)	1
Investigation on Mechanical Engineering (機械工学情報集約)	2
(異分野科目)	
材料工学A	1
材料工学B	1
応用化学A	1
応用化学B	1
化学工学A	1
化学工学B	1
水素エネルギーシステムA	1
水素エネルギーシステムB	1
航空宇宙工学A	1
航空宇宙工学B	1

量子物理工学 A	1
量子物理工学 B	1
船舶海洋工学 A	1
船舶海洋工学 B	1
地球資源システム工学 A	1
地球資源システム工学 B	1
土木工学 A	1
土木工学 B	1

博士後期課程

授 業 科 目	単 位
(講 究 科 目)	
Advanced Material Strength (材料力学講究)	4
Advanced Design Engineering (設計工学講究)	4
Advanced Thermal Engineering (熱工学講究)	4
Advanced Fluids Engineering (流体工学講究)	4
Advanced Dynamics of Machinery (機械力学講究)	4
Advanced Control Systems (制御システム講究)	4
Advanced Manufacturing Process (加工プロセス講究)	4
Advanced Biomechanical and Biothermal Engineering (生体工学講究)	4
Seminar in Material Strength (材料力学セミナー)	2
Seminar in Design Engineering (設計工学セミナー)	2
Seminar in Thermal Engineering (熱工学セミナー)	2

Seminar in Fluids Engineering (流体工学セミナー)	2
Seminar in Dynamics of Machinery (機械力学セミナー)	2
Seminar in Control Systems (制御システムセミナー)	2
Seminar in Manufacturing Process (加工プロセスセミナー)	2
Seminar in Biomechanical and Biothermal Engineering (生体工学セミナー)	2
Mechanical Engineering Research Planning (機械工学研究企画演習)	2
Internship (機械工学インターンシップ)	4
Intenational Internship (機械工学国際インターンシップ)	4
Communication for Mechanical Engineers (機械工学コミュニケーション)	2
Teaching Practice on Mechanical Engineering (機械工学指導演習)	1
(博 士 共 通 科 目)	
工学研究企画	2

別表第5

水素エネルギーシステム専攻

一 履修方法

修士課程

次に掲げる高等専門科目、先端科目、能力開発特別科目及び異分野科目についての単位を合わせて30単位以上修得しなければならない。なお、4単位を上限として、大学院基幹教育科目及び他学府が開講する科目を、異分野科目の単位として認定することができる。

- 1 高等専門科目から、7分野の選択必修科目のうち少なくとも6分野から各1科目ずつ、12単位以上（「水素工学概論」及び「高圧ガス安全工学」を含む。）
- 2 先端科目から4単位以上
- 3 能力開発特別科目から2単位以上
- 4 異分野科目から4単位以上

博士後期課程

次に掲げる講究科目、博士共通科目及びその他の関連授業科目（指導教員の指導により履修した他学府等の授業科目）についての単位を合わせて10単位以上修得しなければならない。なお、指導教員の指導により履修した他学府等の授業科目を、関連授業科目として単位認定し、第8条第3項に基づき課程修了の要件となる単位に充当することができる。

- 1 講究科目から4単位以上
- 2 博士共通科目の「工学研究企画」2単位

二 授業科目

修士課程

授 業 科 目	単 位
(高 等 専 門 科 目)	
水素工学概論	2
高圧ガス安全工学	2
Hydrogen Energy Engineering (水素エネルギー工学)	2
Clean Energy Technologies (クリーンエネルギー技術特論)	2
Tribology (トライボロジー)	2
Heat and Mass Transfer (熱物質移動論)	2
Reactive Gas Dynamics (反応性ガス力学)	2
Mechanical Vibration and Acoustics (振動音響工学)	2
Computational Intelligence (計算知能)	2

Fuel Cell Engineering (燃料電池工学)	2
水素工学概論	2
水素製造システム	2
水素貯蔵システム	2
水素利用プロセス	2
水素利用システム	2
水素エネルギー社会システム	2
高压ガス安全工学	2
流体物理	2
(先 端 科 目)	
Advanced Energy Engineering I (先端エネルギー特論Ⅰ)	2
Advanced Energy Engineering II (先端エネルギー特論Ⅱ)	2
水素エネルギー構造材料学	2
水素エネルギー機能材料学	2
水素エネルギー電気化学	2
燃料電池システム	2
トライボロジー特論	2
先端熱工学特論	2
エネルギー政策論	2
技術マネジメント	2
ソフトマター工学	2
Fracture Mechanics (破壊力学)	2
材料強度学	2



(能 力 開 発 特 別 科 目)	
Seminar on Hydrogen Engineering I (水素工学セミナー I)	1
Seminar on Hydrogen Engineering II (水素工学セミナー II)	1
Internship for Hydrogen Engineering I (水素工学インターンシップ I)	1
Internship for Hydrogen Engineering II (水素工学インターンシップ II)	2
Communication for Hydrogen Engineer I (水素工学コミュニケーション I)	1
Communication for Hydrogen Engineer II (水素工学コミュニケーション II)	1
Investigation Study on Hydrogen Engineering (水素工学情報集約)	2
(異 分 野 科 目)	
材料工学A	1
材料工学B	1
応用化学A	1
応用化学B	1
化学工学A	1
化学工学B	1
機械工学A	1
機械工学B	1
航空宇宙工学A	1
航空宇宙工学B	1
量子物理工学A	1
量子物理工学B	1
船舶海洋工学A	1
船舶海洋工学B	1

地球資源システム工学A	1
地球資源システム工学B	1
土木工学A	1
土木工学B	1

別表第 6

航空宇宙工学専攻

一 履修方法

修士課程

次に掲げる高等専門科目、先端科目、能力開発特別科目及び異分野科目についての単位を合わせて30単位以上修得しなければならない。なお、4単位を上限として、大学院基幹教育科目及び他学府が開講する科目を、異分野科目の単位として認定することができる。

- 1 高等専門科目及び先端科目から20単位以上
- 2 能力開発特別科目から4単位以上
- 3 異分野科目から4単位以上

博士後期課程

次に掲げる講究科目、博士共通科目及びその他の関連授業科目（指導教員の指導により履修した他学府等の授業科目）についての単位を合わせて10単位以上修得しなければならない。なお、指導教員の指導により履修した他学府等の授業科目を、関連授業科目として単位認定し、第8条第3項に基づき課程修了の要件となる単位に充当することができる。

- 1 講究科目から4単位以上
- 2 博士共通科目の「工学研究企画」2単位

二 授業科目

修士課程

授 業 科 目	単 位
(高 等 専 門 科 目)	
推進工学特論Ⅰ	2
推進工学特論Ⅱ	2
気体力学特論	2
高速空気力学	2
熱物理学	2
空力弾性学	2
ロケット設計論	2
熱弾性解析	2
数値構造力学	2
複合材料力学	2

誘導制御特論Ⅰ	2
誘導制御特論Ⅱ	2
応用飛行力学	2
特殊航空機力学	2
宇宙機動力学	2
軌道摂動論	2
宇宙往還機工学	2
再突入力学	2
航空機設計特論	2
宇宙利用システム工学	2
宇宙環境工学	2
大気流体力学	2
大気境界層気象学	2
材料損傷学	2
ナノ構造解析学	2
機能材料工学	2
電気エネルギー変換工学	2
(先 端 科 目)	
反応性気体力学	2
応用流体力学	2
極限エネルギー工学	2
マイクロ流動物理学	2
非定常空気力学	2
最適構造システム学	2

機器学特論	2
航空機空力性能特論	2
宇宙機計装工学	2
宇宙ミッションの解析・設計	2
宇宙輸送経済論	2
大気モデリング学	2
耐熱材料強度学	2
衝撃工学	2
(能力開発特別科目)	
航空宇宙工学プロジェクト研究	1
航空宇宙工学演習Ⅰ	2
航空宇宙工学演習Ⅱ	2
航空宇宙工学実験	2
推進工学特別講義	1
流体力学特別講義	1
熱物理学特別講義	1
強度振動学特別講義	1
軽構造システム工学特別講義	1
誘導制御特別講義	1
飛行力学特別講義	1
宇宙航行システム工学特別講義	1
宇宙輸送システム工学特別講義	1
宇宙利用システム工学特別講義	1
大気流体工学特別講義	1

複合連続体力学特別講義	1
機能材料工学特別講義	1
宇宙航空研究開発特別講義	1
航空宇宙工学インターンシップⅠ	1
航空宇宙工学インターンシップⅡ	1
(異 分 野 科 目)	
材料工学A	1
材料工学B	1
応用化学A	1
応用化学B	1
化学工学A	1
化学工学B	1
機械工学A	1
機械工学B	1
水素エネルギーシステムA	1
水素エネルギーシステムB	1
量子物理工学A	1
量子物理工学B	1
船舶海洋工学A	1
船舶海洋工学B	1
地球資源システム工学A	1
地球資源システム工学B	1
土木工学A	1

土木工学B	1
-------	---

博士後期課程

授 業 科 目	単 位
(講 究 科 目)	
推進工学講究	4
流体力学講究	4
熱物理学講究	4
強度振動学講究	4
軽構造システム工学講究	4
誘導制御講究	4
飛行力学講究	4
宇宙システム工学講究	4
宇宙輸送システム工学講究	4
軌道上システム工学講究	4
大気流体工学講究	4
航空宇宙材料強度学講究	4
航空宇宙構造動力学講究	4
航空宇宙工学プロジェクトA	2
航空宇宙工学プロジェクトB	2
(博 士 共 通 科 目)	
工学研究企画	2

別表第 7

量子物理工学専攻

一 履修方法

修士課程

次に掲げる高等専門科目、先端科目、能力開発特別科目及び異分野科目についての単位を合わせて30単位以上修得しなければならない。なお、4単位を上限として、大学院基幹教育科目及び他学府が開講する科目を、異分野科目の単位として認定することができる。

- 1 高等専門科目から6単位以上
- 2 先端科目から6単位以上
- 3 能力開発特別科目から8単位以上
- 4 異分野科目から4単位以上

博士後期課程

次に掲げる講究科目、博士共通科目及びその他の関連授業科目（指導教員の指導により履修した他学府等の授業科目）についての単位を合わせて10単位以上修得しなければならない。なお、指導教員の指導により履修した他学府等の授業科目を、関連授業科目として単位認定し、第8条第3項に基づき課程修了の要件となる単位に充当することができる。

- 1 講究科目から4単位以上
- 2 博士共通科目の「工学研究企画」2単位

二 授業科目

修士課程

授 業 科 目	単 位
(高 等 専 門 科 目)	
素粒子原子核概論	1
放射線情報分析学	2
原子炉システム工学Ⅰ	1
原子炉システム工学Ⅱ	1
核融合プラズマ核燃焼学	2
核燃料工学展望Ⅰ	1
核燃料工学展望Ⅱ	1
不定比材料工学	2
応用結晶学Ⅰ	1
応用結晶学Ⅱ	1



放射線計測学Ⅰ	1
放射線計測学Ⅱ	1
有機物理工学Ⅰ	1
有機物理工学Ⅱ	1
固体電子論Ⅰ	1
固体電子論Ⅱ	1
量子物理学	2
中性子工学基礎実験	2
放射線数値シミュレーション	1
原子核エネルギー変換基礎	2
(先 端 科 目)	
原子核反応論	2
加速器工学	2
量子線医学物理学	2
核融合プラズマ科学	2
原子炉物理学特論および実験	2
核燃料サイクル工学	2
量子線材料物性学	2
量子線構造解析学	2
量子線安全工学	2
気液二相流特論	2
混相流計算科学	1
複雑系科学	2
超分子科学	2

統計物理学	2
応用物性論	2
(能力開発特別科目)	
量子ビーム科学	2
原子力安全工学	2
材料科学実験	2
核燃料サイクル実験	1
有機物性工学	2
物性実験物理学	2
量子線医療応用	1
科学技術コミュニケーション	1
エネルギー量子工学基礎	1
エネルギー量子工学特別演習	2
原子核・量子線工学特別講義Ⅰ	1
原子核・量子線工学特別講義Ⅱ	1
原子核・量子線工学特別講義Ⅲ	1
原子核・量子線工学特別講義Ⅳ	1
核エネルギーシステム学特別講義Ⅰ	1
核エネルギーシステム学特別講義Ⅱ	1
核エネルギーシステム学特別講義Ⅲ	1
核エネルギーシステム学特別講義Ⅳ	1
応用物理学特別講義Ⅰ	1
応用物理学特別講義Ⅱ	1
応用物理学特別講義Ⅲ	1

応用物理学特別講義Ⅳ	1
エネルギー物質科学特別講義Ⅰ	1
エネルギー物質科学特別講義Ⅱ	1
エネルギー物質科学特別講義Ⅲ	1
エネルギー物質科学特別講義Ⅳ	1
原子力数値シミュレーション	1
原子核・量子線工学研究計画演習A	2
原子核・量子線工学研究計画演習B	2
核エネルギーシステム学研究計画演習A	2
核エネルギーシステム学研究計画演習B	2
核エネルギーシステム学研究計画演習C	2
エネルギー物質科学研究計画演習A	2
エネルギー物質科学研究計画演習B	2
エネルギー物質科学研究計画演習C	2
応用物理学研究計画演習A	2
応用物理学研究計画演習B	2
応用物理学研究計画演習C	2
産学連携演習Ⅰ	1
産学連携演習Ⅱ	1
産学連携演習Ⅲ	1
応用科学基礎セミナー	1
原子核・量子線工学実験A	2
原子核・量子線工学実験B	2
核エネルギーシステム学実験A	2

核エネルギーシステム学実験 B	2
核エネルギーシステム学実験 C	2
エネルギー物質科学実験 A	2
エネルギー物質科学実験 B	2
エネルギー物質科学実験 C	2
応用物理学実験 A	2
応用物理学実験 B	2
応用物理学実験 C	2
原子核・量子線工学発表演習 A	2
原子核・量子線工学発表演習 B	2
核エネルギーシステム学発表演習 A	2
核エネルギーシステム学発表演習 B	2
核エネルギーシステム学発表演習 C	2
エネルギー物質科学発表演習 A	2
エネルギー物質科学発表演習 B	2
エネルギー物質科学発表演習 C	2
応用物理学発表演習 A	2
応用物理学発表演習 B	2
応用物理学発表演習 C	2
(異 分 野 科 目)	
材料工学 A	1
材料工学 B	1
応用化学 A	1
応用化学 B	1

化学工学A	1
化学工学B	1
機械工学A	1
機械工学B	1
水素エネルギーシステムA	1
水素エネルギーシステムB	1
航空宇宙工学A	1
航空宇宙工学B	1
船舶海洋工学A	1
船舶海洋工学B	1
地球資源システム工学A	1
地球資源システム工学B	1
土木工学A	1
土木工学B	1

博士後期課程

授 業 科 目	単 位
(講 究 科 目)	
核エネルギーシステム学講究A	4
核エネルギーシステム学講究B	4
核エネルギーシステム学講究C	4
エネルギー物質科学講究A	4
エネルギー物質科学講究B	4
エネルギー物質科学講究C	4
原子核・量子線工学講究A	4

原子核・量子線工学講究B	4
応用物理学講究A	4
応用物理学講究B	4
応用物理学講究C	4
産学連携実習	4
エネルギー量子工学研究企画演習	2
エネルギー量子工学指導演習	2
エネルギー量子工学特論	2
(博士 共 通 科 目)	
工学研究企画	2

別表第 8

船舶海洋工学専攻

一 履修方法

修士課程

次に掲げる高等専門科目、先端科目、能力開発特別科目及び異分野科目についての単位を合わせて 30 単位以上修得しなければならない。なお、4 単位を上限として、大学院基幹教育科目及び他学府が開講する科目を、異分野科目の単位として認定することができる。

- 1 高等専門科目から 6 単位以上
- 2 先端科目から 6 単位以上
- 3 能力開発特別科目から 2 単位以上
- 4 異分野科目から 4 単位以上

博士後期課程

次に掲げる講究科目、博士共通科目及びその他の関連授業科目（指導教員の指導により履修した他学府等の授業科目）についての単位を合わせて 10 単位以上修得しなければならない。なお、指導教員の指導により履修した他学府等の授業科目を、関連授業科目として単位認定し、第 8 条第 3 項に基づき課程修了の要件となる単位に充当することができる。

- 1 講究科目から 4 単位以上
- 2 博士共通科目の「工学研究企画」 2 単位

二 授業科目

修士課程

授 業 科 目	単 位
(高 等 専 門 科 目)	
溶接設計第一	2
溶接設計第二	2
連続体力学	2
応用数学	2
海洋浮体工学特論	2
船舶運動特論第一	2
船舶基本設計特論	2
船舶抵抗推進特論第一	2
船舶海洋流体力学特論	2
船舶海洋構造力学特論	2

海洋構造工学	2
艤装設計工学	2
国際海洋開発連携講義第一	4
(先 端 科 目)	
破壊管理工学特論	2
数値構造解析学特論	2
応用リスク解析学	2
船舶運動特論第二	2
システム最適化特論	2
制御工学特論	2
船舶抵抗推進特論第二	2
船舶抵抗推進特論第三	2
船舶コンピュータ支援設計製図	2
船舶海洋振動学特論	2
船舶海洋計測工学	2
船舶海洋情報学	2
荷重評価学	2
船舶用エンジン工学特論	2
国際プロジェクトマネジメント	2
交通・輸送システム工学	2
国際海洋開発連携講義第二	4
(能 力 開 発 特 別 科 目)	
船舶海洋工学特論第一	2
船舶海洋工学特論第二	2



船舶海洋工学特論第三	2
船舶海洋工学演習第一	2
船舶海洋工学演習第二	2
船舶海洋工学演習第三	2
地球環境工学研究企画	2
船舶海洋工学産学連携演習第一	1
船舶海洋工学産学連携演習第二	1
産学連携研究	2
国際海洋開発フィールド演習	2
(異 分 野 科 目)	
材料工学A	1
材料工学B	1
応用化学A	1
応用化学B	1
化学工学A	1
化学工学B	1
機械工学A	1
機械工学B	1
水素エネルギーシステムA	1
水素エネルギーシステムB	1
航空宇宙工学A	1
航空宇宙工学B	1
量子物理工学A	1
量子物理工学B	1

地球資源システム工学A	1
地球資源システム工学B	1
土木工学A	1
土木工学B	1

博士後期課程

授 業 科 目	単 位
(講 究 科 目)	
沿岸海洋工学講究A	4
沿岸海洋工学講究B	4
船舶海洋性能工学講究A	4
船舶海洋性能工学講究B	4
船舶海洋性能工学講究C	4
船舶海洋構造工学講究A	4
船舶海洋構造工学講究B	4
地球環境工学研究企画演習	4
地球環境工学指導演習	2
地球環境工学特別演習	2
産学連携実習	4
(博 士 共 通 科 目)	
工学研究企画	2

別表第9

地球資源システム工学専攻

一 履修方法

修士課程

次に掲げる高等専門科目、先端科目、能力開発特別科目及び異分野科目についての単位を合わせて30単位以上修得しなければならない。なお、4単位を上限として、大学院基幹教育科目及び他学府が開講する科目を、異分野科目の単位として認定することができる。

- 1 高等専門科目から6単位以上
- 2 先端科目から6単位以上
- 3 能力開発特別科目から2単位以上
- 4 異分野科目から4単位以上

博士後期課程

次に掲げる講究科目、博士共通科目及びその他の関連授業科目（指導教員の指導により履修した他学府等の授業科目）についての単位を合わせて10単位以上修得しなければならない。なお、指導教員の指導により履修した他学府等の授業科目を、関連授業科目として単位認定し、第8条第3項に基づき課程修了の要件となる単位に充当することができる。

- 1 講究科目から4単位以上
- 2 博士共通科目の「工学研究企画」2単位

二 授業科目

修士課程

授 業 科 目	単 位
(高 等 専 門 科 目)	
溶接設計第一	2
溶接設計第二	2
地震工学特論	2
空間情報学	2
連続体力学	2
応用数学	2
海洋浮体工学特論	2
船舶基本設計特論	2
船舶海洋構造力学特論	2
海洋構造工学	2

資源地質学第一	2
鉱物工学実験第一	1
鉱物工学実験第二	1
地球情報学第一	2
地球情報学実験第一	1
地球情報学実験第二	1
地球熱学特論	2
地熱工学特論実験第一	1
地熱工学特論実験第二	1
資源開発工学特論	2
資源開発工学特論実験	1
資源生産システム学実験	1
岩盤工学特論第一	2
岩盤工学特論実験第一	1
岩盤工学特論実験第二	1
資源処理・環境修復工学特論第一	2
資源処理・環境修復工学特論実験第一	1
資源処理・環境修復工学特論実験第二	1
エネルギー資源工学特論	2
エネルギー資源工学特論実験第一	1
エネルギー資源工学特論実験第二	1
研究計画法	2
プレゼンテーションデザイン	2
合意形成論演習	2

数値解析学	2
野外調査法	2
プレゼンテーション演習	2
都市工学・経済学	2
艦装設計工学	2
船舶運動特論第一	2
船舶抵抗推進特論第一	2
船舶海洋流体力学特論	2
実践データ解析学	2
(先 端 科 目)	
破壊管理工学特論	2
地盤環境システム工学	2
社会基盤財政論	2
実践景観デザイン論	2
数値構造解析学特論	2
廃棄物資源循環学	2
環境水理学	2
沿岸・海洋工学特論	2
システム最適化特論	2
制御工学特論	2
船舶海洋振動学特論	2
船舶海洋計測工学	2
船舶海洋情報学	2
船舶用エンジン工学特論	2

荷重評価学	2
資源地質学第二	2
鉱物工学	2
地球情報学第二	2
地球情報学第三	2
地熱工学特論	2
地熱系モデリング	2
環境安全特論	2
資源生産システム学	2
岩盤工学特論第二	2
開発機械システム工学特論	2
資源処理・環境修復工学特論第二	2
資源処理・環境修復工学特論第三	2
石油貯留層工学	2
物質移動工学特論	2
地球システム工学特別講義第一	1
地球システム工学特別講義第二	1
地球システム工学特別講義第三	1
応用リスク解析学	2
地球資源システム工学基礎第一	2
地球資源システム工学基礎第二	2
国際プロジェクトマネジメント	2
免震制振工学	2
水質変換工学	2

コンクリート工学特論	2
構造解析学特論	2
地盤解析学	2
建設基礎対策学	2
災害リスク学	2
防災地盤学	2
地盤材料力学	2
都市総合交通計画	2
鋼構造特論	2
河川工学特論	2
応用生態工学	2
環境計画論	2
地下水環境システム論	2
交通・輸送システム工学	2
国土開発・災害リスクマネジメント	2
船舶運動特論第二	2
船舶抵抗推進特論第二	2
船舶抵抗推進特論第三	2
船舶コンピュータ支援設計製図	2
(能力開発特別科目)	
建設システム工学演習第一	2
建設システム工学演習第二	2
建設システム工学演習第三	2
建設システム工学演習第四	2

都市環境システム工学演習第一	2
都市環境システム工学演習第二	2
都市環境システム工学演習第三	2
都市環境システム工学演習第四	2
海洋システム工学演習第一	2
海洋システム工学演習第二	2
海洋システム工学演習第三	2
地球資源システム工学演習第一	2
地球資源システム工学演習第二	2
地球資源システム工学演習第三	2
地球工学国際連携特論	2
エネルギー資源工学国際連携特論	2
地球環境工学研究企画	2
地球資源システム工学国際連携演習	2
建設システム工学特論第一	2
建設システム工学特論第二	2
建設システム工学特論第三	2
建設システム工学特論第四	2
都市環境システム工学特論第一	2
都市環境システム工学特論第二	2
都市環境システム工学特論第三	2
都市環境システム工学特論第四	2
海洋システム工学特論第一	2
海洋システム工学特論第二	2



海洋システム工学特論第三	2
地球資源システム工学特論第一	2
地球資源システム工学特論第二	2
地球資源システム工学特論第三	2
課題解決セミナー第一	2
課題解決セミナー第二	2
実践維持管理工学	2
環境学実習	2
産学連携研究	2
海洋システム工学産学連携演習第一	1
海洋システム工学産学連携演習第二	1
(異 分 野 科 目)	
材料工学A	1
材料工学B	1
応用化学A	1
応用化学B	1
化学工学A	1
化学工学B	1
機械工学A	1
機械工学B	1
水素エネルギーシステムA	1
水素エネルギーシステムB	1
航空宇宙工学A	1
航空宇宙工学B	1

量子物理工学A	1
量子物理工学B	1
船舶海洋工学A	1
船舶海洋工学B	1
土木工学A	1
土木工学B	1

博士後期課程

授 業 科 目	単 位
(講 究 科 目)	
地球システム科学	4
地球情報工学	4
地球熱システム学	4
資源開発システム工学	4
岩盤・開発機械システム工学	4
資源処理・環境修復システム工学	4
エネルギー資源工学	4
地球資源システム工学研究企画	2
地球環境工学指導演習	2
地球環境工学特別演習	2
産学連携実習	4
(博 士 共 通 科 目)	
工学研究企画	2

別表第 10

共同資源工学専攻

一 履修方法

次に掲げる単位を合わせて30単位以上修得しなければならない。当該専攻以外の授業科目を修得した場合は、専門科目Bとして取り扱う。共通科目の選択科目は、専門科目Bに振り替えることができる。

- 1 共通科目から6単位以上
- 2 九州大学が開講する専門科目A及び専門科目Bから12単位以上
- 3 北海道大学が開講する専門科目Aから10単位以上
- 4 「共同資源工学特別演習」2単位

二 授業科目

授 業 科 目		単 位
(共 通 科 目)	資源マネジメントⅠ	2
	資源マネジメントⅡ	1
	国際人材交流セミナー	2
	国際フィールド調査	2
	共同資源工学特別講義Ⅰ	1
	共同資源工学特別講義Ⅱ	1
	共同資源工学特別講義Ⅲ	1
(専 門 科 目 A)	環境地質学Ⅱ	2
	金属製錬工学	2
	選鉱・リサイクル工学	2
	資源サステナビリティ	2
	資源生物工学	2
	地下水保全工学	2
	資源システム特別講義Ⅰ	2
	鉱床学	2
	地球熱学概論	2
	資源開発工学	2

	資源採掘システム工学	2
	地球環境修復工学	2
	石油貯留層工学	2
	資源システム特別講義II	2
	資源生産システム	2
	海洋探査工学	2
（ 専 門 科 目 B ）	資源情報処理	2
	地圏計測工学	2
	環境地質学 I	2
	環境プロセス鉱物学	2
	連続体・不連続体力学	2
	岩盤力学	2
	資源地質学	2
	地熱システム学	2
	エンジニアリング経済学	2
	固体資源採掘法	2
	資源分離精製工学	2
	地熱生産工学	2
物理探査工学	2	
共同資源工学特別演習		2

別表第 1 1

土木工学専攻

一 履修方法

修士課程

次に掲げる高等専門科目、先端科目、能力開発特別科目及び異分野科目についての単位を合わせて30単位以上修得しなければならない。なお、4単位を上限として、大学院基幹教育科目及び他学府が開講する科目を、異分野科目の単位として認定することができる。

- 1 高等専門科目から6単位以上
- 2 先端科目から6単位以上
- 3 能力開発特別科目から6単位以上
- 4 異分野科目から4単位以上

博士後期課程

次に掲げる講究科目、博士共通科目及びその他の関連授業科目（指導教員の指導により履修した他学府等の授業科目）についての単位を合わせて10単位以上修得しなければならない。なお、指導教員の指導により履修した他学府等の授業科目を関連授業科目として単位認定し、第8条第3項に基づき課程修了の要件となる単位に充当することができる。

- 1 講究科目から、以下を含む4単位以上  
 社会基盤工学コースにおいては「建設材料工学講究A」、「建設材料工学講究B」、「建設設計工学講究A」、「建設設計工学講究B」、「防災地盤工学講究A」、「防災地盤工学講究B」、及び「環境地盤工学講究」から選択した4単位、都市環境工学コースにおいては「都市システム計画学講究A」、「都市システム計画学講究B」、「環境デザイン工学講究A」、「都市環境工学講究A」、「都市環境工学講究B」、「環境システム工学講究A」、「環境水理学講究」、及び「沿岸海洋工学講究」から選択した4単位
- 2 博士共通科目の「工学研究企画」2単位

二 授業科目

修士課程

授 業 科 目	単 位
(高 等 専 門 科 目)	
実践データ解析学	2
野外調査法	2
研究計画法	2
数値解析学	2
空間情報学	2
地震工学特論	2
都市工学・経済学	2

(先 端 科 目)	
構造解析学特論	2
免震制振工学	2
コンクリート工学特論	2
鋼構造特論	2
地盤材料力学	2
建設基礎対策学	2
災害リスク学	2
地盤解析学	2
防災地盤学	2
河川工学特論	2
環境水理学	2
沿岸・海洋工学特論	2
都市総合交通計画	2
実践景観デザイン論	2
社会基盤財政論	2
廃棄物資源循環学	2
環境計画論	2
水質変換工学	2
国土開発・災害リスクマネジメント	2
地下水環境システム論	2
応用生態工学	2
地盤環境システム工学	2
(能 力 開 発 特 別 科 目)	

課題解決セミナーA	2
課題解決セミナーB	2
プレゼンテーション演習	2
プレゼンテーションデザイン	2
合意形成論演習	2
環境学実習	2
実践維持管理工学	2
産学連携研究	2
社会基盤工学特論第一	2
社会基盤工学特論第二	2
社会基盤工学特論第三	2
社会基盤工学特論第四	2
社会基盤工学演習第一	2
社会基盤工学演習第二	2
社会基盤工学演習第三	2
社会基盤工学演習第四	2
都市環境工学特論第一	2
都市環境工学特論第二	2
都市環境工学特論第三	2
都市環境工学特論第四	2
都市環境工学特論第五	2
都市環境工学演習第一	2
都市環境工学演習第二	2
都市環境工学演習第三	2

都市環境工学演習第四	2
都市環境工学演習第五	2
(異 分 野 科 目)	
材料工学A	1
材料工学B	1
応用化学A	1
応用化学B	1
化学工学A	1
化学工学B	1
機械工学A	1
機械工学B	1
水素エネルギーシステムA	1
水素エネルギーシステムB	1
航空宇宙工学A	1
航空宇宙工学B	1
量子物理工学A	1
量子物理工学B	1
船舶海洋工学A	1
船舶海洋工学B	1
地球資源システム工学A	1
地球資源システム工学B	1

博士後期課程

授 業 科 目	単 位
(講 究 科 目)	



建設材料工学講究A	4
建設材料工学講究B	4
建設設計工学講究A	4
建設設計工学講究B	4
防災地盤工学講究A	4
防災地盤工学講究B	4
環境地盤工学講究	4
都市システム計画学講究A	4
都市システム計画学講究B	4
環境デザイン工学講究A	4
都市環境工学講究A	4
都市環境工学講究B	4
環境システム工学講究A	4
環境水理学講究	4
沿岸海洋工学講究	4
土木工学研究企画演習	4
土木工学指導演習	2
土木工学特別演習	2
産学連携実習	4
(博士 共通科目)	
工学研究企画	2

別表第 1 2

一 履修方法

修士課程

コースごとに、次に掲げる高等専門科目、先端科目、能力開発特別科目及びその他の関連授業科目から、下表に定める条件を満たして 30 単位以上修得しなければならない。

各コースが属する修士課程において英語で開講する授業科目をコース授業科目といい、その他の授業科目で指導教員が指定する授業科目（外国人留学生に共通の授業科目を含む。）を関連授業科目という。

コ ー ス	コース授業科目と関連授業科目の単位
材料工学グローバルコース	1 高等専門科目から 4 単位以上 2 先端科目から 2 単位以上 3 能力開発特別科目から 4 単位以上
応用化学グローバルコース	1 高等専門科目の「Exercises in Reference Search (物質科学情報集約演習)」、「Communication Training in Materials Science I (物質科学コミュニケーション第一)」及び「Student Seminar in Materials Science I (物質科学セミナー第一)」のうちから選択した 4 単位以上 2 先端科目から 2 単位以上 3 能力開発特別科目から 4 単位以上
化学工学グローバルコース	1 高等専門科目から 4 単位以上 2 先端科目から 2 単位以上 3 能力開発特別科目から 4 単位以上
機械工学グローバルコース	1 高等専門科目及び先端科目の 7 分野のうち少なくとも 5 分野から各 1 科目ずつ、10 単位以上 2 能力開発特別科目から 6 単位以上
水素エネルギーシステムグローバルコース	1 高等専門科目から 10 単位以上 2 先端科目から 2 単位以上 3 能力開発特別科目から 2 単位以上 4 外国人留学生に共通の授業科目の「Advanced Japanese Industries (日本産業特論)」、「Advanced Engineering Analysis and Measurement I (工学解析・計測特論第一)」及び「Advanced Engineering Analysis and Measurement II (工学解析・計測特論第二)」のうちから選択した 2 単位以上
航空宇宙工学グローバルコース	1 高等専門科目及び先端科目から 16 単位以上 2 能力開発特別科目から 4 単位以上

量子物理工学グローバルコース	1 高等専門科目から6単位以上 2 先端科目から6単位以上 3 能力開発特別科目から4単位以上
船舶海洋工学グローバルコース 土木工学グローバルコース	1 高等専門科目から6単位以上 2 先端科目から6単位以上 3 能力開発特別科目から2単位以上
地球資源システム工学グローバルコース	1 高等専門科目から6単位以上 2 先端科目から6単位以上 3 能力開発特別科目から2単位以上

### 博士後期課程

コースごとに、博士後期課程に3年以上在籍し、コース授業科目及び関連授業科目から合わせて10単位以上を修得し、かつ、必要な研究指導を受けた上、博士論文の審査及び最終審査に合格しなければならない。また、修得する10単位は、下表に定める条件を満たさなければならない。

各コースが属する博士後期課程において英語で開講する授業科目をコース授業科目といい、その他の授業科目で指導教員が指定する授業科目を関連授業科目という。この場合において、コース授業科目のうち、指導教員が開講するものを主分野科目という。

コース	コース授業科目と関連授業科目の単位
材料工学グローバルコース	1 講究科目から4単位以上 2 「Engineering Research Planning (工学研究企画)」2単位
応用化学グローバルコース	1 講究科目から、「Materials Science, Research Planning Exercise (物質科学研究企画演習)」2単位を含む4単位以上 2 「Engineering Research Planning (工学研究企画)」2単位
化学工学グローバルコース	1 講究科目から4単位以上 2 「Engineering Research Planning (工学研究企画)」2単位
機械工学グローバルコース	1 講究科目から4単位以上 2 「Engineering Research Planning (工学研究企画)」2単位

水素エネルギーシステム工学グローバルコース	1 「Advanced Hydrogen Energy Engineering (水素エネルギー工学特論)」 2単位 2 「Project Analysis (プロジェクト演習)」 2単位 3 「International Internship I (国際連携インターンシップ I)」、「International Internship II (国際連携インターンシップ II)」及び「Internship (産学連携インターンシップ)」のうちから2単位 4 「Training as Supervisor (水素エネルギーシステム指導演習)」 2単位 5 「Engineering Research Planning (工学研究企画)」 2単位
航空宇宙工学グローバルコース	1 主分野科目のうち講究科目から4単位以上 2 「Engineering Research Planning (工学研究企画)」 2単位
量子物理工学グローバルコース	1 講究科目から4単位以上 2 「Engineering Research Planning (工学研究企画)」 2単位
船舶海洋工学グローバルコース 土木工学グローバルコース	1 講究科目から4単位以上 2 「Engineering Research Planning (工学研究企画)」 2単位
地球資源システム工学グローバルコース	1 講究科目から4単位以上 2 「Engineering Research Planning (工学研究企画)」 2単位

## 二 授業科目

### 修士課程

#### 材料工学グローバルコース

授 業 科 目	単 位
(高 等 専 門 科 目)	
Fracture of Materials (金属破壊学)	2
Control of Materials (材料制御学)	2
Deformation and Manufacturing (材料変形および加工学)	2
Engineering of Structural Materials (構造材料工学)	2
Electronic Devices (電子デバイス材料特論)	2

Reaction Control in Metallurgical Processing (材料反応制御学)	2
Electrolytic Reactions (電解反応工学)	2
Physical Chemistry of High Temperature Melts (融体物理化学)	2
(先 端 科 目)	
Semiconductor Devices (半導体デバイス)	2
Theory of Heat Treatments (熱処理論)	2
Materials Characterization (材料解析学)	2
Control of Crystal Growth (結晶成長制御学)	2
High-Temperature Reactions (高温反応工学)	2
Physico-chemical Properties of High Temperature Melts (高温融体物性)	2
Advanced Materials Science (機能材料学)	2
Thin Film Processing (薄膜工学)	2
(能 力 開 発 特 別 科 目)	
Seminar in Material Science A (材料工学セミナーA)	2
Seminar in Material Science B (材料工学セミナーB)	2
Seminar in Material Science C (材料工学セミナーC)	2
Seminar in Material Science D (材料工学セミナーD)	2
Communication for Material Science A (材料工学コミュニケーションA)	2
Communication for Material Science B (材料工学コミュニケーションB)	2
Communication for Material Science C (材料工学コミュニケーションC)	2
Communication for Material Science D (材料工学コミュニケーションD)	2
Integration of information in Materials Science (物質科学工学情報集約演習)	4
Material Science Research Planning A (物質科学工学研究企画演習A)	2
Material Science Research Planning B (物質科学工学研究企画演習B)	2

Material Science Research Planning C (物質科学工学研究企画演習C)	2
Material Science Research Planning D (物質科学工学研究企画演習D)	2
Industry-University Internship I (産学連携インターンシップ I)	2
Industry-University Internship II (産学連携インターンシップ II)	2

応用化学グローバルコース

授 業 科 目	単 位
(高 等 専 門 科 目)	
Inorganic Solid State Chemistry(無機固体化学)	2
Materials Properties of Ceramics (セラミック材料物性学)	2
Organic Reaction Chemistry (有機反応化学)	2
Organic Functional Chemistry (有機機能化学)	2
Organic Solid State Photophysics (有機固体光電子物性)	2
Organic Electronics and Photonics (有機光エレクトロニクス)	2
Chemistry of Molecular Assemblies (分子集合論)	2
Polymer Synthesis and Reaction (高分子合成反応論)	2
Molecular Electronics (分子電子構造論)	2
Molecular Solid State Theory (分子固体物性論)	2
Physical Chemistry of Polymers (高分子物性学)	2
Analytical Physical Chemistry of Polymers (材料物性解析学)	2
Applied Surface Chemistry (応用表面化学)	2
Chemical Reaction Control (化学反応制御学)	2
Nano-Micro Science (ナノ・マイクロ科学)	2
Applied Laser Engineering(応用レーザー工学)	2
Electroanalytical Chemistry (電気分析化学)	2

Theory of Ionic Equilibria (イオン平衡論)	2
Organocatalytic Chemistry (有機触媒化学)	2
Structural Coordination Chemistry (金属錯体構造論)	2
Bio & Molecular Systems Chemistry (生命分子素子化学)	2
Molecular Organization Chemistry (分子組織化学)	2
Chemistry of Small Molecules (小分子の化学)	2
Chemistry of Catalytic Materials Transformations (触媒的物質変換化学)	2
Molecular Cell Biology I (分子細胞生物学 I)	2
Biomolecular Physical Chemistry (生命分子物理化学)	2
Chemistry for Medicine I (医用化学第一)	1
Chemistry for Medicine II (医用化学第二)	1
Applied Photochemistry (応用光化学)	2
Applied Magnetic Chemistry (応用磁気化学)	2
Design of Biomolecular Systems (バイオシステム設計論)	2
Protein Engineering (プロテインエンジニアリング)	2
Chemical Information System in Biological Process (物質情報システム論)	2
Nanostructure Analysis (ナノ構造分析学特論)	2
Design of Surface Nanostructure (ナノ構造設計論)	2
Application of Molecular System I (分子システム応用学 I)	2
Biomaterials Design (医療材料設計学)	2
Biomaterials Science (バイオマテリアルサイエンス)	2
(先 端 科 目)	
Ceramic Engineering (セラミック工学)	2
Organic Structural Chemistry (有機構造化学)	2

Functional Molecular Materials Engineering (機能分子材料工学)	2
Supramolecular Conjugate Chemistry (超分子複合材料学)	2
Material Design of Supramolecules (超分子材料設計学)	2
Advanced Physical Chemistry of Materials (材料物性化学)	2
Functional Materials Engineering (機能物質工学)	2
Bioanalytical Chemistry (バイオ分析化学)	2
Chemical Sensor Engineering (化学センサー工学)	2
Bioinorganic Chemistry (生物無機化学)	2
Bio & Molecular Integration Chemistry (生命分子集積化学)	2
Organometallic Chemistry (有機金属化学)	2
Molecular Cell Biology II (分子細胞生物学II)	2
Fundamentals of Chemistry for Medicine (医用化学基礎)	1
Bioengineering (バイオエンジニアリング特論)	2
Nanomaterials Chemical Analysis (ナノ物質機能解析学特論)	2
Molecular System Science (分子システム学)	2
(能力開発特別科目)	
Exercises in Reference Search (物質科学情報集約演習)	2
Communication Training in Materials Science I (物質科学コミュニケーション第一)	2
Student Seminar in Materials Science I (物質科学セミナー第一)	2
Communication Training in Materials Science I (物質科学コミュニケーション第二)	2
Student Seminar in Materials Science II (物質科学セミナー第二)	2
Internship Program (企業インターンシップ)	2
Scientific English (科学英語)	2
Topics in Science and Technology (科学技術論)	2



Industry Academia Collaborations in Research and Development (産学連携特論第一)	2
Advanced Chemistry for Functional Materials (機能物質化学特論)	2
Advanced Chemistry for Molecular Systems (分子システム化学特論)	2

化学工学グローバルコース

授 業 科 目	単 位
(高 等 専 門 科 目)	
Advanced Chemical Reaction Engineering (反応工学特論)	2
Engineering Rheology (レオロジー工学)	2
Phase Equilibria (相平衡論)	2
Cell & Tissue Engineering (細胞・組織工学)	2
Engineering of Biomimetic Functional Materials (生体模倣機能材料工学)	2
Thermal System Engineering (システム熱工学)	2
Advanced Process Control Engineering (プロセスシステム制御学)	2
Electrochemical Systems Engineering (電気化学システム工学)	2
(先 端 科 目)	
Functional Surface Chemistry (機能表面化学)	2
Introduction to Soft Matter Processing (高分子プロセス工学)	2
Biomaterials Engineering (生命材料工学)	2
Biological Systems Engineering (生物・生体システム工学)	2
Environmental Fluid Transport Phenomena (環境流体輸送現象論)	2
Combustion System Engineering (燃焼システム工学)	2
Advanced Process Design Engineering (プロセスシステム設計学)	2
Bio-resource Materials Engineering (生体由来材料工学)	2
(能 力 開 発 特 別 科 目)	

Communication in Chemical Engineering I (化学工学コミュニケーションⅠ)	2
Communication in Chemical Engineering II (化学工学コミュニケーションⅡ)	2
Student Seminar in Chemical Engineering I (化学工学学生セミナーⅠ)	2
Student Seminar in Chemical Engineering II (化学工学学生セミナーⅡ)	2
Chemical Engineering Research Planning (化学工学情報集約演習)	2
Internship (化学工学インターンシップ)	2
Material Science and Engineering I (物質科学工学Ⅰ)	2
Material Science and Engineering II (物質科学工学Ⅱ)	2

機械工学グローバルコース

授 業 科 目	単 位
(高 等 専 門 科 目)	
Reactive Gas Dynamics (反応性ガス力学) 【分野 2】	2
Mechanical Vibration and Acoustics (振動音響工学) 【分野 4】	2
Computational Intelligence (計算知能) 【分野 5】	2
Robotics (ロボット工学) 【分野 5】	2
Heat and Mass Transfer (熱物質移動論) 【分野 7】	2
(先 端 科 目)	
Theory of Plasticity (塑性変形論) 【分野 6】	2
Gas Dynamics (気体力学) 【分野 3】	2
Fracture Mechanics (破壊力学) 【分野 1】	2
(能 力 開 発 特 別 科 目)	
Seminar in Mechanical Engineering I (機械工学セミナーⅠ)	1
Seminar in Mechanical Engineering II (機械工学セミナーⅡ)	1

Mechanical Engineering Internship I (機械工学インターンシップ I)	1
Mechanical Engineering Internship II (機械工学インターンシップ II)	1
Communication for Mechanical Engineer I (機械工学コミュニケーション I)	1
Communication for Mechanical Engineer II (機械工学コミュニケーション II)	1
Investigation on Mechanical Engineering (機械工学情報集約)	2

水素エネルギーシステムグローバルコース

授 業 科 目	単 位
(高 等 専 門 科 目)	
Hydrogen Energy Engineering (水素エネルギー工学)	2
Clean Energy Technologies (クリーンエネルギー技術特論)	2
Tribology (トライボロジー)	2
Heat and Mass Transfer (熱物質移動論)	2
Reactive Gas Dynamics (反応性ガス力学)	2
Mechanical Vibration and Acoustics (振動音響工学)	2
Computational Intelligence (計算知能)	2
High Pressure Gas Safety Engineering (高圧ガス安全工学)	2
Fuel Cell Engineering (燃料電池工学)	2
Hydrogen Production and Storage (水素製造・貯蔵)	2
(先 端 科 目)	
Advanced Energy Engineering I (先端エネルギー特論 I)	2
Advanced Energy Engineering II (先端エネルギー特論 II)	2
Fracture Mechanics (破壊力学)	2
(能 力 開 発 特 別 科 目)	

Seminar on Hydrogen Engineering I (水素工学セミナーⅠ)	1
Seminar on Hydrogen Engineering II (水素工学セミナーⅡ)	1
Internship for Hydrogen Engineering I (水素工学インターンシップⅠ)	1
Internship for Hydrogen Engineering II (水素工学インターンシップⅡ)	2
Communication for Hydrogen Engineer I (水素工学コミュニケーションⅠ)	1
Communication for Hydrogen Engineer II (水素工学コミュニケーションⅡ)	1
Investigation Study on Hydrogen Engineering (水素工学情報集約)	2

航空宇宙工学グローバルコース

授 業 科 目	単 位
(高 等 専 門 科 目)	
Internal Flow (内部流れ)	2
Aeroelasticity (空力弾性学)	2
Mechanics of Composite Laminates (複合材料力学)	2
Advanced Guidance and Control I (誘導制御特論Ⅰ)	2
Flight Dynamics and Control (応用飛行力学)	2
Spacecraft Dynamics (宇宙機動力学)	2
Reusable Launch Vehicle Engineering (宇宙往還機工学)	2
Re-Entry Dynamics (再突入力学)	2
Advanced Aircraft Design (航空機設計特論)	2
Space Utilization (宇宙利用システム工学)	2
Wind Engineering (大気流体力学)	2
Strength and Fracture of Composite Materials (複合材料強度学)	2
Analysis of Nanostructural Materials (ナノ構造解析学)	2
Functional Material Engineering (機能材料工学)	2

Computational Structural Mechanics (数値構造力学)	2
Power Electronics (電気エネルギー変換工学)	2
(先 端 科 目)	
Applied Fluid Dynamics (応用流体力学)	2
Applied Thermophysical Engineering (応用熱物理学)	2
Instrumentation (機器学特論)	2
(能 力 開 発 特 別 科 目)	
Seminar in Aeronautics and Astronautics I (航空宇宙工学演習Ⅰ)	2
Seminar in Aeronautics and Astronautics II (航空宇宙工学演習Ⅱ)	2
Laboratory Experiments on Aeronautics and Astronautics (航空宇宙工学研究実験)	2
Internship in Aerospace Engineering I (航空宇宙工学インターンシップⅠ)	1
Internship in Aerospace Engineering II (航空宇宙工学インターンシップⅡ)	1
Communication for Aerospace Engineers I (航空宇宙工学コミュニケーションⅠ)	1
Communication for Aerospace Engineers II (航空宇宙工学コミュニケーションⅡ)	1
Aerospace Engineering Project I (航空宇宙工学プロジェクトⅠ)	2
Aerospace Engineering Project II (航空宇宙工学プロジェクトⅡ)	2

量子物理工学グローバルコース

授 業 科 目	単 位
(高 等 専 門 科 目)	
High-Energy Nuclear Reaction (高エネルギー核反応論)	2
Nuclear Fuel Engineering (核燃料工学)	2
Environmental Sciences and Engineering (環境科学・工学)	2
Nuclear Physics and Measurement (原子核物理計測学)	2

Radiation Physics and Measurement (放射線物理計測学)	2
Sciences and Engineering of Organic Materials Property (有機物性工学)	2
Experimental Practice on Nuclear Engineering (原子力工学基礎実験)	2
Numerical Simulation for Radiation Engineering (放射線数値シミュレーション)	2
(先 端 科 目)	
Nuclear Reaction and Accelerator (原子核反応及び加速器学)	2
Lattice Defects in Materials (格子欠陥学)	2
Environment-Improving Material Engineering (環境機能材料工学)	2
Fusion Plasma Science (核融合プラズマ科学)	2
Thin Film and Surface Physics (薄膜表面物理学)	2
Radiation Effects in Nuclear Materials (原子力材料物性学)	2
Fudamental Aspects of Nuclear Fuel Cycle (核燃料サイクル工学)	2
Multiphase Flow Science in Energy Engineering (エネルギー混相流体工学)	2
Nuclear Reactor System Engineering (原子炉システム工学)	2
Applied Low Temperature Physics (応用低温物理学)	2
Solid State Physics (物性物理学)	2
(能 力 開 発 特 別 科 目)	
Nuclear and Radiation Engineering Laboratory I (原子核・量子線工学実験Ⅰ)	2
Nuclear and Radiation Engineering Laboratory II (原子核・量子線工学実験Ⅱ)	2
Materials Science for Energy Systems Laboratory I (エネルギー物質科学実験Ⅰ)	2
Materials Science for Energy Systems Laboratory II (エネルギー物質科学実験Ⅱ)	2
Materials Science for Energy Systems Laboratory III (エネルギー物質科学実験Ⅲ)	2

Nuclear Energy Systems Laboratory I (核エネルギーシステム学実験Ⅰ)	2
Nuclear Energy Systems Laboratory II (核エネルギーシステム学実験Ⅱ)	2
Nuclear Energy Systems Laboratory III (核エネルギーシステム学実験Ⅲ)	2
Applied Physics Laboratory I (応用物理学実験Ⅰ)	2
Applied Physics Laboratory II (応用物理学実験Ⅱ)	2
Applied Physics Laboratory III (応用物理学実験Ⅲ)	2
Laboratory and Presentation for Nuclear and Radiation Engineering I (原子核・量子線工学発表演習Ⅰ)	2
Laboratory and Presentation for Nuclear and Radiation Engineering II (原子核・量子線工学発表演習Ⅱ)	2
Laboratory and Presentation for Materials Science for Energy Systems I (エネルギー物質科学発表演習Ⅰ)	2
Laboratory and Presentation for Materials Science for Energy Systems II (エネルギー物質科学発表演習Ⅱ)	2
Laboratory and Presentation for Materials Science for Energy Systems III (エネルギー物質科学発表演習Ⅲ)	2
Laboratory and Presentation for Nuclear Energy Systems I (核エネルギーシステム学発表演習Ⅰ)	2
Laboratory and Presentation for Nuclear Energy Systems II (核エネルギーシステム学発表演習Ⅱ)	2
Laboratory and Presentation for Nuclear Energy Systems III (核エネルギーシステム学発表演習Ⅲ)	2
Laboratory and Presentation for Applied Physics I (応用物理学発表演習Ⅰ)	2
Laboratory and Presentation for Applied Physics II (応用物理学発表演習Ⅱ)	2
Laboratory and Presentation for Applied Physics III (応用物理学発表演習Ⅲ)	2
Research Project in Nuclear and Radiation Engineering I (原子核・量子線工学研究計画演習Ⅰ)	2
Research Project in Nuclear and Radiation Engineering II (原子核・量子線工学研究計画演習Ⅱ)	2
Research Project in Materials Science for Energy Systems I (エネルギー物質科学研究計画演習Ⅰ)	2
Research Project in Materials Science for Energy Systems II (エネルギー物質科学研究計画演習Ⅱ)	2
Research Project in Materials Science for Energy Systems III (エネルギー物質科学研究計画演習Ⅲ)	2

Research Project in Nuclear Energy Systems I (核エネルギーシステム学研究計画演習Ⅰ)	2
Research Project in Nuclear Energy Systems II (核エネルギーシステム学研究計画演習Ⅱ)	2
Research Project in Nuclear Energy Systems III (核エネルギーシステム学研究計画演習Ⅲ)	2
Research Project in Applied Physics I (応用物理学計画演習Ⅰ)	2
Research Project in Applied Physics II (応用物理学計画演習Ⅱ)	2
Research Project in Applied Physics III (応用物理学計画演習Ⅲ)	2
Scientific Presentation and Communication (科学技術コミュニケーション)	1
Experimental Practice on Nuclear Fuel Cycle I (核燃料サイクル実験Ⅰ)	1
Experimental Practice on Nuclear Fuel Cycle II (核燃料サイクル実験Ⅱ)	1
Laboratory and Presentation for Industrial Fields I (産学連携演習Ⅰ)	1
Laboratory and Presentation for Industrial Fields II (産学連携演習Ⅱ)	1
Laboratory and Presentation for Industrial Fields III (産学連携演習Ⅲ)	1
Seminar in Quantum Physics (量子物理特別講義)	1

船舶海洋工学グローバルコース  
土木工学グローバルコース

授 業 科 目	単 位
(高 等 専 門 科 目)	
Advanced Earthquake Engineering (地震工学特論)	2
Biological Water Quality Control Engineering (水質変換工学)	2
Advanced Ecological Engineering (応用生態工学)	2
Environmental Planning (環境計画論)	2
Groundwater Environmental Systems (地下水環境システム論)	2



Introduction of Marine Systems Engineering I (海洋システム工学概論第一)	2
Introduction of Marine Systems Engineering II (海洋システム工学概論第二)	2
Advanced Theory of Resistance for Ship and Marine Structures (船舶海洋抵抗特論)	2
Applied Risk Analysis (応用リスク解析学)	2
Introduction to Industrial and Applied Mathematics (応用数理学)	2
Advanced Course of Ship Preliminary Design (船舶基本設計特論)	2
Geo-Spatial Information Science (空間情報学)	2
Research Planning (研究計画法)	2
Numerical Analysis (数値解析学)	2
Field Survey Method (野外調査法)	2
Presentation Exercise (プレゼンテーション演習)	2
Urban Engineering & Economics (都市工学・経済学)	2
Advanced Data Analysis (実践データ解析学)	2
(先 端 科 目)	
Land Development and Disaster Risk Management in Japan (国土開発・災害リスクマネジメント)	2
Advanced Structural Analysis (構造解析学特論)	2
Geoenvironmental System Engineering (地盤環境システム工学)	2
Practical Application of Aesthetic Design in Civil Engineering (実践景観デザイン論)	2
Material Cycles and Waste Management (廃棄物資源循環学)	2
Environmental Fluid Mechanics (環境流体力学)	2
Advanced Ocean and Coastal Engineering (沿岸・海洋工学特論)	2
Urban Development Project (都市開発プロジェクト論)	2

Advanced Course in Fracture Control Design (破壊管理工学特論)	2
Structural Stability (構造安定論)	2
Advanced Course of Dynamics of Ships (船舶運動特論)	2
Advanced Course of Control Engineering (制御工学特論)	2
Application of Energy from the Ocean (海洋エネルギー利用計画)	2
Advanced Theory of Vibration for Ship and Marine Structures (船舶海洋振動学特論)	2
Advanced Course of Systems Design (システム設計特論)	2
Advanced Concrete Engineering (コンクリート工学特論)	2
Advanced Geotechnical Modelling and its Application (地盤解析学)	2
Advanced Geomechanics and Design (建設デザイン構造学)	2
Risk Management in Natural Disaster Prevention (災害リスク学)	2
Mechanics of Geomaterials (地盤材料力学)	2
Urban Transportation Planning (都市総合交通計画)	2
Advanced Steel Structure (鋼構造特論)	2
River Engineering (河川工学特論)	2
(能力開発特別科目)	
Advanced Civil and Environmental Engineering (地球環境工学特論)	2
Practice in Civil and Environmental Engineering (地球環境工学演習)	2
Practice in Environmental Studies (環境学実習)	2
Seminar in Marine Systems Engineering (海洋システム工学演習)	2
Problem-Solution Seminar (課題解決セミナー)	2
Internship Program (インターンシップ・プログラム)	2

地球資源システム工学グローバルコース

授 業 科 目	単 位
(高 等 専 門 科 目)	
Resource Geology I (資源地質学第一)	2
Mineral Engineering, Experiments I (鉱物工学実験第一)	1
Mineral Engineering, Experiments II (鉱物工学実験第二)	1
Engineering Geophysics I (地球情報学第一)	2
Engineering Geophysics, Experiments I (地球情報学実験第一)	1
Engineering Geophysics, Experiments II (地球情報学実験第二)	1
Geothermics (Advanced) (地球熱学特論)	2
Geothermal Engineering (Advanced), Experiments I (地熱工学特論実験第一)	1
Geothermal Engineering (Advanced), Experiments II (地熱工学特論実験第二)	1
Resources Development Engineering (Advanced) (資源開発工学特論)	2
Resources Development Engineering (Advanced), Experiments (資源開発工学特論実験)	1
Mineral Resources Production System, Experiments (資源生産システム学実験)	1
Rock Engineering (Advanced) I (岩盤工学特論第一)	2
Rock Engineering (Advanced), Experiments I (岩盤工学特論実験第一)	1
Rock Engineering (Advanced), Experiments II (岩盤工学特論実験第二)	1
Mineral Processing, Recycling and Environmental Remediation Engineering (Advanced) I (資源処理・環境修復工学特論第一)	2
Mineral Processing, Recycling and Environmental Remediation Engineering (Advanced), Experiments I (資源処理・環境修復工学特論実験第一)	1
Mineral Processing, Recycling and Environmental Remediation Engineering (Advanced), Experiments II (資源処理・環境修復工学特論実験第二)	1
Energy Resources Engineering (Advanced) (エネルギー資源工学特論)	2

Energy Resources Engineering (Advanced), Experiments I (エネルギー資源工学特論実験第一)	1
Energy Resources Engineering (Advanced), Experiments II (エネルギー資源工学特論実験第二)	1
(先 端 科 目)	
Fundamentals of Earth Resources Engineering I (地球資源システム工学基礎第一)	2
Fundamentals of Earth Resources Engineering II (地球資源システム工学基礎第二)	2
International Project Management (国際プロジェクトマネジメント)	2
Resource Geology II (資源地質学第二)	2
Mineral Engineering (鉱物工学)	2
Engineering Geophysics II (地球情報学第二)	2
Engineering Geophysics III (地球情報学第三)	2
Geothermal Engineering (Advanced) (地熱工学特論)	2
Geothermal System Modeling (地熱系モデリング)	2
Environment and Safety (Advanced) (環境安全特論)	2
Mineral Resources Production Engineering (資源生産システム学)	2
Rock Engineering (Advanced) II (岩盤工学特論第二)	2
Mining Machinery System (Advanced) (開発機械システム工学特論)	2
Resources Processing (Advanced) II (資源処理工学特論第二)	2
Resources Processing (Advanced) III (資源処理工学特論第三)	2
Petroleum Reervoir Engineering (石油貯留層工学)	2
Subsurface Mass Transport Engineering (Advanced) (物質移動工学特論)	2
Special Lecture on Earth Resources Engineering I (地球資源システム工学特別講義第一)	2
Special Lecture on Earth Resources Engineering II (地球資源システム工学特別講義第二)	2

Special Lecture on Earth Resources Engineering III (地球資源システム工学特別講義第三)	2
(能力開発特別科目)	
Earth Resources Engineering, Seminar I (Research for Master Thesis) (地球資源システム工学演習第一)	2
Earth Resources Engineering, Seminar II (Research for Master Thesis) (地球資源システム工学演習第二)	2
Earth Resources Engineering, Seminar III (Research for Master Thesis) (地球資源システム工学演習第三)	2
International Cooperative Study on Earth System Engineering (Advanced) (地球工学国際連携特論)	2
International Cooperative Study on Mining Engineering (Advanced) (資源システム工学国際連携特論)	2
International Cooperative Study on Energy Resources Engineering (Advanced) (エネルギー資源工学国際連携特論)	2
Research Planning on Earth Resources, Marine and Civil Engineering (地球環境工学研究企画)	2
Earth Resources Engineering (Advanced) I (地球資源システム工学特論第一)	2
Earth Resources Engineering (Advanced) II (地球資源システム工学特論第二)	2
Earth Resources Engineering (Advanced) III (地球資源システム工学特論第三)	2
Academic and Industrial Liaison Research (産学連携研究)	2

外国人留学生に共通の授業科目

授 業 科 目	単 位
Applied IT I (IT応用第一)	2
Applied IT II (IT応用第二)	2
Advanced Japanese Industries (日本産業特論)	2
Advanced Engineering Analysis and Measurement I (工学解析・計測特論第一)	2
Advanced Engineering Analysis and Measurement II (工学解析・計測特論第二)	2
Business Japanese A (ビジネス日本語A)	1
Business Japanese B (ビジネス日本語B)	1

Business Japanese C (ビジネス日本語C)	1
Survival Japanese (サバイバル・ジャパニーズ)	1
Active Japanese I (アクティブ日本語I)	1
Active Japanese II (アクティブ日本語II)	1
Progressive Japanese I (プログレッシブ日本語I)	1
Progressive Japanese II (プログレッシブ日本語II)	1

博士後期課程

材料工学グローバルコース

授 業 科 目	単 位
Advanced Reaction Engineering for Materials A (材料反応プロセス工学講究A)	4
Advanced Reaction Engineering for Materials B (材料反応プロセス工学講究B)	4
Advanced Reaction Engineering for Materials C (材料反応プロセス工学講究C)	4
Advanced Materials Processing A (材料加工学講究A)	4
Advanced Materials Processing B (材料加工学講究B)	4
Advanced Materials Processing C (材料加工学講究C)	4
Advanced Microstructural Engineering of Materials A (材料組織学講究A)	4
Advanced Microstructural Engineering of Materials B (材料組織学講究B)	4
Advanced Microstructural Engineering of Materials C (材料組織学講究C)	4
Advanced Functional Material A (機能材料工学講究A)	4
Advanced Functional Material B (機能材料工学講究B)	4
Seminars in Reaction Engineering for Materials (材料反応プロセス工学セミナー)	2
Seminars in Materials Processing (材料加工学セミナー)	2

Seminars in Microstructural Engineering of Materials (材料組織学セミナー)	2
Seminars in Functional Materials (機能材料工学セミナー)	2
Research Proposals in Materials Science and Engineering (物質科学工学研究企画演習)	2
Teaching Practices on Materials Science and Engineering (物質科学工学指導演習)	2
Communications for Materials Science and Engineering (物質科学工学コミュニケーション)	2
Integrations of Information on Materials Science and Engineering (物質科学工学情報集約演習)	2
Industry-University Internship I (産学連携インターンシップ I)	4
Industry-University Internship (産学連携インターンシップ II)	4
Engineering Research Planning (工学研究企画)	2

応用化学グローバルコース

授 業 科 目	単 位
Advanced Applied Chemistry A (応用化学講究A)	4
Advanced Applied Chemistry B (応用化学講究B)	4
Advanced Applied Chemistry C (応用化学講究C)	4
Advanced Applied Chemistry D (応用化学講究D)	4
Advanced Applied Chemistry E (応用化学講究E)	4
Advanced Applied Chemistry F (応用化学講究F)	4
Advanced Applied Chemistry G (応用化学講究G)	4
Advanced Applied Chemistry H (応用化学講究H)	4
Advanced Applied Chemistry I (応用化学講究I)	4
Advanced Applied Chemistry J (応用化学講究J)	4
Advanced Applied Chemistry K (応用化学講究K)	4
Advanced Applied Chemistry L (応用化学講究L)	4

Advanced Applied Chemistry M (応用化学講究M)	4
Advanced Applied Chemistry N (応用化学講究N)	4
Advanced Applied Chemistry O (応用化学講究O)	4
Advanced Applied Chemistry P (応用化学講究P)	4
Advanced Applied Chemistry Q (応用化学講究Q)	4
Advanced Applied Chemistry R (応用化学講究R)	4
Advanced Applied Chemistry S (応用化学講究S)	4
Advanced Applied Chemistry T (応用化学講究T)	4
Materials Science, Research Planning Exercise (物質科学研究企画演習)	4
Materials Science, Advanced Instructing Practice (物質科学指導演習)	2
Materials Science, Advanced Exercise I (物質科学特別演習第一)	2
Materials Science, Advanced Exercise II (物質科学特別演習第二)	2
Materials Science, Internship I (産学連携実習第一)	4
Materials Science, Internship II (産学連携実習第二)	4
Materials Science, Internship III (産学連携実習第三)	4
Engineering Research Planning (工学研究企画)	2

化学工学グローバルコース

授 業 科 目	単 位
Advanced Material Chemical Engineering A (材料化学工学講究A)	4
Advanced Material Chemical Engineering B (材料化学工学講究B)	4
Advanced Material Chemical Engineering C (材料化学工学講究C)	4
Advanced Molecular System Chemistry (分子システム化学講究)	4
Advanced Biochemical Engineering (生物化学工学講究)	4



Advanced Biological Interface Engineering (生体界面工学講究)	4
Environment-Benign Systems Engineering, Advanced Topic A (環境調和システム工学講究A)	4
Environment-Benign Systems Engineering, Advanced Topic B (環境調和システム工学講究B)	4
Environment-Benign Systems Engineering, Advanced Topic C (環境調和システム工学講究C)	4
Chemical Engineering Research Planning (化学工学研究企画演習)	4
Advanced Communication in Chemical Engineering (化学工学コミュニケーション)	2
Internship in Chemical Engineering (化学工学インターンシップ)	2
Research Planning in Material Science (物質科学研究企画演習)	2
Engineering Research Planning (工学研究企画)	2

機械工学グローバルコース

授 業 科 目	単 位
Advanced Material Strength (材料力学講究)	4
Advanced Design Engineering (設計工学講究)	4
Advanced Thermal Engineering (熱工学講究)	4
Advanced Fluids Engineering (流体工学講究)	4
Advanced Dynamics of Machinery (機械力学講究)	4
Advanced Control Systems (制御システム講究)	4
Advanced Manufacturing Process (加工プロセス講究)	4
Advanced Biomechanical and Biothermal Engineering (生体工学講究)	4
Seminar in Material Strength (材料力学セミナー)	2
Seminar in Design Engineering (設計工学セミナー)	2
Seminar in Thermal Engineering (熱工学セミナー)	2
Seminar in Fluids Engineering (流体工学セミナー)	2

Seminar in Dynamics of Machinery (機械力学セミナー)	2
Seminar in Control Systems (制御システムセミナー)	2
Seminar in Manufacturing Process (加工プロセスセミナー)	2
Seminar in Biomechanical and Biothermal Engineering (生体工学セミナー)	2
Mechanical Engineering Research Planning (機械工学研究企画演習)	2
Internship (機械工学インターンシップ)	4
International Internship (機械工学国際インターンシップ)	4
Communication for Mechanical Engineers (機械工学コミュニケーション)	2
Teaching Practice on Mechanical Engineering (機械工学指導演習)	1
Engineering Research Planning (工学研究企画)	2

水素エネルギーシステムグローバルコース

授 業 科 目	単 位
Tutorials on Hydrogen System A (水素システム講究A)	4
Tutorials on Hydrogen System B (水素システム講究B)	4
Tutorials on Hydrogen System C (水素システム講究C)	4
Tutorials on Material and Design A (水素材料・設計学講究A)	4
Tutorials on Material and Design B (水素材料・設計学講究B)	4
Tutorials on Material and Design C (水素材料・設計学講究C)	4
Tutorials on Material and Design D (水素材料・設計学講究D)	4
Tutorials on Thermofluid Engineering (水素熱流体工学講究)	4
Advanced Hydrogen Energy Engineering (水素エネルギー工学特論)	2
Advanced Energy Technologies (先端エネルギー技術論)	2
Seminar in Hydrogen System A (水素システムセミナーA)	2

Seminar in Hydrogen System B (水素システムセミナーB)	2
Seminar in Hydrogen System C (水素システムセミナーC)	2
Seminar in Material and Design A (水素材料・設計学セミナーA)	2
Seminar in Material and Design B (水素材料・設計学セミナーB)	2
Seminar in Material and Design C (水素材料・設計学セミナーC)	2
Seminar in Material and Design D (水素材料・設計学セミナーD)	2
Seminar in Thermofluid Engineering (水素熱流体工学セミナー)	2
Project Analysis (プロジェクト演習)	2
International Internship I (国際連携インターンシップI)	2
International Internship II (国際連携インターンシップII)	2
Internship (産学連携インターンシップ)	2
Research Planning (水素エネルギーシステム研究企画演習)	2
Training as Supervisor (水素エネルギーシステム指導演習)	2
Engineering Research Planning (工学研究企画)	2

航空宇宙工学グローバルコース

授 業 科 目	単 位
Advanced Aerospace Propulsion (推進工学講究)	4
Advanced Fluid Dynamics (流体力学講究)	4
Advanced Thermophysical Engineering (熱物理学講究)	4
Advanced Strength and Vibration (強度振動学講究)	4
Advanced Aerospace Structural Systems Engineering (軽構造システム工学講究)	4
Advanced Guidance and Control (誘導制御講究)	4
Advanced Flight Dynamics (飛行力学講究)	4

Advanced Space Systems Engineering (宇宙システム工学講究)	4
Advanced Space Transportation Systems Engineering (宇宙輸送システム工学講究)	4
Advanced Orbital Systems Engineering (軌道上システム工学講究)	4
Advanced Atmospheric Flow Engineering (大気流体工学講究)	4
Advanced Materials Strength for Aeronautics and Space (航空宇宙材料強度学講究)	4
Advanced Aerospace Structural Dynamics (航空宇宙構造動力学講究)	4
Advanced Seminar in Aeronautics and Astronautics I (航空宇宙工学高等セミナー I)	2
Advanced Seminar in Aeronautics and Astronautics II (航空宇宙工学高等セミナー II)	2
Aerospace Engineering Research Planning (航空宇宙工学研究企画演習)	2
Internship in Aerospace Engineering (航空宇宙工学インターンシップ)	2
International Internship in Aerospace Engineering (航空宇宙工学国際インターンシップ)	2
Communication for Aerospace Engineers I (航空宇宙工学コミュニケーション I)	1
Communication for Aerospace Engineers II (航空宇宙工学コミュニケーション II)	1
Aeronautics and Astronautics Project A (航空宇宙工学プロジェクトA)	2
Aeronautics and Astronautics Project B (航空宇宙工学プロジェクトB)	2
Teaching Practice on Aeronautics and Astronautics Engineering (航空宇宙工学指導演習)	2
Engineering Research Planning (工学研究企画)	2

量子物理工学グローバルコース

授 業 科 目	単 位
Colloquium on Nuclear and Radiation Engineering A (原子核・量子線工学講究A)	4
Colloquium on Nuclear and Radiation Engineering B (原子核・量子線工学講究B)	4
Colloquium on Nuclear Energy Systems A (核エネルギーシステム学講究A)	4

Colloquium on Nuclear Energy Systems B (核エネルギーシステム学講究B)	4
Colloquium on Nuclear Energy Systems C (核エネルギーシステム学講究C)	4
Colloquium on Materials Science for Energy Systems A (エネルギー物質科学講究A)	4
Colloquium on Materials Science for Energy Systems B (エネルギー物質科学講究B)	4
Colloquium on Materials Science for Energy Systems C (エネルギー物質科学講究C)	4
Colloquium on Applied Physics A (応用物理学講究A)	4
Colloquium on Applied Physics B (応用物理学講究B)	4
Colloquium on Applied Physics C (応用物理学講究C)	4
Research Study in Industrial Fields (産学連携実習)	4
Research Planning on Applied Quantum Physics and Nuclear Engineering (エネルギー量子工学研究企画演習)	2
Teaching Practice in Applied Quantum Physics and Nuclear Engineering (エネルギー量子工学指導演習)	2
Advanced Topics of Applied Quantum Physics and Nuclear Engineering (エネルギー量子工学特論)	2
Engineering Research Planning (工学研究企画)	2

船舶海洋工学グローバルコース  
土木工学グローバルコース

授 業 科 目	単 位
Advanced Civil Engineering Materials A (建設材料工学講究A)	4
Welding and Fracture Mechanics (Seminar) (建設材料工学講究B)	4
Advanced Civil Engineering Design A (建設設計工学講究A)	4
Advanced Civil Engineering Design B (建設設計工学講究B)	4
Advanced Geotechnical Disaster Prevention A (防災地盤工学講究A)	4
Advanced Geotechnical Disaster Prevention B (防災地盤工学講究B)	4

Advanced Environmental Geotechnology (環境地盤工学講究)	4
Advanced City Planning A (都市システム計画学講究A)	4
Advanced City Planning B (都市システム計画学講究B)	4
Advanced Environmental Design A (環境デザイン工学講究A)	4
Functional Design of Artificial Environment (Seminar) (環境デザイン工学講究B)	4
Advanced Urban Environmental Engineering A (都市環境工学講究A)	4
Advanced Urban Environmental Engineering B (都市環境工学講究B)	4
Advanced Environmental System Engineering A (環境システム工学講究A)	4
Advanced Environmental System Engineering B (環境システム工学講究B)	4
Advanced Costal Engineering A (沿岸海洋工学講究A)	4
Advanced Costal Engineering B (沿岸海洋工学講究B)	4
Investigation of Performance of Ships and Marine Structures B (船舶海洋性能工学講究B)	4
Investigation of Performance of Ships and Marine Structures C (船舶海洋性能工学講究C)	4
Investigation of Structural Engineering on Marine Structures A (船舶海洋構造工学講究A)	4
Investigation of Structural Engineering on Marine Structures B (船舶海洋構造工学講究B)	4
Investigation of Structural Engineering on Marine Structures C (船舶海洋構造工学講究C)	4
Investigation of Structural Engineering on Marine Structures D (船舶海洋構造工学講究D)	4
Investigation of Structural Engineering on Marine Structures E (船舶海洋構造工学講究E)	4
Research Planning on Civil Engineering (地球環境工学研究企画演習)	4
Teaching Practice on Civil Engineering (地球環境工学指導演習)	2
Special Practice on Civil Engineering (地球環境工学特別演習)	2
Internship (産学連携実習)	4

Seminar in Performance of Ships and Marine Structures B (船舶海洋性能工学演習B)	2
Seminar in Performance of Ships and Marine Structures C (船舶海洋性能工学演習C)	2
Seminar in Structural Engineering on Marine Structures A (船舶海洋構造工学演習A)	2
Seminar in Structural Engineering on Marine Structures B (船舶海洋構造工学演習B)	2
Seminar in Structural Engineering on Marine Structures C (船舶海洋構造工学演習C)	2
Seminar in Structural Engineering on Marine Structures D (船舶海洋構造工学演習D)	2
Seminar in Structural Engineering on Marine Structures E (船舶海洋構造工学演習E)	2
Engineering Research Planning (工学研究企画)	2

地球資源システム工学グローバルコース

授 業 科 目	単 位
Earth System Science (地球システム科学)	4
Environmental Geophysics (地球情報工学)	4
Geothermal Science and Engineering (地球熱システム学)	4
Mining Technology (資源開発システム工学)	4
Rock Engineering and Mining Machinery (岩盤・開発機械システム工学)	4
Resources Processing and Environmental Remediation System Engineering (資源処理・環境修復システム工学)	4
Energy Resources Engineering (エネルギー資源工学)	4
Individual Work on Research Planning on Earth Resources Engineering (地球資源システム工学研究企画演習)	2
Supervised Seminar on Earth Resources, Marine and Civil Engineering (地球環境工学指導演習)	2
Special Seminar on Earth Resources, Marine and Civil Engineering (地球環境工学特別演習)	2
Academic and Industrial Liaison Seminar (産学連携演習)	4
Engineering Research Planning (工学研究企画)	2

## 別表第1

## 一 履修方法

## 修士課程

各専攻ごとに、次に掲げる先端科目、高等専門科目、能力開発特別スクーリング科目、広域専門科目及び指導教員が指定する授業科目（各専攻共通の授業科目及び外国人留学生に共通の授業科目を含む。）についての単位をあわせて30単位以上修得しなければならない。

- 1 高等専門科目、先端科目及び広域専門科目について20単位以上（ただし、高等専門科目を6単位及び先端科目を4単位含む。）
- 2 能力開発特別スクーリング科目について4単位以上
- 3 広域専門科目及び指導教員が指定する授業科目（各専攻共通の授業科目及び外国人留学生に共通の授業科目を含む。）について6単位以上

## 博士後期課程

各専攻ごとに専攻授業科目4単位以上、工学研究企画2単位及びその他の関連授業科目についての単位をあわせて10単位以上修得しなければならない。なお、社会人特別選抜試験で入学した者に関する工学研究企画については、指導教員の指示に従うものとする。

当該専攻の博士後期課程で定められた授業科目を専攻授業科目といい、その他の授業科目で指導教員が指定する授業科目（各専攻共通の授業科目を含む。）を関連授業科目という。

## 二 授業科目

## 修士課程

## 物質創造工学専攻

授 業 科 目	単 位
（先 端 科 目）	
セラミック工学	2
有機構造化学	2
生物無機化学	2
有機金属化学	2
分子細胞生物学Ⅱ	2
超分子複合材料学	2
超分子材料設計学	2
生命分子集積化学	2
機能分子材料工学	2
（高 等 専 門 科 目）	
無機個体化学	2
セラミック材料物性学	2
有機反応化学	2



有機機能化学	2
有機固体光電子物性	2
有機触媒化学	2
金属錯体構造論	2
分子組織化学	2
小分子の化学	2
分子細胞生物学 I	2
生命分子物理化学	2
分子集合論	2
高分子合成反応論	2
分子電子構造論	2
分子固体物性論	2
バイオマテリアルサイエンス	2
再生医工材料学	2
有機光エレクトロニクス	2
触媒的物質変換化学	2
生命分子素子化学	2
ナノ構造設計論	2
(能力開発特別スクーリング科目)	
物質科学コミュニケーション第一	2
物質科学コミュニケーション第二	2
物質科学学生セミナー第一	2
物質科学学生セミナー第二	2
物質科学情報集約演習	4
(広 域 専 門 科 目)	

物質創造工学特論第一	2
物質創造工学特論第二 A	2
物質創造工学特論第二 B	2
物質創造工学特論第三 A	2
物質創造工学特論第三 B	2
物質創造工学特論第四	2
物質創造工学特論第五 A	2
物質創造工学特論第五 B	2
物質創造工学特論第五 C	2
物質創造工学特論第五 D	2
物質創造工学特論第六 A	2
物質創造工学特論第六 B	2
物質創造工学演習第一	2
物質創造工学演習第二 A	2
物質創造工学演習第二 B	2
物質創造工学演習第三 A	2
物質創造工学演習第三 B	2
物質創造工学演習第四	2
物質創造工学演習第五 A	2
物質創造工学演習第五 B	2
物質創造工学演習第五 C	2
物質創造工学演習第五 D	2
科学技術論	2
エネルギー科学	2
環境科学	2
分子情報科学	2

企業インターンシップ	2
国際連携化学	2
科学英語	2
先端生命科学特論	2
生体分子解析学演習	2
産学連携特論第一	2
産学連携特論第二	2
産学連携特論第三	2
産学連携特論第四	2
産学連携特論第五	2
産学連携特論第六	2
分子システム化学Ⅰ	2
分子システム化学Ⅱ	2
分子システム化学Ⅲ	2

物質プロセス工学専攻

授 業 科 目	単 位
(先 端 科 目)	
材料反応制御学	2
結晶成長制御学	2
金属破壊学	2
電解反応工学	2
高分子プロセス工学	2
生命材料工学	2
機能表面化学	2
反応工学特論	2

(高等専門科目)	
高温反応速度論	2
高温物性工学	2
融体物理化学	2
複合材料学	2
材料変形および加工学	2
物質移動プロセス工学	2
レオロジー工学	2
生体触媒工学	2
不均一反応工学	2
結晶塑性学	2
化学機能材料工学	2
(能力開発特別スクーリング科目)	
物質科学コミュニケーション第一	2
物質科学コミュニケーション第二	2
物質科学学生セミナー第一	2
物質科学学生セミナー第二	2
物質科学情報集約演習	4
(広域専門科目)	
物質プロセス工学特論第一A	2
物質プロセス工学特論第一B	2
物質プロセス工学特論第一C	2
物質プロセス工学特論第二A	2
物質プロセス工学特論第二B	2
物質プロセス工学特論第二C	2

物質プロセス工学特論第三A	2
物質プロセス工学特論第三B	2
物質プロセス工学特論第三C	2
物質プロセス工学演習第一A	2
物質プロセス工学演習第一B	2
物質プロセス工学演習第一C	2
物質プロセス工学演習第二A	2
物質プロセス工学演習第二B	2
物質プロセス工学演習第二C	2
物質プロセス工学演習第三A	2
物質プロセス工学演習第三B	2
物質プロセス工学演習第三C	2
科学技術論	2
エネルギー科学	2
環境科学	2
産学連携インターンシップ第一	2
産学連携インターンシップ第二	2
産学連携講義	2

材料物性工学専攻

授 業 科 目	単 位
(先 端 科 目)	
医用化学基礎	1
材料物性化学	2
光電気化学	2
機能物質工学	2

材料組織解析学	2
構造材料工学	2
半導体材料制御学	2
表面機能制御学	2
電子デバイス材料特論	2
(高等専門科目)	
医用化学第一	1
医用化学第二	1
高分子物性学	2
材料物性解析学	2
応用光化学	2
応用磁気化学	2
応用表面化学	2
化学反応制御学	2
材料制御学	2
電子線解析学	2
熱処理論	2
半導体デバイス特論	2
応用薄膜工学	2
材料機能評価学	2
実用金属材料設計学	2
(能力開発特別スクーリング科目)	
物質科学コミュニケーション第一	2
物質科学コミュニケーション第二	2
物質科学学生セミナー第一	2
物質科学学生セミナー第二	2

物質科学情報集約演習	4
(広 域 専 門 科 目)	
材料物性工学特論第一 A	2
材料物性工学特論第一 B	2
材料物性工学特論第二 A	2
材料物性工学特論第二 B	2
材料物性工学特論第三 A	2
材料物性工学特論第三 B	2
材料物性工学特論第四 A	2
材料物性工学特論第四 B	2
材料物性工学特論第四 C	2
材料物性工学演習第一 A	2
材料物性工学演習第一 B	2
材料物性工学演習第二 A	2
材料物性工学演習第二 B	2
材料物性工学演習第三 A	2
材料物性工学演習第三 B	2
材料物性工学演習第四 A	2
材料物性工学演習第四 B	2
材料物性工学演習第四 C	2
科学技術論	2
エネルギー科学	2
環境科学	2
産学連携インターンシップ第一	2
産学連携インターンシップ第二	2

産学連携講義	2
--------	---

化学システム工学専攻

授 業 科 目	単 位
(先 端 科 目)	
バイオ分析化学	2
化学センサー工学	2
ナノ物質機能解析学特論	2
生物機能システム工学	2
環境流体輸送現象論	2
省エネルギー工学	2
プロセスシステム設計学	2
生体由来材料工学	2
バイオエンジニアリング特論	2
燃焼システム工学	2
(高 等 専 門 科 目)	
生体模倣機能材料工学	2
相平衡論	2
ナノ・マイクロ科学	2
電気分析化学	2
イオン平衡論	2
バイオシステム設計論	2
物質情報システム論	2
ナノ構造解析学特論	2
生命プロセス工学	2
細胞・組織工学	2



システム流体工学	2
数値流体工学	2
システム熱工学	2
プロセスシステム制御学	2
電気化学システム工学	2
プロテインエンジニアリング	2
応用レーザー工学	2
(能力開発特別スクーリング科目)	
物質科学コミュニケーション第一	2
物質科学コミュニケーション第二	2
物質科学学生セミナー第一	2
物質科学学生セミナー第二	2
物質科学情報集約演習	4
(広 域 専 門 科 目)	
化学システム工学特論第一	2
化学システム工学特論第二A	2
化学システム工学特論第二B	2
化学システム工学特論第三A	2
化学システム工学特論第三B	2
化学システム工学特論第四A	2
化学システム工学特論第四B	2
化学システム工学特論第五A	2
化学システム工学特論第五B	2
化学システム工学特論第五C	2
化学システム工学演習第一	2
化学システム工学演習第二A	2

化学システム工学演習第二B	2
化学システム工学演習第三A	2
化学システム工学演習第三B	2
化学システム工学演習第四A	2
化学システム工学演習第四B	2
化学システム工学演習第五A	2
化学システム工学演習第五B	2
化学システム工学演習第五C	2
科学技術論	2
エネルギー科学	2
環境科学	2

各専攻共通の授業科目

授 業 科 目	単 位
応用数学A	2
応用数学B	2
応用数学C	2
応用数学D	2
ルベーグ積分	2
関数解析	2
国際イノベーション特論	4
国際オープンマインド特論	4
グローバルリサーチ特論	1
国際コラボレーション特論	4
ものづくり科学：粉末冶金原論	1
ものづくり科学：粉末冶金先端加工技術	1

ものづくり科学：セラミックス概論	2
ものづくり科学：セラミックス解析特論	2

外国人留学生に共通の授業科目

授 業 科 目	単 位
I T応用第一	2
I T応用第二	2
日本産業特論	2
工学解析・計測特論第一	2
工学解析・計測特論第二	2
ビジネス日本語A	1
ビジネス日本語B	1
ビジネス日本語C	1
サバイバル・ジャパニーズ	1
アクティブ日本語Ⅰ	1
アクティブ日本語Ⅱ	1
プログレッシブ日本語Ⅰ	1
プログレッシブ日本語Ⅱ	1

博士後期課程  
物質創造工学専攻

授 業 科 目	単 位
(先 端 科 目)	
応用無機化学講究	4
機能設計化学講究A	4
機能設計化学講究B	4

機能設計化学講究C	4
生体機能化学講究A	4
生体機能化学講究B	4
生体機能化学講究C	4
バイオミメティクス講究	4
超分子化学講究A	4
超分子化学講究B	4
超分子化学講究C	4
超分子化学講究D	4
(能力開発特別スクーリング科目)	
物質科学研究企画演習	2
物質科学指導演習	2
物質科学特別演習第一	2
物質科学特別演習第二	2
(産学連携科目)	
産学連携実習第一	4
産学連携実習第二	4
産学連携実習第三	4

物質プロセス工学専攻

授 業 科 目	単 位
(先 端 科 目)	
材料反応プロセス工学講究A	4
材料反応プロセス工学講究B	4
材料加工学講究A	4
材料加工学講究B	4

材料加工学講究C	4
材料化学工学講究A	4
材料化学工学講究B	4
材料化学工学講究C	4
(能力開発特別スクーリング科目)	
物質科学研究企画演習	2
化学工学研究企画演習	4
材料工学研究企画演習	4
物質科学指導演習	2
物質科学特別演習第一	2
物質科学特別演習第二	2
(産学連携科目)	
産学連携実習第一	4
産学連携実習第二	4
産学連携実習第三	4

材料物性工学専攻

授 業 科 目	単 位
(先 端 科 目)	
分子組織化学講究A	4
分子組織化学講究B	4
分子組織化学講究C	4
機能物性化学講究A	4
機能物性化学講究B	4
材料組織学講究A	4
材料組織学講究B	4

材料機能工学講究A	4
材料機能工学講究B	4
材料機能工学講究C	4
(能力開発特別スクーリング科目)	
物質科学研究企画演習	2
材料工学研究企画演習	4
物質科学指導演習	2
物質科学特別演習第一	2
物質科学特別演習第二	2
(産学連携科目)	
産学連携実習第一	4
産学連携実習第二	4
産学連携実習第三	4

化学システム工学専攻

授 業 科 目	単 位
(先 端 科 目)	
分子システム化学講究	4
分子情報化学講究A	4
分子情報化学講究B	4
バイオプロセス化学講究A	4
バイオプロセス化学講究B	4
生物化学工学講究A	4
生物化学工学講究B	4
環境調和システム工学講究A	4
環境調和システム工学講究B	4

環境調和システム工学講究C	4
(能力開発特別スクーリング科目)	
物質科学研究企画演習	2
化学工学研究企画演習	4
物質科学指導演習	2
物質科学特別演習第一	2
物質科学特別演習第二	2
(産 学 連 携 科 目)	
産学連携実習第一	4
産学連携実習第二	4
産学連携実習第三	4

各専攻共通の授業科目

授 業 科 目	単 位
工学研究企画	2
異分野特論 I	2
異分野特論 II	2
キャリア・デザイン	2
アントレプレナーシップ・セミナー	2
グローバルリサーチ特論	1
国際コラボレーション特論	4

## 別表第 2

### 一 履修方法

#### 修士課程

各専攻ごとに、専攻授業科目について次の単位とその他の関連授業科目についての単位をあわせて30単位以上修得しなければならない。

当該専攻の修士課程で定められた授業科目を専攻授業科目といい、その他の授業科目で指導教員が指定する授業科目（各専攻に共通の授業科目及び外国人留学生に共通の授業科目を含む。）を関連授業科目という。

専攻名	専攻授業科目と関連授業科目の単位
建設システム工学専攻	1 先端科目 6 単位以上 2 高等専門科目 6 単位以上 3 能力開発特別スクーリング科目、広域専門科目及び産学連携科目 2 単位以上
都市環境システム工学専攻	
海洋システム工学専攻	
地球資源システム工学専攻	
エネルギー量子工学専攻	1 先端科目から 6 単位以上 2 高等専門科目から 6 単位以上 3 能力開発特別スクーリング科目 4 単位以上 4 広域専門科目及び関連授業科目 4 単位以上

#### 博士後期課程

各専攻ごとに専攻授業科目について次の単位とその他の関連授業科目についての単位をあわせて10単位以上修得しなければならない。

当該専攻の博士後期課程で定められた授業科目を専攻授業科目といい、その他の授業科目で指導教員が指定する授業科目（各専攻共通の授業科目を含む。）を関連授業科目という。

専攻名	専攻授業科目と関連授業科目の単位
建設システム工学専攻	1 専攻授業科目 4 単位以上 2 工学研究企画 2 単位 ただし、社会人特別選抜試験で入学した者については、工学研究企画を必修としない。
都市環境システム工学専攻	
海洋システム工学専攻	
地球資源システム工学専攻	1 専攻授業科目 4 単位以上 2 工学研究企画 2 単位 ただし、社会人特別選抜試験で入学した者については、工学研究企画を専攻授業科目（2 単位以上）に替えることができる。
エネルギー量子工学専攻	1 専攻授業科目 4 単位以上 2 工学研究企画 2 単位 ただし、社会人特別選抜試験で入学した者については、工学研究企画を必修としない。

### 二 授業科目



修士課程

建設システム工学専攻

都市環境システム工学専攻

海洋システム工学専攻

地球資源システム工学専攻

授 業 科 目	単 位
(先 端 科 目)	
破壊管理工学特論	2
地盤環境システム工学	2
社会基盤財政論	2
実践景観デザイン論	2
数値構造解析学特論	2
廃棄物資源循環学	2
環境水理学	2
沿岸・海洋工学特論	2
システム最適化特論	2
制御工学特論	2
船舶海洋振動学特論	2
船舶海洋計測工学	2
船舶海洋情報学	2
船舶用エンジン工学特論	2
荷重評価学	2
資源地質学第二	2
鉱物工学	2
地球情報学第二	2
地球情報学第三	2
地熱工学特論	2
地熱系モデリング	2

環境安全特論	2
資源生産システム学	2
岩盤工学特論第二	2
開発機械システム工学特論	2
資源処理・環境修復工学特論第二	2
資源処理・環境修復工学特論第三	2
石油貯留層工学	2
物質移動工学特論	2
地球システム工学特別講義第一	1
地球システム工学特別講義第二	1
地球システム工学特別講義第三	1
応用リスク解析学	2
地球資源システム工学基礎第一	2
地球資源システム工学基礎第二	2
国際プロジェクトマネジメント	2
免震制振工学	2
水質変換工学	2
コンクリート工学特論	2
構造解析学特論	2
地盤解析学	2
建設基礎対策学	2
災害リスク学	2
防災地盤学	2
地盤材料力学	2
都市総合交通計画	2

鋼構造特論	2
河川工学特論	2
応用生態工学	2
環境計画論	2
地下水環境システム論	2
交通・輸送システム工学	2
国土開発・災害リスクマネジメント	2
船舶運動特論第二	2
船舶抵抗推進特論第二	2
船舶抵抗推進特論第三	2
船舶コンピュータ支援設計製図	2
(高等専門科目)	
溶接設計第一	2
溶接設計第二	2
地震工学特論	2
空間情報学	2
連続体力学	2
応用数理学	2
海洋浮体工学特論	2
船舶基本設計特論	2
船舶海洋構造力学特論	2
海洋構造工学	2
資源地質学第一	2
鈦物工学実験第一	1
鈦物工学実験第二	1
地球情報学第一	2

地球情報学実験第一	1
地球情報学実験第二	1
地球熱学特論	2
地熱工学特論実験第一	1
地熱工学特論実験第二	1
資源開発工学特論	2
資源開発工学特論実験	1
資源生産システム学実験	1
岩盤工学特論第一	2
岩盤工学特論実験第一	1
岩盤工学特論実験第二	1
資源処理・環境修復工学特論第一	2
資源処理・環境修復工学特論実験第一	1
資源処理・環境修復工学特論実験第二	1
エネルギー資源工学特論	2
エネルギー資源工学特論実験第一	1
エネルギー資源工学特論実験第二	1
研究計画法	2
プレゼンテーションデザイン	2
合意形成論演習	2
数値解析学	2
野外調査法	2
プレゼンテーション演習	2
都市工学・経済学	2
機装設計工学	2

船舶運動特論第一	2
船舶抵抗推進特論第一	2
船舶海洋流体力学特論	2
実践データ解析学	2
(能力開発特別スクーリング科目)	
建設システム工学演習第一	2
建設システム工学演習第二	2
建設システム工学演習第三	2
建設システム工学演習第四	2
都市環境システム工学演習第一	2
都市環境システム工学演習第二	2
都市環境システム工学演習第三	2
都市環境システム工学演習第四	2
海洋システム工学演習第一	2
海洋システム工学演習第二	2
海洋システム工学演習第三	2
地球資源システム工学演習第一	2
地球資源システム工学演習第二	2
地球資源システム工学演習第三	2
地球工学国際連携特論	2
エネルギー資源工学国際連携特論	2
地球環境工学研究企画	2
地球資源システム工学国際連携演習	2
(広 域 専 門 科 目)	
建設システム工学特論第一	2
建設システム工学特論第二	2

建設システム工学特論第三	2
建設システム工学特論第四	2
都市環境システム工学特論第一	2
都市環境システム工学特論第二	2
都市環境システム工学特論第三	2
都市環境システム工学特論第四	2
海洋システム工学特論第一	2
海洋システム工学特論第二	2
海洋システム工学特論第三	2
地球資源システム工学特論第一	2
地球資源システム工学特論第二	2
地球資源システム工学特論第三	2
課題解決セミナー第一	2
課題解決セミナー第二	2
(産 学 連 携 科 目)	
実践維持管理工学	2
環境学実習	2
産学連携研究	2
海洋システム工学産学連携演習第一	1
海洋システム工学産学連携演習第二	1

エネルギー量子工学専攻

授 業 科 目	単 位
(先 端 科 目)	
原子核反応論	2
加速器工学	2

量子線分光学	2
核融合プラズマ科学	2
原子炉物理学特論および実験	2
核燃料サイクル工学	2
量子線応用物性学	2
量子線構造解析学	2
量子線安全工学	2
エネルギー混相流体工学	2
複雑系科学	2
統計物理学	2
応用物性論	2
Nuclear Energy Systems and Safety	2
超分子システム学	2
(高等専門科目)	
応用原子核物理学	1
粒子線情報分析学	2
原子炉システム工学Ⅰ	1
原子炉システム工学Ⅱ	1
核融合炉基礎工学	2
原子力化学工学	2
核燃料工学Ⅰ	1
核燃料工学Ⅱ	1
エネルギー環境素材工学	2
エネルギーシステム材料科学Ⅰ	1
エネルギーシステム材料科学Ⅱ	1

量子線計測学Ⅰ	1
量子線計測学Ⅱ	1
高エネルギー核反応論	2
固体電子論Ⅰ	1
固体電子論Ⅱ	1
量子物理学	2
原子力工学基礎実験	2
原子核エネルギー変換基礎	2
有機物理工学Ⅰ	1
有機物理工学Ⅱ	1
放射線数値シミュレーション	1
(能力開発特別スクーリング科目)	
原子核・量子線工学実験A	2
原子核・量子線工学実験B	2
核エネルギーシステム学実験A	2
核エネルギーシステム学実験B	2
核エネルギーシステム学実験C	2
エネルギー物質科学実験A	2
エネルギー物質科学実験B	2
エネルギー物質科学実験C	2
応用物理学実験A	2
応用物理学実験B	2
応用物理学実験C	2
原子核・量子線工学発表演習A	2
原子核・量子線工学発表演習B	2
核エネルギーシステム学発表演習A	2



核エネルギーシステム学発表演習 B	2
核エネルギーシステム学発表演習 C	2
エネルギー物質科学発表演習 A	2
エネルギー物質科学発表演習 B	2
エネルギー物質科学発表演習 C	2
応用物理学発表演習 A	2
応用物理学発表演習 B	2
応用物理学発表演習 C	2
( 広 域 専 門 科 目 )	
量子ビーム科学	2
原子力安全工学	2
核燃料サイクル実験 I	1
核燃料サイクル実験 II	1
産学連携演習 I	1
産学連携演習 II	1
産学連携演習 III	1
電磁解析演習	1
有機物性工学	2
物性実験物理学 I	1
物性実験物理学 II	1
量子線医療応用	1
科学技術コミュニケーション	1
エネルギー量子工学基礎	2
エネルギー量子工学特別演習	1
原子核・量子線工学特別講義 I	1

原子核・量子線工学特別講義Ⅱ	1
原子核・量子線工学特別講義Ⅲ	1
原子核・量子線工学特別講義Ⅳ	1
核エネルギーシステム学特別講義Ⅰ	1
核エネルギーシステム学特別講義Ⅱ	1
核エネルギーシステム学特別講義Ⅲ	1
核エネルギーシステム学特別講義Ⅳ	1
応用物理学特別講義Ⅰ	1
応用物理学特別講義Ⅱ	1
応用物理学特別講義Ⅲ	1
応用物理学特別講義Ⅳ	1
エネルギー物質科学特別講義Ⅰ	1
エネルギー物質科学特別講義Ⅱ	1
エネルギー物質科学特別講義Ⅲ	1
エネルギー物質科学特別講義Ⅳ	1
原子核・量子線工学研究計画演習A	2
原子核・量子線工学研究計画演習B	2
核エネルギーシステム学研究計画演習A	2
核エネルギーシステム学研究計画演習B	2
核エネルギーシステム学研究計画演習C	2
エネルギー物質科学研究計画演習A	2
エネルギー物質科学研究計画演習B	2
エネルギー物質科学研究計画演習C	2
応用物理学研究計画演習A	2
応用物理学研究計画演習B	2
応用物理学研究計画演習C	2

原子力数値シミュレーション	1
---------------	---

各専攻共通の授業科目

授 業 科 目	単 位
応用数学A	2
応用数学B	2
応用数学C	2
応用数学D	2
ルベーグ積分	2
関数解析	2
国際イノベーション特論	4
国際オープンマインド特論	4
グローバルリサーチ特論	1
国際コラボレーション特論	4
ものづくり科学：粉末冶金原論	1
ものづくり科学：粉末冶金先端加工技術	1
ものづくり科学：セラミックス概論	2
ものづくり科学：セラミックス解析特論	2

外国人留学生に共通の授業科目

授 業 科 目	単 位
I T応用第一	2
I T応用第二	2
日本産業特論	2
工学解析・計測特論第一	2
工学解析・計測特論第二	2

ビジネス日本語A	1
ビジネス日本語B	1
ビジネス日本語C	1
サバイバル・ジャパニーズ	1
アクティブ日本語Ⅰ	1
アクティブ日本語Ⅱ	1
プログレッシブ日本語Ⅰ	1
プログレッシブ日本語Ⅱ	1

博士後期課程  
建設システム工学専攻

授 業 科 目	単 位
建設材料工学講究A	4
建設材料工学講究B	4
建設設計工学講究A	4
建設設計工学講究B	4
防災地盤工学講究A	4
防災地盤工学講究B	4
環境地盤工学講究	4
地球環境工学研究企画演習	4
地球環境工学指導演習	2
地球環境工学特別演習	2
産学連携実習	4

都市環境システム工学専攻

授 業 科 目	単 位
都市システム計画学講究A	4

都市システム計画学講究B	4
環境デザイン工学講究A	4
環境デザイン工学講究B	4
都市環境工学講究A	4
都市環境工学講究B	4
環境システム工学講究A	4
環境システム工学講究B	4
地球環境工学研究企画演習	4
地球環境工学指導演習	2
地球環境工学特別演習	2
産学連携実習	4

#### 海洋システム工学専攻

授 業 科 目	単 位
沿岸海洋工学講究A	4
沿岸海洋工学講究B	4
船舶海洋性能工学講究A	4
船舶海洋性能工学講究B	4
船舶海洋性能工学講究C	4
船舶海洋構造工学講究A	4
船舶海洋構造工学講究B	4
地球環境工学研究企画演習	4
地球環境工学指導演習	2
地球環境工学特別演習	2
産学連携実習	4

#### 地球資源システム工学専攻

授 業 科 目	単 位
地球システム科学	4
地球情報工学	4
地球熱システム学	4
資源開発システム工学	4
岩盤・開発機械システム工学	4
資源処理・環境修復システム工学	4
エネルギー資源工学	4
地球資源システム工学研究企画	2
地球環境工学指導演習	2
地球環境工学特別演習	2
産学連携実習	4

エネルギー量子工学専攻

授 業 科 目	単 位
核エネルギーシステム学講究A	4
核エネルギーシステム学講究B	4
核エネルギーシステム学講究C	4
エネルギー物質科学講究A	4
エネルギー物質科学講究B	4
エネルギー物質科学講究C	4
原子核・量子線工学講究A	4
原子核・量子線工学講究B	4
応用物理学講究A	4
応用物理学講究B	4
応用物理学講究C	4

産学連携実習	4
エネルギー量子工学研究企画演習	2
エネルギー量子工学指導演習	2
エネルギー量子工学特論	2

各専攻共通の授業科目

授 業 科 目	単 位
工学研究企画	2
異分野特論 I	2
異分野特論 II	2
キャリア・デザイン	2
アントレプレナーシップ・セミナー	2
グローバルリサーチ特論	1
国際コラボレーション特論	4

### 別表第3

#### 一 履修方法

##### 修士課程

各専攻ごとに、専攻授業科目について次の単位とその他の関連授業科目についての単位をあわせて30単位以上修得しなければならない。

当該専攻の修士課程で定められた授業科目を専攻授業科目といい、その他の授業科目で指導教員が指定する授業科目（各専攻に共通の授業科目及び外国人留学生に共通の授業科目を含む。）を関連授業科目という。

専攻名	専攻授業科目と関連授業科目の単位
機械工学専攻 (機械工学コース)	1 高等専門科目7分野の選択必修科目のうち少なくとも6分野から各1科目ずつ、12単位以上 2 先端科目4単位以上 3 能力開発特別スクーリング科目2単位以上
水素エネルギーシステム専攻 (水素エネルギーシステムコース)	1 高等専門科目12単位以上（「水素工学概論」及び「高圧ガス安全工学」を含む。） 2 先端科目4単位以上 3 能力開発特別スクーリング科目2単位以上
航空宇宙工学専攻	1 高等専門科目及び先端科目20単位以上 2 広域専門科目3単位以上 3 能力開発特別スクーリング科目4単位以上

##### 博士後期課程

各専攻ごとに、専攻授業科目4単位以上、工学研究企画2単位及びその他の関連授業科目についての単位をあわせて10単位以上修得しなければならない。ただし、社会人特別選抜試験で入学した者については、工学研究企画を必修としない。

当該専攻の博士後期課程で定められた授業科目を専攻授業科目といい、その他の授業科目で指導教員が指名する授業科目（各専攻共通の授業科目を含む。）を関連授業科目という。

#### 二 授業科目

##### 修士課程

機械工学専攻 機械工学コース

授業科目	単位
(先端科目)	
Theory of Plasticity (塑性変形論)	2
Gas Dynamics (気体力学)	2
材料強度学	2
燃焼工学特論	2
先端熱工学特論	2



エンジンシステム	2
内部流れ学	2
能動音響制御	2
構造動力学特論	2
知的システム工学	2
加工プロセス演習	1
生体工学特論	2
ソフトマター工学	2
Fracture Mechanics (破壊力学)	2
(高等専門科目)	
Reactive Gas Dynamics (反応性ガス力学) 【分野2】	2
Mechanical Vibration and Acoustics (振動音響工学) 【分野4】	2
Computational Intelligence (計算知能) 【分野5】	2
Robotics (ロボット工学) 【分野5】	2
Heat and Mass Transfer (熱物質移動論) 【分野7】	2
構造材料評価学【分野1】	2
設計工学特論【分野1】	2
二相流動現象学【分野2】	2
流体物理【分野3】	2
応用流体力学【分野3】	2
流体工学演習	1
機械振動学特論【分野4】	2
材料加工学【分野6】	2
精密加工学【分野6】	2
生体機械工学【分野7】	2
構造材料評価学【分野1】	2

(能力開発特別スクーリング科目)	
Seminar in Mechanical Engineering I (機械工学セミナー I)	1
Seminar in Mechanical Engineering II (機械工学セミナー II)	1
Mechanical Engineering Internship I (機械工学インターンシップ I)	1
Mechanical Engineering Internship II (機械工学インターンシップ II)	1
Communication for Mechanical Engineer I (機械工学コミュニケーション I)	1
Communication for Mechanical Engineer II (機械工学コミュニケーション II)	1
Investigation on Mechanical Engineering (機械工学情報集約)	2

水素エネルギーシステム専攻 水素エネルギーシステムコース

授 業 科 目	単 位
(先 端 科 目)	
Advanced Energy Engineering I (先端エネルギー特論 I)	2
Advanced Energy Engineering II (先端エネルギー特論 II)	2
水素エネルギー構造材料学	2
水素エネルギー機能材料学	2
水素エネルギー電気化学	2
燃料電池システム	2
トライボロジー特論	2
先端熱工学特論	2
エネルギー政策論	2
技術マネジメント	2
ソフトマター工学	2
Fracture Mechanics (破壊力学)	2
材料強度学	2

(高等専門科目)	
Hydrogen Energy Engineering (水素エネルギー工学)	2
Clean Energy Technologies (クリーンエネルギー技術特論)	2
Tribology (トライボロジー)	2
Heat and Mass Transfer (熱物質移動論)	2
Reactive Gas Dynamics (反応性ガス力学)	2
Mechanical Vibration and Acoustics (振動音響工学)	2
Computational Intelligence (計算知能)	2
Fuel Cell Engineering (燃料電池工学)	2
水素工学概論	2
水素製造システム	2
水素貯蔵システム	2
水素利用プロセス	2
水素利用システム	2
水素エネルギー社会システム	2
高圧ガス安全工学	2
流体物理	2
(能力開発特別スクーリング科目)	
Seminar on Hydrogen Engineering I (水素工学セミナー I)	1
Seminar on Hydrogen Engineering II (水素工学セミナー II)	1
Internship for Hydrogen Engineering I (水素工学インターンシップ I)	1
Internship for Hydrogen Engineering II (水素工学インターンシップ II)	2
Communication for Hydrogen Engineer I (水素工学コミュニケーション I)	1
Communication for Hydrogen Engineer II (水素工学コミュニケーション II)	1
Investigation Study on Hydrogen Engineering (水素工学情報集約)	2

(基 礎 科 目)	
Fundamental Mechanical Engineering I (機械工学基礎第一)	2
Fundamental Mechanical Engineering II (機械工学基礎第二)	2
Fundamental Mechanical Engineering III (機械工学基礎第三)	2

航空宇宙工学専攻

授 業 科 目	単 位
(先 端 科 目)	
反応性気体力学	2
応用流体力学	2
極限エネルギー工学	2
マイクロ流動物理学	2
非定常空気力学	2
最適構造システム学	2
機器学特論	2
航空機空力性能特論	2
宇宙機計装工学	2
宇宙ミッションの解析・設計	2
宇宙輸送経済論	2
大気モデリング学	2
耐熱材料強度学	2
衝撃工学	2
(高 等 専 門 科 目)	
推進工学特論 I	2
推進工学特論 II	2
気体力学特論	2

高速空気力学	2
熱物理学	2
空力弾性学	2
ロケット設計論	2
熱弾性解析	2
数値構造力学	2
複合材料力学	2
誘導制御特論Ⅰ	2
誘導制御特論Ⅱ	2
応用飛行力学	2
特殊航空機力学	2
宇宙機動力学	2
軌道摂動論	2
宇宙往還機工学	2
再突入力学	2
航空機設計特論	2
宇宙利用システム工学	2
宇宙環境工学	2
大気流体力学	2
大気境界層気象学	2
材料損傷学	2
ナノ構造解析学	2
機能材料工学	2
電気エネルギー変換工学	2
(能力開発特別スクーリング科目)	
航空宇宙工学プロジェクト研究	1

航空宇宙工学演習Ⅰ	2
航空宇宙工学演習Ⅱ	2
航空宇宙工学実験	2
(広域専門科目)	
推進工学特別講義	1
流体力学特別講義	1
熱物理学特別講義	1
強度振動学特別講義	1
軽構造システム工学特別講義	1
誘導制御特別講義	1
飛行力学特別講義	1
宇宙航行システム工学特別講義	1
宇宙輸送システム工学特別講義	1
宇宙利用システム工学特別講義	1
大気流体工学特別講義	1
複合連続体力学特別講義	1
機能材料工学特別講義	1
宇宙航空研究開発特別講義	1
(産学連携科目)	
航空宇宙工学インターンシップⅠ	1
航空宇宙工学インターンシップⅡ	1

各専攻共通の授業科目

授 業 科 目	単 位
応用数学A	2
応用数学B	2

応用数学C	2
応用数学D	2
ルベーク積分	2
関数解析	2
国際イノベーション特論	4
国際オープンマインド特論	4
グローバルリサーチ特論	1
国際コラボレーション特論	4
ものづくり科学：粉末冶金原論	1
ものづくり科学：粉末冶金先端加工技術	1
ものづくり科学：セラミックス概論	2
ものづくり科学：セラミックス解析特論	2

外国人留学生に共通の授業科目

授 業 科 目	単 位
I T応用第一	2
I T応用第二	2
日本産業特論	2
工学解析・計測特論第一	2
工学解析・計測特論第二	2
ビジネス日本語A	1
ビジネス日本語B	1
ビジネス日本語C	1
サバイバル・ジャパニーズ	1
アクティブ日本語 I	1
アクティブ日本語 II	1

プログレッシブ日本語 I	1
プログレッシブ日本語 II	1

博士後期課程  
機械工学専攻 機械工学コース

授 業 科 目	単 位
Advanced Material Strength (材料力学講究)	4
Advanced Design Engineering (設計工学講究)	4
Advanced Thermal Engineering (熱工学講究)	4
Advanced Fluids Engineering (流体工学講究)	4
Advanced Dynamics of Machinery (機械力学講究)	4
Advanced Control Systems (制御システム講究)	4
Advanced Manufacturing Process (加工プロセス講究)	4
Advanced Biomechanical and Biothermal Engineering (生体工学講究)	4
Seminar in Material Strength (材料力学セミナー)	2
Seminar in Design Engineering (設計工学セミナー)	2
Seminar in Thermal Engineering (熱工学セミナー)	2
Seminar in Fluids Engineering (流体工学セミナー)	2
Seminar in Dynamics of Machinery (機械力学セミナー)	2
Seminar in Control Systems (制御システムセミナー)	2
Seminar in Manufacturing Process (加工プロセスセミナー)	2
Seminar in Biomechanical and Biothermal Engineering (生体工学セミナー)	2
Mechanical Engineering Research Planning (機械工学研究企画演習)	2
Internship (機械工学インターンシップ)	4
International Internship (機械工学国際インターンシップ)	4
Communication for Mechanical Engineers (機械工学コミュニケーション)	2



## 航空宇宙工学専攻

授 業 科 目	単 位
推進工学講究	4
流体力学講究	4
熱物理学講究	4
強度振動学講究	4
軽構造システム工学講究	4
誘導制御講究	4
飛行力学講究	4
宇宙システム工学講究	4
宇宙輸送システム工学講究	4
軌道上システム工学講究	4
大気流体工学講究	4
航空宇宙材料強度学講究	4
航空宇宙構造動力学講究	4
航空宇宙工学プロジェクトA	2
航空宇宙工学プロジェクトB	2

## 各専攻共通の授業科目

授 業 科 目	単 位
工学研究企画	2
異分野特論 I	2
異分野特論 II	2
キャリア・デザイン	2
アントレプレナーシップ・セミナー	2

グローバルリサーチ特論	1
国際コラボレーション特論	4

#### 別表第4

##### 一 履修方法

次に掲げる単位をあわせて30単位以上修得しなければならない。当該専攻以外の授業科目を修得した場合は、専門科目Bとして取り扱う。共通科目の選択科目は、専門科目Bに振り替えることができる。

- 1 共通科目から6単位以上
- 2 九州大学が開講する専門科目A及び専門科目Bから12単位以上
- 3 北海道大学が開講する専門科目Aから10単位以上
- 4 「共同資源工学特別演習」2単位

##### 二 授業科目

授 業 科 目		単 位
（共 通 科 目 ）	資源マネジメントⅠ	2
	資源マネジメントⅡ	1
	国際人材交流セミナー	2
	国際フィールド調査	2
	共同資源工学特別講義Ⅰ	1
	共同資源工学特別講義Ⅱ	1
	共同資源工学特別講義Ⅲ	1
（専 門 科 目 A ）	環境地質学Ⅱ	2
	金属製錬工学	2
	選鉱・リサイクル工学	2
	資源サステナビリティ	2
	資源生物学	2
	地下水保全工学	2
	資源システム特別講義Ⅰ	2
	鉱床学	2
	地球熱学概論	2
	資源開発工学	2
	資源採掘システム工学	2
	地球環境修復工学	2

	石油貯留層工学	2
	資源システム特別講義II	2
	資源生産システム	2
	海洋探査工学	2
(専 門 科 目 B)	資源情報処理	2
	地圏計測工学	2
	環境地質学 I	2
	環境プロセス鉱物学	2
	連続体・不連続体力学	2
	岩盤力学	2
	資源地質学	2
	地熱システム学	2
	エンジニアリング経済学	2
	固体資源採掘法	2
	資源分離精製工学	2
	地熱生産工学	2
	物理探査工学	2
	共同資源工学特別演習	2

## 別表第 5

### 分子システム化学国際コース

#### 博士後期課程

物質創造工学専攻

物質プロセス工学専攻

材料物性工学専攻

化学システム工学専攻

#### 一 履修方法

##### 博士後期課程

各専攻ごとに、必修科目 2 単位と選択科目、専攻授業科目及びその他の関連授業科目について 8 単位以上のあわせて 10 単位以上を修得しなければならない。

別表第 1 に規定する当該専攻の博士後期課程で定められた授業科目を専攻授業科目といい、その他の授業科目で指導教員が指定する授業科目（各専攻共通の授業科目を含む。）を関連授業科目という。

#### 二 授業科目

##### 博士後期課程

授 業 科 目	単 位
( 必 修 科 目 )	
Research Planning on Molecular Systems (分子システム化学研究企画演習)	2
( 選 択 科 目 )	
Project Creation in Molecular Systems (分子システムプロジェクト創成)	2
Advanced Molecular Systems Lectures (国際連携特論)	2
International Internship Program (国際連携インターンシップ)	2
Industrial Job Training (産学連携インターンシップ)	2
Advanced English Training (国際科学英語)	2
Japanese Training for Business Communication (ビジネス日本語)	2
Advanced Life Science Lectures (先端生命科学特論)	2
Advanced Technology on Molecular Systems (分子システム化学)	2

## 別表第6

### 産業工学コース

#### 一 履修方法

##### (1) 修士課程

###### ① 物質創造工学専攻

物質プロセス工学専攻

材料物性工学専攻

化学システム工学専攻

各専攻ごとに、専攻授業科目及び産業工学コースの授業科目から、下記の要件を満たす30単位以上を履修しなければならない。

なお、別表第1二に規定する当該専攻の修士課程で定められた授業科目を専攻授業科目という。

1 専攻授業科目のうち、高等専門科目、先端科目及び広域専門科目について20単位以上（高等専門科目6単位、先端科目4単位を含む。また、広域専門科目については4単位までとする。）

2 産業工学コースの授業科目から、10単位以上

###### ② 建設システム工学専攻

都市環境システム工学専攻

海洋システム工学専攻

地球資源システム工学専攻

各専攻ごとに、専攻授業科目、関連授業科目及び産業工学コースの授業科目から、下記の要件を満たす30単位以上を履修しなければならない。

なお、別表第2二に規定する当該専攻の修士課程で定められた授業科目を専攻授業科目といい、その他の授業科目で指導教員が指定する授業科目（各専攻共通の授業科目、外国人留学生に共通の授業科目及び産業工学コースの授業科目を含む。）を関連授業科目という。

1 専攻授業科目のうち、高等専門科目6単位以上、先端科目6単位以上、能力開発特別スクーリング科目、広域専門科目及び産学連携科目から2単位以上

2 産業工学コースの授業科目から、10単位以上

###### ③ エネルギー量子工学専攻

専攻授業科目、関連授業科目及び産業工学コースの授業科目から、下記の要件を満たす30単位以上を履修しなければならない。

なお、別表第2二に規定する当該専攻の修士課程で定められた授業科目を専攻授業科目といい、その他の授業科目で指導教員が指定する授業科目（各専攻共通の授業科目、外国人留学生に共通の授業科目及び産業工学コースの授業科目を含む。）を関連授業科目という。

1 専攻授業科目のうち、高等専門科目6単位以上、先端科目6単位以上、能力開発特別スクーリング科目4単位以上、広域専門科目及び関連授業科目から4単位以上

2 産業工学コースの授業科目から、10単位以上

###### ④ 機械工学専攻

水素エネルギーシステム専攻

各専攻ごとに、専攻授業科目、関連授業科目及び産業工学コースの授業科目から、下記の要件を満たす30単位以上を履修しなければならない。

なお、別表第3二に規定する当該専攻の修士課程で定められた授業科目を専攻授業科目といい、その他の授業科目で指導教員が指定する授業科目（各専攻共通の授業科目、外国人留学生に共通の授業科目及び産業工学コースの授業科目を含む。）を関連授業科目という。

1 専攻授業科目のうち、高等専門科目及び先端科目から14単位以上、能力開発特別スクーリング科目4単位以上

2 産業工学コースの授業科目から、10単位以上

###### ⑤ 航空宇宙工学専攻

専攻授業科目及び産業工学コースの授業科目から、下記の要件を満たす30単位以上を履修しなければならない。

なお、別表第3二に規定する当該専攻の修士課程で定められた授業科目を専攻授業科目という。

- 1 専攻授業科目のうち、高等専門科目及び先端科目から20単位以上
- 2 産業工学コースの授業科目から、10単位以上

(2) 博士後期課程

① 物質創造工学専攻

物質プロセス工学専攻

材料物性工学専攻

化学システム工学専攻

各専攻ごとに、専攻授業科目及び産業工学コースの授業科目から、下記の要件を満たすよう履修しなければならない。

なお、別表第1二に規定する当該専攻の博士後期課程で定められた授業科目を専攻授業科目という。

- 1 専攻授業科目から4単位以上
- 2 産業工学コースの授業科目から、10単位以上

② 建設システム工学専攻

都市環境システム工学専攻

海洋システム工学専攻

地球資源システム工学専攻

エネルギー量子工学専攻

各専攻ごとに、専攻授業科目及び産業工学コースの授業科目から、下記の要件を満たすよう履修しなければならない。

なお、別表第2二に規定する当該専攻の博士後期課程で定められた授業科目を専攻授業科目という。

- 1 専攻授業科目から4単位以上
- 2 産業工学コースの授業科目から、10単位以上

③ 機械工学専攻

水素エネルギーシステム専攻

航空宇宙工学専攻

各専攻ごとに、専攻授業科目及び産業工学コースの授業科目から、下記の要件を満たすよう履修しなければならない。

なお、別表第3二に規定する当該専攻の博士後期課程で定められた授業科目を専攻授業科目という。

- 1 専攻授業科目から4単位以上
- 2 産業工学コースの授業科目から、10単位以上

二 授業科目

修士課程・博士後期課程

授 業 科 目	単 位
(選 択 科 目)	
Advanced Engineering Analysis and Measurement I (工学解析・計測特論第一)	2
Advanced Engineering Analysis and Measurement II (工学解析・計測特論第二)	2
Advanced Japanese Industries	2

(日本産業特論)	
I T応用第一	2
I T応用第二	2
エネルギー・環境・情報工学特論	2
ビジネス日本語A	1
ビジネス日本語B	1
ビジネス日本語C	1
企業連携インターンシップ	2



別表第 7

先端ナノ材料工学コース

博士後期課程

物質創造工学専攻

材料物性工学専攻

一 履修方法

博士後期課程

各専攻ごとに、必修科目 2 単位及び選択必修科目について 4 単位と選択科目、専攻授業科目及びその他の関連授業科目について 2 単位以上のあわせて 10 単位以上を履修しなければならない。

別表第 1 に規定する当該専攻の博士後期課程で定められた授業科目を専攻授業科目といい、その他の授業科目で指導教員が指定する授業科目（各専攻共通の授業科目を含む。）を関連授業科目という。

二 授業科目

博士後期課程

授 業 科 目	単 位
( 必 修 科 目 )	
物質科学研究企画演習	2
( 選 択 必 修 科 目 )	
先端ナノ材料工学講究 A	4
先端ナノ材料工学講究 B	4
先端ナノ材料工学講究 C	4
先端ナノ材料工学講究 D	4
( 選 択 科 目 )	
ナノ材料工学概論	2
ナノ材料創製プロセス	2
分離材料工学	2
先端電子顕微鏡	2
先端光学計測	2
材料有機化学概論	2
高温材料設計工学	2
局所力学挙動解析特論	2

## 別表第 8

アジア保全生態学コース

博士後期課程

建設システム工学専攻

都市環境システム工学専攻

海洋システム工学専攻

### 一 履修方法

博士後期課程

各専攻ごとに、専攻授業科目及びアジア保全生態学コースの授業科目から、下記の要件を満たすよう履修しなければならない。

なお、別表第 2 二に規定する当該専攻の博士後期課程で定められた授業科目のうち、別表第 9 に規定する授業科目を専攻授業科目という。

- 1 アジア保全生態学コースの授業科目の必修科目 1 4 単位
- 2 アジア保全生態学コースの授業科目の選択必修科目から 2 単位
- 3 アジア保全生態学コースの授業科目の選択科目又は専攻授業科目から 4 単位以上

### 二 授業科目

博士後期課程

授 業 科 目	単 位
( 必 修 科 目 )	
アジア保全生態学コース特別研究	4
論文作成法	2
プレゼンテーション法	2
リサーチプロポーザルⅠ	1
リサーチプロポーザルⅡ	1
国際セミナーⅠ	2
国際セミナーⅡ	2
( 選 択 必 修 科 目 )	
グローバルフィールド実習Ⅰ	2
自然再生フィールド実習Ⅰ	2
( 選 択 科 目 )	
グローバルフィールド実習Ⅱ	2
自然再生フィールド実習Ⅱ	2
リサーチプロポーザルⅢ	1
国際セミナーⅢ	2

大学間連携セミナー	1
保全生態学研究法演習	1
保全生態学特別講義	1

別表第9

授 業 科 目	単 位
(専 攻 授 業 科 目)	
地球環境工学研究企画演習	4
地球環境工学指導演習	2
地球環境工学特別演習	2
産学連携実習	4

## 別表第10

グリーンアジア国際戦略コース

地球資源システム工学専攻

### 一 履修方法

イ 次の要件を満たす77単位以上を修得しなければならない。

- 1 実践英語科目 4単位
- 2 実践産業科目 4単位
- 3 インターンシップ科目 5単位
- 4 国際演習科目 16単位
- 5 研究科目 18単位
- 6 社会・環境・経済システム学科目から 12単位
- 7 主専門・拡張専門科目から 18単位

ロ 第12条の規定に基づき、修士課程（グリーンアジア国際戦略コース）の修了要件を満たすためには次の要件を満たす40単位以上を修得しなければならない。

- 1 実践英語科目 3単位
- 2 実践産業科目 3単位
- 3 インターンシップ科目 2単位
- 4 研究科目 6単位
- 5 社会・環境・経済システム学科目から 10単位
- 6 主専門・拡張専門科目から 16単位

### 二 授業科目

授 業 科 目	単 位
( 実 践 英 語 科 目 )	
実践英語(I) (Practical English (I))	1
実践英語(II) (Practical English (II))	1
実践英語(III) (Practical English (III))	1
実践英語(IV) (Practical English (IV))	1
( 実 践 産 業 科 目 )	
実践産業(I) (Industrial Systems (I))	1
実践産業(II) (Industrial Systems (II))	1
実践産業(III) (Industrial Systems (III))	1
実践産業(IV) (Industrial Systems (IV))	1
( イ ン タ ー ン シ ッ プ 科 目 )	
プラクティススクール (Practice School)	2
国際インターンシップ (International Internship)	2
国内インターンシップ (Domestic Internship)	1

( 国 際 演 習 科 目 )	
国際演習A1 (International Exercise A1)	2
国際演習A2 (International Exercise A2)	2
国際演習A3 (International Exercise A3)	2
国際演習A4 (International Exercise A4)	2
国際演習B1 (International Exercise B1)	1
国際演習B2 (International Exercise B2)	2
国際演習B3 (International Exercise B3)	1
研究指導演習(Ⅰ) (Research Guidance Exercises (Ⅰ))	2
研究指導演習(Ⅱ) (Research Guidance Exercises (Ⅱ))	2
( 研 究 科 目 )	
講究(Ⅰ) (Fundamental Research (Ⅰ))	2
講究(Ⅱ) (Fundamental Research (Ⅱ))	2
講究(Ⅲ) (Fundamental Research (Ⅲ))	2
博士研究(Ⅰ) (Doctoral Research (Ⅰ))	2
博士研究(Ⅱ) (Doctoral Research (Ⅱ))	4
博士研究(Ⅲ) (Doctoral Research (Ⅲ))	6
( 社 会 ・ 環 境 ・ 経 済 シ ス テ ム 学 科 目 )	
社会システム学(Ⅰ) (Social Systems (Ⅰ))	2
社会システム学(Ⅱ) (Social Systems (Ⅱ))	2
社会システム学(Ⅲ) (Social Systems (Ⅲ))	2
環境システム学(Ⅰ) (Environmental Systems (Ⅰ))	2
環境システム学(Ⅱ) (Environmental Systems (Ⅱ))	2
環境システム学(Ⅲ) (Environmental Systems (Ⅲ))	2
環境システム学(Ⅳ) (Environmental Systems (Ⅳ))	2

経済システム学(I) (Economic Systems (I))	2
経済システム学(II) (Economic Systems (II))	2
経済システム学(III) (Economic Systems (III))	2
( 主 専 門 ・ 拡 張 専 門 科 目 )	
電離反応工学基礎 (Fundamentals of Ionized Gas Dynamics)	2
電離反応工学特論 (Tutorials on Ionized Gas Dynamics)	2
光エレクトロニクス基礎 (Fundamentals of Opto-Electronics)	2
光エレクトロニクス特論 (Tutorials on Opto-Electronics)	2
結晶物性工学基礎 (Fundamentals of Crystal Physics and Engineering)	2
結晶物性工学特論 (Advanced Topics of Crystal Physics and Engineering)	2
非線形物性学基礎 (Fundamentals of Nonlinear Physics)	2
非線形物性学特論 (Advanced Topics of Nonlinear Physics)	2
ナノマテリアル化学基礎 (Fundamentals of Nanomaterials Chemistry)	2
ナノマテリアル化学特論 (Advanced Topics of Nanomaterials Chemistry)	2
機能分子工学基礎 (Fundamentals of Functional Molecular Engineering)	2
機能分子工学特論 (Advanced Topics of Functional Molecular Engineering)	2
材料電気化学特論 (Advanced Topics of Electrochemistry for Materials)	2
化学反応工学基礎 (Fundamentals of Chemical Reaction Engineering)	2
化学反応工学特論 (Advanced Topics of Chemical Reaction Engineering)	2
機能有機材料化学特論 (Advanced Topics of Organic Materials Chemistry)	2
素子材料工学基礎 (Fundamentals of Device Materials)	2
量子プロセス理工学基礎第一 (Fundamentals of Applied Science for Electronics and Materials I)	2
量子プロセス理工学基礎第二 (Fundamentals of Applied Science for Electronics and Materials II)	2
量子プロセス理工学基礎第三 (Fundamentals of Applied Science for Electronics and Materials III)	2

物理化学基礎 I (Basic Physical Chemistry I)	1
物理化学基礎 II (Basic Physical Chemistry II)	1
物理化学基礎 III (Basic Physical Chemistry III)	1
物理化学基礎 IV (Basic Physical Chemistry IV)	1
物理化学基礎 V (Basic Physical Chemistry V)	1
物理化学基礎 VI (Basic Physical Chemistry VI)	1
材料科学基礎 I (Basic Materials Science I)	1
材料科学基礎 II (Basic Materials Science II)	1
材料科学基礎 III (Basic Materials Science III)	1
材料科学基礎 IV (Basic Materials Science IV)	1
材料科学基礎 V (Basic Materials Science V)	1
材料科学基礎 VI (Basic Materials Science VI)	1
有機化学基礎 I (Basic Organic Chemistry I)	1
有機化学基礎 II (Basic Organic Chemistry II)	1
有機化学基礎 III (Basic Organic Chemistry III)	1
有機化学基礎 IV (Basic Organic Chemistry IV)	1
有機化学基礎 V (Basic Organic Chemistry V)	1
有機化学基礎 VI (Basic Organic Chemistry VI)	1
材料機器分析学 (Instrumental Analysis for Materials)	2
物理化学特論 I (Advanced Physical Chemistry I)	2
物理化学特論 II (Advanced Physical Chemistry II)	2
物理化学特論 III (Advanced Physical Chemistry III)	2
物理化学特論 IV (Advanced Physical Chemistry IV)	2
材料科学特論 I (Advanced Materials Science I)	2
材料科学特論 II (Advanced Materials Science II)	2
材料科学特論 III (Advanced Materials Science III)	2



材料科学特論Ⅳ (Advanced Materials Science Ⅳ)	2
有機化学特論Ⅰ (Advanced Organic Chemistry Ⅰ)	2
有機化学特論Ⅱ (Advanced Organic Chemistry Ⅱ)	2
有機化学特論Ⅲ (Advanced Organic Chemistry Ⅲ)	2
有機化学特論Ⅳ (Advanced Organic Chemistry Ⅳ)	2
物質理工学特別講義第一 (Advanced Lecture on Molecular and Material Sciences Ⅰ)	2
物質理工学特別講義第二 (Advanced Lecture on Molecular and Material Sciences Ⅱ)	2
物質理工学特論第一 (Advanced Molecular and Material Sciences Ⅰ)	1
物質理工学特論第二 (Advanced Molecular and Material Sciences Ⅱ)	1
物質理工学国際講義第一 (International Lecture on Molecular and Material Sciences Ⅰ)	1
物質理工学国際講義第二 (International Lecture on Molecular and Material Sciences Ⅱ)	1
物質理工学基礎第一 (Fundamentals of Molecular and Material Sciences Ⅰ)	2
物質理工学基礎第二 (Fundamentals of Molecular and Material Sciences Ⅱ)	2
物質理工学基礎第三 (Fundamentals of Molecular and Material Sciences Ⅲ)	2
環境エネルギー工学基礎第一 (Fundamentals of Energy and Environmental Engineering Ⅰ)	2
環境エネルギー工学基礎第二 (Fundamentals of Energy and Environmental Engineering Ⅱ)	2
環境エネルギー工学基礎第三 (Fundamentals of Energy and Environmental Engineering Ⅲ)	2
環境エネルギー工学特論 (Advanced Topics of Energy and Environment Engineering)	2
エンジン工学 (Thermal-Relating Engine Technology)	2
圧縮性流体力学 (Compressible Fluid Dynamics)	2
乱流境界層入門 (Introduction to Turbulent Boundary Layer)	2

環境システム数理解析 (Mathematical Analysis of Environmental System)	2
地域熱環境工学 (Micro-Climatology)	2
エコエネルギー工学 (Ecoenergy Engineering)	2
乱流工学 (Turbulent Flows in Engineering)	2
熱エネルギー利用システム工学 (Thermal Energy Utilization Systems)	2
先端熱工学 (Advanced Engineering Thermodynamics)	2
資源地質学第一 (Resource Geology I)	2
資源地質学第二 (Resource Geology II)	2
鉱物工学 (Mineral Engineering)	2
地球情報学第一 (Engineering Geophysics I)	2
地球情報学第二 (Engineering Geophysics II)	2
地球情報学第三 (Engineering Geophysics III)	2
地球熱学特論 (Geothermics (Advanced))	2
地熱工学特論 (Geothermal Engineering (Advanced))	2
地熱系モデリング (Geothermal System Modeling)	2
資源開発環境学 (Resource Development and Environment Study)	2
資源生産システム学 (Mineral Resources Production Engineering)	2
安全工学特論 (Safety Engineering (Advanced))	2
岩盤工学特論第一 (Rock Engineering (Advanced) I)	2
岩盤工学特論第二 (Rock Engineering (Advanced) II)	2
開発機械システム工学特論 (Mining Machinery System (Advanced))	2
資源処理・環境修復工学特論第一 (Mineral Processing, Recycling and Environmental Remediation Engineering (Advanced) I)	2
資源処理・環境修復工学特論第二 (Mineral Processing, Recycling and Environmental Remediation Engineering (Advanced) II)	2
資源処理・環境修復工学特論第三 (Mineral Processing, Recycling and Environmental Remediation Engineering (Advanced) III)	2

エネルギー資源工学特論 (Energy Resources Engineering (Advanced))	2
石油貯留層工学 (Petroleum Reservoir Engineering)	2
物質移動工学特論 (Subsurface Mass Transport Engineering (Advanced))	2
地球資源システム工学特別講義第一 (Special Lecture on Earth Resources Engineering I)	1
地球資源システム工学特別講義第二 (Special Lecture on Earth Resources Engineering II)	1
地球資源システム工学特別講義第三 (Special Lecture on Earth Resources Engineering III)	1
地球工学国際連携特論 (International Cooperative Study on Earth System Engineering (Advanced))	2
資源システム工学国際連携特論 (International Cooperative Study on Mining Engineering (Advanced))	2
エネルギー資源工学国際連携特論 (International Cooperative Study on Energy Resources Engineering (Advanced))	2
地球資源システム工学基礎第一 (Fundamentals of Earth Resources Engineering I)	2
地球資源システム工学基礎第二 (Fundamentals of Earth Resources Engineering II)	2
鉱物工学実験第一 (Mineral Engineering, Experiments I)	1
鉱物工学実験第二 (Mineral Engineering, Experiments II)	1
地球情報学実験第一 (Engineering Geophysics, Experiments I)	1
地球情報学実験第二 (Engineering Geophysics, Experiments II)	1
地熱工学特論実験第一 (Geothermal Engineering (Advanced), Experiments I)	1
地熱工学特論実験第二 (Geothermal Engineering (Advanced), Experiments II)	1
安全工学特論実験 (Safety Engineering (Advanced), Experiments)	1
資源生産システム学実験 (Mineral Resources Production System, Experiments)	1
岩盤工学特論実験第一 (Rock Engineering (Advanced), Experiments I)	1
岩盤工学特論実験第二 (Rock Engineering (Advanced), Experiments II)	1

資源処理・環境修復工学特論実験第一 (Mineral Processing, Recycling and Environmental Remediation Engineering (Advanced), Experiments I)	1
資源処理・環境修復工学特論実験第二 (Mineral Processing, Recycling and Environmental Remediation Engineering (Advanced), Experiments II)	1
エネルギー資源工学特論実験第一 (Energy Resources Engineering (Advanced), Experiments I)	1
エネルギー資源工学特論実験第二 (Energy Resources Engineering (Advanced), Experiments II)	1
地球資源システム工学特論第一 (Earth Resources Engineering (Advanced) I)	2
地球資源システム工学特論第二 (Earth Resources Engineering (Advanced) II)	2
地球資源システム工学特論第三 (Earth Resources Engineering (Advanced) III)	2
国際プロジェクトマネジメント (International Project Management)	2
地球環境工学研究企画 (Research Planning on Earth Resources, Marine and Civil Engineering)	2
産学連携研究 (Academic and Industrial Liaison Research)	2

## 別表第 1 1

分子システムデバイス ダ・ヴィンチコース

物質創造工学専攻

物質プロセス工学専攻

材料物性工学専攻

化学システム工学専攻

機械工学専攻

水素エネルギーシステム専攻

### 一 履修方法

イ 次の要件を満たす 40 単位（必修科目の単位を含む。）以上を修得しなければならない。

なお、別表第 1 二及び別表第 3 二に規定する当該専攻で定められた専攻授業科目を、上記修了要件の単位に含めることができる。

- 1 研究企画・情報集約演習科目 6 単位
- 2 研究科目 2 単位
- 3 経営学群科目 4 単位以上
- 4 トランスリテラシー科目 2 単位以上

ロ 第 1 2 条の規定に基づき、修士課程（分子システムデバイス ダ・ヴィンチコース）の修了要件を満たすためには次の要件を満たす 30 単位（必修科目の単位を含む。）以上を修得しなければならない。

なお、別表第 1 二及び別表第 3 二に規定する当該専攻で定められた専攻授業科目を、上記修了要件の単位に含めることができる。

- 1 研究企画・情報集約演習科目 4 単位以上（「研究企画発表」2 単位及び「グループリサーチプロポーザル I」2 単位は必修）
- 2 経営学群科目 2 単位以上
- 3 トランスリテラシー科目 2 単位以上

### 二 授業科目

授 業 科 目	単 位
（ リ ー ダ ー 育 成 科 目 ）	
実践科学英語	2
インターンシップ	2
海外研修	2
リーダー学	2
（ 研 究 企 画 ・ 情 報 集 約 演 習 科 目 ）	
研究企画発表	2
グループリサーチプロポーザル I	2
グループリサーチプロポーザル II	2
（ 研 究 科 目 ）	
分子システムデバイス講究	2

( 経 営 学 群 科 目 )	
起業価値評価	2
先端技術分析	2
産学連携マネジメント	2
知的財産特論	2
( ト ラ ン ス リ テ ラ シ ー 科 目 )	
有機光エレクトロニクス	2
有機構造化学	2
有機反応化学	2
医用化学基礎	1
分子組織化学	2
超分子材料設計学	2
分子固体物性論	2
生体由来材料工学	2
有機化学特論Ⅱ	2
有機化学特論Ⅲ	2
ナノ界面物性特論Ⅰ	2
分子システム基礎	2
分子システム学	2
Mechanical Vibration and Acoustics (振動音響工学)	2
Computational Intelligence (計算知能)	2
Robotics (ロボット工学)	2
Heat and Mass Transfer (熱物質移動論)	2
ソフトマター工学	2
生体機械工学	2
Theory of Plasticity (塑性変形論)	2

データサイエンス概論第一	2
データサイエンス概論第二	2
有機エレクトロニクス特論	2
LSIデバイス物理特論	2
デバイス基礎	2
デバイス科学	2
( 拡 張 専 門 科 目 )	
分子システム応用学I	2
分子システム応用学II	2
デバイス応用学I	2
デバイス応用学II	2
医療データサイエンス概論	1
疫学データサイエンス特論	1

## 別表第 1 2

海洋開発人材育成コース

修士課程

海洋システム工学専攻

建設システム工学専攻

都市環境システム工学専攻

### 一 履修方法

専攻授業科目、関連授業科目及び海洋開発人材育成コースの授業科目から、次の要件を満たす 30 単位以上を履修しなければならない。

なお、別表第 2 に規定する当該専攻の修士課程で定められた授業科目を専攻授業科目といい、その他の授業科目で指導教員が指定する授業科目（各専攻共通の授業科目、外国人留学生に共通の授業科目及び産業工学コースの授業科目を含む。）を関連授業科目という。

1 高等専門科目 6 単位以上

2 先端科目 6 単位以上

3 産学連携科目「国際海洋開発フィールド演習」 2 単位

### 二 授業科目

授 業 科 目	単 位
( 高 等 専 門 科 目 )	
造船工作論	4
( 先 端 科 目 )	
海洋再生可能エネルギー	4
ライザーとパイプライン	4
海洋計測工学	4
( 産 学 連 携 科 目 )	
国際海洋開発フィールド演習	2



### 別表第 1 3

#### 一 履修方法

##### 修士課程

各コースごとに、コース授業科目について次の単位とその他の関連授業科目についての単位をあわせて30単位以上修得しなければならない。

当該コースの修士課程で定められた授業科目をコース授業科目といい、その他の授業科目で指導教員が指定する授業科目（外国人留学生に共通の授業科目を含む。）を関連授業科目という。

コ ー ス	コース授業科目と関連授業科目の単位
応用化学グローバルコース 材料工学グローバルコース 化学工学グローバルコース	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 高等専門科目 4 単位以上</li> <li>2 先端科目 2 単位以上</li> <li>3 能力開発特別スクーリング科目 4 単位以上</li> </ol> <p>この場合において、応用化学グローバルコースにあつては、「Exercises in Reference Search（物質科学情報集約演習）」、「Communication Training in Materials Science I（物質科学コミュニケーション第一）」及び「Student Seminar in Materials Science I（物質科学セミナー第一）」のうちから4単位以上修得しなければならない。</p>
建設システム工学グローバルコース 都市環境システム工学グローバルコース 海洋システム工学グローバルコース	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 高等専門科目 6 単位以上</li> <li>2 先端科目 6 単位以上</li> <li>3 能力開発特別スクーリング科目 2 単位以上</li> </ol>
地球資源システム工学グローバルコース	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 高等専門科目 6 単位以上</li> <li>2 先端科目 6 単位以上</li> <li>3 能力開発特別スクーリング科目、広域専門科目及び産学連携科目のうちから 2 単位以上</li> </ol>
エネルギー量子工学グローバルコース	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 高等専門科目 6 単位以上</li> <li>2 先端科目 6 単位以上</li> <li>3 能力開発特別スクーリング科目 4 単位以上</li> <li>4 広域専門科目及び関連授業科目のうちから 4 単位以上</li> </ol>
機械工学グローバルコース	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 高等専門科目及び先端科目 7 分野のうち少なくとも 5 分野から各 1 科目ずつ、10 単位以上</li> <li>2 能力開発特別スクーリング科目 6 単位以上</li> </ol>
水素エネルギーシステムグローバルコース	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 高等専門科目 10 単位以上</li> <li>2 先端科目 2 単位以上</li> <li>3 能力開発特別スクーリング科目 2 単位以上</li> <li>4 外国人留学生に共通の授業科目において、「Advanced Japanese Industries（日本産業特論）」、「Advanced Engineering Analysis and Measurement I（工学解析・計測特論第一）」及び「Advanced Engineering Analysis and Measurement II（工学解析・</li> </ol>

	計測特論第二)」のうちから2単位以上
航空宇宙工学グローバルコース	1 高等専門科目及び先端科目のうちから16単位以上 2 能力開発特別スクーリング科目4単位以上

#### 博士後期課程

各コースごとに、博士後期課程に3年以上在籍し、コース授業科目及び関連授業科目からあわせて10単位以上を修得し、かつ、必要な研究指導を受けた上、博士論文の審査及び最終審査に合格すること。修得する10単位は以下の条件を満たさなければならない。

当該コースの博士後期課程で定められた授業科目をコース授業科目といい、その他の授業科目で指導教員が指定する授業科目を関連授業科目という。この場合において、コース授業科目のうち、指導教員が開講するものを主分野科目という。

コ ー ス	コース授業科目と関連授業科目の単位
応用化学グローバルコース	1 主分野科目のうち講究科目4単位以上 2 「Materials Science, Research Planning Exercise (物質科学研究企画演習)」2単位 3 「Engineering Research Planning (工学研究企画)」2単位
材料工学グローバルコース 化学工学グローバルコース 建設システム工学グローバルコース 都市環境システム工学グローバルコース 海洋システム工学グローバルコース 地球資源システム工学グローバルコース エネルギー量子工学グローバルコース 機械工学グローバルコース	1 主分野科目のうち講究科目4単位以上 2 「Engineering Research Planning (工学研究企画)」2単位
水素エネルギーシステムグローバルコース	1 「Advanced Hydrogen Energy Engineering (水素エネルギー工学特論)」2単位 2 「Project Analysis (プロジェクト演習)」2単位 3 「International Internship I (国際連携インターンシップI)」、「International Internship II (国際連携インターンシップII)」及び「Internship (産学連携インターンシップ)」のうちから2単位 4 「Training as Supervisor (水素エネルギーシステム指導演習)」2単位 5 「Engineering Research Planning (工学研究企画)」2単位 ただし、社会人特別選抜試験で入学した者については、工学研究企画を必修としない。
航空宇宙工学グローバルコース	1 主分野科目のうち講究科目4単位以上 2 「Engineering Research Planning (工学研究企画)」2単位

二 授業科目  
 修士課程  
 応用化学グローバルコース

授 業 科 目	単 位
( 高 等 専 門 科 目 )	
Inorganic Solid State Chemistry (無機固体化学)	2
Materials Properties of Ceramics (セラミック材料物性学)	2
Organic Reaction Chemistry (有機反応化学)	2
Organic Functional Chemistry (有機機能化学)	2
Organic Solid State Photophysics (有機固体光電子物性)	2
Organic Electronics and Photonics (有機光エレクトロニクス)	2
Chemistry of Molecular Assemblies (分子集合論)	2
Polymer Synthesis and Reaction (高分子合成反応論)	2
Molecular Electronics (分子電子構造論)	2
Molecular Solid State Theory (分子固体物性論)	2
Physical Chemistry of Polymers (高分子物性学)	2
Analytical Physical Chemistry of Polymers (材料物性解析学)	2
Applied Surface Chemistry (応用表面化学)	2
Chemical Reaction Control (化学反応制御学)	2
Nano-Micro Science (ナノ・マイクロ科学)	2
Applied Laser Engineering (応用レーザー工学)	2
Electroanalytical Chemistry (電気分析化学)	2
Theory of Ionic Equilibria (イオン平衡論)	2
Organocatalytic Chemistry (有機触媒化学)	2
Structural Coordination Chemistry (金属錯体構造論)	2
Bio & Molecular Systems Chemistry (生命分子素子化学)	2

Molecular Organization Chemistry (分子組織化学)	2
Chemistry of Small Molecules (小分子の化学)	2
Chemistry of Catalytic Materials Transformations (触媒的物質変換化学)	2
Molecular Cell Biology I (分子細胞生物学 I)	2
Biomolecular Physical Chemistry (生命分子物理化学)	2
Chemistry for Medicine 1 (医用化学第一)	1
Chemistry for Medicine 2 (医用化学第二)	1
Applied Photochemistry (応用光化学)	2
Applied Magnetic Chemistry (応用磁気化学)	2
Design of Biomolecular Systems (バイオシステム設計論)	2
Protein Engineering (プロテインエンジニアリング)	2
Chemical Information System in Biological Process (物質情報システム論)	2
Nanostructure Analysis (ナノ構造分析学特論)	2
Design of Surface Nanostructure (ナノ構造設計論)	2
Application of Molecular System I (分子システム応用学 I)	2
Biomaterials Design (医療材料設計学)	2
Biomaterials Science (バイオマテリアルサイエンス)	2
( 先 端 科 目 )	
Ceramic Engineering (セラミック工学)	2
Organic Structural Chemistry (有機構造化学)	2
Functional Molecular Materials Engineering (機能分子材料工学)	2
Supramolecular Conjugate Chemistry (超分子複合材料学)	2
Material Design of Supramolecules (超分子材料設計学)	2
Advanced Physical Chemistry of Materials (材料物性化学)	2
Functional Materials Engineering (機能物質工学)	2
Bioanalytical Chemistry (バイオ分析化学)	2

Chemical Sensor Engineering (化学センサー工学)	2
Bioinorganic Chemistry (生物無機化学)	2
Bio & Molecular Integration Chemistry (生命分子集積化学)	2
Organometallic Chemistry (有機金属化学)	2
Molecular Cell Biology II (分子細胞生物学II)	2
Fundamentals of Chemistry for Medicine (医用化学基礎)	1
Bioengineering (バイオエンジニアリング特論)	2
Nanomaterials Chemical Analysis (ナノ物質機能解析学特論)	2
Molecular System Science (分子システム学)	2
(能力開発特別スクーリング科目)	
Exercises in Reference Search (物質科学情報集約演習)	2
Communication Training in Materials Science I (物質科学コミュニケーション第一)	2
Student Seminar in Materials Science I (物質科学セミナー第一)	2
Communication Training in Materials Science II (物質科学コミュニケーション第二)	2
Student Seminar in Materials Science II (物質科学セミナー第二)	2
(広域専門科目)	
Internship Program (企業インターンシップ)	2
Scientific English (科学英語)	2
Topics in Science and Technology (科学技術論)	2
Industry Academia Collaborations in Research and Development (産学連携特論第一)	2
Advanced Chemistry for Functional Materials (機能物質化学特論)	2
Advanced Chemistry for Molecular Systems (分子システム化学特論)	2

材料工学グローバルコース

授 業 科 目	単 位
(高等専門科目)	

Fracture of Materials (金属破壊学)	2
Control of Materials (材料制御学)	2
Deformation and Manufacturing (材料変形および加工学)	2
Engineering of Structural Materials (構造材料工学)	2
Electronic Devices (電子デバイス材料特論)	2
Reaction Control in Metallurgical Processing (材料反応制御学)	2
Electrolytic Reactions (電解反応工学)	2
Physical Chemistry of High Temperature Melts (融体物理化学)	2
(先 端 科 目)	
Semiconductor Devices (半導体デバイス)	2
Theory of Heat Treatments (熱処理論)	2
Materials Characterization (材料解析学)	2
Control of Crystal Growth (結晶成長制御学)	2
High-Temperature Reactions (高温反応工学)	2
Physico-chemical Properties of High Temperature Melts (高温融体物性)	2
Advanced Materials Science (機能材料学)	2
Thin Film Processing (薄膜工学)	2
(能力開発特別スクーリング科目)	
Seminar in Material Science A (材料工学セミナーA)	2
Seminar in Material Science B (材料工学セミナーB)	2
Seminar in Material Science C (材料工学セミナーC)	2
Seminar in Material Science D (材料工学セミナーD)	2
Communication for Material Science A (材料工学コミュニケーションA)	2
Communication for Material Science B (材料工学コミュニケーションB)	2
Communication for Material Science C (材料工学コミュニケーションC)	2

Communication for Material Science D (材料工学コミュニケーションD)	2
Integration of information in Materials Science (物質科学工学情報集約演習)	4
(広 域 専 門 科 目)	
Material Science Research Planning A (物質科学工学研究企画演習A)	2
Material Science Research Planning B (物質科学工学研究企画演習B)	2
Material Science Research Planning C (物質科学工学研究企画演習C)	2
Material Science Research Planning D (物質科学工学研究企画演習D)	2
Industry-University Internship I (産学連携インターンシップ I)	2
Industry-University Internship II (産学連携インターンシップ II)	2

化学工学グローバルコース

授 業 科 目	単 位
(高 等 専 門 科 目)	
Advanced Chemical Reaction Engineering (反応工学特論)	2
Engineering Rheology (レオロジー工学)	2
Phase Equilibria (相平衡論)	2
Cell & Tissue Engineering (細胞・組織工学)	2
Engineering of Biomimetic Functional Materials (生体模倣機能材料工学)	2
Thermal System Engineering (システム熱工学)	2
Advanced Process Control Engineering (プロセスシステム制御学)	2
Electrochemical Systems Engineering (電気化学システム工学)	2
(先 端 科 目)	
Functional Surface Chemistry (機能表面化学)	2
Introduction to Soft Matter Processing (高分子プロセス工学)	2
Biomaterials Engineering (生命材料工学)	2
Biological Systems Engineering (生物・生体システム工学)	2

Environmental Fluid Transport Phenomena (環境流体輸送現象論)	2
Combustion System Engineering (燃焼システム工学)	2
Advanced Process Design Engineering (プロセスシステム設計学)	2
Bio-resource Materials Engineering (生体由来材料工学)	2
(能力開発特別スクーリング科目)	
Communication in Chemical Engineering I (化学工学コミュニケーション I)	2
Communication in Chemical Engineering II (化学工学コミュニケーション II)	2
Student Seminar in Chemical Engineering I (化学工学学生セミナー I)	2
Student Seminar in Chemical Engineering II (化学工学学生セミナー II)	2
Chemical Engineering Research Planning (化学工学情報集約演習)	2
Internship (化学工学インターンシップ)	2
(広 域 専 門 科 目)	
Material Science and Engineering I (物質科学工学 I)	2
Material Science and Engineering II (物質科学工学 II)	2

建設システム工学グローバルコース  
都市環境システム工学グローバルコース  
海洋システム工学グローバルコース

授 業 科 目	単 位
(高 等 専 門 科 目)	
Advanced Earthquake Engineering (地震工学特論)	2
Biological Water Quality Control Engineering (水質変換工学)	2
Advanced Ecological Engineering (応用生態工学)	2
Environmental Planning (環境計画論)	2



Groundwater Environmental Systems (地下水環境システム論)	2
Introduction of Marine Systems Engineering I (海洋システム工学概論第一)	2
Introduction of Marine Systems Engineering II (海洋システム工学概論第二)	2
Advanced Theory of Resistance for Ship and Marine Structures (船舶海洋抵抗特論)	2
Applied Risk Analysis (応用リスク解析学)	2
Introduction to Industrial and Applied Mathematics (応用数学)	2
Advanced Course of Ship Preliminary Design (船舶基本設計特論)	2
Geo-Spatial Information Science (空間情報学)	2
Research Planning (研究計画法)	2
Numerical Analysis (数値解析学)	2
Field Survey Method (野外調査法)	2
Presentation Exercise (プレゼンテーション演習)	2
Urban Engineering & Economics (都市工学・経済学)	2
Advanced Data Analysis (実践データ解析学)	2
(先 端 科 目)	
Land Development and Disaster Risk Management in Japan (国土開発・災害リスクマネジメント)	2
Advanced Structural Analysis (構造解析学特論)	2
Geoenvironmental System Engineering (地盤環境システム工学)	2
Practical Application of Aesthetic Design in Civil Engineering (実践景観デザイン論)	2
Material Cycles and Waste Management (廃棄物資源循環学)	2
Environmental Fluid Mechanics (環境流体力学)	2
Advanced Ocean and Coastal Engineering (沿岸・海洋工学特論)	2
Urban Development Project (都市開発プロジェクト論)	2
Advanced Course in Fracture Control Design (破壊管理工学特論)	2

Structural Stability (構造安定論)	2
Advanced Course of Dynamics of Ships (船舶運動特論)	2
Advanced Course of Control Engineering (制御工学特論)	2
Application of Energy from the Ocean (海洋エネルギー利用計画)	2
Advanced Theory of Vibration for Ship and Marine Structures (船舶海洋振動学特論)	2
Advanced Course of Systems Design (システム設計特論)	2
Advanced Concrete Engineering (コンクリート工学特論)	2
Advanced Geotechnical Modelling and its Application (地盤解析学)	2
Advanced Geomechanics and Design (建設デザイン構造学)	2
Risk Management in Natural Disaster Prevention (災害リスク学)	2
Mechanics of Geomaterials (地盤材料力学)	2
Urban Transportation Planning (都市総合交通計画)	2
Advanced Steel Structure (鋼構造特論)	2
River Engineering (河川工学特論)	2
(能力開発特別スクーリング科目)	
Advanced Civil and Environmental Engineering (地球環境工学特論)	2
Practice in Civil and Environmental Engineering (地球環境工学演習)	2
Practice in Environmental Studies (環境学実習)	2
Seminar in Marine Systems Engineering (海洋システム工学演習)	2
Problem-Solution Seminar (課題解決セミナー)	2
Internship Program (インターンシップ・プログラム)	2

地球資源システム工学グローバルコース

授 業 科 目	単 位
(高 等 専 門 科 目)	
Resource Geology I (資源地質学第一)	2

Mineral Engineering, Experiments I (鉱物工学実験第一)	1
Mineral Engineering, Experiments II (鉱物工学実験第二)	1
Engineering Geophysics I (地球情報学第一)	2
Engineering Geophysics, Experiments I (地球情報学実験第一)	1
Engineering Geophysics, Experiments II (地球情報学実験第二)	1
Geothermics (Advanced) (地球熱学特論)	2
Geothermal Engineering (Advanced), Experiments I (地熱工学特論実験第一)	1
Geothermal Engineering (Advanced), Experiments II (地熱工学特論実験第二)	1
Resources Development Engineering (Advanced)(資源開発工学特論)	2
Resources Development Engineering (Advanced), Experiments (資源開発工学特論実験)	1
Mineral Resources Production System, Experiments (資源生産システム学実験)	1
Rock Engineering (Advanced) I (岩盤工学特論第一)	2
Rock Engineering (Advanced), Experiments I (岩盤工学特論実験第一)	1
Rock Engineering (Advanced), Experiments II (岩盤工学特論実験第二)	1
Mineral Processing, Recycling and Environmental Remediation Engineering (Advanced) I (資源処理・環境修復工学特論第一)	2
Mineral Processing, Recycling and Environmental Remediation Engineering (Advanced), Experiments I (資源処理・環境修復工学特論実験第一)	1
Mineral Processing, Recycling and Environmental Remediation Engineering (Advanced), Experiments II (資源処理・環境修復工学特論実験第二)	1
Energy Resources Engineering (Advanced) (エネルギー資源工学特論)	2
Energy Resources Engineering (Advanced), Experiments I (エネルギー資源工学特論実験第一)	1
Energy Resources Engineering (Advanced), Experiments II (エネルギー資源工学特論実験第二)	1
(先 端 科 目)	

Fundamentals of Earth Resources Engineering I (地球資源システム工学基礎第一)	2
Fundamentals of Earth Resources Engineering II (地球資源システム工学基礎第二)	2
International Project Management (国際プロジェクトマネジメント)	2
Resource Geology II (資源地質学第二)	2
Mineral Engineering (鉱物工学)	2
Engineering Geophysics II (地球情報学第二)	2
Engineering Geophysics III (地球情報学第三)	2
Geothermal Engineering (Advanced) (地熱工学特論)	2
Geothermal System Modeling (地熱系モデリング)	2
Environment and Safety (Advanced) (環境安全特論)	2
Mineral Resources Production Engineering (資源生産システム学)	2
Rock Engineering (Advanced) II (岩盤工学特論第二)	2
Mining Machinery System (Advanced) (開発機械システム工学特論)	2
Resources Processing (Advanced) II (資源処理工学特論第二)	2
Resources Processing (Advanced) III (資源処理工学特論第三)	2
Petroleum Reervoir Engineering (石油貯留層工学)	2
Subsurface Mass Transport Engineering (Advanced) (物質移動工学特論)	2
Special Lecture on Earth Resources Engineering I (地球資源システム工学特別講義第一)	
Special Lecture on Earth Resources Engineering II (地球資源システム工学特別講義第二)	
Special Lecture on Earth Resources Engineering III (地球資源システム工学特別講義第三)	
(能力開発特別スクーリング科目)	
Earth Resources Engineering, Seminar I (Research for Master Thesis) (地球資源システム工学演習第一)	2

Earth Resources Engineering, Seminar II (Research for Master Thesis) (地球資源システム工学演習第二)	2
Earth Resources Engineering, Seminar III (Research for Master Thesis) (地球資源システム工学演習第三)	2
International Cooperative Study on Earth System Engineering (Advanced) (地球工学国際連携特論)	2
International Cooperative Study on Mining Engineering (Advanced) (資源システム工学国際連携特論)	2
International Cooperative Study on Energy Resources Engineering (Advanced) (エネルギー資源工学国際連携特論)	2
Research Planning on Earth Resources, Marine and Civil Engineering (地球環境工学研究企画)	2
(広 域 専 門 科 目)	
Earth Resources Engineering (Advanced) I (地球資源システム工学特論第一)	2
Earth Resources Engineering (Advanced) II (地球資源システム工学特論第二)	2
Earth Resources Engineering (Advanced) III (地球資源システム工学特論第三)	2
(産 学 連 携 科 目)	
Academic and Industrial Liaison Research (産学連携研究)	2

エネルギー量子工学グローバルコース

授 業 科 目	単 位
(高 等 専 門 科 目)	
High-Energy Nuclear Reaction (高エネルギー核反応論)	2
Nuclear Fuel Engineering (核燃料工学)	2
Environmental Sciences and Engineering (環境科学・工学)	2
Nuclear Physics and Measurement (原子核物理計測学)	2
Radiation Physics and Measurement (放射線物理計測学)	2
Sciences and Engineering of Organic Materials Property (有機物性工学)	2

Experimental Practice on Nuclear Engineering (原子力工学基礎実験)	2
Numerical Simulation for Radiation Engineering (放射線数値シミュレーション)	2
(先 端 科 目)	
Nuclear Reaction and Accelerator (原子核反応及び加速器学)	2
Lattice Defects in Materials (格子欠陥学)	2
Environment-Improving Material Engineering (環境機能材料工学)	2
Fusion Plasma Science (核融合プラズマ科学)	2
Thin Film and Surface Physics (薄膜表面物理学)	2
Radiation Effects in Nuclear Materials (原子力材料物性学)	2
Fudamental Aspects of Nuclear Fuel Cycle (核燃料サイクル工学)	2
Multiphase Flow Science in Energy Engineering (エネルギー混相流体工学)	2
Nuclear Reactor System Engineering (原子炉システム工学)	2
Applied Low Temperature Physics (応用低温物理学)	2
Solid State Physics (物性物理学)	2
(能力開発特別スクーリング科目)	
Nuclear and Radiation Engineering Laboratory I (原子核・量子線工学実験 I)	2
Nuclear and Radiation Engineering Laboratory II (原子核・量子線工学実験 II)	2
Materials Science for Energy Systems Laboratory I (エネルギー物質科学実験 I)	2
Materials Science for Energy Systems Laboratory II (エネルギー物質科学実験 II)	2
Materials Science for Energy Systems Laboratory III (エネルギー物質科学実験 III)	2
Nuclear Energy Systems Laboratory I (核エネルギーシステム学実験 I)	2
Nuclear Energy Systems Laboratory II (核エネルギーシステム学実験 II)	2
Nuclear Energy Systems Laboratory III (核エネルギーシステム学実験 III)	2

Applied Physics Laboratory I (応用物理学実験 I)	2
Applied Physics Laboratory II (応用物理学実験 II)	2
Applied Physics Laboratory III (応用物理学実験 III)	2
Laboratory and Presentation for Nuclear and Radiation Engineering I (原子核・量子線工学発表演習 I)	2
Laboratory and Presentation for Nuclear and Radiation Engineering II (原子核・量子線工学発表演習 II)	2
Laboratory and Presentation for Materials Science for Energy Systems I (エネルギー物質科学発表演習 I)	2
Laboratory and Presentation for Materials Science for Energy Systems II (エネルギー物質科学発表演習 II)	2
Laboratory and Presentation for Materials Science for Energy Systems III (エネルギー物質科学発表演習 III)	2
Laboratory and Presentation for Nuclear Energy Systems I (核エネルギーシステム学発表演習 I)	2
Laboratory and Presentation for Nuclear Energy Systems II (核エネルギーシステム学発表演習 II)	2
Laboratory and Presentation for Nuclear Energy Systems III (核エネルギーシステム学発表演習 III)	2
Laboratory and Presentation for Applied Physics I (応用物理学発表演習 I)	2
Laboratory and Presentation for Applied Physics II (応用物理学発表演習 II)	2
Laboratory and Presentation for Applied Physics III (応用物理学発表演習 III)	2
( 広 域 専 門 科 目 )	
Research Project in Nuclear and Radiation Engineering I (原子核・量子線工学研究計画演習 I)	2
Research Project in Nuclear and Radiation Engineering II (原子核・量子線工学研究計画演習 II)	2
Research Project in Materials Science for Energy Systems I (エネルギー物質科学研究計画演習 I)	2
Research Project in Materials Science for Energy Systems II (エネルギー物質科学研究計画演習 II)	2

Research Project in Materials Science for Energy Systems III (エネルギー物質科学研究計画演習III)	2
Research Project in Nuclear Energy Systems I (核エネルギーシステム学研究計画演習I)	2
Research Project in Nuclear Energy Systems II (核エネルギーシステム学研究計画演習II)	2
Research Project in Nuclear Energy Systems III (核エネルギーシステム学研究計画演習III)	2
Research Project in Applied Physics I (応用物理学計画演習I)	2
Research Project in Applied Physics II (応用物理学計画演習II)	2
Research Project in Applied Physics III (応用物理学計画演習III)	2
Scientific Presentation and Communication (科学技術コミュニケーション)	1
Experimental Practice on Nuclear Fuel Cycle I (核燃料サイクル実験I)	1
Experimental Practice on Nuclear Fuel Cycle II (核燃料サイクル実験II)	1
Laboratory and Presentation for Industrial Fields I (産学連携演習I)	1
Laboratory and Presentation for Industrial Fields II (産学連携演習II)	1
Laboratory and Presentation for Industrial Fields III (産学連携演習III)	1
Seminar in Quantum Physics (量子物理特別講義)	1

機械工学グローバルコース

授 業 科 目	単 位
(高 等 専 門 科 目)	
Reactive Gas Dynamics (反応性ガス力学) 【分野2】	2
Mechanical Vibration and Acoustics (振動音響工学) 【分野4】	2
Computational Intelligence (計算知能) 【分野5】	2
Robotics (ロボット工学) 【分野5】	2
Heat and Mass Transfer (熱物質移動論) 【分野7】	2
(先 端 科 目)	



Theory of Plasticity (塑性変形論) 【分野 6】	2
Gas Dynamics (気体力学) 【分野 3】	2
Fracture Mechanics (破壊力学) 【分野 1】	2
(能力開発特別スクーリング科目)	
Seminar in Mechanical Engineering I (機械工学セミナー I)	1
Seminar in Mechanical Engineering II (機械工学セミナー II)	1
Mechanical Engineering Internship I (機械工学インターンシップ I)	1
Mechanical Engineering Internship II (機械工学インターンシップ II)	1
Communication for Mechanical Engineer I (機械工学コミュニケーション I)	1
Communication for Mechanical Engineer II (機械工学コミュニケーション II)	1
Investigation on Mechanical Engineering (機械工学情報集約)	2

水素エネルギーシステムグローバルコース

授 業 科 目	単 位
(高 等 専 門 科 目)	
Hydrogen Energy Engineering (水素エネルギー工学)	2
Clean Energy Technologies (クリーンエネルギー技術特論)	2
Tribology (トライボロジー)	2
Heat and Mass Transfer (熱物質移動論)	2
Reactive Gas Dynamics (反応性ガス力学)	2
Mechanical Vibration and Acoustics (振動音響工学)	2
Computational Intelligence (計算知能)	2
High Pressure Gas Safety Engineering (高圧ガス安全工学)	2
Fuel Cell Engineering (燃料電池工学)	2
Hydrogen Production and Storage (水素製造・貯蔵)	2

(先 端 科 目)	
Advanced Energy Engineering I (先端エネルギー特論 I)	2
Advanced Energy Engineering II (先端エネルギー特論 II)	2
Fracture Mechanics (破壊力学)	2
(能力開発特別スクーリング科目)	
Seminar on Hydrogen Engineering I (水素工学セミナー I)	1
Seminar on Hydrogen Engineering II (水素工学セミナー II)	1
Internship for Hydrogen Engineering I (水素工学インターンシップ I)	1
Internship for Hydrogen Engineering II (水素工学インターンシップ II)	2
Communication for Hydrogen Engineer I (水素工学コミュニケーション I)	1
Communication for Hydrogen Engineer II (水素工学コミュニケーション II)	1
Investigation Study on Hydrogen Engineering (水素工学情報集約)	2
(基 礎 科 目)	
Fundamental Mechanical Engineering I (機械工学基礎第一)	2
Fundamental Mechanical Engineering II (機械工学基礎第二)	2
Fundamental Mechanical Engineering III (機械工学基礎第三)	2

航空宇宙工学グローバルコース

授 業 科 目	単 位
(高 等 専 門 科 目)	
Internal Flow (内部流れ)	2
Aeroelasticity (空力弾性学)	2
Mechanics of Composite Laminates (複合材料力学)	2
Advanced Guidance and Control I (誘導制御特論 I)	2
Flight Dynamics and Control (応用飛行力学)	2
Spacecraft Dynamics (宇宙機動力学)	2

Reusable Launch Vehicle Engineering (宇宙往還機工学)	2
Re-Entry Dynamics (再突入力学)	2
Advanced Aircraft Design (航空機設計特論)	2
Space Utilization (宇宙利用システム工学)	2
Wind Engineering (大気流体力学)	2
Strength and Fracture of Composite Materials (複合材料強度学)	2
Analysis of Nanostructural Materials (ナノ構造解析学)	2
Functional Material Engineering (機能材料工学)	2
Computational Structural Mechanics (数値構造力学)	2
Power Electronics (電気エネルギー変換工学)	2
(先 端 科 目)	
Applied Fluid Dynamics (応用流体力学)	2
Applied Thermophysical Engineering (応用熱物理学)	2
Instrumentation (機器学特論)	2
(能力開発特別スクーリング科目)	
Seminar in Aeronautics and Astronautics I (航空宇宙工学演習 I)	2
Seminar in Aeronautics and Astronautics II (航空宇宙工学演習 II)	2
Laboratory Experiments on Aeronautics and Astronautics (航空宇宙工学研究実験)	2
Internship in Aerospace Engineering I (航空宇宙工学インターンシップ I)	1
Internship in Aerospace Engineering II (航空宇宙工学インターンシップ II)	1
Communication for Aerospace Engineers I (航空宇宙工学コミュニケーション I)	1
Communication for Aerospace Engineers II (航空宇宙工学コミュニケーション II)	1
Aerospace Engineering Project I (航空宇宙工学プロジェクト I)	2
Aerospace Engineering Project II (航空宇宙工学プロジェクト II)	2

外国人留学生に共通の授業科目

授 業 科 目	単 位
Applied IT I (IT応用第一)	2
Applied IT II (IT応用第二)	2
Advanced Japanese Industries (日本産業特論)	2
Advanced Engineering Analysis and Measurement I (工学解析・計測特論第一)	2
Advanced Engineering Analysis and Measurement II (工学解析・計測特論第二)	2
Business Japanese A (ビジネス日本語A)	1
Business Japanese B (ビジネス日本語B)	1
Business Japanese C (ビジネス日本語C)	1
Survival Japanese (サバイバル・ジャパニーズ)	1
Active Japanese I (アクティブ日本語I)	1
Active Japanese II (アクティブ日本語II)	1
Progressive Japanese I (プログレッシブ日本語I)	1
Progressive Japanese II (プログレッシブ日本語II)	1

博士後期課程  
応用化学グローバルコース

授 業 科 目	単 位
Advanced Applied Chemistry A (応用化学講究A)	4
Advanced Applied Chemistry B (応用化学講究B)	4
Advanced Applied Chemistry C (応用化学講究C)	4
Advanced Applied Chemistry D (応用化学講究D)	4
Advanced Applied Chemistry E (応用化学講究E)	4
Advanced Applied Chemistry F (応用化学講究F)	4

Advanced Applied Chemistry G (応用化学講究G)	4
Advanced Applied Chemistry H (応用化学講究H)	4
Advanced Applied Chemistry I (応用化学講究I)	4
Advanced Applied Chemistry J (応用化学講究J)	4
Advanced Applied Chemistry K (応用化学講究K)	4
Advanced Applied Chemistry L (応用化学講究L)	4
Advanced Applied Chemistry M (応用化学講究M)	4
Advanced Applied Chemistry N (応用化学講究N)	4
Advanced Applied Chemistry O (応用化学講究O)	4
Advanced Applied Chemistry P (応用化学講究P)	4
Advanced Applied Chemistry Q (応用化学講究Q)	4
Advanced Applied Chemistry R (応用化学講究R)	4
Advanced Applied Chemistry S (応用化学講究S)	4
Advanced Applied Chemistry T (応用化学講究T)	4
Materials Science, Research Planning Exercise (物質科学研究企画演習)	4
Materials Science, Advanced Instructing Practice (物質科学指導演習)	2
Materials Science, Advanced Exercise I (物質科学特別演習第一)	2
Materials Science, Advanced Exercise II (物質科学特別演習第二)	2
Materials Science, Internship I (産学連携実習第一)	4
Materials Science, Internship II (産学連携実習第二)	4
Materials Science, Internship III (産学連携実習第三)	4
Engineering Research Planning (工学研究企画)	2

材料工学グローバルコース

授 業 科 目	単 位
Advanced Reaction Engineering for Materials A (材料反応プロセス工学講究A)	4

Advanced Reaction Engineering for Materials B (材料反応プロセス工学講究B)	4
Advanced Reaction Engineering for Materials C (材料反応プロセス工学講究C)	4
Advanced Materials Processing A (材料加工学講究A)	4
Advanced Materials Processing B (材料加工学講究B)	4
Advanced Materials Processing C (材料加工学講究C)	4
Advanced Microstructural Engineering of Materials A (材料組織学講究A)	4
Advanced Microstructural Engineering of Materials B (材料組織学講究B)	4
Advanced Microstructural Engineering of Materials C (材料組織学講究C)	4
Advanced Functional Material A (機能材料工学講究A)	4
Advanced Functional Material B (機能材料工学講究B)	4
Seminars in Reaction Engineering for Materials (材料反応プロセス工学セミナー)	2
Seminars in Materials Processing (材料加工学セミナー)	2
Seminars in Microstructural Engineering of Materials (材料組織学セミナー)	2
Seminars in Functional Materials (機能材料工学セミナー)	2
Research Proposals in Materials Science and Engineering (物質科学工学研究企画演習)	2
Teaching Practices on Materials Science and Engineering (物質科学工学指導演習)	2
Communications for Materials Science and Engineering (物質科学工学コミュニケーション)	2
Integrations of Information on Materials Science and Engineering (物質科学工学情報集約演習)	2
Industry-University Internship I (産学連携インターンシップ I)	4
Industry-University Internship II (産学連携インターンシップ II)	4
Engineering Research Planning (工学研究企画)	2

化学工学グローバルコース

授 業 科 目	単 位
Advanced Material Chemical Engineering A (材料化学工学講究A)	4
Advanced Material Chemical Engineering B (材料化学工学講究B)	4
Advanced Material Chemical Engineering C (材料化学工学講究C)	4
Advanced Molecular System Chemistry (分子システム化学講究)	4
Advanced Biochemical Engineering (生物化学工学講究)	4
Advanced Biological Interface Engineering (生体界面工学講究)	4
Environment-Benign Systems Engineering, Advanced Topic A (環境調和システム工学講究A)	4
Environment-Benign Systems Engineering, Advanced Topic B (環境調和システム工学講究B)	4
Environment-Benign Systems Engineering, Advanced Topic C (環境調和システム工学講究C)	4
Chemical Engineering Research Planning (化学工学研究企画演習)	4
Advanced Communication in Chemical Engineering (化学工学コミュニケーション)	2
Internship in Chemical Engineering (化学工学インターンシップ)	2
Research Planning in Material Science (物質科学研究企画演習)	2
Engineering Research Planning (工学研究企画)	2

建設都市工学グローバルコース  
 都市環境システム工学グローバルコース  
 海洋システム工学グローバルコース

授 業 科 目	単 位
Advanced Civil Engineering Materials A (建設材料工学講究A)	4
Welding and Fracture Mechanics (Seminar) (建設材料工学講究B)	4
Advanced Civil Engineering Design A (建設設計工学講究A)	4
Advanced Civil Engineering Design B (建設設計工学講究B)	4

Advanced Geotechnical Disaster Prevention A (防災地盤工学講究A)	4
Advanced Geotechnical Disaster Prevention B (防災地盤工学講究B)	4
Advanced Environmental Geotechnology (環境地盤工学講究)	4
Advanced City Planning A (都市システム計画学講究A)	4
Advanced City Planning B (都市システム計画学講究B)	4
Advanced Environmental Design A (環境デザイン工学講究A)	4
Functional Design of Artificial Environment (Seminar) (環境デザイン工学講究B)	4
Advanced Urban Environmental Engineering A (都市環境工学講究A)	4
Advanced Urban Environmental Engineering B (都市環境工学講究B)	4
Advanced Environmental System Engineering A (環境システム工学講究A)	4
Advanced Environmental System Engineering B (環境システム工学講究B)	4
Advanced Costal Engineering A (沿岸海洋工学講究A)	4
Advanced Costal Engineering B (沿岸海洋工学講究B)	4
Investigation of Performance of Ships and Marine Structures B (船舶海洋性能工学講究B)	4
Investigation of Performance of Ships and Marine Structures C (船舶海洋性能工学講究C)	4
Investigation of Structural Engineering on Marine Structures A (船舶海洋構造工学講究A)	4
Investigation of Structural Engineering on Marine Structures B (船舶海洋構造工学講究B)	4
Investigation of Structural Engineering on Marine Structures C (船舶海洋構造工学講究C)	4
Investigation of Structural Engineering on Marine Structures D (船舶海洋構造工学講究D)	4
Investigation of Structural Engineering on Marine Structures E (船舶海洋構造工学講究E)	4
Research Planning on Civil Engineering (地球環境工学研究企画演習)	4
Teaching Practice on Civil Engineering (地球環境工学指導演習)	2



Special Practice on Civil Engineering (地球環境工学特別演習)	2
Internship (産学連携実習)	4
Seminar in Performance of Ships and Marine Structures B (船舶海洋性能工学演習B)	2
Seminar in Performance of Ships and Marine Structures C (船舶海洋性能工学演習C)	2
Seminar in Structural Engineering on Marine Structures A (船舶海洋構造工学演習A)	2
Seminar in Structural Engineering on Marine Structures B (船舶海洋構造工学演習B)	2
Seminar in Structural Engineering on Marine Structures C (船舶海洋構造工学演習C)	2
Seminar in Structural Engineering on Marine Structures D (船舶海洋構造工学演習D)	2
Seminar in Structural Engineering on Marine Structures E (船舶海洋構造工学演習E)	2
Engineering Research Planning (工学研究企画)	2

地球資源システム工学グローバルコース

授 業 科 目	単 位
Earth System Science (地球システム科学)	4
Environmental Geophysics (地球情報工学)	4
Geothermal Science and Engineering (地球熱システム学)	4
Mining Technology (資源開発システム工学)	4
Rock Engineering and Mining Machinery (岩盤・開発機械システム工学)	4
Resources Processing and Environmental Remediation System Engineering (資源処理・環境修復システム工学)	4
Energy Resources Engineering (エネルギー資源工学)	4
Individual Work on Research Planning on Earth Resources Engineering (地球資源システム工学研究企画演習)	2

Supervised Seminar on Earth Resources, Marine and Civil Engineering (地球環境工学指導演習)	2
Special Seminar on Earth Resources, Marine and Civil Engineering (地球環境工学特別演習)	2
Academic and Industrial Liaison Seminar (産学連携演習)	4
Engineering Research Planning (工学研究企画)	2

エネルギー量子工学グローバルコース

授 業 科 目	単 位
Colloquium on Nuclear and Radiation Engineering A (原子核・量子線工学講究A)	4
Colloquium on Nuclear and Radiation Engineering B (原子核・量子線工学講究B)	4
Colloquium on Nuclear Energy Systems A (核エネルギーシステム学講究A)	4
Colloquium on Nuclear Energy Systems B (核エネルギーシステム学講究B)	4
Colloquium on Nuclear Energy Systems C (核エネルギーシステム学講究C)	4
Colloquium on Materials Science for Energy Systems A (エネルギー物質科学講究A)	4
Colloquium on Materials Science for Energy Systems B (エネルギー物質科学講究B)	4
Colloquium on Materials Science for Energy Systems C (エネルギー物質科学講究C)	4
Colloquium on Applied Physics A (応用物理学講究A)	4
Colloquium on Applied Physics B (応用物理学講究B)	4
Colloquium on Applied Physics C (応用物理学講究C)	4
Research Study in Industrial Fields (産学連携実習)	4
Research Planning on Applied Quantum Physics and Nuclear Engineering (エネルギー量子工学研究企画演習)	2
Teaching Practice in Applied Quantum Physics and Nuclear Engineering	2

(エネルギー量子工学指導演習)	
Advanced Topics of Applied Quantum Physics and Nuclear Engineering (エネルギー量子工学特論)	2
Engineering Research Planning (工学研究企画)	2

機械工学グローバルコース

授 業 科 目	単 位
Advanced Material Strength (材料力学講究)	4
Advanced Design Engineering (設計工学講究)	4
Advanced Thermal Engineering (熱工学講究)	4
Advanced Fluids Engineering (流体工学講究)	4
Advanced Dynamics of Machinery (機械力学講究)	4
Advanced Control Systems (制御システム講究)	4
Advanced Manufacturing Process (加工プロセス講究)	4
Advanced Biomechanical and Biothermal Engineering (生体工学講究)	4
Seminar in Material Strength (材料力学セミナー)	2
Seminar in Design Engineering (設計工学セミナー)	2
Seminar in Thermal Engineering (熱工学セミナー)	2
Seminar in Fluids Engineering (流体工学セミナー)	2
Seminar in Dynamics of Machinery (機械力学セミナー)	2
Seminar in Control Systems (制御システムセミナー)	2
Seminar in Manufacturing Process (加工プロセスセミナー)	2
Seminar in Biomechanical and Biothermal Engineering (生体工学セミナー)	2
Mechanical Engineering Research Planning (機械工学研究企画演習)	2
Internship (機械工学インターンシップ)	4
International Internship (機械工学国際インターンシップ)	4
Communication for Mechanical Engineers (機械工学コミュニケーション)	2

Teaching Practice on Mechanical Engineering (機械工学指導演習)	1
Engineering Research Planning (工学研究企画)	2

水素エネルギーシステムグローバルコース

授 業 科 目	単 位
Tutorials on Hydrogen System A (水素システム講究A)	4
Tutorials on Hydrogen System B (水素システム講究B)	4
Tutorials on Hydrogen System C (水素システム講究C)	4
Tutorials on Material and Design A (水素材料・設計学講究A)	4
Tutorials on Material and Design B (水素材料・設計学講究B)	4
Tutorials on Material and Design C (水素材料・設計学講究C)	4
Tutorials on Material and Design D (水素材料・設計学講究D)	4
Tutorials on Thermofluid Engineering (水素熱流体工学講究)	4
Advanced Hydrogen Energy Engineering (水素エネルギー工学特論)	2
Advanced Energy Technologies (先端エネルギー技術論)	2
Seminar in Hydrogen System A (水素システムセミナーA)	2
Seminar in Hydrogen System B (水素システムセミナーB)	2
Seminar in Hydrogen System C (水素システムセミナーC)	2
Seminar in Material and Design A (水素材料・設計学セミナーA)	2
Seminar in Material and Design B (水素材料・設計学セミナーB)	2
Seminar in Material and Design C (水素材料・設計学セミナーC)	2
Seminar in Material and Design D (水素材料・設計学セミナーD)	2
Seminar in Thermofluid Engineering (水素熱流体工学セミナー)	2
Project Analysis (プロジェクト演習)	2
International Internship I (国際連携インターンシップ I)	2
International Internship II (国際連携インターンシップ II)	2

Internship (産学連携インターンシップ)	2
Research Planning (水素エネルギーシステム研究企画演習)	2
Training as Supervisor (水素エネルギーシステム指導演習)	2
Engineering Research Planning (工学研究企画)	2

航空宇宙工学グローバルコース

授 業 科 目	単 位
Advanced Aerospace Propulsion (推進工学講究)	4
Advanced Fluid Dynamics (流体力学講究)	4
Advanced Thermophysical Engineering (熱物理学講究)	4
Advanced Strength and Vibration (強度振動学講究)	4
Advanced Aerospace Structural Systems Engineering (軽構造システム工学講究)	4
Advanced Guidance and Control (誘導制御講究)	4
Advanced Flight Dynamics (飛行力学講究)	4
Advanced Space Systems Engineering (宇宙システム工学講究)	4
Advanced Space Transportation Systems Engineering (宇宙輸送システム工学講究)	4
Advanced Orbital Systems Engineering (軌道上システム工学講究)	4
Advanced Atmospheric Flow Engineering (大気流体工学講究)	4
Advanced Materials Strength for Aeronautics and Space (航空宇宙材料強度学講究)	4
Advanced Aerospace Structural Dynamics (航空宇宙構造動力学講究)	4
Advanced Seminar in Aeronautics and Astronautics I (航空宇宙工学高等セミナー I)	2
Advanced Seminar in Aeronautics and Astronautics II (航空宇宙工学高等セミナー II)	2
Aerospace Engineering Research Planning (航空宇宙工学研究企画演習)	2

Internship in Aerospace Engineering (航空宇宙工学インターンシップ)	2
International Internship in Aerospace Engineering (航空宇宙工学国際インターンシップ)	2
Communication for Aerospace Engineers I (航空宇宙工学コミュニケーション I)	1
Communication for Aerospace Engineers II (航空宇宙工学コミュニケーション II)	1
Aeronautics and Astronautics Project A (航空宇宙工学プロジェクトA)	2
Aeronautics and Astronautics Project B (航空宇宙工学プロジェクトB)	2
Teaching Practice on Aeronautics and Astronautics Engineering (航空宇宙工学指導演習)	2
Engineering Research Planning (工学研究企画)	2

#### 別表第 1 4

国際環境システム工学特別コース

一 履修方法

博士後期課程

各専攻ごとに国際環境システム工学特別コースの授業科目から 6 単位以上修得しなければならない。

二 授業科目

博士後期課程

授 業 科 目	単 位
International Environmental System Engineering I (国際環境システム工学第一)	2
International Environmental System Engineering II (国際環境システム工学第二)	2
International Environmental System Engineering III (国際環境システム工学第三)	2
International Environmental System Engineering IV (国際環境システム工学第四)	2
International Environmental System Engineering V (国際環境システム工学第五)	2
International Environmental System Engineering VI (国際環境システム工学第六)	2

International Environmental System Engineering VII (国際環境システム工学第七)	2
International Field Work (国際フィールドワーク)	2

## 九州大学教授会通則

平成16年度九大規則第8号  
制 定：平成16年 4月 1日  
最終改正：平成27年 2月24日  
(平成26年度九大規則第83号)

(趣旨)

第1条 この規則は、九州大学学則（平成16年度九大規則第1号）第38条第2項の規定に基づき、教授会の組織、審議事項、議事の手続その他必要な事項を定めるものとする。

(構成員)

第2条 各学部の教授会の構成員は、次に掲げる者とする。

(1) 研究院の所属で当該学部の教育研究又は附属教育研究施設を担当する教授

(2) 病院の所属で学部の教育研究を担当する教授

2 各学府の教授会の構成員は、当該学府の教育研究を担当する教授とする。

3 各研究院の教授会の構成員は、当該研究院所属の教授とする。

4 基幹教育院の教授会の構成員は、基幹教育院所属の教授とする。

5 各附置研究所の教授会の構成員は、当該附置研究所所属の教授とする。

6 カーボンニュートラル・エネルギー国際研究所（以下「国際研究所」という。）の教授会の構成員は、国際研究所所属の教授とする。

7 情報基盤研究開発センター（以下「センター」という。）の教授会の構成員は、センター所属の教授とする。

8 教授会には、准教授その他の職員を加えることができる。

(教授会の審議事項等)

第3条 教授会は、総長が次に掲げる事項について決定を行うに当たり意見を述べるものとする。

(1) 学生の入学、卒業及び課程の修了

(2) 学位の授与

(3) 前2号に掲げるもののほか、教育研究に関する重要な事項で、教授会の意見を聴くことが必要なものとして総長が定めるもの

2 教授会は、前項に規定するもののほか、総長及び教授会が置かれる部局の長（以下この項において「総長等」という。）がつかさどる教育研究に関する事項について審議し、及び総長等の求めに応じ、意見を述べることができる。

(議長)

第4条 教授会に議長を置き、当該部局の長をもって充てる。

2 議長は、教授会を主宰する。

(議事)

第5条 教授会は、構成員の2分の1以上が出席しなければ、議事を開き、議決することができない。

2 教授会の議事は、出席した構成員の過半数をもって決し、可否同数のときは、議長の決するところによる。

3 前2項の規定にかかわらず、特に重要な事項の審議については、別段の定めをすることができる。

(構成員以外の者の出席)

第6条 教授会が必要であると認めた場合は、構成員以外の者の出席を求め、意見を聞くことができる。

(代議員会等)

第7条 教授会は、その定めるところにより、教授会の構成員のうちの一部の者をもって構成される代議員会、専門委員会等（次項において「代議員会等」という。）を置くことができる。

2 教授会は、その定めるところにより、代議員会等の議決をもって、教授会の議決とすることができる。

(補則)



第8条 この規則に定めるもののほか、教授会の議事の手続その他その運営に関し必要な事項は、各教授会の議を経て当該部局長が定める。

附 則

この規則は、平成16年4月1日から施行する。

附 則（平成16年度九大規則第246号）

この規則は、平成17年4月1日から施行する。

附 則（平成18年度九大規則第40号）

この規則は、平成19年4月1日から施行する。

附 則（平成23年度九大規則第14号）

この規則は、平成23年10月1日から施行する。

附 則（平成24年度九大規則第32号）

この規則は、平成25年4月1日から施行する。

附 則（平成24年度九大規則第50号）

この規則は、平成25年4月1日から施行する。

附 則（平成25年度九大規則第41号）

この規則は、平成25年11月1日から施行する。

附 則（平成26年度九大規則第14号）

この規則は、平成26年10月1日から施行する。

附 則（平成26年度九大規則第83号）

この規則は、平成27年4月1日から施行する。